学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

１．新設組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（１）新設組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（２）新設組織の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
①養成する人材像、学位の分野を踏まえた新設組織の特色・・・・・・・・・・・・・2
②新設組織と関連する既設組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
２．人材需要の社会的な動向等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
（１）新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析・・・・・・・・・6
（２）中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析・・・・・・・9
（３）新設組織の主な学生募集地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（４）既設組織の定員充足の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
３．学生確保の見通し等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
（１）学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果・・・・・・・・・・・・・・・ 15
①既設組織における取組とその目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
②新設組織における取組とその目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
③当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数・・・・・ 23
（２）競合校の状況分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
①競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性・・・・・・・・・・・・・・ 26
②競合校の入学志願動向等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
③新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）・・・33
④学生納付金等の金額設定の理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
（３）先行事例分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
（４）学生確保に関するアンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
①高校生アンケート調査 実施概要（経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部共通）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
②高校生アンケート調査 調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
（５）人材需要に関するアンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
①人材需要に関するアンケート調査 実施概要及び調査結果・・・・・・・・・・・・ 45
４．新設組織の定員設定の理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
（１）経済学部経済学科及び社会経済学科の定員設定について・・・・・・・・・・・ 50
（２）スポーツ情報学部の定員設定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

１.新設組織の概要

（１）新設組織の概要

中央大学では令和９（2027）年４月に経済学部２学科、スポーツ情報学部の届出による設置を予定している。まず、経済学部の４学科（経済学科、経済情報システム学科、国際経済学科、公共・環境経済学科）の学生募集を停止し、その収容定員の再配分をもって２学科（経済学科、社会経済学科）を設置する。あわせて、収容定員 1,180 人を増加し、新たにスポーツ情報学部（スポーツ情報学科）を設置する。これに伴い、令和９年４月より大学全体の収容定員は以下のとおり、26,304 人となる。

なお、新設する経済学部経済学科・社会経済学科及びスポーツ情報学部の所在地（教育研究を行うキャンパス）は、いずれも多摩キャンパス（東京都八王子市東中野 742 番地１）とする。

学部名称	学科名称	現行（R8）		変更後(R12) *新設置組織の完成年度		増減	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経済学部	経済学科（旧）	467	1,868	0	0	△467	△1,868
	経済情報システム学科	180	720	0	0	△180	△720
	国際経済学科	265	1,060	0	0	△265	△1,060
	公共・環境経済学科	150	600	0	0	△150	△600
	経済学科（新）	－	－	542	2,168	542	2,168
	社会経済学科	－	－	520	2,080	520	2,080
スポーツ情報学部	スポーツ情報学科	－	－	295	1,180	295	1,180
全学部		6,281	25,124	6,576	26,304	295	1,180

※下線は令和９年度に設置する学部・学科を示す。また、いずれの学科も編入学定員の設定はない

（２）新設組織の特色

①養成する人材像、学位の分野を踏まえた新設組織の特色

新設組織における養成する人材像、学位の分野を踏まえた新設組織の特色について、以下に学部・学科ごとに記載する。

＜経済学部経済学科及び社会経済学科＞

（ア）養成する人材像

本学経済学部ではこれまでも、本学の養成する人材像を踏まえ「経済や経営についての専門的知識を備え、社会の多様なニーズに応えられる、冷静な思考力と温かい心を持った

国際的な視野に立つ経済人」をその養成する人材像として掲げ、専門的知識に基づく「冷静な思考力」を備えるだけでなく、人々が直面する社会的諸問題に寄り添う「温かい心」を持った人材を養成してきた。その一方で、社会的課題が世界的・地球規模に広がり、格差や貧困といった問題が深化する中で、これらの課題に向き合い解決策を模索・提示する人材の育成に必要な高度な専門的知識を、現行の４学科の枠組みだけで十分に扱うことが難しくなりつつある。そこで、経済学の高い専門的知識を持って社会的諸課題に向き合える人材をこれまで以上により確実かつ充実して養成できるよう、経済学部を現行の４学科から、新たにその専門領域別に２学科に再編する。

再編後の本学経済学部では、上述の学部における養成する人材像を引き継ぐとともに、時代の要請する人材を見据えつつ、各学科の養成する人材像を以下のとおり新たに設定する。

・経済学科

経済学科では、経済や経営に関する最先端の専門的知識を備え、変化し続ける社会で、そのルールや政策を理解し、物事の本質を見抜く冷徹な「頭脳」と他者を慮るやわらかな「感性」を持った国際的な視野に立って行動する経済人を育成する。同時に、論理的で粘り強い思考力、多様な価値観を踏まえた対人交渉や相互理解のための優れたコミュニケーション能力を備えた、多様なニーズに応えられる人材を養成する。

・経済学部社会経済学科

社会経済学科では、経済学および統計学・経営学・会計学の専門知識を備えた上で、さまざまな社会問題に対して「最適解をまとめる胆力」をもった人材を養成する。「最適解をまとめる胆力」とは、直面する社会問題に対して、さまざまな立場や前提、仮定、価値判断から導き出される多様な考え方を深く学んで最適解を粘り強くまとめ、実現しようとすることができる力であって、社会経済学科の目的を最も端的に表す概念である。

（イ）授与する学位

新設組織において授与する学位は以下のとおりであり、授与する学位の変更はない。

新設組織	学位の名称	学位の分野
経済学部 経済学科 社会経済学科	学士（経済学）	経済学関係

（ウ）学部・学科の特色

本学経済学部では、再編後の２学科体制においても、学部全体としての入学定員・収容定員は従前どおりとし、所在地についても、引き続き多摩キャンパスにおいて教育研究を行う。

本改組により、国際的視野と高度な専門性を備え、経済社会の諸課題の解決に主体的に取り組む人材の一層の養成を図る。新設する両学科において授与する学位の分野は、従前どおり「経済学」とする。

経済学科は、ミクロ・マクロ経済学とデータ分析を基盤とした教育課程のもと、「経済政策コース」及び「国際経済コース」を設け、変化し続ける社会における経済のルールや政策を的確に理解し、実証的根拠に基づいて政策提言・問題解決を行いうる経済人の育成を目的とする。冷徹な「頭脳」と他者を慮る「感性」を兼ね備えた人間力を涵養し、官公庁、シンクタンク、金融機関、情報通信分野など多様な領域で活躍しうる人材を輩出する。

社会経済学科は、経済理論に加え、歴史・制度、経営・会計、統計等を幅広く学ぶカリキュラムのもと、複雑化する社会問題について多様な立場や価値観を踏まえつつ「最適解をまとめる胆力」を備えた人材の養成を目的とする。「社会経済コース」と「地域・マネジメントコース」を配置し、経済学の多様な理論・政策・歴史・制度と一般教養に裏付けられた広い視野、統計や経営・会計の観点からデータを分析する情報収集・分析能力、多様な考えをもつ他者と新しい経済社会を共創する自律的な共創力、既存の枠組みにとらわれない批判的創造力を育成し、官公庁、金融、企業経営、会計、福祉など幅広い分野で貢献し得る人材を輩出する。

また、両学科において統計・データサイエンス教育やICT活用科目を体系的に配置し、学部内外のデータサイエンス系教育資源を活用することで、データに基づく意思決定能力と実践的な課題解決能力を兼ね備えた人材育成を図る。これらの教育課程は、令和９（2027）年度開設を前提として再設計されたものであり、既設４学科とは異なる新たなカリキュラム構造と人材育成像に基づく点に特色がある。

＜スポーツ情報学部＞

（ア）養成する人材像

スポーツ情報学部では、本学の建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」に基づき、AI・データサイエンスに関する知識や技術とスポーツビジネスに関する専門知識により、データを適切に分析し、その背景にある本質的な課題を正しく見抜いたうえで、的確な課題解決案を策定することができ、その実装を通じてウェルビーイングで持続可能な社会の構築に向けて新たな価値を創造するデータ活用人材を養成する。

（イ）授与する学位

新設組織	学位の名称	学位の分野
スポーツ情報学部 スポーツ情報学科	学士（スポーツ情報）	工学関係 経済学関係

（ウ）学部・学科の特色

スポーツ情報学部は、AI･データサイエンスの能力･技術とビジネスの基礎的･理論的知識を基盤として、社会課題の解決力を養成する文理横断･融合型の学部であり、その専門性に応じて「データサイエンスコース」「スポーツビジネスコース」を設置する。

スポーツ情報学部では、単に AI･データサイエンス全般を扱うのではなく、具体的な応用･実践力を養う教育研究上の応用領域として、スポーツという複雑で動的かつ多層的な１つのフィールドを対象にすることで、多種多様なデータの取得や分析という理系的な数理統計分野の学びと、データの可視化とそれに基づく事業戦略の立案･実行やマーケティングなどの文系的な経営･経済学分野の学びを横断･融合した教育研究を行うことを可能とする点を特色とする。

このような特色から AI･データサイエンスやビジネスに関する理論･技術の修得とスポーツの現場における体験を伴う実践的な学びの往還を提供し、適切なデータ分析に基づく正しい「問い」の設定と本質的な課題を見抜いた正しい「答え」の発見･創造を可能とする学びを提供することで、専門的な知識･技術に裏付けられた視点と深い洞察に基づく視野を涵養する。

②新設組織と関連する既設組織

＜経済学部経済学科及び社会経済学科＞

経済学部と近接する分野（経済学関係）の学内の既設組織として、商学部（全学科）、総合政策学部（政策科学科）、国際経営学部（国際経営学科）を設置しているが、これらの学部・学科については、本改組に伴う廃止・学生募集停止・収容定員変更等の予定はない。令和９（2027）年度以降も、現行の教育研究体制及び所在地を維持しつつ、経済学部新２学科との間で相互補完的な教育研究活動を展開する。

＜スポーツ情報学部＞

スポーツ情報学部と近接する分野（工学関係、経済学関係）の学内の既設組織として、工学関係では基幹理工学部（応用化学科）、社会理工学部（全学科）、先進理工学部（全学科）[1]、国際情報学部（国際情報学科）を、経済学関係では経済学部（全学科）、商学部（全学科）、総合政策学部（政策科学科）、国際経営学部（国際経営学科）を設置している。このうち経済学部については、上述のように現行の４学科の学生募集を停止し、４学科の収容定員の再配分をもって新たに経済学科・社会経済学科を設置する予定となっている。経済学部以外の学部・学科については、学生募集停止・収容定員変更等の予定はなく、令和９（2027）年度以降も現行の教育研究体制及び所在地を維持しつつ、各学部・学科間で相互補完的な

[1] 理工学部は 2026 年４月より基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部の３学部体制となる。2025 年以前を前提とした記述については理工学部、2026 年４月以降の体制を前提とした記述については３学部名を明記している。

教育研究活動を展開する。

２.人材需要の社会的な動向等

（１）新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

我が国は課題先進国として、世界に先駆けた急激な少子高齢化の進行に伴う生産年齢人口の激減や、地方コミュニティの衰退といった地域活力の低下、環境問題など、世界の国々が今後直面する課題にいち早く対応していく必要に迫られている。そのような社会情勢に照らし、新たに置く経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部の養成する人材が求められる背景や各種動向について、学部・学科ごとに述べる。

＜経済学部経済学科及び社会経済学科＞

本学経済学部は明治 38（1905）年に母体となる経済学科を設立し、以降、社会の変化に対応しながら教育・研究活動を充実してきた。

一方で、近年、国内外における情勢は目まぐるしく変化している。第６期科学技術・イノベーション基本計画が示す現状認識も踏まえれば、現代の世界は、激化する国家間の覇権争いや国際紛争・地域紛争を伴いながら、新たな世界秩序の再編の時代に入っている。気候変動など世界全体が直面している様々な問題は、大規模自然災害の頻発化などの形で現実の脅威を我々の社会にもたらしている【資料１】。今日においては、GAFAM のようなプラットフォーマーが世界の経済活動を牽引している一方で、国際的な情報独占によって自由競争を制約するだけでなく、世界の富をごく一部の資産家に偏在させることで、「格差」や「社会の分断」、「将来への不安」など、一人ひとりの幸福を毀損する事態も生じさせている。

こうした現代の社会的課題に向き合うとき、今日求められるのは「社会的価値を生み出す人文・社会科学の『知』と自然科学の『知』の融合による『総合知』」 であるが、特に、科学技術基本法の令和２（2020）年改正に係り、科学・技術イノベーション政策の柱の１つに「『人文・社会科学』の振興」を明確に掲げ、「人文・社会科学の真価である価値発見的な視座を取り込むことによって、社会へのソリューションを提供する」という位置づけを与えたことは、極めて重要な観点である。その社会科学のなかでも経済学は、上のような現代的諸課題をすべてその研究対象の射程に収めている。こうした現代社会の変化と経済学の立ち位置を踏まえたとき、経済学の専門的知識を備えた人材を育成することは、単に自らが社会で活躍するということに留まらず、常に社会的課題と向き合いながらその解決策を模索・提示し、人類の社会的福祉に寄与できる人材を育成するということであり、今日の大学に求められる社会的要請である。

本学経済学部ではこれまでも、学部の養成する人材像を掲げ、専門的知識に基づく「冷静な思考力」を備えるだけでなく、人々が直面する社会的諸問題に寄り添う「温かい心」を持った人材を養成してきた。その一方で、上に記載したとおり、社会的課題が深化する中において、これらの課題に向き合い解決策を模索・提示する人材の育成に必要な高度な専門的知識を、現行の４学科の枠組みだけで十分に扱うことが難しくなりつつある。そこで、経済学

の高い専門的知識を持って社会的諸課題に向き合える人材をこれまで以上により確実かつ充実して養成できるよう、経済学部を現行の４学科から、新たにその専門領域別に２学科に再編する。

経済学部が新たに設置する２学科の養成する人材に対する、社会的・地域的な需要については、各種データや本学経済学部のこれまでの実績によって裏付けられている。まず、日本私立学校振興・共済事業団による、令和５年度から７年度までの『私立大学・短期大学等入学志願動向』によれば、経済学部を包含する社会科学系の志願者数は全体に比して高水準であり、1,335,134 人から 1,466,701 人と上昇傾向となっており、志願倍率も 7.76 倍から 8.38 倍に上昇していること、入学定員充足率も 100%以上を常時維持していることも踏まえると、社会科学系分野を志向する高校生の需要は他の分野と比較しても高いことを示しているといえる【資料２】。社会科学系の中で経済学部に着目してみても、全国 89 学部で志願者数は令和５年度から令和７年度にかけて 345,052 人から 377,772 人と上昇しており、入学定員充足率は令和７年度で 107.91%と、他の社会科学系学部の中でも高水準を示している【資料２】。

また、本学経済学部がこれまで養成してきた人材への需要については、本学経済学部学生の就職決定率に裏付けられている。具体的に、令和元（2019）年度から令和６（2024）年度の卒業生の就職決定率（卒業後の進路が「就職」の数/就職希望者数）は 95.3%～97.7%と非常に高水準を維持している【資料３】。このような実績からも、本学経済学部がこれまで養成してきた人材への需要の高さがうかがえる。今般の学部再編による２学科設置にあたっては、教育課程の見直し・充実化を図ることで、経済学の高い専門的知識を持って社会的諸課題に向き合える人材を確実かつ充実して養成することを目的とするものであることから、新たな２学科において養成する人材への需要は、さらに高まることと考える。

以上により、「経済学」の学問分野を志向する高校生の数は継続して高く見込まれるとともに、学部再編後の養成する人材に対しても、これまでの実績を踏まえれば、社会的な需要が継続して高いことが見込まれる。

＜スポーツ情報学部＞

第６期科学技術・イノベーション基本計画が示す社会変容の潮流を踏まえれば、自然環境・社会環境の急速な変化から生じる複雑な地球規模の課題が顕在化する現代社会においては、予測不可能な時代に対応しつつ、課題解決を通じて新たな社会を切り拓く能力を備えた人材が必要である【資料１】。このような能力を育成するためには、「統合イノベーション戦略 2025」が示すように、従来の文系・理系の区分を超えて複眼的に物事を捉え、総合的に課題を解決する視点を身につけることが重要である【資料４】。また、第６期科学技術・イノベーション基本計画において我が国が目指す姿として掲げている Society5.0（サイバー空間とフィジカル空間の融合により、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会） は、こうした複雑な課題に対応し得る新たな社会像であり、その実現が今後の科

学技術・イノベーション政策の大きな方向性となっている【資料１】。そのためには、今後の経済社会活動の主役となることが予想される先端技術（AI・半導体・量子・ロボティクス等）と、それらを有効に活用するための AI・データサイエンスに関する能力・技術が重要である。

一方、文部科学省中央教育審議会が令和７（2025）年に公表した「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）」関係データ（経済産業省の委託調査）によれば、人材のリスキリングが停滞した場合、令和 12(2030)年には先端 IT 人材が 54.5 万人不足するという調査結果が示されている【資料５】。さらに、令和８（2026）年１月開催の日本成長戦略会議人材育成分科会において示された経済産業省提出資料によると、現在の人材供給のトレンドが続いた場合、令和 22(2040)年には職種間のミスマッチにより AI・ロボット等の利活用人材が約 340 万人不足、学歴間のミスマッチにより、研究者や技術者等の専門職を中心に大学理系卒の人材が 96 万人（大学院卒の理系人材を加えると 120 万人以上）の不足が生じると推測されており、より長期的に先端 IT 人材が不足する状況が示されている【資料６】。

これらの先端 IT 人材・理系人材の不足の解消に必要な人材像およびスキルについては、経済産業省が令和６（2024）年に発出した「生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方 2024」に示されている通り、創造性の高い役割としてリーダーシップや批判的思考などパーソナルスキルやビジネス・デザインスキルが重要であり、「問いを立てる力」や「仮説を立て・検証する力」に加えて「評価する・選択する力」を有した DX 推進人材が求められている【資料７】。具体的には「選択肢から適切なものを判断する選択・評価する力」、「独自視点の問題解決能力」、「顧客体験を追求する姿勢」、「データサイエンティストとしての利活用スキル（使う、作る、企画）、背景理解・対応スキル（技術的理解、技術・倫理・推進の各課題対応）」などが求められている。

これらが示しているところを要約すれば、今後の社会が必要としている人材とは、先端 IT 人材として特に AI・データサイエンス等の能力・技術を修得したデータ利活用人材であるとともに、文理の枠を超えた総合知を有したスキルとビジネスなどの現実社会の課題へと適応できる人材である。これらの人材は、まさに、スポーツ情報学部が養成を目指す文理横断・融合的な専門知識・技術に基づく、適切なデータ分析に基づいた本質的な課題を見抜くための視点と深い洞察に基づく視野を有した、実践的で社会実装のできる人材にほかならず、その需要が令和 22(2040)年までの長期に亘って続くといえる【資料６】。

このような社会的な需要の高まりは、スポーツ情報学部の教育・研究領域である工学分野（データサイエンス）・経済学分野（経済学・経営学）の志願者数にも表れている。日本私立学校振興・共済事業団による令和５年度から７年度までの『私立大学・短期大学等入学志願動向』によれば、スポーツ情報学部の主たる学問分野である工学に関連する理・工学系の志願者数は全体の増加に準じて令和５（2023）年度の 745,076 人から 789,449 人と約 44,000 人と右肩上がりの増加をしており、志願倍率は 12.23 倍から 12.98 倍と、他の分野と比較

しても高水準を維持している【資料２】。特に、データサイエンス学部については令和６（2024）年度より集計数が３以上の学部として「その他」ではなく独立した区分となり、学部集計数が１増、志願者数も 147 人の増加となっており、近年のデータサイエンス系学部の増加が数字として表れ始めている。また、スポーツ情報学部のもう一つの学問分野である経済学に関連する社会科学系全体も志願者数は全体に比して高水準であり、令和５（2023）～令和７（2025）年度において 1,335,134 人から 1,466,701 人と上昇傾向となっており、志願倍率も 7.76 倍から 8.38 倍となっている。特に、令和６（2024）と令和７（2025）年度を比較すると、経営学部で 23,692 人、経済学部で 35,432 人の増加となっており、安定した受験者数を維持している。このことは、データサイエンス分野や経済学・経営学といった学問分野を取り扱う学部に対する社会的ニーズが高まっており、現代の社会的な人材需要の動向が、高校生の学部選びに大きく影響していることを意味していると推測される。

（２）中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

新たに設置する経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部については、すべて本学多摩キャンパス（東京都八王子市）に設置するものであり、新設組織を取り巻く 18 歳人口の全国的・地域的動向については共通した状況にある。

まず、全国的な 18 歳人口の動向について、学校基本調査の結果からとりまとめた「18 歳人口推移（2027 年度進学対象者～2037 年度進学対象者）」【資料８】のとおり、我が国全体の 18 歳人口（男女計）は、令和９（2027）年度進学対象者が約 105.6 万人、2037 年度進学対象者が約 89.7 万人と見込まれており、今後 10 年間で約 15%（約 1.6%／年）の減少が見込まれる。中期的には令和 11(2029) 年度頃まではほぼ 105 万人前後で推移するものの、令和 12（2030）年代に入ると徐々に減少幅が大きくなり、令和 17（2035）年度には約 96.2 万人、令和 19（2037）年度には 90 万人を下回る水準となる見通しである。一方で、大学進学率は 56%から 60%として上昇傾向が続くとみられ、令和８（2026）年度は 63 万人、令和 18(2036)年度は 56 万人の大学進学者数が推計されており、昭和 55 年以降の 18 歳人口のピーク（205 万人）であった平成元年における大学進学者数 54 万人を上回る見込みである【資料９】。このように、18 歳人口の減少が続く中でも、大学進学率の上昇により大学進学者数は一定の規模を維持することが想定されることから、新たに置く経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部の入学定員を十分に確保できると考えられる。

次に、本学の主たる学生募集地域である首都圏１都３県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）の 18 歳人口について、令和９（2027）年度進学対象者が約 29.1 万人、令和 19(2037)年度進学対象者が約 26.2 万人と見込まれ、同期間の減少率は 10%程度にとどまる。これに対して、１都３県を除くその他の地域の 18 歳人口は、同じく 10 年間で約 17%程度の減少が見込まれており、全国平均（約 15%減）と比べても、首都圏１都３県は相対的に減少が緩やかな地域である。また、18 歳人口に占める首都圏１都３県の比率は、令和９（2027）年度時点で 27.6%であるのに対し、令和 19(2037)年度には 29.2%強へとやや増加する見通し

となっており、18 歳人口の中で首都圏のウェイトが相対的に高まることが示されている【資料８】。

さらに、文部科学省中央教育審議会大学分科会の設置した「高等教育の在り方に関する特別部会」にて示された「大学進学者数等の将来推計について」では、特に東京都における令和 22（2040）年における大学進学率推計は 80%を超え、令和３（2021）年の大学進学者数の 94.9％を維持する推計となっていることからも、令和３（2021）年時点よりも募集環境としての地域的な優位性がますます広がっていくことを示唆している。加えて、大学進学者数の地域的動向では、令和 22(2040)年時点における１都３県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）の大学進学者数は全体の 34.8%を占める推計が示されており、2021 年度時点の 30.9%を上回る推測である【資料９】。

後述のとおり、本学はこれまで一貫して安定した志願者数と入学者数を維持しており、全国区の総合大学としての知名度、資格・就職実績、首都圏立地の利便性等を背景に、首都圏１都３県を主たる学生募集地域としつつ、北海道から九州・沖縄に至るまで全国各地からも安定的に入学者を獲得している「全国区」の私立大学である。

したがって、新設する経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部においても、首都圏１都３県の 18 歳人口が全国平均に比べて減少が緩やかであるという点と、本学が全国から広く志願者を集めているという点を踏まえると、今後 10 年間にわたっても一定規模の志願者層を確保し得る環境にあると考えられる。

特に、新設する経済学部経済学科及び社会経済学科の合計入学定員は 1,062 人であり、現行の経済学部４学科の合計入学定員と同一であることから、別紙２の２にも示されるような経済学部のこれまでの実績を踏まえて十分な需要が見込まれる。

また、新設するスポーツ情報学部においては、統計リテラシー・ICT 活用科目の拡充や、データサイエンスおよびスポーツビジネスの分野を明確に打ち出し、AI･データサイエンスの能力･技術を修得したデータ利活用人材という、現代の社会ニーズに即した人材養成のための文理横断･融合的な教育課程を提供することから、一定の志願者需要が見込まれる。

以上のとおり、全国的には 18 歳人口の減少が見込まれるものの、本学の主たる学生募集地域である首都圏１都３県の減少幅は全国平均に比して緩やかであり、募集環境としての地域的な優位性がますます広がっていくこと、本学がこれまで全国区の私立大学として全国各地から安定的に志願者を獲得していることを勘案すれば、開設から 10 年間の中長期的なスパンにおいても、新たに設置する経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部の入学定員を充足し得る合理的な見通しがあると判断できる。

（３）新設組織の主な学生募集地域

新たに設置する経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部については、以下に記載の分析結果に基づき、本学の既設の学部と同様に１都３県を主たる募集地域としつつ、北海道から九州・沖縄まで全国各地から一定規模の入学者を見込む「全国型学生募集」

を志向する。

学校基本調査に基づく全国的な動向については、別紙１（①出身高校所在地県別の入学者構成比、②新設組織が置かれる都道府県における定員充足状況、③当該学問分野における定員充足状況）のとおりである。

まず、出身高校所在地県別の入学者構成比（上位５都道府県）について、令和７（2025）年度では東京都出身者が 55,740 人(34.6%)と最も多く、次いで神奈川県 23,187 人(14.4%)、埼玉県 19,060 人（11.8%)、千葉県 14,589 人（9.1%)、茨城県 5,853 人（3.6%）となっている。上位５都道府県の合計は 73.6%であり、首都圏を中心とした入学者の流入が安定的に確保されている状況が確認できる。したがって、本学の主要募集圏域である首都圏からの志願者・入学者を継続的に確保できる蓋然性は高い。

次に、新設組織が置かれる都道府県（東京都）の定員充足状況（大学・学部別）を見ると、令和５年度 103.57%、令和６年度 102.88%、令和７年度 105.69%と、いずれの年度においても 100%を上回って推移している。これは、所在地都道府県における高等教育需要が堅調であり、定員確保の環境条件が良好であることを示すものである【資料２】【別紙１】。加えて、地域別の動向（大学･学部別）【資料２】においては、東京都の志願倍率は令和６(2024)年度 8.93 倍、令和７(2025)年度は 9.67 倍であり、さらに、入学定員による規模別の動向として、本学も区分される入学定員 3,000 人以上の志願倍率と充足率は、令和７（2025）年度でそれぞれ 12.5 倍、105.85％であり、いわゆる小中規模の大学より優位な数値が出ている。

そして、経済学部経済学科及び社会経済学科に関連する学問分野（系統区分：社会科学系）の定員充足状況についても、別紙１のとおり、令和５年度 102.70%、令和６年度 102.49%、令和７年度 105.56%と、継続して 100%を超える水準で推移している。

また、スポーツ情報学部に関連する学問分野（系統区分：理・工学系、社会科学系）の定員充足状況についても、社会科学系は令和５年度 102.70%、令和６年度 102.49%、令和７年度 105.56%と継続して 100%を超える水準で推移しており、理・工学系においては令和５年度 101.88%、令和６年度 99.39%、令和７年度 102.31%と 100%前後で安定的に推移している。

以上が全国的な動向であり、地域及び学問分野の観点からも、充分に志願者及び入学者を確保できる見込みである。

次に、【資料 10】のとおり、本学入学者の出身高校所在地に基づく都道府県別入学者数について、令和５（2023）～令和７（2025）年度の入学者を集計すると、１学年あたり約 6,000 人、３年間合計で約 18,000 人の規模となっている。まず首都圏について見ると、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県の１都３県からの入学者は３年間で合計約 13,000 人であり、各年度においては全入学者の約７割がこの１都３県に由来している。これに茨城県・栃木県・群馬県の３県を加えた１都６県においても、入学者は３年間合計で約 14,000 人となっており、各年度においても 75～76%と安定的に７割以上を占めている【資料 10】。このことから、本学の主たる学生募集地域は１都３県を中心とした首都圏であるといえる。一方で、１都３県以外の地域からの入学者も、３年間合計で約 5,300 人となっており、各年とも入学定員数

の約 29%と一定規模に達している。地域ブロック別にみると、北関東３県から 1,000 人（約５%）、東海地域から約 900 人（約５%）、九州・沖縄から約 720 人（約４%）、北海道から約 450 人（約２%）、東北・甲信越からそれぞれ約 600 人（いずれも約３%）、近畿から約 400 人（約２%）、中国・四国・北陸からそれぞれ１～２%程度の割合で入学者を受け入れている。これらの値はいずれの年度においても大きな変動は見られず、３年間を通じて、北海道から九州・沖縄に至るまで、全国各地域から継続的に入学者を確保していることが確認できる【資料 11】。

本学経済学部における入学者動向も上述の全学同様の傾向である【資料 12】。令和５～７（2023～2025）年度における高校からの入学者について、1 都３県からの入学者は３年間合計で約 2,000 人であり、各年度においては経済学部入学者の 65～68%が 1 都３県に由来している。これに茨城県・栃木県・群馬県の３県を加えた１都６県における入学者においては３年間合計で約 2,200 人となっており、各年度においては経済学部入学者の 71～74%となっている。このように、各年度においても 1 都３県を中心として安定的に７割前後の学生が入学しており、経済学部の主たる学生募集地域についても首都圏１都３県であるといえる。また、１都３県以外の地域からの入学者についても全学の動向と同様となっており、３年間を通じて全国各地域から継続的に入学者を確保している。

このほか、スポーツ情報学部の近接分野である、本学理工学部における入学者動向も同様の傾向である【資料 12】。令和５～７（2023～2025）年度における高校からの入学者について、1 都３県からの入学者は３年間合計で約 2,500 人であり、各年度においては理工学部入学者の 82～86%が 1 都３県に由来している。これに茨城県・栃木県・群馬県の３県を加えた１都６県における入学者においては３年間合計で約 2,600 人となっており、各年度においては理工学部入学者の 88～91%となっている。このように、各年度においても 1 都３県を中心として安定的に８割前後の学生が入学しており、理工学部の主たる学生募集地域についても首都圏１都３県であるといえる。また、1 都３県以外の地域からの入学者についても全学の動向と同様となっており、３年間を通じて全国各地域から継続的に入学者を確保している。

このように、本学全体、本学経済学部及びスポーツ情報学部の近接分野である理工学部の入学者構成は、首都圏１都３県を主たる学生募集地域として約７割を受け入れるとともに、全国各地から約３割の入学者を継続的に受け入れている。

以上、本学の状況は、学校基本調査及び日本私立学校振興・共済事業団調査等より読み取れる「首都圏所在の大学に対して、首都圏を中心に全国から進学者が集まる」という全国的な傾向と整合的であり、本学が長年の教育・研究実績や就職実績等を背景として、全国各地域の高等学校において進学先として広く認知されている「全国区」の私立大学であることを裏付けるものである。

今回の改組により新設される経済学部経済学科及び社会経済学科は、現行経済学部４学科を再編・高度化するものであり、大学及び学部としての立地条件の変更がないことから、

社会的認知度や評価、進学者の流入構造に大きな変更は生じないと考える。したがって、新設する経済学科及び社会経済学科の学生募集地域についても、現行と同様に首都圏１都３県を主たる募集地域としつつ、北海道から九州・沖縄まで全国各地から一定規模の入学者を確保できると見込んでいる。

また、新設するスポーツ情報学部の学生募集地域についても、本学の既設の学部と同様に首都圏１都３県を主たる募集地域としつつ、北海道から九州・沖縄まで全国各地から一定規模の入学者を見込む全国型学生募集を志向するという設定は妥当であり、前述に示した中長期的な 18 歳人口等、入学対象人口の全国的・地域的動向および既設組織における学生募集状況を踏まえれば、東京都を中心に１都３県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）から本学定員のおよそ７割、その他の地域から３割の大学進学者数を見込むとともに、長期的な観点からみても志願者が安定的に見込まれ、本学部の入学定員を充足できると判断できる。

（４）既設組織の定員充足の状況

本学の既設組織における直近５年間の志願状況および入学定員の充足状況は別紙２の２にまとめたとおりである。

本学は、令和７（2025）年度現在、法学部、経済学部、商学部、理工学部、文学部、総合政策学部、国際経営学部、国際情報学部の８学部から構成されており、全体として 26 の学科等（法学部３学科、経済学部４学科、商学部４学科、理工学部 10 学科、文学部１学科、総合政策学部２学科、国際経営学部１学科、国際情報学部１学科）を設置している。これらすべての学科等について、直近５年間（令和３（2021）年度から令和７(2025)年度まで）の各入試制度の志願者数（延べ人数及び実人数）、受験者数、合格者数及び入学者数を集計し、入学定員充足率（入学者数を入学定員で除した値）を算出した結果、学生募集を行っている既設の学科等はいずれも、５年間平均の入学定員充足率が 90.0％以上であり、恒常的に未充足となっている学科等は存在しないことが確認できる。なお、全学の入学定員 6,281 人に対する５年間平均の入学定員充足率は 1.01 であり、直近５年間の平均志願者数は延べ 75,401 人（実人数 67,377 人）、平均志願倍率（実人数志願者÷入学定員）は 10.7 倍であって、本学全体として定員に見合う学生数を安定的に確保している。

法学部では、法律学科は入学定員 882 人であり、直近５年間の平均志願者数は延べ 9,369 人（実人数 7,687 人）、５年間平均の入学定員充足率は 0.99 であり、平均志願倍率は 8.7 倍である。国際企業関係法学科は入学定員 168 人であり、平均志願者数は延べ 1,658 人（実人数 1,524 人）、平均入学定員充足率は 1.03、平均志願倍率は 9.1 倍である。政治学科は入学定員 389 人であり、平均志願者数は延べ 3,143 人（実人数 2,760 人）、平均入学定員充足率は 0.99、平均志願倍率は 7.1 倍である。

経済学部では、経済学科は入学定員 467 人であり、直近５年間の平均志願者数は延べ 7,683 人（実人数 6,455 人）、平均入学定員充足率は 0.93、平均志願倍率は 13.8 倍である。経済情報システム学科は入学定員 180 人であり、平均志願者数は延べ 1,284 人（実人数 1,153

人)、平均入学定員充足率は1.01、平均志願倍率は6.4倍である。国際経済学科は入学定員265人であり、平均志願者数は延べ2,573人(実人数2,344人)、平均入学定員充足率は1.05、平均志願倍率は8.8倍である。公共・環境経済学科は入学定員150人であり、平均志願者数は延べ1,689人(実人数1,521人)、平均入学定員充足率は1.19、平均志願倍率は10.1倍である。

商学部では、経営学科は入学定員300人であり、直近5年間の平均志願者数は延べ4,120人(実人数4,071人)、平均入学定員充足率は1.01、平均志願倍率は13.6倍である。会計学科は入学定員300人であり、平均志願者数は延べ2,704人(実人数2,655人)、平均入学定員充足率は1.04、平均倍率は8.8倍である。国際マーケティング学科は入学定員300人であり、平均志願者数は延べ2,729人(実人数2,679人)、平均入学定員充足率は0.98、平均倍率は8.9倍である。金融学科は入学定員120人であり、平均志願者数は延べ1,343人(実人数1,323人)、平均入学定員充足率は1.07、平均倍率は11.0倍である。

理工学部では、数学科は入学定員70人であり、直近5年間の平均志願者数は延べ985人(実人数877人)、平均入学定員充足率は1.07、平均志願倍率は12.5倍である。物理学科は入学定員70人であり、平均志願者数は延べ1,526人(実人数1,401人)、平均入学定員充足率は1.09、平均志願倍率は20.0倍である。都市環境学科は入学定員90人であり、平均志願者数は延べ1,477人(実人数1,325人)、平均入学定員充足率は0.98、平均志願倍率は14.7倍である。精密機械工学科は入学定員145人であり、平均志願者数は延べ2,076人(実人数1,899人)、平均入学定員充足率は1.01、平均志願倍率は13.1倍である。電気電子情報通信工学科は入学定員135人であり、平均志願者数は延べ2,037人(実人数1,886人)、平均入学定員充足率は1.00、平均志願倍率は14.0倍である。応用化学科は入学定員145人であり、平均志願者数は延べ2,336人(実人数2,143人)、平均入学定員充足率は0.99、平均志願倍率は14.8倍である。ビジネスデータサイエンス学科は入学定員115人であり、平均志願者数は延べ1,579人(実人数1,383人)、平均入学定員充足率は0.97、平均志願倍率は12.0倍である。情報工学科は入学定員100人であり、平均志願者数は延べ2,622人(実人数2,379人)、平均入学定員充足率は1.04、平均志願倍率は23.8倍である。生命科学科は入学定員75人であり、平均志願者数は延べ1,197人(実人数1,091人)、平均入学定員充足率は1.04、平均志願倍率は14.5倍である。人間総合理工学科は入学定員75人であり、平均志願者数は延べ754人(実人数680人)、平均入学定員充足率は0.93、平均志願倍率は9.1倍である。

文学部では、人文社会学科は入学定員990人であり、直近5年間の平均志願者数は延べ10,557人(実人数9,245人)、平均入学定員充足率は1.04、平均志願倍率は9.3倍である。

総合政策学部では、政策科学科は入学定員150人であり、直近5年間の平均志願者数は延べ1,803人(実人数1,522人)、平均入学定員充足率は1.02、平均志願倍率は10.1倍である。国際政策文化学科は入学定員150人であり、平均志願者数は延べ1,917人(実人数1,665人)、平均入学定員充足率は1.03、平均志願倍率は11.1倍である。

国際経営学部では、国際経営学科は入学定員 300 人であり、直近５年間の平均志願者数は延べ 3,772 人（実人数 3,377 人）、平均入学定員充足率は 1.02、平均志願倍率は 11.3 倍である。

国際情報学部では、国際情報学科は入学定員 150 人であり、平均志願者数は延べ 2,469 人（実人数 2,334 人）、平均入学定員充足率は 1.04、平均志願倍率は 15.6 倍である。

以上のように、既設の学部・学科別に詳細に検討した場合においても、いずれも直近５年間平均で安定的に入学定員充足率を維持するとともに、学科規模に応じて定員の複数倍に相当する平均志願者数（延べ人数及び実人数）と概ね６倍から 20 倍程度の平均志願倍率を継続的に確保していることから、学生確保状況は堅調であり定員確保に関するリスクは低いと考えられる。この全学的な定員充足状況及び志願状況を前提とすれば、改組後に新設する経済学部経済学科及び社会経済学科の入学定員を、現行経済学部４学科の合計入学定員 1,062 人と同水準に設定すること、新設するスポーツ情報学部の入学定員を、既設の総合政策学部や国際経営学部と同水準に設定することは、既設組織における定員充足の実績と志願動向に照らして合理的なものと位置付けることができる。

なお、新設組織の完成年度までの間における本学の収容定員変更の予定について、現在本学では情報農学部情報農学科（仮称）を構想中であり、令和 10(2028)年４月の設置を目指している（入学定員 297 人、収容定員 1,188 人）。

３.学生確保の見通し等

（１）学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

①既設組織における取組とその目標

本学では、学生の確保に向けて大学全体としての取組を強化するために入学センターを置き、本学で行われている教育目標等と教育内容・方法、教育研究環境等に係る情報や、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）並びに入試選抜方法等に係る入試情報について、受験生にとって必要かつ的確な情報を提供している。以下は全学的な募集活動のうち代表的なものである。

（ア）オープンキャンパス

毎年夏季に、志願者及び保護者を主たる対象とした「オープンキャンパス」を開催している。各キャンパスに足を運んでもらうことで、本学の学生や教職員、キャンパスの雰囲気を直接感じてもらい、在学生からの体験談やアドバイスといった生の声に触れる貴重な機会として、参加者から好評を得ている。

オープンキャンパスでは全キャンパス合計で令和６（2024）年度（令和５年度実施）に 39,811 人、令和７(2025)年度（令和６年度実施）には 40,495 人の参加者を得ており、そのうち受験対象者数（高校生）が同令和６年度は 26,910 人、令和７年度は 27,742 人を占めており、本学の入学定員 6,281 人を大きく上回っている【資料 13】。このほか、夏季以

外においても、年間４～５回程度、キャンパス見学会を行っている。これに加えて令和８（2026）年度は、高校生や保護者が自身の予定や受験時期を見据えて来場しやすいよう、ミニオープンキャンパスの開催回数及び定員を増加する予定としている。

（イ）大学案内、学部ガイド等の印刷物、Web による広報

学生募集活動の一環として、社会に広く情報を伝える手段である大学案内誌「中央大学 GUIDE BOOK」や、各学部の学びや制度、学生や卒業生の活動、メッセージ等を掲載した「学部ガイドブック」を作成し、本学公式 web サイトを通じて配付するとともに、電子データを掲載し広く公開している。これらの受験生向け冊子は、本学が展開する教育・研究活動や養成する人材像を高校生にもわかりやすく伝えることに寄与している。また、本学公式 Web サイト等による広報も重視しており、一般向けの公式 Web サイトのほか、受験生向け Web サイト「Connect Web」の開設、SNS を活用した定期的な情報発信を行っている。このように、高校生、父母、高校教員等の受け手に配慮し、かつ利便性の高いツールを用いた広報活動を展開している。

（ウ）高校教員向け進学説明会

本学の教育内容に対する理解を深めてもらうことを目的に、高校教員及び予備校関係者を対象とした独自の進学説明会をオンラインで開催し、多くの教員や関係者に本学の最新情報を提供する機会となっている。当該説明会では、本学の近況や学生生活の現状、前年度の入試分析、さらには当年度入試における留意点等、重要な情報を丁寧かつ詳細に伝え、参加者から高い評価を得ている。オンライン開催のため施設見学は実施していない一方、入試制度や最新の大学情報について密度の高い情報提供に重点を置いている。令和７（2025）年度の説明会には、全国から 236 名の高校教員や予備校関係者が参加し、効果的な情報発信を通じて本学への理解を一層深める機会となった。

（エ）附属高校との連携

本学は４つの附属校（中央大学高等学校、中央大学杉並高等学校、中央大学附属中学校・高等学校、中央大学附属横浜中学校・高等学校）を同一学校法人の下に設置しており、４校の入学定員の合計は 1,071 人、本学への進学率は概ね 85％程度である。毎年度、４校との連携取組として「中央大学と附属学校の教育連携プログラム」を実施しており、中学・高校の学年進行に応じ、大学進学の動機づけや学部選択に役立つプログラムを、附属校生向けに特化した内容で提供している。その中で、４高校の生徒が一堂に大学に来訪する「附属生ウェルカムイベント」においては、各学部が高校２・３年生向けに「学部選択セミナー」を実施しており、各学部に進学を希望、あるいは関心を抱いている生徒に対して、本学教職員が近い距離で学習内容や進路の説明を行うとともに、在学生（附属校卒業生）・教職員が質疑に応じることでミスマッチのない学部選択に資するような機会を設けてい

る。また、附属生ウェルカムイベント以外に高校２・３年生を対象とした取り組みとして、特定の科目を高校生のうちに履修し、成績が一定水準を超えた場合には大学入学後の単位として認定する「高大接続先行履修」を実施しており、毎年度 10～20 名程度の附属高生徒が受講し、大学進学後のスムーズな学修に繋げている。このほか、中・高・大の連携取組の一環として、教員や職員が各高校に出向いて基礎的な模擬授業や説明会を行うほか、附属高校生が大学キャンパスを訪問したうえで体験授業や施設見学を行う取組等を行っている。

（オ）学部独自の取組

上述の（ア）～（エ）に加えて、各学部における学生募集戦略に応じて、組織ごとに特色ある取組を行っている。

特に、本学経済学部の特色ある取組として、高大接続教育の一つとして 2017 年度より科目等履修生制度の対象を高校生（１年～３年）に拡大し、大学１年生向けの導入科目「経済入門」を受講する機会を用意している。これは、高校生に大学の学びを体感してもらい、将来の学部選択に役立ててもらうことを目的としたもので、高校生の大学・学部選びに寄与するものとなっている。さらに、2020 年度からは「経済入門」を履修し、A以上の成績を修めることで出願資格を得られる高大接続入試を導入している。

本制度を利用する高校生は、2023 年度 177 人、2024 年度 191 人、2025 年度 203 人と増加傾向であり、年々ニーズが高まっている。また、本制度を利用した生徒が本学経済学部へ入学した数についても、2023 年度 48 人、2024 年度 51 人、2025 年度 39 人と一定規模で安定的に推移しており、本学経済学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する意欲的な生徒を確保することができている。

このほか、本学教員と本学附属高校の教員とのコラボレーションによる書籍『やっぱり経済学はおもしろい』を刊行し、指定校をはじめとする高校説明会においても同書籍を活用することで、身近な話題を通じた経済学のおもしろさや、高校における各教科の学びが経済学につながっていることをわかりやすく高校生に伝えている。2024 年度および 2025 年度は各年 10 校で説明会を実施した。説明会は、各校 20～300 名と多様な規模で開催しており、同書籍の紹介を通じて、経済学および本学経済学部に対する高校生の理解と関心を高める機会となっている。なお、同書籍については、総合型選抜の入学予定者に対する入学前課題図書としても指定しており、経済学部への入学準備の一つとしても役立てている。

以上が、本学の主な学生募集活動に係る取組である。

次に、学生募集のための PR 活動に係る過去の実績の分析については、別紙３のとおりである。上述した全学的な取組のうち「キャンパス来訪型イベント（オープンキャンパス、キャンパス見学会、附属生ウェルカムイベント等）」「大学案内・学部ガイド等の資料請求対応」

のデータを用いて分析を行った。

まず、別紙３①には、全学的な学生募集活動かつキャンパス来訪型イベントである、全キャンパスを対象とした中央大学オープンキャンパス及びキャンパス見学会、ならびに本学の附属４高校の生徒を対象とした附属生ウェルカムイベントの実績を記載している。令和６年度入試対象（令和５年度実施）では、これらを合わせた「参加者総数（a)」は 41,466 人、このうち当該年度の入試対象となる高校３年生・既卒者等は 27,398 人であった【資料 13】。令和７年度入試対象（令和６年度実施）では参加者総数 42,311 人、うち受験対象者 28,368 人であり、２年連続で４万人超が本学キャンパスに来訪し、そのうち約 27,000～28,000 人が受験対象者となっている。

本学では各イベント参加者の追跡調査を行っていないため、【資料 14】に示す、新入生アンケートにおける「キャンパス来訪型イベントに対する満足度」に関する設問への回答状況から「キャンパス来訪型イベント参加者割合及び人数」を算出し、その数値を活用することで、受験者数（c)・入学者数（d)・入学率（d/b）の算出を行なった。なお、新入生アンケートは全入学生を対象とし、毎年 95%前後の回答率を得ており（令和６年度 95.6%、令和７年度 93.7%)、信頼性の高い調査である。

具体的に、当該設問回答から算出した「回答者（概ね入学者数と同等）におけるキャンパス来訪型イベント参加率」は、令和６年度（令和５年度実施）は 3,019 人（全体の 49.0%)、令和７年度（令和６年度実施）は 3,042 名（全体の 56.5%）であるため、この数字をそれぞれ入学者数（d）と受験率（c/b）とし、この受験率を基に、うち受験者数（c）を算出した。また、入学率については、各年度におけるイベントに参加した受験対象者数（b）と上述の入学者数（d）の割合から算出している。算出した入学率（d/b）は別紙２の２にまとめた定員充足状況から算出される入学率（全学部学科の志願者数と入学者数の過去５年平均より算出＝9.5%）と大きな差はなく、本算出方法により算出した数値は、本取組に対する直接的な数字ではないものの、一定の妥当性があると考えられる。

加えて、多摩キャンパス（経済学部・商学部・文学部・総合政策学部・国際経営学部が所在）に限定すると、オープンキャンパス参加者数は令和６年度入試対象（令和５年度実施）で 18,732 人（うち受験対象者 12,529 人)、令和７年度入試対象（令和６年度実施）で 16,915 人（うち受験対象者 10,968 人）となっており、本学の社会科学系学部が集積する多摩キャンパスに対しても、毎年度１万人規模の受験対象者が実際に来訪している。また、スポーツ情報学部の近接分野である理工学部を置く後楽園キャンパスオープンキャンパスについても毎年 8,000～9,000 人規模の受験対象者が来訪している。さらに附属生ウェルカムイベントにおける学部選択セミナーには、経済学部においては令和６年度入試対象（令和５年度実施）で 567 人（うち受験対象者 146 人)、令和７年度（令和６年度実施）入試対象で 673 人（うち受験対象者 228 人）が参加している。また、理工学部については令和６年度入試対象（令和５年度実施）で 312 人（うち受験対象者 51 人)、令和７年度（令和６年度実施）入試対象で 336 人（うち受験対象者 93 人）が参加している。このように附属高校生に対しても

経済学分野、工学分野の魅力を直接訴求する機会を継続的に確保している【資料 13】。

なお、これらキャンパス来訪型イベントの効果については、【資料 14】のとおり新入生アンケート結果からも裏付けが得られている。令和６（2024）年度学部新入生を対象としたアンケートでは、全学の新入生のうちオープンキャンパス・キャンパス見学会等に参加した者の割合は 49.0％であり、令和７（2025）年度新入生では 56.5％に上昇している。経済学部新入生においては、令和６（2024）年度入学者では 51.9％、令和７（2025）年度入学者では 61.3％がいずれかのキャンパス来訪型イベントに参加しており、経済学部においては過半数の入学者が入学前にキャンパスを実際に訪れている。理工学部新入生においては、令和６（2024）年度入学者では 41.2％、令和７（2025）年度入学者では 52.7％となっており、同様に過半数の入学者が入学前にキャンパスを訪れている。これらの結果からキャンパス来訪型イベントが志望検討・出願・入学の各段階において重要な役割を果たしていることが明らかであり、新たに置く経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部においても、同様のイベントを通じた「来学体験」に重点を置いた PR を継続・強化することが有効であると判断している。

次に、大学案内・学部ガイド等の資料請求対応については、大学公式 Web サイトを通じて大学案内や学部ガイド等の配付を行っている。令和６（2024）年度入試（令和５年度実施）では、全学部合計の資料請求件数は 89,872 件、そのうち当該年度入試の受験対象者と判別できる高校３年生・既卒生等による資料請求は 34,823 件であり、受験対象者による資料請求比率は 38.7％であった。令和７年度入試では資料請求件数 94,383 件、うち受験対象者によるものが 34,649 件であり、受験対象者比率は 36.7％となっている。資料請求についてはキャンパス来訪型イベントと同様に追跡調査を行っていないため、受験率、入学率は算出できないものの、18 歳人口が減少する中において毎年 90,000 人前後、受験対象者に限っても本学の入学定員を大幅に超える 35,000 人弱が本学へ関心を寄せていることがわかる。なお、スポーツ情報学部に近接する学問分野を有する理工学部については、後楽園キャンパスに単独で置かれることから資料数が特定可能である。理工学部単独の資料請求数についても令和６（2024）年度入試(令和５年度実施)で 27,236 人、令和７(2025)年度（令和６年度実施）で 24,824 人と、全学の資料請求数のうち 25～30％程度を占めており、工学分野を志す受験対象者の本学への関心は継続して高水準といえる。

以上のように、既設組織においては、キャンパス来訪型イベント及び資料請求対応を中核とした PR 活動を通じて、入学生の半数程度はキャンパス来訪型イベントへの参加経験があること、資料請求においては年間 90,000 件前後の資料請求があり、そのうち受験対象者による資料請求が４割近くと毎年度相当規模に上っていることを確認している。加えて、経済学部については独自の取組として、高校での説明会実施や高大連携の取組を継続して実施しており、多様なニーズに対応しながら、安定的な学生確保につなげている。

このように、本学の行う PR 活動の効力は継続して高水準であると言え、新たに置く経済

学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部においても本取組を継続して実施すること、そして他の効果的なPR手段も積極的に実施していくことで、別紙２の２にある本学の他の学部の実績と同水準程度の志願倍率（志願者数/入学定員）を確保できるとともに、入学定員を確保できる見込みである。

②新設組織における取組とその目標

新設組織における学生募集に係る取組とその目標については以下に学部・学科ごとに記載する。

＜経済学部経済学科及び社会経済学科＞

経済学部経済学科・社会経済学科における学生募集に当たっては、これら既設組織における実績を根拠として、キャンパス来訪型イベントへの参加者数・資料請求件数を上記水準で維持・向上させることを当面の目標とし、経済学分野に関心を有する受験対象者に対する継続的かつ効果的な情報発信を行うことで、定員相当の入学者を安定的に確保していく。具体的にはキャンパス来訪型イベントの受験対象者数について、【資料 13】で示す令和６・７（2024・2025）年度入試と同程度の水準（年間27,000～28,000人規模）を維持するとともに、受験対象者による資料請求についても、別紙３のとおり、令和６・７年度入試と同程度の水準（年間34,000人規模）とすることを当面の目標とする。

加えて、本学経済学部では学部再編に向けて、従来からの大学公式webサイトにおける情報発信のほか、学部再編専用の特設 Web サイトによる情報発信を行っている。特設 Web サイトでは、新たに置く２学科のコンセプト・カリキュラム・学びのポイントを、高校生にも理解しやすいビジュアルとコピーで訴求している。このほか、「どんな人におすすめか」を示したターゲット像、再編に関するQ&A、高校で学ぶ科目との接続や現代社会を経済学で読み解くコラム、教員の対談インタビューなどを順次追加することで、「経済学部で何を学べるのか」「どのような力が身につき、どのような進路につながるのか」といった点を、ストーリー性のあるコンテンツとして提示し、受験生一人ひとりが自らの関心や将来像と結びつけて学びをイメージできるようにしている。なお、特設Webサイトのアクティブユーザー数及びプレビュー数は、令和７（2025）年７月の開設から令和８（2026）年２月上旬までで、それぞれ約13,000人、約30,000回、令和８（2026）年６月22日現在では約21,800人、約46,400 回と、開設予定時期が近付くにつれて閲覧数は顕著に伸長している。この数値からも、本学経済学部が受験生にとって訴求力の高いコンテンツを発信することができていること、また、多くの受験生等がこの特設Webサイトを通じて新たに設置する２学科に係る情報をタイムリーかつ適切に得ることができていることがわかる。

さらに、学部再編の更なる認知拡大に向け、保護者世代等もターゲットとする大手メディアを活用した広報活動や、経済学部の学生募集地域にターゲットを定めた広報活動（交通広告）を新たに展開している。とりわけ大手メディアを活用した広報活動においては、結果として本学公式 Web サイトへのアクセスといった具体的行動の増加にも繋がっていることを

確認しており、その効果は高いものであることがうかがえる。

＜スポーツ情報学部＞

スポーツ情報学部については、別紙３で示す通り、本学への関心が高く、受験率の高いオープンキャンパス参加者数と資料請求者数を増やすことが重要であり、とりわけ新設学部の PR 活動では特に志願率･入学率の高いオープンキャンパスへと繋げていく PR 活動を行う方針とする。

令和７（2025）年度入試（令和６年度実施）における多摩キャンパスで開催したオープンキャンパスのアンケート回答分析結果によれば、オープンキャンパスを最初に知ったきっかけは、公式 Web サイトが 48.0%、教員･予備校教師の紹介が 11.7%、友人の誘いが 11.1%となっており全体の 70%を占めている。これは後楽園キャンパスでも同等の分析結果が出ている【資料 15】。この分析結果からすれば、オープンキャンパスの参加率を挙げるには、「公式 Web サイトへの誘導」、「教員･予備校教師への PR」および「高校生自身への PR」という３つの視点を重視して、教員･予備校教師･高校生を対象に資料請求数を増加させるとともに、公式 Web サイトへの関心を高めて、オープンキャンパスへの参加数を増加させる形で、学生確保のための具体的な策を講じていくことが効果的である。

別紙３の分析から、スポーツ情報学部の入学定員である 295 名を確保するためには、入学定員を入学率･受験率および受験対象率（受験対象者数/参加者等総数）で割り戻した数字を踏まえて、各取組みの目標値を定めるのが合理的であると考える。資料請求者をオープンキャンパス参加へと促す方向性からは同参加者との重複を勘案すべきであるから、資料請求者数の目標値は入学定員総数から算出し、オープンキャンパスの目標値は入学定員の６割を基準に算出することとし、オープンキャンパス参加者数を令和７(2025)年度よりも 4,400 名程度増加させること、および資料請求者数を 7,000 人程度増加させることを具体的な数値目標とする。この数値目標を達成するため、前述で示した大学全体における取組に加え、学部独自のコンテンツを充実させるべく、次の通り具体的な取組を行う計画である。

（ア）公式 Web サイトへの誘導

公式 Web サイトにおける本学部のページ作成に加え、スポーツ情報学部の開設に向けた特設 Web サイトを作成し、Ｚ世代に訴求力のある動画を公開している。これとともに SNS にはショート動画の投稿などを行い、同サイトへの誘引を図る。本学公式 Web サイトと特設 Web サイトを連動し、本学受験生向け Web サイト「Connect Web」、各種本学 SNS へのリンクを活用することで、大学広報と本学部独自の広報の相乗効果を生む形で運用する。なお、特設 Web サイトのアクティブユーザー数及びプレビュー数は、令和８（2026）年１月中旬の開設から令和８（2026）年３月上旬までで、それぞれ約 5,100 人、約 11,600 回となっており、多くの閲覧を得ている。この数値からも、スポーツ情報学部が受験生にとって訴求力の高いコンテンツを発信することができていること、また、

多くの受験生等がこの特設 Web サイトを通じて新学部に係る情報をタイムリーかつ適切に得ることができていることがわかる。

また、大学案内誌「中央大学 GUIDE BOOK」や「学部ガイドブック」に加え、既存学部では作成をしていない、学部の概要･特長を端的に示したＡ４×６ページの学部リーフレットを、資料請求数の目標値を超える 15,000 部を作成のうえ配付することを計画している。このリーフレットに関しては、特設 Web サイト上においてもダウンロードデータを公開し、資料請求のアクションを減らすことでサイトを訪れた高校生や高校教員･予備校教師にダイレクトに資料が届くようにする。

これらの受験生向けサイト･冊子は、本学部が展開する教育・研究活動、さらには養成する人材像を高校生にもわかりやすく伝えることを意図している。このように、高校生、父母、高校教員等の受け手に配慮し、かつ利便性の高いツールを用いた広報活動を展開し、オープンキャンパスへの参加へとつなげていく。

（イ）教員･予備校教師への PR

本学の既存学部に対する志願者数･入学者数およびその率の実績に応じて訪問先高校を選定することに加え、学生確保に関するアンケート調査において回答に協力してくれた高校などを選定して本学部への関心度の高い高校訪問を行うことで認知を拡大する。18 歳人口の地域的動向の分析結果を背景に、１都３県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）を中心として、50 校程度の訪問を計画している。訪問時には学部リーフレットを配付し、要点を伝えるとともに特設 Web サイトの紹介を行うことで各種広報活動の連動を図っていく。各教員や予備校教師から、本学部の紹介を高校生・予備校生に行う際には特設 Web サイトへ誘導してもらい、リーフレットをダウンロードすることで情報の減衰なく高校生にアプローチすることを可能とする。

（ウ）高校生自身への PR

高校生がよく利用するオンライン学習サービスアプリや総合的な探究における調べ学習で利用されるサイトなどを中心に、本学部の広告掲出をする計画である。これにより高校生における認知を広げるとともに、各広告媒体には特設 Web サイトや SNS などへリンクするように QR コード等を用いて、各広告から特設 Web サイトや公式 Web サイトへの誘導を行うことで、資料請求やオープンキャンパスへの参加へと繋げていく。

また、「附属高校推薦入学試験」の募集人員を 50 名と設定する４つの附属高校に対しては、各校への訪問説明会・模擬授業、附属生ウェルカムイベントにおける「学部選択セミナー」を中心に、附属校生一人ひとりに寄り添った PR 活動を図ることで、志願者の確保に努めていく。また、本項①（エ）において先述する高大接続先行履修制度を利用し、一定の成績を上げた生徒については入学後に本学部の必修科目「AI・データサイエンスと現代社会」の単位認定を受けられるほか、本科目で優秀な成績修めた者を積極的

に附属高校推薦入学試験にて受け入れることを予定している。このような当該制度を利用した場合のメリットも含め、積極的なPRを行っていくことにより、附属高校から本学部へ入学を志願する生徒の増加を図る。

さらに、今後においては高校訪問時に模擬授業などを行い、本学部の学びを体験する機会や本学部の出口として想定されるキャリアを具体的にイメージすることができるよう説明を行っていく計画である。この活動を通じて、受験生のニーズと学部の学びとのミスマッチを防ぎ、受験確度の高い志願者見込み数を増やしていく。高校への訪問にあたっては、受け入れ高校側との調整によりオンラインでの説明会も開催することを計画している。これに加え、大学開催のオープンキャンパスとは別に本学部独自のミニオープンキャンパスなどを行うことで高校生に直接訴求する機会を創出する。

（エ）オープンキャンパスにおける学部ガイダンス

オープンキャンパスにおいては、例年参加者満足度が高く、受験生への訴求効果が期待される「学部ガイダンス」を各キャンパスにおいて実施する。特にスポーツ情報学部が所在する多摩キャンパス及び近接分野を取り扱う基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部が所在する後楽園キャンパスを重視してガイダンスを設定し、本学部の学びの特徴、模擬授業、入試情報の紹介など高校生自身が関心のあるテーマを取り扱うことで受験へと繋げていく。

③当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

＜経済学部経済学科及び社会経済学科＞

キャンパス来訪型イベント（オープンキャンパス、キャンパス見学会、附属生ウェルカムイベント等）について、別紙３のとおり、既設組織における直近２年間（令和６・７年度入試対象）の実績を踏まえて、経済学部の新２学科の入学者見込みを試算する。本学全体では、受験対象者（高校３年生・既卒者等）ベースのイベント参加者数は、令和６（2024）年度入試（令和５年度実施）で 27,398 人、令和７年度入試（令和６年度実施）で 28,368 人であり、２年間の平均は約 27,900 人である。別紙３の「取組概要と入学者数等に関する分析」に記載のとおり、各年度の新入生アンケートから得られた「回答者（概ね入学者数と同等）におけるキャンパス来訪型イベント参加率」を、イベント参加者から受験者への移行率（受験率 c/b）とすると各年度において 49.0％及び 56.5％となっており、この数値から、受験者数（c）を算出するとそれぞれ 13,425 人、16,028 人となる。また、入学者数(d)は新入生アンケートにより得られた数である 3,019 人、3,042 人を用い、イベント参加者に対する入学者の割合（入学率 d/b）を算出すると 11.0％及び 10.7％、平均すると約 10.9％となる。算出した入学率（d/b）は別紙２の２にまとめた定員充足状況から算出される入学率（全学部学科の志願者数と入学者数の過去５年平均より算出＝9.5%）と大きな差はなく、本数値は一定の妥当性があると考えられる。すなわち、本分析から、キャンパス来訪型イベントに参

加した受験対象者全体の約半数が本学を受験し、そのうち約１割強が入学に至っているという関係が確認できる。

一方、別紙２の２に示したとおり、本学全体の入学定員は 6,281 人、直近５年間の入学定員充足率は 1.01 であり、これを前提とした全学の入学者数は年間約 6,343 人となる。このうち、経済学部既存４学科合計の入学定員は 1,062 人、直近５年間の入学定員充足率は 1.01 であり、実質的な入学者数は年間約 1,072 人である。したがって、経済学部が全学の入学者に占める割合は概ね 16.9%程度と見込まれる。キャンパス来訪型イベントの参加者から得られる全学の入学者（入学者数（d）3,019 人、3,042 人の平均約 3,030 人）のうち、同程度の比率が経済学部入学者であると仮定すれば、既設経済学部では、キャンパス来訪型イベント経由で年間約 510 人前後（3,030 人×16.9%≒510 人）の入学者を獲得していると推計できる。この規模は、経済学部の年間入学者約 1,080 人のおおむね半数に相当しており、実際に新入生アンケートにおいて、経済学部の新入生のうち約５割～６割（2024 年度 51.9%、2025 年度 61.3%）がオープンキャンパス等の来学イベントに参加しているという結果とも整合的である。

新設の経済学部経済学科・社会経済学科においても、上で示したとおり、キャンパス来訪型イベントの規模（受験対象者ベースで年間 27,000～28,000 人程度）の維持を目標とすることから、同様の前提を置けば、新設組織でもキャンパス来訪型イベントを経由して年間約 500 人程度の入学者を確保できると見込まれる。すなわち、来学イベントに参加した受験対象者のうち、全学と同様に約 10.9%(入学率（d/b）11.0%及び 10.7%の平均)が本学に入学すると仮定し、そのうち約 16.9%が経済学部に進学するとすれば、新設経済学部においても、キャンパス来訪型イベントを通じて入学に至る者は、経済学科・社会経済学科合算で概ね 500 人前後の規模で安定的に推移すると見込まれる。

一方で、既設経済学部の実績からみると、年間約 1,080 人の入学者のうち、先に述べたキャンパス来訪型イベント経由で入学していると推計される者は約 500 人程度であり、残り約 580 人程度は、高校での進路指導や予備校・進学情報サイト、本学の資料請求・大学公式 Web サイト等の情報提供を通じて志望形成に至った層と考えられる。この「イベント以外のチャネル」を主として支えているのが、大学案内・学部ガイド等の資料請求及びそれと一体となった WEB 情報発信であると位置付けることができる。

新設の経済学部経済学科・社会経済学科においては、前述のとおり、全学共通の資料請求窓口を維持しつつ、経済学分野のガイドブックや新設２学科の特色を紹介するリーフレット、再編の情報発信に特化した特設 Web サイト等を整備・更新することで、別紙３の現行の資料請求件数（受験対象者ベース）である年間 34,000 件程度の水準から下回らないことを目標としている。経済学部既設４学科と同程度の入学率を維持できると想定すれば、経済学部新２学科においても、資料請求・WEB 等の情報提供を主な契機として入学に至る者は年間約 580 人の規模で見込まれる。実際には、キャンパス来訪型イベントの参加者が資料請求も行うなど、両施策間には一定の重複があるが、両者が相互に補完し合うことにより、新設経

済学部全体としては、既設経済学部と同様、入学定員 1,062 人に対して同等の入学者を安定的に確保できる水準にあると見込むことができる。

＜スポーツ情報学部＞

別紙２の２で示した通り、本学の既設組織における直近５年間の志願状況および入学定員の充足状況について、学生募集を行っている既設の学科等はいずれも、５年間平均の入学定員充足率が 90.0%以上であり、年度ごとにばらつきはあるものの、恒常的に未充足となっている学科等は存在しない。また、全学の入学定員 6,281 人に対する平均の入学定員充足率は 1.01 であり、直近５年間の平均志願者数は延べ 75,401 人（実人数 67,377 人）、実志願者数ベースの平均志願倍率は 10.7 倍となっていることから、本学全体として定員に見合う学生数を安定的に確保している。

また、別紙３の①で示した通り、キャンパス来訪型イベントのうち参加者属性を把握するオープンキャンパス、附属生ウェルカムイベントの令和６年度（令和５年実施）・令和７年度（令和６年度実施）の実績について、参加者等総数（a）は令和６年度入試が 41,466 人、令和７年度入試が 42,311 人であり、このうち受験対象者（b）は各年度 27,398 人、28,368 人である。新入生アンケートにおける、キャンパス来訪型イベントの満足度に関する設問への回答数・回答率を基にした受験率・入学率の分析によれば、キャンパス来訪型イベント参加率は、令和６年度（令和５年度実施）は 3,019 人（全体の 49.0%）、令和７年度（令和６年度実施）は 3,042 名（全体の 56.5%）であり、この数字をそれぞれ入学者数（d）と受験率（c/b）としたうえで、この受験率を基に受験者数（c）を算出すると、令和６年度（令和５年度実施）は 13,425 人、令和７年度は 16,028 人となる。一方、入学率については、各年度におけるイベントに参加した受験対象者数（b）と上述の（d）の割合から算出すると、令和６年度（令和５年度実施）が 11.0%、令和７年度（令和６年度実施）が 10.7%となっている。加えて、資料請求による大学案内・学部ガイド等の無料配付については、別紙３の②に示す通り、総請求人数（a）は令和６年度入試で 89,872 人、令和７年度入試で 94,383 人であり、そのうち受験対象者数（b）それぞれ約 34,000 人である。資料請求についてはキャンパス来訪型イベントと同様に追跡調査を行っていないため、受験率、入学率は算出できないものの、18 歳人口が減少する中において毎年 90,000 人前後、受験対象者に限っても本学の入学定員を大幅に超える 35,000 人弱が本学へ関心を寄せており、本学が従来行っている学生確保に向けた取組のみによっても十分な受験生確保が可能と見込んでいる。これに加えて新設学部独自の取組を行えば、キャンパス来訪型イベント参加者から 180 名、および資料請求数の増加数から 115 名を十分確保できると見込まれ、かつこれら以外の広告媒体等から直接受験に結びつくものも相当程度あると予想されることから、十分な受験者数･入学者数の確保を前提とした安定的な学生募集活動が期待できる。

（２）競合校の状況分析

①競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

新設組織における競合校の選定理由とその比較分析、優位性について、以下に学部・学科ごとに述べる。

＜経済学部経済学科及び社会経済学科＞

（ア）競合校の選定理由（２学科共通の考え方）

本学の学生募集地域（主として関東圏を中心としつつ全国からの志願を想定）において、受験生が併願先として現実に比較検討しやすい大学を、（１）社会科学系（経済学・政策系）の学問分野の近接性、（２）入学定員規模、（３）所在地（首都圏）及び学生募集上の競合可能性、（４）学力層（河合塾 Kei-Net のボーダーライン等）といった観点で抽出した【資料 16】。学部再編後の本学経済学部は「2027 年４月より２学科４コース制へ再編（設置構想中）」として情報発信しており、受験生の比較検討は「経済学系の学部・学科」単位で行われることが想定されるため、競合校設定も同様の粒度で行うことが妥当である。

なお、学校種の類似性の観点では、私立大学同士の競合（青山学院大学、立教大学、法政大学、学習院大学、明治大学）が中心である一方、国立・公立（横浜国立大学、東京都立大学）についても、首都圏で経済学系を志望する一定の学力層が併願・比較する代表的選択肢であり、学力層・分野の近接性に基づく競合可能性が高いことから、競合校に含める。

a. 経済学部経済学科の競合校

横浜国立大学、青山学院大学、立教大学、法政大学、学習院大学を競合校として設定する【資料 17】。

学問分野の類似性として、各大学はいずれも経済学を中心に、理論・数量分析、政策分析、国際経済等を主要領域としており、本学の改組後の経済学科と進路選択上の比較対象になりやすい。

次に定員規模の類似性として、本学経済学部は入学定員合計が 1,062 人であり、学部規模として首都圏私大の中でも大きい部類に属する。競合校側も、青山学院大学（経済学科 407 人＋現代経済デザイン学科 132 人、合計 539 人）、立教大学（経済学科 332 人＋経済政策学科 176 人＋会計ファイナンス学科 176 人、合計 684 人）、法政大学（経済学科 492 人＋国際経済学科 249 人＋現代ビジネス学科 153 人　合計 894 名）など、学部内に複数学科を持つ一定規模の経済系学部を有しており、募集母集団・併願行動の観点から競合が成立しやすい。一方、横浜国立大学（経済学科 258 人）や学習院大学（経済学科 250 人）については、学科定員自体は相対的に小さいが、首都圏で経済学を学ぶ選択肢としてのブランド・学力帯の重なりから競合になり得る。

学力層の類似性については、本学経済学部の一般選抜ボーダー偏差値が 57.5～60.0 程度とされており、青山学院大学（経済学部のボーダー偏差値 62.5）、立教大学（経済学部 57.5～60.0）、法政大学（経済学部 55.0～60.0）と一定の重なりを持つ。また国立の横浜国立大

学は経済学部で 62.5～67.5 程度とされ、上位層の併願・比較対象として競合性がある【資料 18】。以上より、学校種・規模・分野・所在地・学力層の各観点を総合すると、当該５校を競合校として設定することは合理的である。

b. 経済学部社会経済学科の競合校

東京都立大学、青山学院大学、立教大学、法政大学、明治大学を競合校として設定する【資料 17】。

社会経済学科は、社会課題（貧困・格差・ジェンダー・地域等）への政策・制度・歴史的分析や、地域・マネジメント領域を含む実践的学修を柱とする構造である。この方向性に近接するものとして、東京都立大学（経済経営学部：経済学と経営学を包含する体系的カリキュラム）、青山学院大学（現代経済デザイン学科：公共・地域、GIS 活用等）、立教大学（経済政策学科）、法政大学（現代ビジネス学科）等が比較対象となる。また明治大学は政治経済学部において政治・政策・社会系科目との連動を前提に経済を学ばせる構造を持ち、入学定員規模も政治経済学部内で経済学科が 630 人と大きいことから、首都圏受験市場における主要な競合校として位置付けられる。

学力層の観点でも、東京都立大学（経済経営学部のボーダー偏差値 57.5 程度）は本学と一定の重なりを持ち、また明治大学・青山学院大学は上位帯として併願先に入りやすい【資料 18】。加えて所在地はいずれも首都圏であり、主たる学生募集地域を同じくして募集活動を展開している点からも、競合校設定は妥当である。

（イ）競合校との比較分析（優位性）（２学科共通の考え方）

a. 教育内容と方法

競合校は「理論・数量」「政策」「歴史・思想」「公共・地域」「経済×経営」など、各校の強みを軸にコース制・学科制を敷いている。これに対し本学は、改組により「経済学科」「社会経済学科」の２学科に再編し、学科内で複数コースを持つ２学科４コース体制へ再構成することで、経済学の基礎理論・データ分析を共通基盤としつつ、(a)政策・国際という「経済現象の分析・設計」領域（経済学科）と、(b)社会課題・地域・マネジメントという「制度・現場接続」領域（社会経済学科）を、同一学部内に明確に配置できる点が特徴となる。これにより、競合校で見られる「経済学部内の学科差」「政策系学部への分散」を、本学では再編後の学部内設計として統合的に提示でき、受験生に対して学びの到達点（データで未来を読み解く「経済学科」、社会課題を解決する実践型「社会経済学科」）を分かりやすく訴求できる。特に社会経済学科は、公共・地域志向（青山学院大学）や経済政策志向（立教大学）に近接しつつも、地域・マネジメント（会計・統計・データサイエンス等を含む）まで学科内に取り込む設計とすることで、「公共政策」と「組織・地域運営」を横断する学修を学科単位で提示できる余地があり、比較上の差別化要素となり得る【資料 17】。

b. 入試（受験時期・入学手続時期との関係）

競合校（私立）は通例２～３月を中心に一般選抜を実施し、国公立（横浜国立大学、東京都立大学）は共通テスト及び個別試験という枠組みで選抜するため、受験生は「国公立本命＋私立併願」「私立併願校の組合せ」といった形で出願戦略を立てる。本学は、学部再編後もこうした首都圏受験市場のカレンダーの中で併願に組み込みやすい募集設計を維持しつつ、入試科目・方式に関する変更点を公表し、受験生の選択のしやすさと情報の透明性を確保している。

また、学部再編の内容を公式 web サイト及び特設 Web サイト等で一体的に提示している点は、制度変更期に生じやすい受験生の不安（「何が変わるのか」「どの学科で何を学ぶのか」）を抑制し、出願行動の維持に寄与する広報上の優位性を持つ。

c. 学生納付金

国公立（横浜国立大学、東京都立大学）は学納金水準が私立に比べ廉価である一方、私立同士（青山学院大学、立教大学、法政大学、学習院大学、明治大学）では学納金水準は概ね近接し、最終的な選択は「学びの中身」「就職・進路」「修学支援」の総合評価になりやすい。本学としては、学部再編により教育内容の見通しを改善し（２学科４コースの構造を明確化）、受験生の納得感を高めることが、学費負担の受容と志望度向上に繋がる構造となる【資料 17】。詳細は「④ 学生納付金等の金額設定の理由」で述べる。

d. 就職支援の内容

就職支援について、本学では入学から卒業までのキャリア・就職支援をトータルでサポートをするキャリアセンターを設置し、年次に合わせたガイダンスの実施、各種企業セミナーや公務員講座等、多くのプログラムを提供している。

競合校はいずれも金融・情報通信・サービス・公務等へ幅広い進路実績を持つ。本学経済学部の優位性は、学部規模が大きく多様な卒業生ネットワークを形成している点に加え、再編後の学科設計により「政策立案・国際領域（経済学科）」と「社会課題・地域実装／マネジメント（社会経済学科）」の双方を学部内で明確に打ち出し、志望動機とキャリア像の接続を強化しやすい点にある。とりわけ社会経済学科の領域設計は、公務・地域金融・地域企業・ソーシャルセクター等を含む多様な進路に対して、学科の学びから説明可能なストーリーを構築しやすく、競合校との差別化に資する。

e. 取得できる資格

資格面では、競合校でも教職や学芸員等を用意する例がある一方、本学経済学部は経済学科、社会経済学科のそれぞれにおいて中学校教諭（社会）・高等学校教諭（地理歴史／公民）に加えて、高等学校教諭（商業）を取得可能とする予定で、経済・ビジネスと親和性の高い教職志望者に対する訴求力を持つ。これに対し、競合校では教員免許の設定が一部学科に限定されている、取得可能な免許種類が少ないなど、相対的に限定されている。【資料 17】

したがって、本学経済学部は「経済学の専門性＋教育職・商業教育等に繋がる資格設計」

を強みとして提示でき、これは同系統学部との比較上の優位性として整理し得る。

以上を踏まえると、競合校は首都圏における経済学系の主要選択肢として、分野・学力帯・規模の観点で十分に競合し得る。他方で本学の経済学部再編は、学科機能を「分析・政策／国際」と「社会課題・地域実装／マネジメント」に分けて提示できる点、制度変更期における情報発信（大学公式 Web サイト及び特設 Web サイト等）を通じて受験生の理解と志望形成を促進できる点、資格面で教職（特に商業）等の訴求が可能な点を、競合校比較における優位性として位置付けられる。

＜スポーツ情報学部＞

（ア）競合校の選定理由

スポーツ情報学部では、受験生の併願数が平均３校程度であることを参考に、青山学院大学、関西大学、千葉大学、一橋大学、早稲田大学の５校を競合校として設定した。選定にあたっては、基本的にはオープンキャンパス参加者アンケートの志願大学に関する回答を参考とし、学校種、定員規模、学問分野、所在地、学力層の類似性を考慮した。

具体的に、同種である私立大学から３校を、国立大学から第１志望の回答割合が高い２校を選出する方針とした。また定員規模および学問分野の類似性の観点から、データサイエンスを学びの基幹とした学部を中心に、データサイエンス系学部、情報系学部を対象に、入学定員 295 人の上下 100 人程度の範囲内にある定員規模の私立大学における学部を選出し、私立大学の定員数に比して少ない国立大学は、その中でも定員規模が大きい学部を選出する方針とした。

これらの方針のもと、オープンキャンパスの回答を参考に、本学部の併願校として志願すると思われる学力層の競合校に絞り込んで、所在地および 18 歳人口の動向も加味し、本学部の位置する東京都を中心に、１都３県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）から青山学院大学、千葉大学、および一橋大学の３校を選出し、データサイエンス系の学部設置が進んでいる関西圏のうち、受験生人口の多い大阪府から関西大学１校を選出している。

なお、立正大学データサイエンス学部を参考に、スポーツ科学系の学びに関心のある受験生の流入が想定されたため、スポーツ科学系の学部で理工系要素の強く、各要素の類似性を備えた競合校として早稲田大学スポーツ科学部を選出している。【資料 19】。

（イ）競合校との比較分析（優位性）

a. 教育内容と方法

スポーツ情報学部の競合校に対する優位性として、データサイエンス（工学）とビジネス（経済学）という親和性の高い学問分野を主たる学問分野とし、スポーツというフィールドから得られる様々なデータを対象に、文理横断・融合型の教育研究を行う点に一つの特徴がある。

また、教育研究対象の観点からも、スポーツには多層的かつ動的なフィールドに定量的データが多く存在し、１試合のような短い期間で、勝敗、記録、パフォーマンス変化といった明確な結果が、その実施後において比較的タイムリーに得られるという特性があることから、問いの定義、問い対する答え（仮説）の考案、答えの実践への適用、データに基づく結果の分析、分析結果に基づく内省、そして更なる問いの設定へ、といった一連のプロセスを相対的に高速で繰り返すことでデータサイエンスに必要な多様な分析方法等を学べることに加え、データから価値創出や意思決定を行うビジネスの要素も学べるという点が優位に働くと見込んでいる。加えて、受験生の観点からは、高校までの部活動等を通じて馴染みの深いスポーツという興味ある題材での学びを提供する点が競合校に対して優位に働く。

スポーツ情報学部ではこのような特徴から、スポーツの現場での学びを重視し、教室における理論的な専門科目の学びと現場における実践的な課題解決型ＰＢＬ科目との往還により、文理横断・融合的な体系を有するカリキュラムを構築している点が競合校に対する優位性を有している。いわゆる理系型の積み上げ的な基礎教育の徹底から応用への理論の修得に加え、いわゆる文系型の科目間の相関関係を意識した体系的な教育と現場での実践を横断･融合する学びを提供していく。また、本学部が設置される多摩キャンパスは自然豊かな広大な敷地を有し、課外活動である学友会体育連盟所属部会などのスポーツ実施団体も多く活動していることから、これらの団体と連動して実際のデータを取得・収集する機会や仮説の検証などを実施することも可能と見込んでいる。学生にとっては正課の授業と課外での活動が一体となって教育効果を高めることが可能となり、キャンパス内での活動の充実が図れる教育研究環境となっている。これらの点は、競合校に対する教育内容における本学部の優位性といえる。

b. 入試（受験時期・入学手続時期との関係）

競合校（私立）は通例２～３月を中心に一般選抜を実施し、国公立は大学入学共通テスト及び個別試験（２月下旬～３月上旬）という枠組みで選抜する。本学は、既設学部同様に、こうした首都圏における受験市場のカレンダーの中で併願に組み込みやすい募集設計を維持している。具体的に、関西圏の２月初頭と競合校の実施時期である２月中旬～３月上旬を避け、２月初旬より入試期間を設定している点で優位である。

c. 学生納付金

学生納付金について、本学部の初年度納付金は後述の④のとおりであり、競合校として選出した大学と比較しても同程度である【資料 20】。この点に関しては、本学全体の奨学制度だけでなく、本学部独自の奨学制度も準備することで、負担の軽減を図ることとしている。

d. 就職支援の内容

就職支援について、本学では入学から卒業までのキャリア・就職支援をトータルでサポートをするキャリアセンターを設置している。入学時に実施するキャリアガイダンスを

はじめとした年次に合わせたガイダンスの実施、各種企業セミナーや公務員講座等、多くのプログラムを提供し、きめ細やかな支援を行っている。

e. 取得できる資格

スポーツ情報学部において取得できる資格はないが、今後の IT 人材需要動向に応えるべく、２年次までのカリキュラムに設置した授業科目をパッケージ化して、数理・データサイエンス・AI 認定プログラム（応用基礎レベル）に相当するデータサイエンスプログラムを構築しており、学部設置後において文部科学省に対し認定申請を行う予定である。この点で、リテラシーレベルで認定されている競合校に対して優位であり、応用基礎レベルの認定を受けている競合校と同等以上の教育を提供することが可能となっている。

以上を踏まえると、スポーツ情報学部における特徴や各種取組の観点から、競合校に対し十分な優位性があるといえる。

②競合校の入学志願動向等

＜経済学部経済学科、社会経済学科＞

【資料 21】のとおり、経済学部経済学科及び社会経済学科の競合校となる学部・学科の直近５年間（2021 年度～2025 年度）の志願・充足状況を見ると、総じて志願者数は十分な規模で推移し、入学定員充足率も概ね 100%前後で安定している。したがって、この分野及び学力層では本学を含め、多くの受験生を継続的に確保できているといえる。このような環境の下では、本学の既設組織の学生確保実績を踏まえつつ、新設する２学科において学びの明確化が図られることを考慮すれば、入学定員を充足できる蓋然性が高い。

a. 経済学部経済学科

経済学科の競合校である横浜国立大学 経済学部経済学科、青山学院大学 経済学部経済学科、立教大学 経済学部経済学科、法政大学 経済学部経済学科、学習院大学 経済学部経済学科については、志願倍率が高い水準で推移している。志願倍率（志願者数÷入学定員）の５年平均を見ると、横浜国立大学 経済学部経済学科は 7.3 倍、青山学院大学 経済学部経済学科は 17.0 倍、立教大学 経済学部経済学科は 15.9 倍、法政大学 経済学部経済学科は 14.0 倍、学習院大学 経済学部経済学科は 13.0 倍である。いずれも定員規模に対して十分な志願者数を確保しており、受験生の需要が厚いことが確認できる。また、入学定員充足率の５年平均は、横浜国立大学 経済学部経済学科が 105.7%、青山学院大学 経済学部経済学科が 105.6%、立教大学 経済学部経済学科が 100.7%、法政大学 経済学部経済学科が 103.3%、学習院大学 経済学部経済学科が 104.2%である。年度ごとの変動はあるが、入学者数は概ね定員水準を維持している。これは、当該分野・学力層において、競合校がいずれも安定的に学生を確保していることを示す。

b. 経済学部社会経済学科

社会経済学科相当の競合校である東京都立大学 経済経営学部経済経営学科、青山学院大学 経済学部現代経済デザイン学科、立教大学 経済学部経済政策学科、法政大学 経済学部現代ビジネス学科、明治大学 政治経済学部経済学科についても、同様に志願者数と充足率は総じて良好である。志願倍率の５年平均は、東京都立大学 経済経営学部経済経営学科が 4.2 倍、青山学院大学 経済学部現代経済デザイン学科が 12.0 倍、立教大学 経済学部経済政策学科が 11.4 倍、法政大学 経済学部現代ビジネス学科が 11.8 倍、明治大学 政治経済学部経済学科が 11.1 倍である。特に私立の競合校では概ね 10 倍を超える水準にあり、社会課題・政策・地域等の近接領域を含む経済系教育に対する需要が厚いことがわかる。入学定員充足率の５年平均は、東京都立大学 経済経営学部経済経営学科が 104.7%、青山学院大学 経済学部現代経済デザイン学科が 104.1%、立教大学 経済学部経済政策学科が 100.5%、法政大学 経済学部現代ビジネス学科が 107.7%、明治大学 政治経済学部経済学科が 102.4%である。経済学科の競合校と同様、入学者数は概ね定員水準を維持し安定的に学生を確保している状況である。

以上のとおり、競合校の直近５年間の状況はいずれにおいても、志願倍率が最大 10 倍超の水準で推移し、入学定員充足率も概ね 100%前後で安定している。これは、この分野及び学力層において、首都圏を中心に受験生の需要が堅調であり、競合校が継続的に入学者を確保できていることを意味する。したがって、本学の改組後の経済学部においても、既設組織で実施してきた学生募集上の取組（キャンパス来訪型イベント、資料請求対応、Web サイトを通じた情報発信等）を継続・強化し、さらに２学科４コースという再編後の学びの構造をわかりやすく示すことで、入学定員計 1,062 人を安定的に充足できると判断できる。

＜スポーツ情報学部＞

スポーツ情報学部について、競合校となる学科等の過去３年間の入学志願状況等（志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率）については、【資料 22】のとおりである。

競合校である青山学院大学 社会情報学部社会情報学科、関西大学 ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科、千葉大学 情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科、一橋大学 ソーシャル・データサイエンス学部ソーシャル・データサイエンス学科、早稲田大学 スポーツ科学部スポーツ科学科については、志願倍率が高い水準で推移している。志願倍率（志願者数÷入学定員）の３年平均（設置年度により２年平均もしくは単年度のみ）を見ると、青山学院大学 社会情報学部社会情報学科は 9.7 倍、関西大学 ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科（2025 年４月開設）は 9.8 倍、千葉大学 情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科（2024 年４月開設）は 4.2 倍、一橋大学 ソーシャル・データサイエンス学部ソーシャル・データサイエンス学科は 12.4 倍、早稲田大学 スポーツ科学部スポーツ科学科は 6.1 倍である。また、実質倍率（志願者÷合格者）を確認しても下限が 3.4 倍であり、各校とも３カ年平均で 3.9

倍以上となっている。いずれも定員規模に対して十分な志願者数を確保しており、受験生の需要が厚いことが確認できる。また、入学定員充足率の３カ年平均（設置年度により２カ年平均もしくは単年度のみ）は、青山学院大学 社会情報学部社会情報学科は 108.0%、関西大学 ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科は 113.1%、千葉大学 情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科は 102.5%、一橋大学 ソーシャル・データサイエンス学部ソーシャル・データサイエンス学科は 105.6%、早稲田大学 スポーツ科学部スポーツ科学科は 103.3%である。各校とも年度により定員充足率にばらつきがあるが、問題なく志願者、入学者を集めている。これらのことは、この分野及び学力層において、首都圏を中心に受験生の需要が堅調であり、競合校が継続的に入学者を確保できていることを意味する。

以上の競合校の近年の志願動向と、（イ）における競合校との比較分析・優位性も踏まえると、本学部も同様の志願状況が予想されることから、入学定員は問題なく充足できると考えられる。

③新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

【資料 21】【資料 22】のとおり、経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部の直近５年間における競合校の志願・入学状況を見ると、いずれも志願者数は十分な規模で推移し、入学定員充足率も概ね 100%前後で安定している。すなわち、当該分野・学力層においては他大学の募集状況も総じて良好であり、恒常的に定員未充足となっている競合校は確認されない。このため、本項目が想定する「競合校が定員未充足の場合」に該当する事情は基本的に認められず、新設組織の定員充足について、競合校の未充足を前提とした追加的な説明を要しない。

④学生納付金等の金額設定の理由

新設組織の学生納付金等の金額設定について、本学の学生納付金設定については、原則学部ごとに定めているため、以下に学部ごとに記載する。

＜経済学部＞

本学経済学部の学生納付金は、初年度納入額合計（諸会費除く）を 1,360,700 円と設定し、内訳は入学金 240,000 円、授業料 873,600 円、教育充実費 15,000 円、施設設備費 232,100 円で構成される。

この金額設定は、第一に、同分野・同学力層で競合する私立大学の学費水準と比較して妥当な範囲に収めることを意図したものである。首都圏の主要私立大学の経済系学部では、初年度納入金が概ね 1,300,000 円台から 1,400,000 円台で形成されており、例えば青山学院大学（経済学科等）の初年度合計は 1,368,000 円、法政大学（経済学部経済学科）の初年度納入金は 1,299,000 円である。 本学の初年度納入額合計 1,360,700 円はこれらの範囲内に位置し、受験生が競合校と比較検討する際に、学費水準が理由で本学が不利となる蓋然性は

高くない。加えて、既に整理したとおり、当該分野・学力層における競合校の志願・充足状況は総じて良好であり、同水準帯の学費設定が市場において受容されていることが示唆される。

第二に、全国的な学費水準（相場観）との比較においても、本学の設定は妥当であると考えられる。旺文社の集計によれば、私立大学（中央値）の入学金は 240,000 円、授業料は 892,500 円、初年度納入金は 1,482,085 円である【資料 23】。本学の入学金 240,000 円は私立大学の中央値と同水準であり、初年度納入額合計 1,360,700 円は私立大学の中央値 1,482,085 円を下回る。したがって、本学の学費は全国的な私立大学の水準に照らしても、受験生・保護者にとって受け入れられやすい範囲にあるといえる。

第三に、本学が経済学部の２学科への改組後において掲げる教育内容・教育方法を継続的に実装し、教育研究環境を担保する上で必要な費用を確保するという観点からも、当該水準は合理的である。改組後は２学科４コース体制の下で、経済学の基礎理論に加えてデータ分析を含む学修を体系化し、国際経済・経済政策・社会課題・地域マネジメント等の教育を強化する方針である。このような教育を安定的に提供するためには、適切な教員組織の確保・維持、演習・少人数教育の運営、学修支援体制の整備、データ分析や ICT 活用に対応した教育基盤、さらに施設設備の維持更新等が継続的に必要となる。本学の納付金体系において、授業料に加えて教育充実費及び施設設備費を設定しているのは、こうした教育研究環境を長期的に維持し、教育の質保証を図るための財源を安定的に確保する趣旨である。

以上より、本学経済学部の学生納付金は、競合する私立大学の学費レンジに整合させることで学生募集上の競争条件を確保し、全国統計（私立大学中央値）と比較して過度な学費負担とならない水準に抑えつつ、改組後の教育内容の充実と教育研究環境の担保に必要な財源を確保するために設定したものであり、市場環境・競合状況及び本学の教育方針を踏まえて合理性を有する。

＜スポーツ情報学部＞

スポーツ情報学部の学生納付金は、初年度納入額合計（諸会費除く）を 1,720,000 円と設定し、内訳は入学金 240,000 円、授業料 1,117,200 円、施設設備費 282,800 円、実験実習料 80,000 円で構成される。

この金額設定は、第一に、同分野・同学力層で競合する私立大学の学費水準と比較して妥当な範囲に収めることを意図したものである。競合校として選出した私立大学の初年度学生納付金（2025 年度）は【資料 20】のとおり、その平均値は 1,658,000 円であるが、競合校の志願状況・入学状況の推移からは学費による目立った影響はないと判断する。

第二に、全国的な学費水準との比較においても、本学の学費設定は妥当性が高い。旺文社の集計によれば、2025 年度（令和７年度）の私立大学（中央値）の入学金は 240,000 円、授業料は 892,500 円、初年度納入金は 1,482,085 円である【資料 23】。そして、私立大学の学部系統別の学費平均額としては、経済・経営・商学部が入学金 221,867 円、授業料 824,100

円、初年度納入金が 1,316,375 円、工学部が入学金 231,870 円、授業料が 1,112,862 円、初年度納入金が 1,650,081 円となっている。他方で、文部科学省の「令和７年度　私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額（定員１人当たり）の調査結果について」【資料 24】によれば、私立大学の学納金は平成 27 年度以降、継続的に上昇傾向にあり、令和５年度と令和７年度の学費（授業料、入学料及び施設設備費）を比較すると、平均で 1.2%の上昇、理・工学系の学部に限ると 4.5%、法・商・経系の学部では 1.6%上昇している。昨今の物価上昇、消費者物価指数の上昇にも鑑みると、学費の上昇傾向は今後も暫時的に継続することが見込まれる。

本学の入学金 240,000 円は私立大学の中央値と同水準である一方で、本学部の初年度納入額合計 1,720,000 円は私立大学の学部系統別・工学部の平均値 1,650,081 円を約５％上回る。その理由として、本学は物価上昇率を勘案し、理･工学系の学部における学費上昇率より低い毎年２％の学費上昇率を設定していること、競合校として選出した私立大学および学部系統別工学部の 2025 年度初年度納入金から本学部開設まで毎年２％の上昇を加味して推計される金額 1,716,744 円および 1,724,983 円を考慮していること【資料 20】、そして AI･データサイエンスの教育研究環境整備の必要性に鑑みて、2027 年度学費として初年度納付金 1,720,000 円を設定している。したがって、本学の学費は全国的な私立大学の学費水準、あるいは競合する私立大学の設定学費の観点からみても過度な負担水準ではなく、受験生・保護者にとって十分に受け入れられる範囲にあるといえ、本学部の初年度納付金設定額は適切であると判断できる。

（３）先行事例分析

経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部ともに、該当する先行事例はない。

（４）学生確保に関するアンケート調査

①高校生アンケート調査　実施概要（経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部共通）

経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部の学生確保の見通しについて、更なる検証を行うために、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に依頼し、高校生アンケート調査を実施した。本調査は、令和７（2025）年度及び令和８（2026）年度追加調査の２回にわたって実施した。令和８（2026）年度実施の追加調査については、大学設置・学校法人審議会からの「審査意見」を踏まえ、経済学部経済学科及び社会経済学科のみ調査を実施した。詳細は以下のとおりである【資料 25】【資料 25 の２】。

＜令和７（2025）年度調査＞【資料 25】

経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部共通

調査内容	本学が令和９（2027）年４月に設置構想中の経済学部経済学科・経済学部社会経

	済学科、スポーツ情報学部スポーツ情報学科における学生確保の見通しを検証するために、高校生アンケートを実施した。 アンケート項目は全８問で、全て選択肢式とした。
調査実施時期	令和７（2025）年８月～令和８（2026）年１月
調査対象	令和９（2027）年度の大学入試を受験する可能性が最も高い**高校２年生**（令和７（2025）年度時点）をアンケートの対象とした。 具体的には以下を対象とした。 ■ オープンキャンパス、キャンパス訪問等に来場した生徒（オープンキャンパスは令和７年８月２日、８月３日に茗荷谷キャンパスと市ヶ谷田町キャンパスにて、同８月６日、８月７日に多摩キャンパスと後楽園キャンパスにて実施。キャンパス訪問は随時） ■ 本学に志願実績のある全国の高等学校（本学附属高校を含む）、および農業学科を有する高等学校 324 校の生徒
実施高校	328 校（全国の高等学校 324 校、本学の附属高校４校）
実施人数	45,169 人（全国の高等学校 44,228 人、本学の附属高校 941 人の合計）
調査実施方法	高校側の希望に基づき、紙方式・Web 方式のいずれかでアンケート調査を実施（内容は同じ）。 [紙方式] ■ 高校での実施依頼分については、アンケート用紙と中央大学が設置構想中の新学部学科の概要資料を必要部数送付。ホームルーム等で配付の上、その場での回答・回収を依頼した。 ■ キャンパス訪問で来学のあった生徒には、個別にアンケート用紙と中央大学が設置構想中の新学部学科の概要資料を配付。その場での回答を依頼した。 [Web 方式] ■ 担当教員のメールアドレスにアンケート調査サイト URL およびアクセス用 QR コードを送付。自校対象生徒のタブレット端末等に配信の上、原則その場での回答・送信を依頼した。 ■ オープンキャンパス実施分については、来場者に対し、個別にアンケート調査サイトへのアクセス用 QR コードを配付し、回答を依頼した。 **※なお、両調査は、既回答者による重複回答を防止するための周知および調査フォームへの明記を行い、回答者の重複が生じないよう措置を講じて実施した。**
調査項目	■ 回答者基本状況（居住地、性別、高校卒業後の進路、志望する大学等の設置者、興味のある学問分野）

	■　本学新学部学科について（興味のある学科、受験意向、入学意向）
備考	■　スポーツ情報学部については、オープンキャンパスでの調査実施後に構想内容及び概要資料が変更された。このため、受験・入学意向に関する設問の集計（クロス集計）では、オープンキャンパス実施分を除外し、変更後の調査における回答のみを有効回答として扱っている。なお、受験・入学意向関連設問以外はオープンキャンパス実施分を含めて一括で集計している。 ■　調査実施時点において令和９年に設置構想中であった情報農学部 情報農学科(仮称)についても調査対象としていた。

＜令和８（2026）年度 追加調査＞【資料 25 の２】

経済学部経済学科及び社会経済学科については、大学設置・学校法人審議会からの「審査意見」を踏まえ、追加調査を実施した。

追加調査内容（アンケート設問）	アンケート設問は令和７（2025）年度調査と原則同一としたが、以下のとおり、追加調査に適した設問を一部追加した。 ＜追加設問＞ ■　令和７（2025）年度調査に回答した生徒について、回答対象から除外できるよう「令和７（2025）年度内に同趣旨のアンケートに回答していない」ことを確認するための設問を追加した。あわせて、限られた時間での追加調査実施となったことから、調査 URL を高校別に設定しないこととし、その代わりとして高校名入力欄を設けた。
追加調査実施時期	令和８（2026）年６月 11 日～６月 22 日
追加調査対象者	令和９（2027）年３月に高校卒業予定である高校３年生（令和８年度） なお、上述「追加調査内容」に記載のとおり、令和７（2025）年度調査に回答している生徒は、本追加調査に回答しないよう措置を講じている。 ■　具体的な対象 以下のうち、令和７（2025）年度調査に回答していない者 ・本学に進学実績のある高等学校３年生 ・令和８（2026）年６月実施オープンキャンパス来場者 ・６月実施外部進学説明会の参加者 ・高校にて本学が実施した説明会の参加者 ・大学案内等、これまで本学に資料請求等を行った者 ・本学入学センター公式 SNS（LINE）登録者
追加調査実施人数	9,674 人 （協力高校を含む 249 校に所属する生徒より回答 9,233 件 オープンキャンパスでの回答 441 件）

調査実施方法	Web 方式でアンケート調査を実施（内容は同じ）。 [Web 方式] ■ 各高校においては、高校担当教員を通じてアンケート調査サイト URL 及びアクセス用 QR コードを生徒へ提示、あるいは配信・送付した。 ■ オープンキャンパスにおいては、来場者に対し、個別にアンケート調査サイトへのアクセス用 QR コードを配付し、回答を依頼した。 ■ ６月実施外部進学説明会の参加者、高校にて本学が実施した説明会の参加者については、アンケート調査サイトへのアクセス用 QR コードを配付し、回答を依頼した。 ■ 大学との接触者（大学案内等、これまで本学に資料請求等を行った者、本学入学センター公式 SNS（LINE）登録者）については、個別にアンケート調査サイトへのアクセス用 QR コードを送信し、回答を依頼した。 上述のとおり、既回答者による重複回答を防止するための周知及び調査フォームへの明記を行い、回答者の重複が生じないよう措置を講じて実施した。

②高校生アンケート調査 調査結果

次に、本調査の結果について、学部・学科別に記述する。

＜経済学部経済学科及び社会経済学科＞

本アンケート調査は、経済学部経済学科及び社会経済学科の学生確保の見通しを検証するため、２学科開設時点の 2027 年４月に大学進学時期を迎える高校生（2027 年３月卒業予定）を対象に実施したものであり、【資料 25】及び【資料 25 の２】はその結果報告書である。上述のとおり、経済学部経済学科及び社会経済学科を対象とした調査については、令和７（2025）年度に実施した調査【資料 25】に加え、大学設置・学校法人審議会から示された「審査意見」を踏まえ、令和８（2026）年度に追加調査【資料 25 の２】を実施したものであり、計２回にわたり実施した。

初回調査である令和７（2025）年度調査【資料 25】は、一般高校２年生を対象とする調査と、本学の附属高校２年生を対象とする調査を実施した。なお、本学附属高校生を対象とする調査については、情報農学部情報農学科(仮称)の開設時期を変更したため、同学部を調査対象から外した設問・選択肢を設定し、実施している。一般高校生向けの調査については紙方式・Web 方式の２種類、附属高校生向けの調査については Web 方式を用意して実施した。調査への回答にあたっては、設置構想中の学科概要（学科名称、教育の理念・養成する人材像、アドミッション・ポリシー、設置場所・アクセス、学生納付金、競合する大学・学部学科等）を示し、当該内容を踏まえて受験・入学意向を回答できるようにした。なお、既回答者による重複回答を防止するため、調査票及び Web アンケートフォーム上には本アンケートの回答は１回のみとすることを明記した。

加えて、令和８（2026）年度に行った追加調査【資料 25 の２】については、一般高校３

年生を対象として、初回調査である令和７（2025）年度調査に回答している生徒が本追加調査に回答しないよう措置を講じて実施した。また、オープンキャンパス来場者を対象とした調査以外の調査においては、所属する高等学校を回答させることで対象者の所属高等学校を特定し、令和７（2025）年度に協力を得た高等学校に所属する者の回答は集計から除外した。調査はWeb方式とし、初回同様に設置構想中の学科概要（学科名称、教育の理念・養成する人材像、アドミッション・ポリシー、設置場所・アクセス、学生納付金、競合する大学・学部学科等）を示し、当該内容を踏まえて受験・入学意向を回答できるようにした。

（ア）調査の対象と回答者属性（どのような高校生から回答を得たか）

＜令和７（2025）年度調査＞

a.一般高校生アンケート（有効回答44,228件）

一般高校生アンケートは、本学に志願実績のある全国の高等学校等に協力を依頼して実施し、協力校は計324校である。【資料25】３～13ページには各校の高校コード・所在地（都道府県）・高校名・有効回答数を一覧としている。高等学校経由の協力による回答に加え、オープンキャンパス来場者から1,542件、キャンパス訪問から12件の回答も含まれており、本学に関心を有する層の意向も把握できる設計となっている。

【資料25】14～15ページのとおり、アンケート回答者の居住地は１都３県が中心となっており、東京都11,338件（25.6%）、神奈川県8,516件（19.3%）、千葉県3,565件（8.1%）、埼玉県3,432件（7.8%）で全体の60.8%である。一方で、１都３県以外で17,377件（39.2%）の回答を確認しており、特に北海道1,363件（3.1%）、茨城県1,381件（3.1%）、群馬県1,625件（3.7%）、長野県1,004件（2.3%）、福岡県1,551件（3.5%）、長崎県930件（2.1%）、熊本県860件（1.9%）など、各地域においても一定規模の回答を得ている。性別については、男性18,698件（42.3%）、女性23,363件（52.8%）、回答しない1,084件（2.5%）、無回答1,083件（2.4%）である。卒業後の進路（複数回答）としては、大学を選択したものが40,759件（92.2%）と中心であり、大学等進学希望者（41,376 人）における設置者志向（複数回答）は私立が30,637件（74.0%）と最も多くなっている。興味のある分野では「経済学」を選択した回答が9,481件（21.4%）、「商学」を選択した回答が5,493件（12.4%）あり、実人数でみると11,211件（25.3%／両方またはいずれかを選択）であった。このことから、４人に１人の高校生が経済学分野・商学分野に関心を持っていることがわかる。

b.中央大学附属高校生アンケート（有効回答941件）

【資料25】25ページのとおり、附属高校生アンケートは、中央大学高等学校132件、中央大学杉並高等学校266件、中央大学附属高等学校251件、中央大学附属横浜高等学校292件の計941件が有効回答数であった。

【資料25】26～27ページのとおり、回答者の居住地については、東京都464件（49.3%）、神奈川県277件（29.4%）、埼玉県148件（15.7%）、千葉県48件（5.1%）が中心であり、各附属校の通学圏に整合する分布となっている。また、性別は、男性353件（37.5%）、女性564

件（59.9%）、回答しない 24 件（2.6%）であった。卒業後の進路（複数回答）としては、大学を選択したものが 935 件（99.4%）とほぼ全数であり、大学等進学希望者（935 人）における設置者志向（複数回答）においては私立が 867 件（92.7%）と附属高校という性質から、私立への志向が高い結果となっている。興味のある分野では「経済学」を選択した回答が 376 件（40.0%）と高く、「商学」を選択した回答も 376 件（40.0%）おり、実人数でみると 489 人（52.0%／両方またはいずれかを選択）であった。このことから、附属高校生の２人に１人が経済学分野・商学分野に関心を持っていることが確認できる。

＜令和８（2026）年度 追加調査＞

c. 一般高校生アンケート（有効回答 9,674 件）

追加調査については、一般高校３年生を対象として、初回調査である令和７（2025）年度調査に回答している生徒が本追加調査に回答しないよう措置を講じて実施した。対象は、本学に進学実績のある高等学校、令和８（2026）年６月実施オープンキャンパス来場者、６月実施外部進学説明会の参加者、高校にて本学が実施した説明会の参加者、大学案内等、これまで本学に資料請求等を行った者、本学入学センター公式 SNS（LINE）登録者である。調査の結果、協力校を含む高等学校 249 校に所属する生徒から 9,233 件、オープンキャンパス来場者から 441 件を加え、合計 9,674 件の回答を得た。【資料 25 の２】３～11 ページには各校の高校コード・所在地（都道府県）・高校名・有効回答数を一覧としている。

【資料 25 の２】12 ページのとおり、アンケート回答者の居住地は１都３県が中心となっており、東京都 2,491 件（25.7%）、神奈川県 1,323 件（13.7%）、千葉県 918 件（9.5%）、埼玉県 1,022 件（10.6%）で全体の 59.5%である。一方で、１都３県以外で 3,920 件（40.5%）の回答を確認しており、特に北海道 362 件（3.7%）静岡県 616 件（6.4%）、京都府 264 件（2.7%）、福岡県 293 件（3.0%）など、各地域においても一定規模の回答を得ている。性別については、同資料 13 ページのとおり、男性 4,455 件（46.0%）、女性 5,028 件（52.0%）、回答しない 191 件（2.0%）である。卒業後の進路（複数回答）としては、大学を選択したものが 8,934 件（92.4%）と中心であり、大学等進学希望者（9,026 人）における設置者志向（複数回答）は私立が 7,608 件（78.7%）と最も多くなっている。興味のある分野については、同資料 14 ページのとおり、「経済学」を選択した回答が 2,894 件（29.9%）、「商学」を選択した回答が 1,695 件（17.5%）あり、実人数でみると 3,329 件（34.4%／両方またはいずれかを選択）であり、３人に１人の高校生が経済学分野・商学分野に関心を持っていることがわかる。

（イ）分析の枠組み（五重クロス集計）

学生確保の見通しについては、一般高校生・本学附属高校生に対するアンケート調査の結果を合計した単に「(2027 年度に開設する）学科に興味がある」といった確認に留まらず、(1) 卒業後の進路（大学）、(2) 設置者志向（私立）、(3) 興味分野（経済学・商学）、(4)

受験希望（第一志望／第二志望／第三志望以降）、(5) 合格時の入学希望（入学する／志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する／入学しない）を組み合わせた五重クロスにより、確度の高い需要層を抽出して検討している。なお、本分析では、第二志望・第三志望以降について「入学する」と回答した人数は用いず、非第一志望層の入学可能性は「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」（以下「条件付き入学」という。）に限定して整理することとしている。

なお、本学が毎年４月に新入生を対象に実施する「中央大学新入生アンケート」では、本学入学にあたっての本学の志望順位を質問している。【資料 26】は 2021～2025 年度の結果であるが、経済学部の現行４学科においては、５ヶ年度平均で入学者 1,056 人のうち第一志望が 612 人（57.9%）、非第一志望（第二志望＋第三志望以下）で入学した者が 444 人（42.0%）を占める。非第１志望入学者の内訳は第二志望が 196 人（全体の 18.5%／非第一志望の 44.1%）、第三志望以下 248 人（全体の 23.5%／非第一志望の同 55.9%）であり、上位志望校の合否結果等を通じて非第１志望層が一定数入学に至っており、高校生アンケート（五重クロス）で把握される「上位志望不合格なら入学」の層が実入学に転換する具体的な実績として確認できる。

（ウ）受験・入学意向（学科別）と定員充足の見通し

受験・入学意向に係る分析について、以下、学科ごとに述べる。

上述のとおり、学生確保に関するアンケート調査全体（令和７（2025）年度調査と令和８（2026）年６月の追加調査分の合計）で、令和９（2027）年４月（経済学科及び社会経済学科開設年）に大学進学時期を迎える 54,843（45,169＋9,674）人の高校生から回答を得た。調査全体の集計結果は、【資料 25 の２】20、21 ページのとおり、経済学科及び社会経済学科に「第一志望として受験する」と回答した者の数と、そのうち合格した場合「入学する」と回答した者の数は、両学科とも入学定員充足が見込める回答結果を得ることができた。具体的には以下のとおりである。

a. 経済学科：入学定員 542 人

五重クロスで抽出される対象母集団のうち、【資料 25 の２】20 ページのとおり、経済学科について「第一志望として受験し、合格した場合に入学する」と回答した者（確定的に入学すると見込み得る層）は 785 人であり、確定層のみで入学定員 542 人を十分に満たす結果となっている。一方で、合格した場合に「条件付き入学」と回答した者は第二志望 490 人、第三志望以降は 1,480 人いる。このことから、経済学科においては、第一志望層からの入学者で定員充足が見込まれることが明らかであり、これに加えて非第一志望からの入学者も勘案した場合、定員充足の確実性は極めて高いといえる。

b. 社会経済学科：入学定員 520 人

五重クロスで抽出される対象母集団のうち、【資料 25 の２】21 ページのとおり、社会経済学科について「第一志望として受験し、合格した場合に入学する」と回答した者（確定的に入学すると見込み得る層）は 533 人であり、確定層のみで入学定員 520 人を十分に満たす結果となっている。一方で、合格した場合に「条件付き入学」と回答した者は第二志望 272 人、第三志望以降は 933 人いる。このことから、社会経済学科においては、第一志望層からの入学者で定員充足が見込まれることが明らかであり、これに加えて非第一志望からの入学者も勘案した場合、定員充足の確実性は極めて高いといえる。

なお、経済学部の現行４学科においては、別紙２の２に基づく過去５年間の志願者数（４学科の実人数の合計）の平均は 11,603 人となっており、本アンケート調査における受験意向者の合計数をはるかに超える十分な志願者を確保した上で、入学定員（1,062 名）を充足している。入学定員充足率についても、過去５年間の平均値は、0.93～1.19 と安定的に推移しており、学科の再編後も経済学部の教育研究上の目的、養成する人材像、学部の特色は継承し、これまでの経済学部の伝統と実績を基盤とした教育活動を行っていくことから、再編後も継続して入学定員を充足できることは明らかである。

＜スポーツ情報学部＞

本アンケート調査は、スポーツ情報学部の学生確保の見通しを検証するため、本学部開設時点の 2027 年４月に大学進学時期を迎える高校２年生（2027 年３月卒業予定）を対象に実施したものであり、【資料 25】はその結果報告書である。調査としては、一般高校生を対象とする調査と、本学の附属高校生を対象とする調査を実施した。なお、本学附属高校生を対象とする調査については、情報農学部情報農学科(仮称)の開設時期を変更したため、同学部を調査対象から外した設問・選択肢を設定し、実施している。これら２つのアンケートの設問・選択肢は全て同一のものを設定している。一般高校生向けの調査については紙方式・Web 方式の２種類、附属高校生向けの調査については Web 方式を用意して実施した。調査への回答にあたっては、設置構想中の学科概要（学科名称、教育の理念・養成する人材像、アドミッション・ポリシー、設置場所・アクセス、学生納付金、競合する大学・学部学科等）を示し、当該内容を踏まえて受験・入学意向を回答できるようにした。なお、既回答者による重複回答を防止するため、調査票及び Web アンケートフォーム上には本アンケートの回答は１回のみとすることを明記した。ただし、本学部については、オープンキャンパスでの調査実施後に構想内容及び概要資料を変更したため、受験・入学意向に関する設問の集計（クロス集計）では、オープンキャンパス実施分を除外し、変更後の調査における回答のみを有効回答として扱っているが、受験・入学意向関連設問以外はオープンキャンパス実施分を含めて一括で集計している。

また、回答者の興味のある分野を集計するにあたっては、本学部の学位分野に直接的に関

連する「情報学」「データサイエンス」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」に加えて、「スポーツ科学」分野も含めている。これは、前述の競合校の状況分析において示した通り、データサイエンス系の学部に、スポーツ科学系の学びに関心のある受験生の流入が想定されることを理由としている。特に近年、データサイエンス系学部において、データサイエンスの利活用及び応用分野の一部としてスポーツ領域を設定する例も見受けられる一方で、スポーツ科学系学部において、スポーツの現場で必要とされるデータ分析能力を涵養するためにデータサイエンスに関する科目を多く設置するなど、データサイエンス領域とスポーツ科学領域の親和性が高まっている状況が見受けられる。これらの状況から総合的に判断すると、スポーツのデータを活用してデータサイエンスとビジネスを文理横断・融合的に学ぶ本学部の受験者として想定される層の中に、一定値度スポーツ科学分野に興味・関心を有する高校生が一定程度含まれてくることが予想されるため、本学部に対するより現実的かつ蓋然性の高い受験者ニーズの把握を行ううえでは、本学部の学位分野である「工学」「経済学」の分野に加えて、周辺領域として関連する「スポーツ科学」分野に関するニーズを加えて集計することが必要であるとの判断に至ったことによる。なお、調査用のリーフレットではデータサイエンスとビジネスを学ぶことを明示して、受験生が体育関係を学べると誤認しないような措置を講じている。

（ア）調査の対象と回答者属性（どのような高校生から回答を得たか）

a. 一般高校生アンケート（有効回答 44,228 件）

一般高校生アンケートは、本学に志願実績のある全国の高等学校等に協力を依頼して実施し、協力校は計 324 校であった。【資料 25】３～13 ページには各校の高校コード・所在地（都道府県）・高校名・有効回答数を一覧としている。高等学校経由の調査協力による回答に加え、キャンパス訪問から 12 件の回答も含まれており、本学に関心を有する層の意向も把握できる設計となっている。

【資料 25】14～15 ページのとおり、アンケートの回答者の居住地は 1 都３県が中心で、東京都 11,338 件（25.6%）、神奈川県 8,516 件（19.3%）、千葉県 3,565 件（8.1%）、埼玉県 3,432 件（7.8%）で全体の 60.8%であるが、一方で、1 都３県以外で北海道 1,363 件（3.1%）、茨城県 1,381 件（3.1%）、群馬県 1,625 件（3.7%）、長野県 1,004 件（2.3%）、福岡県 1,551 件（3.5%）、長崎県 930 件（2.1%）、熊本県 860 件（1.9%）など、各地域においても一定規模の回答を得ている。性別について、男性 18,698 件（42.3%）、女性 23,363 件（52.8%）、回答しない 1,084 件（2.5%）、無回答 1,083 件（2.4%）となっている。卒業後の進路（複数回答）としては、大学を選択したものが 40,759 件（92.2%）と中心であり、大学等進学希望者（41,376 人）における設置者志向（複数回答）は私立が 30,637 件（74.0%）と最も多くなっている。興味のある分野では「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかまたは複数を選択した回答者が 12,780 人（28.9%）おり、スポーツ情報学部に関連する学問分野とその周辺領域となる分野に関心を持つ高校生が全

体の３割近く存在することが確認できる。

b. 中央大学附属高校生アンケート（有効回答 941 件）

【資料 25】25 ページのとおり、附属高校生アンケートは、中央大学高等学校 132 件、中央大学杉並高等学校 266 件、中央大学附属高等学校 251 件、中央大学附属横浜高等学校 292 件の計 941 件が有効回答数であった。

【資料 25】26～27 ページのとおり、回答者の居住地については東京都 464 件（49.3%）、神奈川県 277 件（29.4%）、埼玉県 148 件（15.7%）、千葉県 48 件（5.1%）が中心であり、各附属校の通学圏に整合する分布となっている。また、性別は、男性 353 件（37.5%）、女性 564 件（59.9%）、回答しない 24 件（2.6%）であった。卒業後の進路（複数回答）としては、大学を選択したものが 935 件（99.4%）とほぼ全数であり、大学等進学希望者（935 人）における設置者志向（複数回答）においては私立が 867 件（92.7%）と、附属高校という性質から、私立への志向が高い結果となっている。興味のある分野に関しては「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかまたは複数を選択した回答者が 564 人（59.9%）おり、附属高校生にとってスポーツ情報学部に関連する学問分野とその周辺領域となる分野が人気の高い分野であることが確認できる。

（イ）分析の枠組み（五重クロス）

学生確保の見通しについては、一般高校生・本学附属高校生に対するアンケート調査の結果を合計した単に「(2027 年度に開設する）学科に興味がある」といった確認に留まらず、(1）卒業後の進路（大学)、(2）設置者志向（私立)、(3）興味分野（「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかまたは複数)、(4）受験希望（第一志望／第二志望／第三志望以降)、(5）合格時の入学希望（入学する／志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する／入学しない）を組み合わせた五重クロスにより、確度の高い需要層を抽出して検討している。なお、本分析においては、第二志望・第三志望以降について「入学する」と回答した人数は用いず、非第一志望層の入学可能性は「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」（以下「条件付き入学」という）に限定して整理することとしている。

（ウ）受験・入学意向（学科別）と定員充足の見通し

前段の五重クロスで抽出される対象母集団のうち、【資料 25】36 ページのとおり、スポーツ情報学部について「第一志望として受験し、合格した場合に入学する」と回答した者（確定的に入学すると見込み得る層）は 327 人であった。したがって、確定層のみで定員 295 名を上回る結果が得られている。これに加えて、合格した場合に「条件付き入学」と回答した者について確認してみると、第二志望で 178 人、第三志望以降で 661 人がいる状況である。このことからスポーツ情報学部においては、第一志望層からの入学者のみでも定員充足が

十分に見込まれることは明らかであり、これに加えて非第一志望からの入学者も勘案した場合、定員充足の確実性は極めて高いといえる。

（５）人材需要に関するアンケート調査

①人材需要に関するアンケート調査 実施概要及び調査結果

経済学部経済学科及び社会経済学科、スポーツ情報学部が養成する人材について、その人材需要の見通しについて更なる検証を行うために、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に依頼し、人材需要アンケート調査を実施した。以下、学部・学科ごとに調査結果について記述する【資料 27】【資料 28】。

＜経済学部経済学科及び社会経済学科＞

経済学部経済学科及び社会経済学科が養成する人材に対する需要の見通しに係る調査結果については以下のとおりである【資料 27】。

＜人材需要アンケート調査＞実施概要

（経済学部経済学科及び社会経済学科共通）

調査内容	本学が令和 9（2027）年 4 月に設置構想中の経済学部経済学科・経済学部社会経済学科が養成する人材について、人材需要アンケートを実施した。 アンケート項目は全 10 問で、9 問が選択肢式、1 問が記述式とした。
調査実施時期	令和 7（2025）年 10 月～12 月
調査対象 （送付先）	中央大学卒業生の採用実績がある、もしくは新学科において想定される卒業後の進路に合致する企業・公的機関・団体等、合計 3,034 件に調査依頼を行った。
回収件数	431 箇所（回収率 14.2%）
調査実施方法	調査対象先の人事･採用担当者宛に依頼状（Web アンケートサイトへの URL･QR コードを記載）、経済学部概要、アンケート調査用紙、返送用封筒を同封。 紙・Web ご都合のよい方法で回答をいただいた。
調査項目	■ 回答元基本情報（主たる事業所所在地、主業種、従業員・職員規模） ■ 経済学部経済学科及び社会経済学科（学科別：養成する人材の社会的ニーズ、養成する人材の採用意向 及び 採用したい場合の採用可能人数(単年度)、経済学部に期待する点）

本調査は、経済学部経済学科及び社会経済学科の人材需要の見通しを検証するため、2 学科が養成する人材について採用ニーズが存在すると思われる事業所を対象にアンケート調査を実施したものであり、【資料 27】はその結果報告書である。調査対象は本学卒業生の採用実績がある、または学科設置に伴い採用ニーズが高まると思われる企業・公的機関・団体とし、令和 7 年 10 月～12 月に郵送（紙）または Web アンケートにて回収した。【資料 27】１～２ページのとおり、調査における総依頼件数は 3,034 件であり、そのうち有効回答は 431 件、回収率は 14.2％となっている。

（ア）調査の対象と回答者属性（２学科共通）

回答事業所の本社／本部所在地については、【資料 27】２～３ページのとおり、東京都が 206 件（47.8%）と最も多く、次いで埼玉県 28 件（6.5%）、大阪府 24 件（5.6%）、茨城県 19 件（4.4%）、神奈川県 19 件（4.4%）等であり、首都圏を中心に幅広い地域から回答を得た。また、業種については、卸売業・小売業 108 件（25.1%）が最多となっており、次いで地方公務 78 件（18.1%）、情報通信業・IT 関連 52 件（12.1%）、その他サービス業 46 件（10.7%）、金融業・保険業 43 件（10.0%）等となっており、経済学部経済学科及び社会経済学科卒業生の主要な進路として想定される分野を含む構成となっている。従業員／職員規模においては、300 名以上 1,000 名未満が 168 件（39.0%）、1,000 名以上が 124 件（28.8%）であり、300 名以上の組織が合計 67.8%を占める状況となっている。以上の結果により、本調査は、一定の採用規模を有する組織群を含みつつ、想定進路と親和性の高い業種・機関からの回答を得たものであるといえる。

（イ）養成する人材への社会的ニーズ及び採用意向

経済学部経済学科及び社会経済学科の養成する人材への社会的ニーズ及び採用意向に係る分析について、以下、学科別に述べる。

a. 経済学科

経済学科については、養成する人材に対する社会的ニーズの評価は、【資料 27】４ページのとおり、「問４．中央大学が設置構想中の『経済学部経済学科（仮称）』が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ）」の回答において、「ニーズは高い」197 件（45.7%）、「ニーズはある程度高い」179 件（41.5%）であり、「高い／ある程度高い」の合計は全体の９割近い 376 件（87.2%）となった。一方で、「ニーズはあまりない」19 件（４．４%）、「ニーズはない」３件（0.7%）、「わからない」33 件（7.7%）に留まっており、企業の視点から見た社会的なニーズは十分に高い状況が認められる。

また、採用意向は、「問５．中央大学が設置構想中の『経済学部経済学科（仮称）』が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）」の回答において、「採用したい」286 件（66.4%）、「採用しない」22 件（5.1%）、「わからない」119 件（27.6%）、無回答４件（0.9%）となっており、「採用したい」が６割を超えている状況から、企業における採用ニーズも高いことが確認できる。そのうえで、【資料 27】８ページのとおり「採用したい」とした 286 件を対象に単年度の採用可能人数について回答を求めたところ、１人 92 件（32.2%）、２人 45 件（15.7%）、３人 51 件（17.8%）、４人 4 件（1.4%）、５人以上 93 件（32.5%）、無回答１件（0.3%）であった（「５人以上」は５人として計算し、採用可能人数が無回答の場合は０人として計算）。以上の結果を踏まえると、単年度の採用可能人数の合計は 816 人となり、経済学科の入学定員 542 人を大きく上回る採用ニーズが示されている。

さらに、自由記述においては【資料 27】６～７ページのとおり、データを適切に扱い分

析して課題解決に結び付けられる人材の重要性、DX 等の社会・産業構造の変化に対応できる人材の必要性、統計・会計等の基礎力とアウトプット力を併せ持つ人材への期待等が示されており、経済学科が養成する人材像に対して、需要の「量」だけでなく「質」の面でも一定の期待が寄せられていることが確認できる。

b. 社会経済学科

社会経済学科については【資料 27】５ページのとおり、養成する人材に対する社会的ニーズの評価は、「問７．中央大学が設置構想中の『経済学部社会経済学科（仮称)』が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。(あてはまるもの１つ)」の回答において、「ニーズは高い」203 件（47.1%)、「ニーズはある程度高い」174 件（40.4%）であり、「高い／ある程度高い」の合計は全体の９割近い 377 件（87.5%）となった。一方で、「ニーズはあまりない」19 件（4.4%)、「ニーズはない」２件（0.5%)、「わからない」33 件（7.7%）に留まっており、企業の視点から見た社会的なニーズは十分に高い状況が認められる。

また、採用意向は、「問８．中央大学が設置構想中の『経済学部社会経済学科(仮称)』が養成する人材について採用したいと思われますか。(あてはまるもの１つ)」の回答において、「採用したい」288 件（66.8%)、「採用しない」10 件（2.3%)、「わからない」119 件（27.6%)、無回答 14 件（3.2%）となっており、「採用したい」が６割を超えている状況から、企業における採用ニーズも高いことが確認できる。そのうえで、【資料 27】９ページのとおり「採用したい」とした 288 件を対象に単年度の採用可能人数について回答を求めたところ、１人 99 件（34.4%)、２人 44 件（15.3%)、３人 47 件（16.3%)、４人３件（1.0%)、５人以上 94 件（32.6%)、無回答１件（0.3%）であった（「５人以上」は５人として計算し、採用可能人数が無回答の場合は０人として計算)。以上の結果を踏まえると、単年度の採用可能人数の合計は 810 人となり、社会経済学科の入学定員 520 人を大きく上回る採用ニーズが示されている。

さらに、自由記述では【資料 27】６～７ページのとおり、データ活用・分析スキル（統計・プログラミング等）に対するニーズ、企業・自治体等での DX 推進に資する人材需要、地域創生や社会課題解決に資する学修・連携への関心等が示されており、社会経済学科が想定する人材像に対して、需要の「量」だけでなく「質」の面でも一定の期待が寄せられていることが確認できる。

＜スポーツ情報学部＞

スポーツ情報学部が養成する人材に対する需要の見通しに係る調査結果については以下のとおりである。

＜人材需要アンケート調査＞実施概要

調査内容	本学が令和９（2027）年４月に設置構想中のスポーツ情報学部が養成する人材について、人材需要アンケートを実施した。

	アンケート項目は全7問で、6問が選択肢式、1問が記述式とした。
調査実施時期	令和7（2025）年10月～12月
調査対象 （送付先）	中央大学卒業生の採用実績がある、もしくは新学科において想定される卒業後の進路に合致する進路に合致する企業・行政・団体等、合計1,595件に調査依頼を行った。
回収件数	277箇所（回収率17.7%）
調査実施方法	調査対象先の人事･採用担当者宛に依頼状（Webアンケートサイトへの URL･QR コードを記載）、スポーツ情報学部概要、アンケート調査用紙、返送用封筒を同封。紙・Web ご都合のよい方法で回答をいただいた。
調査項目	■ 回答元基本情報（主たる事業所所在地、主業種、従業員・職員規模） ■ スポーツ情報学部が養成する人材の社会的ニーズ、養成する人材の採用意向 及び 採用したい場合の採用可能人数(単年度)、スポーツ情報学部に期待する点）
備考	■ 本調査については、スポーツ情報学部の構想内容及び概要資料が変更された後に行っている。

本調査は、スポーツ情報学部の人材需要の見通しを検証するため、スポーツ情報学部が養成する人材について採用ニーズが存在すると思われる事業所を対象にアンケート調査を実施したものであり、【資料28】はその結果報告書である。具体的な調査対象については。本学卒業生の採用実績がある、またはスポーツに関連する事業・活動を行う企業・公的機関・団体とし、令和7年10月～12月に郵送（紙）またはWebアンケートにて回収した。【資料28】１～２ページのとおり、調査における総依頼件数は1,595件であり、そのうちの有効回答は277件、回収率は17.7%となっている。

（ア）調査の対象と回答者属性

回答事業所の本社／本部所在地については、【資料28】２～３ページのとおり、東京都が141件（50.9%）と最も多く、次いで神奈川県18件（6.5%）、埼玉県14件（5.1%）、大阪府11件（4.0%）、愛知県10件（3.6%）等であり、首都圏を中心に全国から回答を得た。業種はスポーツ関連産業51件（18.4%）が最多となっており、次いで地方公務47件（17.0%）、情報通信業・IT関連業38件（13.7%）、製造業27件（9.7%）、卸売業・小売業19件（6.9%）、その他サービス業19件（6.9%）等となっている。従業員・職員規模においては、1,000名以上が115件（41.5%）と最も多く、300名以上1,000名未満49件（17.7%）を合わせると、300名以上の組織が59.2%を占める状況となっている。以上の結果により、本調査は、スポーツ関連産業、情報通信・IT、公務等の想定進路と親和性の高い分野を含む母集団から、一定の採用規模を有する組織群も含めて回答を得たものであるといえる。

（イ）養成する人材の社会的ニーズおよび採用意向

スポーツ情報学部について、養成する人材に対する社会的ニーズの評価は、【資料 28】４ページのとおり、「問４．中央大学が設置構想中の『スポーツ情報学部 スポーツ情報学科(仮称)』が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。(あてはまるもの１つ)」の回答において、「ニーズは高い」75 件（27.1%)、「ニーズはある程度高い」115 件（41.5%）であり、「高い／ある程度高い」の合計は全体の 7 割近い 190 件（68.6%）となった。一方で、「ニーズはあまりない」39 件（14.1%)、「ニーズはない」3 件（1.1%）で合計 42 件（15.2%)、「わからない」45 件（16.2%）に留まるなど、企業の視点から見た社会的なニーズは十分に高い状況が認められる。

また、採用意向は、「問５．中央大学が設置構想中の『スポーツ情報学部 スポーツ情報学科(仮称)』が養成する人材について採用したいと思われますか。(あてはまるもの１つ)」の回答において、「採用したい」116 件（41.9%)、「採用しない」15 件（5.4%)、「わからない」142 件（51.3%)、無回答 4 件（1.4%）となっており、消極的な回答も非常に少なく、企業における具体的な採用ニーズも一定の水準を満たしている状況にあることが確認できる。そのうえで、【資料 28】７ページのとおり「採用したい」とした 116 件を対象に、「問 6. 問 5 で『採用したい』とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。」において単年度の採用可能人数について回答を求めたところ、1 人 28 件（24.1%)、2 人 21 件（18.1%)、3 人 11 件（9.5%)、4 人 2 件（1.7%)、5 人以上 54 件（46.6%）であった（「5 人以上」は 5 人として計算し、採用可能人数が無回答の場合は 0 人として計算)。以上の結果を踏まえると、単年度の採用可能人数の合計は 381 人となり、本学部の入学定員 295 名を大きく上回る採用ニーズが示された。

さらに、自由記述においては、【資料 28】５～６ページのとおりスポーツ分野における若手人材の需要、地域創生やスポンサーシップ等の実務領域への期待、データサイエンス・AI 活用による競争力強化への関心、組織の DX 推進に資する即戦力人材への期待、スポーツ現場の課題に即してデータを扱える人材育成への要望等が示されており、当該学科が想定する「スポーツ×情報（データ活用・分析）×ビジネス」領域の人材に対する、需要の質的側面（期待・要望）においても整合性が高いものとなっていることが確認できる。以上のとおり、有効回答件数 277 件中、採用意向を示した 116 社のみの調査結果においても、本学部の入学定員を超える数の採用想定人数が見込まれており、採用について「わからない」と回答した 142 件の企業についても、今後学部開設後の教育内容等の実態を勘案し、採用意向が増える可能性も見込めることから、本学部卒業生の需要としての進路先は十分に確保されている状況にあるといえる。

４.新設組織の定員設定の理由

最後に、上記「１.新設組織の概要～３.学生確保の見通し」までの内容を踏まえ、新設組

織の定員設定の理由及び合理性について述べる。

（１）経済学部経済学科及び社会経済学科の定員設定について

経済学部２学科の定員について、「１．新設組織の概要」に記載のとおり、経済学部の再編は、現行の経済学部４学科を募集停止し、新たに経済学科（入学定員 542 人）及び社会経済学科（入学定員 520 人）の２学科を設置するものである。学部全体の入学定員は再編前と同一の合計 1,062 人であり、学部規模の定員増加を伴わない。

この定員設定にあたっては、「２．（２）中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析」に記載のとおり、全国的な母集団縮小の影響は認識しつつも、本学の主たる学生募集地域である首都圏（１都３県）では、同期間の減少率が全国平均より小さく、減少が相対的に緩やかであること、また、18 歳人口に占める首都圏比率は上昇する見通しであり、人口減少局面においても首都圏の進学市場の相対的な厚みが維持される構造にあることを確認した。その上で、「２．（３）新設組織の主な学生募集地域」に記載のとおり、本学は首都圏１都３県を主たる学生募集地域としつつ、全国各地からも一定規模の入学者を安定的に確保してきた募集構造を有していること、経済学部の現行４学科の収容定員の再配分をもって新設する経済学科及び社会経済学科については、改組によって立地条件や大学全体の募集基盤が大きく変化するものではないため、「首都圏中心の募集市場の相対的安定性」という前提の下で、改組後においても現在同様に志願者を確保できる見込みであることを確認した。

次に既設組織の定員充足状況について、「２．（４）既設組織の定員充足の状況」に記載のとおり、本学の既設学科等の直近５年間平均の入学定員充足率は概ね良好であり、恒常的に未充足となっている学科等は存在せず、定員確保に関するリスクは低い。また、学科規模に応じて定員の複数倍に相当する平均志願者数を継続的に確保している。経済学部の既存４学科についても、定員に対して一定規模の志願者数を継続的に確保し、入学定員充足率も９割以上となっており概ね良好であることを確認した。

また、経済学部を取り巻く最新の社会的動向や採用ニーズについて、「２．（１）新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析」「３．（５）人材需要に関するアンケート調査」に記載のとおり、新設組織における人材需要の面においても、定員規模を量的に上回る需要が見込まれることを確認した。

あわせて「３．（２）競合校の状況分析」に記載のとおり、経済学部経済学科及び社会経済学科の競合校については、志願倍率が概ね高水準で推移していることを確認した。これら競合校の堅調な志願状況に加え、本学のこれまでの実績に裏付けられた確かな募集基盤を前提に、学部における学修内容の明確化・高校生への訴求力向上に努めることで、新設組織の設定する入学定員を安定的に充足できる見込みである。

加えて、「３．（４）学生確保に関するアンケート調査」に記載のとおり、学生需要の把握に当たっては、進路希望（大学）、設置者志向（私立）、興味分野（経済学・商学）、受験希

望（志望順位）、合格時の入学意向（入学／条件付き入学）を組み合わせた五重クロス集計により、確度の高い需要層を抽出し、第一志望層からの入学者のみでも定員充足が十分に見込まれることを確認した。

したがって、経済学部の新たな２学科の定員設定は学部定員の増加を伴うものではなく、既設組織として長年維持してきた学生確保の実績を基盤とした、社会的要請の変化に対応した教育課程への再編に対応するものであり、最新の社会的動向及び志願者動向及び競合校等の状況に照らしても、従前と同一の入学定員を設定することは合理的であるといえる。

（２）スポーツ情報学部の定員設定について

スポーツ情報学部（入学定員 295 名）は、「１．新設組織の概要」に記載のとおり、収容定員（1,180 名）を増加し、新たに設置するものである。

定員設定にあたっては、人材需要の社会的な動向及び 18 歳人口等の動向などの外部環境分析と本学の募集地域設定及び実績などの内部環境の分析に基づき、既存学部における定員設定や教育研究環境整備なども考慮し、今後も安定して学生確保が可能な人数として設定している。本学としては小規模な定員設定でありつつも、理系人材需要へ確実に対応するために、競合校の定員との関係においてはやや規模の大きい数を設定している。

まず、入学対象人口の動向として、「２．（２）中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析」に記載のとおり、全国的な母集団縮小の影響は認識しつつも、本学の主たる学生募集地域である首都圏（１都３県）では、同期間の減少率が全国平均より小さく、減少が相対的に緩やかであること、また、18 歳人口に占める首都圏比率は上昇する見通しであり、人口減少局面においても首都圏の進学市場の相対的な厚みが維持される構造にあることを確認した。その上で、「２．（３）新設組織の主な学生募集地域」に記載のとおり、本学は首都圏１都３県を主たる学生募集地域としつつ、全国各地からも一定規模の入学者を安定的に確保してきた募集構造を有していることから「首都圏中心の募集市場の相対的安定性」という前提の下で、既存組織と同様に志願者層を確保できる見込みであることを確認した。スポーツ情報学部においては、これらを踏まえ、18 歳人口が減少する中でも安定した志願者数の確保を行うべく１都３県を中心に全国各地を募集地域として設定しており、本学のこれまでの実績から見ても、安定的な志願者数確保が見込まれる。

また、本学の既設組織の定員充足状況は「２．（４）既設組織の定員充足の状況」に記載のとおり、直近５年間平均の入学定員充足率は概ね良好であり、恒常的に未充足となっている学科等は存在せず、定員確保に関するリスクは低い。また、学科規模に応じて定員の複数倍に相当する平均志願者数を継続的に確保している。スポーツ情報学部については、既設の総合政策学部及び国際経営学部（いずれも入学定員 300 名）と同等の入学定員となっており、本学の入学者確保における安定性かつ高い競争力を踏まえれば、充分入学定員を充足すると考えられる。

次に、「２．（１）新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析」「３．

（５）人材需要に関するアンケート調査」に記載のとおり、スポーツ情報学部を取り巻く社会的動向や採用ニーズについて確認し、新設組織における人材需要の面においても、定員規模を量的に上回る需要が見込まれることを確認した。特に、各省庁が取り纏める戦略や施策からは、先端 IT 人材として特に AI･データサイエンス等の能力･技術を修得したデータ活用人材、文理の枠を超えた総合知を有したスキルをビジネスなどの現実社会の課題へと適応できる人材が求められていることがわかる。中でも AI･データサイエンス等の能力･技術を有した理系人材の長期に渡る不足は深刻な課題であり、今後の産業構造の変化も見据えた本学部の設置は、まさに時宜に適った計画といえる。

競合校の状況については、「３．（２）競合校の状況分析」に記載のとおり、志願倍率は概ね高水準で推移していることを確認した。これら競合校の堅調な志願状況に加え、本学のこれまでの実績に裏付けられた確かな募集基盤を前提に、学部における学修内容の明確化・高校生への訴求力向上に努めることで、新設組織の設定する入学定員を安定的に充足できる見込みである。

加えて、学生需要の把握にあたっては「３．（４）学生確保に関するアンケート調査」に記載のとおり、一般高校生・本学附属高校生に対するアンケート調査の結果を合計した単に「(2027 年度に開設する）学科に興味がある」といった確認に留まらず、(1) 卒業後の進路（大学)、(2) 設置者志向（私立)、(3) 興味分野（「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかまたは複数)、(4) 受験希望（第一志望／第二志望／第三志望以降)、(5) 合格時の入学希望（入学する／志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する／入学しない）を組み合わせた五重クロス集計により、確度の高い需要層を抽出して検討を行った。スポーツ情報学部においては、第一志望層からの入学者のみでも定員充足が十分に見込まれることは明らかである上、これに加えて非第一志望からの入学者も勘案した場合、定員充足が確実に見込まれることを確認した。

以上のとおり、スポーツ情報学部の定員規模については、18 歳人口の推移、地域別の入学志願状況並びに定員充足の状況、東京都所在の本学部同系統学部への入学志願状況並びに定員充足の状況、さらには本学の既設学部における学生募集結果並びに就職結果など、本学を取り巻く様々な状況とデータを総合的に比較分析した。そのうえで AI･データサイエンスを基盤とした理系要素を含む学部に重要な４年次の卒業論文･研究を実施する教育研究環境の担保を目的として１研究室あたりの適正な受入人数や研究室の数･規模などを踏まえつつ、今後の社会に対する先端 IT 人材･理系人材輩出の重要性に鑑みて、入学定員を 295 名に設定しており、定員設定は合理的なものとなっている。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類　資料目次

【資料１】内閣府 第６期科学技術・イノベーション基本計画（概要）
【資料２】日本私立学校振興･共済事業団 令和５-７年度私立大学･短期大学等入学志願動向(抜粋)
【資料３】中央大学学部・学科別就職希望者数における就職決定率
【資料４】内閣府 統合イノベーション戦略 2025（令和７年６月６日　閣議決定）（抜粋）
【資料５】文部科学省 知の総和答申　関係データ集（抜粋）
【資料６】経済産業省 2040 年の就業構造推計（改訂版）について
（第１回日本成長戦略会議人材育成分科会（令和８年１月 26 日）配付資料より抜粋）
【資料７】経済産業省 生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方 2024(抜粋)
【資料８】18 歳人口推移（2027 年度進学対象者～2037 年度進学対象者）
【資料９】文部科学省　大学進学者数等の将来推計について
（高等教育のあり方に関する特別部会（第 12 回）配付資料より抜粋）
【資料 10】中央大学首都圏からの志願者及び入学者の動向（全学）
【資料 11】中央大学地域区分別 入学者の動向（全学）
【資料 12】中央大学首都圏からの志願者及び入学者の動向（経済学部、理工学部）
【資料 13】中央大学キャンパス来訪型イベント参加者数集計結果
【資料 14】中央大学 2024 年度・2025 年度新入生アンケート「各種キャンパス来訪型のイベントの満足度」集計結果
【資料 15】中央大学 オープンキャンパス 2025　来場者アンケート集計（多摩・後楽園）（抜粋）
【資料 16】中央大学経済学部競合校一覧
【資料 17】中央大学経済学部競合校の特色
【資料 18】河合塾 Kei-Net 入試難易度予想ランキング表（抜粋）
【資料 19】中央大学スポーツ情報学部競合校一覧
【資料 20】中央大学スポーツ情報学部競合校の学費設定分析（2025 年度学費）
【資料 21】中央大学経済学部競合校の志願者等および入学者状況
【資料 22】中央大学スポーツ情報学部スポーツ情報学科　競合校の志願者等及び入学者状況
【資料 23】旺文社教育情報センター 2025 年度大学の学費平均額
【資料 24】文部科学省　令和７年度私立大学等入学者に係る初年度学生納付金等平均額（定員１人当たり）の調査結果について（抜粋）
【資料 25】中央大学 2027 年度構想についてのアンケート調査報告書
【資料 25の２】中央大学 2027 年度構想についてのアンケート調査　追加実施分報告書
【資料 26】中央大学新入生アンケート結果（経済学部）（抜粋）
【資料 27】中央大学経済学部経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）設置構想に係る人材需要アンケート調査　報告書
【資料 28】中央大学スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）設置構想に係る人材需要アンケート調査　報告書
【別紙１】　新設組織が置かれる都道府県への入学状況
【別紙２の１】既設学科等の収容定員の充足状況
【別紙２の２】既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）
【別紙３】　既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

科学技術・イノベーション基本計画（概要）

資料１

現状認識

国内外における情勢変化

○ 世界秩序の再編の始まりと、科学技術・イノベーションを中核とする国家間の覇権争いの激化
○ 気候危機などグローバル・アジェンダの脅威の現実化
○ ITプラットフォーマーによる情報独占と、巨大な富の偏在化

加速

新型コロナウイルス感染症の拡大

○ 国際社会の大きな変化
– 感染拡大防止と経済活動維持のためのスピード感のある社会変革
– サプライチェーン寸断が迫る各国経済の持続性と強靭性の見直し
○ 激変する国内生活
– テレワークやオンライン教育をはじめ、新しい生活様式への変化

科学技術・イノベーション政策の振り返り

○ 目的化したデジタル化と相対的な研究力の低下
– デジタル化は既存の業務の効率化が中心、その本来の力が未活用
– 論文に関する国際的地位の低下傾向や厳しい研究環境が継続
○ 科学技術基本法の改正
科学技術・イノベーション政策は、自然科学と人文・社会科学を融合した「総合知」により、人間や社会の総合的理解と課題解決に資するものへ

「グローバル課題への対応」と「国内の社会構造の改革」の両立が不可欠

我が国が目指す社会（Society 5.0）

国民の安全と安心を確保する持続可能で強靭な社会

【持続可能性の確保】
□ SDGsの達成を見据えた持続可能な地球環境の実現
□ 現世代のニーズを満たし、将来の世代が豊かに生きていける社会の実現

【強靭性の確保】
□ 災害や感染症、サイバーテロ、サプライチェーン寸断等の脅威に対する持続可能で強靭な社会の構築及び総合的な安全保障の実現

一人ひとりの多様な幸せ（well-being）が実現できる社会

【経済的な豊かさと質的な豊かさの実現】
□ 誰もが能力を伸ばせる教育と、それを活かした多様な働き方を可能とする労働・雇用環境の実現
□ 人生100年時代に生涯にわたり生き生きと社会参加し続けられる環境の実現
□ 人々が夢を持ち続け、コミュニティにおける自らの存在を常に肯定し活躍できる社会の実現

この社会像に「信頼」や「分かち合い」を重んじる我が国の伝統的価値観を重ね、Society 5.0を実現 ⋙ 国際社会に発信し、世界の人材と投資を呼び込む

Society 5.0の実現に必要なもの

サイバー空間とフィジカル空間の融合による持続可能で強靭な社会への変革 × 新たな社会を設計し、価値創造の源泉となる「知」の創造 × 新たな社会を支える人材の育成

「総合知による社会変革」と「知・人への投資」の好循環

Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

- 総合知やエビデンスを活用しつつ、未来像からの「バックキャスト」を含めた「フォーサイト」に基づき政策を立案し、評価を通じて機動的に改善
- 5年間で、政府の研究開発投資の総額 30兆円、官民合わせた研究開発投資の総額 120兆円 を目指す

国民の安全と安心を確保する持続可能で強靭な社会への変革

（１）サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出
- 政府のデジタル化、デジタル庁の発足、データ戦略の完遂（ベースレジストリ整備等）
- Beyond 5G、スパコン、宇宙システム、量子技術、半導体等の次世代インフラ・技術の整備・開発

（２）地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続なイノベーションの推進
- カーボンニュートラルに向けた研究開発（基金活用等）、循環経済への移行

（３）レジリエントで安全・安心な社会の構築
- 脅威に対応するための重要技術の特定と研究開発、社会実装及び流出対策の推進

（４）価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成
- SBIR制度やアントレ教育の推進、スタートアップ拠点都市形成、産学官共創システムの強化

（５）次世代に引き継ぐ基盤となる都市と地域づくり（スマートシティの展開）
- スマートシティ・スーパーシティの創出、官民連携プラットフォームによる全国展開、万博での国際展開

（６）様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用
- 総合知の活用による社会実装、エビデンスに基づく国家戦略※の見直し・策定と研究開発等の推進
- ムーンショットやSIP等の推進、知財・標準の活用等による市場獲得、科学技術外交の推進

※AI技術、バイオテクノロジー、量子技術、マテリアル、宇宙、海洋、環境エネルギー、健康・医療、食料・農林水産業等

社会からの要請 ⇒ 知と人材の投入

知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化

（１）多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築
- 博士課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡大、若手研究者ポストの確保
- 女性研究者の活躍促進、基礎研究・学術研究の振興、国際共同研究・国際頭脳循環の推進
- 人文・社会科学の振興と総合知の創出（ファンディング強化、人文・社会科学研究のDX）

（２）新たな研究システムの構築（オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進）
- 研究データの管理・利活用、スマートラボ・AI等を活用した研究の加速
- 研究施設・設備・機器の整備・共用、研究DXが開拓する新しい研究コミュニティ・環境の醸成

（３）大学改革の促進と戦略的経営に向けた機能拡張
- 多様で個性的な大学群の形成（真の経営体への転換、世界と伍する研究大学の更なる成長）
- 10兆円規模の大学ファンドの創設

一人ひとりの多様な幸せと課題への挑戦を実現する教育・人材育成

探究力と学び続ける姿勢を強化する教育・人材育成システムへの転換
- 初等中等教育段階からのSTEAM教育やGIGAスクール構想の推進、教師の負担軽減
- 大学等における多様なカリキュラムやプログラムの提供、リカレント教育を促進する環境・文化の醸成

令和7（2025）年度
私立大学・短期大学等
入学志願動向

日本私立学校振興・共済事業団

Ⅱ　区分ごとの動向（大学）

1．規模別の動向（大学）

全国の大学を各学校の入学定員により区分した。

入学定員区分	年度	集計学校数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員充足率 E/A
		校	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
100人未満	R6	42	2,948	4,116	3,930	3,389	2,209	1.40	86.23	65.18	74.93
	R7	42	2,976	4,202	4,021	3,451	2,373	1.41	85.82	68.76	79.74
	増減	0	28	86	91	62	164	0.01	△ 0.41	3.58	4.81
100人以上200人未満	R6	104	15,043	46,602	43,507	20,336	12,547	3.10	46.74	61.70	83.41
	R7	104	15,181	47,990	45,381	20,362	13,193	3.16	44.87	64.79	86.90
	増減	0	138	1,388	1,874	26	646	0.06	△ 1.87	3.09	3.49
200人以上300人未満	R6	84	20,125	57,715	55,380	30,748	16,809	2.87	55.52	54.67	83.52
	R7	82	19,435	57,799	55,584	29,396	16,860	2.97	52.89	57.35	86.75
	増減	△ 2	△ 690	84	204	△ 1,352	51	0.10	△ 2.63	2.68	3.23
300人以上400人未満	R6	72	24,838	70,458	67,790	39,135	21,371	2.84	57.73	54.61	86.04
	R7	71	24,241	71,450	68,546	38,850	22,061	2.95	56.68	56.79	91.01
	増減	△ 1	△ 597	992	756	△ 285	690	0.11	△ 1.05	2.18	4.97
400人以上500人未満	R6	44	19,628	54,065	51,013	31,578	16,736	2.75	61.90	53.00	85.27
	R7	46	20,344	56,959	53,798	33,351	18,386	2.80	61.99	55.13	90.38
	増減	2	716	2,894	2,785	1,773	1,650	0.05	0.09	2.13	5.11
500人以上600人未満	R6	38	20,440	60,907	57,932	39,613	18,272	2.98	68.38	46.13	89.39
	R7	37	19,815	55,507	52,818	35,440	18,232	2.80	67.10	51.44	92.01
	増減	△ 1	△ 625	△ 5,400	△ 5,114	△ 4,173	△ 40	△ 0.18	△ 1.28	5.31	2.62
600人以上800人未満	R6	44	30,107	97,611	94,390	62,040	28,257	3.24	65.73	45.55	93.86
	R7	44	30,272	106,820	103,260	65,141	30,248	3.53	63.08	46.43	99.92
	増減	0	165	9,209	8,870	3,101	1,991	0.29	△ 2.65	0.88	6.06
800人以上1,000人未満	R6	35	31,401	130,555	124,745	75,747	29,827	4.16	60.72	39.38	94.99
	R7	33	29,894	125,847	120,549	70,798	29,622	4.21	58.73	41.84	99.09
	増減	△ 2	△ 1,507	△ 4,708	△ 4,196	△ 4,949	△ 205	0.05	△ 1.99	2.46	4.10
1,000人以上1,500人未満	R6	51	64,176	321,559	310,847	165,568	64,383	5.01	53.26	38.89	100.32
	R7	51	64,411	335,996	324,510	166,979	67,045	5.22	51.46	40.15	104.09
	増減	0	235	14,437	13,663	1,411	2,662	0.21	△ 1.80	1.26	3.77
1,500人以上3,000人未満	R6	58	121,427	1,093,156	1,046,991	450,190	124,881	9.00	43.00	27.74	102.84
	R7	58	122,205	1,169,141	1,120,752	432,807	129,834	9.57	38.62	30.00	106.24
	増減	0	778	75,985	73,761	△ 17,383	4,953	0.57	△ 4.38	2.26	3.40
3,000人以上	R6	26	153,736	1,767,728	1,678,009	572,327	159,440	11.50	34.11	27.86	103.71
	R7	26	153,981	1,925,112	1,830,812	569,116	162,985	12.50	31.09	28.64	105.85
	増減	0	245	157,384	152,803	△ 3,211	3,545	1.00	△ 3.02	0.78	2.14
合計	R6	598	503,869	3,704,472	3,534,534	1,490,671	494,732	7.35	42.17	33.19	98.19
	R7	594	502,755	3,956,823	3,780,031	1,465,691	510,839	7.87	38.77	34.85	101.61
	増減	△ 4	△ 1,114	252,351	245,497	△ 24,980	16,107	0.52	△ 3.40	1.66	3.42

３．地域別の動向（大学・学部別）

全国を21の地域に区分した。集計は学部所在地ごととした。

地域区分	年度	集計学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
北海道	R6	61	11,761	36,243	35,335	25,563	11,157	3.08	72.34	43.65	94.86
	R7	62	11,671	38,122	37,223	25,381	11,668	3.27	68.19	45.97	99.97
	増減	1	△ 90	1,879	1,888	△ 182	511	0.19	△ 4.15	2.32	5.11
東北（宮城を除く）	R6	45	6,326	16,014	15,373	9,994	5,073	2.53	65.01	50.76	80.19
	R7	44	6,196	15,862	15,239	9,701	5,212	2.56	63.66	53.73	84.12
	増減	△ 1	△ 130	△ 152	△ 134	△ 293	139	0.03	△ 1.35	2.97	3.93
宮城	R6	38	8,629	29,716	29,160	19,177	8,357	3.44	65.76	43.58	96.85
	R7	38	8,629	29,040	28,547	18,357	8,510	3.37	64.30	46.36	98.62
	増減	0	0	△ 676	△ 613	△ 820	153	△ 0.07	△ 1.46	2.78	1.77
関東（埼玉、千葉、東京、神奈川を除く）	R6	53	9,889	31,264	30,317	17,898	10,167	3.16	59.04	56.81	102.81
	R7	53	9,969	32,073	30,662	17,768	10,366	3.22	57.95	58.34	103.98
	増減	0	80	809	345	△ 130	199	0.06	△ 1.09	1.53	1.17
埼玉	R6	84	22,097	134,778	128,410	60,333	20,695	6.10	46.98	34.30	93.66
	R7	85	21,712	147,034	140,601	59,356	21,045	6.77	42.22	35.46	96.93
	増減	1	△ 385	12,256	12,191	△ 977	350	0.67	△ 4.76	1.16	3.27
千葉	R6	100	23,144	227,543	217,614	86,216	21,841	9.83	39.62	25.33	94.37
	R7	100	23,137	247,526	235,371	81,994	22,814	10.70	34.84	27.82	98.60
	増減	0	△ 7	19,983	17,757	△ 4,222	973	0.87	△ 4.78	2.49	4.23
東京	R6	421	157,011	1,401,663	1,328,462	479,445	161,538	8.93	36.09	33.69	102.88
	R7	428	157,002	1,518,994	1,442,404	472,155	165,935	9.67	32.73	35.14	105.69
	増減	7	△ 9	117,331	113,942	△ 7,290	4,397	0.74	△ 3.36	1.45	2.81
神奈川	R6	119	35,015	237,920	225,018	98,258	34,717	6.79	43.67	35.33	99.15
	R7	117	34,758	244,632	231,272	93,838	35,650	7.04	40.57	37.99	102.57
	増減	△ 2	△ 257	6,712	6,254	△ 4,420	933	0.25	△ 3.10	2.66	3.42
甲信越	R6	47	6,234	13,021	12,616	9,843	5,598	2.09	78.02	56.87	89.80
	R7	48	6,239	13,922	13,504	10,068	5,950	2.23	74.56	59.10	95.37
	増減	1	5	901	888	225	352	0.14	△ 3.46	2.23	5.57
北陸	R6	38	5,784	22,676	21,776	15,605	5,128	3.92	71.66	32.86	88.66
	R7	39	5,671	20,990	20,332	13,157	5,257	3.70	64.71	39.96	92.70
	増減	1	△ 113	△ 1,686	△ 1,444	△ 2,448	129	△ 0.22	△ 6.95	7.10	4.04
東海（愛知を除く）	R6	65	10,626	35,116	34,057	24,995	9,596	3.30	73.39	38.39	90.31
	R7	65	10,546	34,953	33,898	24,903	9,635	3.31	73.46	38.69	91.36
	増減	0	△ 80	△ 163	△ 159	△ 92	39	0.01	0.07	0.30	1.05
愛知	R6	166	36,520	266,849	259,746	124,864	36,141	7.31	48.07	28.94	98.96
	R7	168	36,383	285,376	277,949	123,025	37,764	7.84	44.26	30.70	103.80
	増減	2	△ 137	18,527	18,203	△ 1,839	1,623	0.53	△ 3.81	1.76	4.84
近畿（京都、大阪、兵庫を除く）	R6	38	10,276	108,101	102,948	45,672	9,508	10.52	44.36	20.82	92.53
	R7	37	9,713	93,395	89,427	41,282	9,116	9.62	46.16	22.08	93.85
	増減	△ 1	△ 563	△ 14,706	△ 13,521	△ 4,390	△ 392	△ 0.90	1.80	1.26	1.32
京都	R6	104	30,554	266,791	253,655	99,180	30,001	8.73	39.10	30.25	98.19
	R7	106	31,110	312,204	297,429	105,919	31,806	10.04	35.61	30.03	102.24
	増減	2	556	45,413	43,774	6,739	1,805	1.31	△ 3.49	△ 0.22	4.05
大阪	R6	190	50,138	494,976	473,044	170,831	50,675	9.87	36.11	29.66	101.07
	R7	194	50,368	509,828	490,762	164,914	52,680	10.12	33.60	31.94	104.59
	増減	4	230	14,852	17,718	△ 5,917	2,005	0.25	△ 2.51	2.28	3.52
兵庫	R6	113	23,342	149,708	141,133	65,993	22,239	6.41	46.76	33.70	95.27
	R7	116	23,118	168,078	157,027	65,630	22,468	7.27	41.80	34.23	97.19
	増減	3	△ 224	18,370	15,894	△ 363	229	0.86	△ 4.96	0.53	1.92
中国（広島を除く）	R6	56	8,657	18,053	17,609	13,721	6,724	2.09	77.92	49.01	77.67
	R7	58	8,598	19,192	18,716	14,031	7,006	2.23	74.97	49.93	81.48
	増減	2	△ 59	1,139	1,107	310	282	0.14	△ 2.95	0.92	3.81
広島	R6	49	9,553	44,294	43,301	29,745	8,387	4.64	68.69	28.20	87.79
	R7	49	9,693	41,903	40,898	29,698	9,085	4.32	72.61	30.59	93.73
	増減	0	140	△ 2,391	△ 2,403	△ 47	698	△ 0.32	3.92	2.39	5.94
四国	R6	31	4,840	14,089	13,650	9,925	3,766	2.91	72.71	37.94	77.81
	R7	33	4,940	15,987	15,354	10,779	4,256	3.24	70.20	39.48	86.15
	増減	2	100	1,898	1,704	854	490	0.33	△ 2.51	1.54	8.34
九州（福岡を除く）	R6	74	12,930	29,791	29,075	22,386	12,097	2.30	76.99	54.04	93.56
	R7	75	12,850	32,433	31,756	23,807	12,912	2.52	74.97	54.24	100.48
	増減	1	△ 80	2,642	2,681	1,421	815	0.22	△ 2.02	0.20	6.92
福岡	R6	78	20,543	125,866	122,235	61,027	21,327	6.13	49.93	34.95	103.82
	R7	79	20,452	135,279	131,660	59,928	21,704	6.61	45.52	36.22	106.12
	増減	1	△ 91	9,413	9,425	△ 1,099	377	0.48	△ 4.41	1.27	2.30
全国計	R6	1,970	503,869	3,704,472	3,534,534	1,490,671	494,732	7.35	42.17	33.19	98.19
	R7	1,994	502,755	3,956,823	3,780,031	1,465,691	510,839	7.87	38.77	34.85	101.61
	増減	24	△ 1,114	252,351	245,497	△ 24,980	16,107	0.52	△ 3.40	1.66	3.42

4．学部系統別の動向（大学）

全学部を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（学部系統区分については、27ページを参照）。

系統区分	年度	集計学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	R6	31	4,243	113,753	105,149	9,769	4,261	26.81	9.29	43.62	100.42
	R7	31	4,240	114,690	106,968	9,616	4,313	27.05	8.99	44.85	101.72
	増減	0	△ 3	937	1,819	△ 153	52	0.24	△ 0.30	1.23	1.30
歯学	R6	17	1,995	7,982	7,286	3,795	1,525	4.00	52.09	40.18	76.44
	R7	17	1,941	8,752	8,005	3,822	1,682	4.51	47.75	44.01	86.66
	増減	0	△ 54	770	719	27	157	0.51	△ 4.34	3.83	10.22
薬学	R6	62	11,416	71,663	67,239	31,993	10,304	6.28	47.58	32.21	90.26
	R7	62	11,296	70,658	66,325	31,454	10,336	6.26	47.42	32.86	91.50
	増減	0	△ 120	△ 1,005	△ 914	△ 539	32	△ 0.02	△ 0.16	0.65	1.24
保健系	R6	279	41,435	153,563	147,498	78,278	37,724	3.71	53.07	48.19	91.04
	R7	282	41,149	155,751	150,120	76,538	38,843	3.79	50.98	50.75	94.40
	増減	3	△ 286	2,188	2,622	△ 1,740	1,119	0.08	△ 2.09	2.56	3.36
理・工学系	R6	171	60,725	753,291	718,490	298,211	60,355	12.40	41.51	20.24	99.39
	R7	177	60,799	789,449	752,452	290,109	62,206	12.98	38.56	21.44	102.31
	増減	6	74	36,158	33,962	△ 8,102	1,851	0.58	△ 2.95	1.20	2.92
農学系	R6	25	8,890	86,942	82,152	31,883	9,028	9.78	38.81	28.32	101.55
	R7	26	8,980	90,778	85,774	31,524	9,335	10.11	36.75	29.61	103.95
	増減	1	90	3,836	3,622	△ 359	307	0.33	△ 2.06	1.29	2.40
人文科学系	R6	252	68,939	486,536	466,736	209,250	66,156	7.06	44.83	31.62	95.96
	R7	256	68,524	527,673	505,799	207,102	69,746	7.70	40.95	33.68	101.78
	増減	4	△ 415	41,137	39,063	△ 2,148	3,590	0.64	△ 3.88	2.06	5.82
社会科学系	R6	541	174,396	1,337,215	1,277,365	516,640	178,743	7.67	40.45	34.60	102.49
	R7	547	174,989	1,466,701	1,404,361	509,709	184,723	8.38	36.29	36.24	105.56
	増減	6	593	129,486	126,996	△ 6,931	5,980	0.71	△ 4.16	1.64	3.07
家政学	R6	82	15,084	41,015	38,585	24,687	12,662	2.72	63.98	51.29	83.94
	R7	83	14,529	43,980	41,673	25,574	12,433	3.03	61.37	48.62	85.57
	増減	1	△ 555	2,965	3,088	887	△ 229	0.31	△ 2.61	△ 2.67	1.63
教育学	R6	116	18,993	90,083	85,892	42,527	17,406	4.74	49.51	40.93	91.64
	R7	119	18,895	96,256	92,091	42,665	17,998	5.09	46.33	42.18	95.25
	増減	3	△ 98	6,173	6,199	138	592	0.35	△ 3.18	1.25	3.61
体育学	R6	10	4,670	9,417	9,121	6,129	4,579	2.02	67.20	74.71	98.05
	R7	10	4,670	10,029	9,783	5,677	4,713	2.15	58.03	83.02	100.92
	増減	0	0	612	662	△ 452	134	0.13	△ 9.17	8.31	2.87
芸術系	R6	56	14,500	63,312	60,393	24,222	15,191	4.37	40.11	62.72	104.77
	R7	55	14,476	64,259	61,416	24,123	15,365	4.44	39.28	63.69	106.14
	増減	△ 1	△ 24	947	1,023	△ 99	174	0.07	△ 0.83	0.97	1.37
その他	R6	328	78,583	489,700	468,628	213,287	76,798	6.23	45.51	36.01	97.73
	R7	329	78,267	517,847	495,264	207,778	79,146	6.62	41.95	38.09	101.12
	増減	1	△ 316	28,147	26,636	△ 5,509	2,348	0.39	△ 3.56	2.08	3.39
合　計	R6	1,970	503,869	3,704,472	3,534,534	1,490,671	494,732	7.35	42.17	33.19	98.19
	R7	1,994	502,755	3,956,823	3,780,031	1,465,691	510,839	7.87	38.77	34.85	101.61
	増減	24	△ 1,114	252,351	245,497	△ 24,980	16,107	0.52	△ 3.40	1.66	3.42

５．主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

学部名称の表記は、集計数３以上の学部とし、集計数２以下は「その他」とした。

系統区分	集計学部数			入学定員（人）			志願者数（人）			入学者数（人）			入学定員充足率（%）		
学部名	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減
医学	31	31	0	4,243	4,240	△ 3	113,753	114,690	937	4,261	4,313	52	100.42	101.72	1.30
歯学	17	17	0	1,995	1,941	△ 54	7,982	8,752	770	1,525	1,682	157	76.44	86.66	10.22
薬学	62	62	0	11,416	11,296	△ 120	71,663	70,658	△ 1,005	10,304	10,336	32	90.26	91.50	1.24
保健系	279	282	3	41,435	41,149	△ 286	153,563	155,751	2,188	37,724	38,843	1,119	91.04	94.40	3.36
看護学部	115	119	4	10,455	10,793	338	43,923	45,537	1,614	9,782	10,351	569	93.56	95.90	2.34
保健医療学部	35	35	0	6,954	6,870	△ 84	21,081	21,579	498	6,193	6,351	158	89.06	92.45	3.39
リハビリテーション学部	18	18	0	2,065	2,035	△ 30	5,350	5,735	385	1,842	1,951	109	89.20	95.87	6.67
医療技術学部	8	8	0	2,185	2,185	0	12,012	11,963	△ 49	2,180	2,282	102	99.77	104.44	4.67
医療保健学部	8	8	0	1,895	1,780	△ 115	5,722	5,212	△ 510	1,608	1,497	△ 111	84.85	84.10	△ 0.75
栄養学部	7	7	0	1,337	1,277	△ 60	3,323	2,750	△ 573	1,102	1,156	54	82.42	90.52	8.10
医療科学部	7	7	0	1,140	1,150	10	5,113	5,456	343	1,097	1,176	79	96.23	102.26	6.03
医療学部	5	5	0	550	535	△ 15	1,687	1,438	△ 249	497	469	△ 28	90.36	87.66	△ 2.70
保健科学部	4	4	0	910	825	△ 85	2,553	2,288	△ 265	991	956	△ 35	108.90	115.88	6.98
リハビリテーション学部（専門職）	4	4	0	510	510	0	455	393	△ 62	351	332	△ 19	68.82	65.10	△ 3.72
看護福祉学部	3	3	0	600	600	0	2,028	2,188	160	541	565	24	90.17	94.17	4.00
医療福祉学部	3	3	0	716	716	0	814	785	△ 29	414	399	△ 15	57.82	55.73	△ 2.09
健康医療科学部	3	3	0	550	525	△ 25	2,864	4,048	1,184	486	535	49	88.36	101.90	13.54
看護栄養学部	3	3	0	455	455	0	1,102	1,245	143	446	470	24	98.02	103.30	5.28
保健看護学部	3	3	0	370	370	0	1,589	1,786	197	420	397	△ 23	113.51	107.30	△ 6.21
ヒューマンケア学部	3	3	0	657	657	0	3,440	3,428	△ 12	580	657	77	88.28	100.00	11.72
総合リハビリテーション学部	3	3	0	500	500	0	2,379	2,528	149	512	517	5	102.40	103.40	1.00
その他	47	46	△ 1	9,586	9,366	△ 220	38,128	37,392	△ 736	8,682	8,782	100	90.57	93.76	3.19
理・工学系	171	177	6	60,725	60,799	74	753,291	789,449	36,158	60,355	62,206	1,851	99.39	102.31	2.92
工学部	52	52	0	21,045	20,190	△ 855	223,592	224,362	770	20,185	19,726	△ 459	95.91	97.70	1.79
理工学部	29	31	2	16,777	17,222	445	234,724	248,821	14,097	16,954	17,658	704	101.06	102.53	1.47
理学部	14	14	0	4,104	4,054	△ 50	44,775	47,828	3,053	4,077	4,279	202	99.34	105.55	6.21
建築学部	12	13	1	2,342	2,472	130	29,747	33,522	3,775	2,502	2,806	304	106.83	113.51	6.68
生命科学部	9	9	0	2,155	2,225	70	30,025	33,506	3,481	2,249	2,390	141	104.36	107.42	3.06
データサイエンス学部	4	5	1	505	595	90	2,901	3,048	147	449	580	131	88.91	97.48	8.57
情報工学部	4	4	0	860	860	0	13,450	14,007	557	860	917	57	100.00	106.63	6.63
情報科学部	3	4	1	820	920	100	10,119	10,766	647	843	1,029	186	102.80	111.85	9.05
デザイン工学部	4	3	△ 1	1,089	783	△ 306	15,877	12,470	△ 3,407	1,123	897	△ 226	103.12	114.56	11.44
環境学部	3	3	0	440	560	120	3,394	3,684	290	464	512	48	105.45	91.43	△ 14.02
その他	37	39	2	10,588	10,918	330	144,687	157,435	12,748	10,649	11,412	763	100.58	104.52	3.94
農学系	25	26	1	8,890	8,980	90	86,942	90,778	3,836	9,028	9,335	307	101.55	103.95	2.40
農学部	10	10	0	3,636	3,636	0	50,836	51,559	723	3,619	3,765	146	99.53	103.55	4.02
獣医学部	4	4	0	1,010	1,020	10	13,930	14,488	558	1,096	1,132	36	108.51	110.98	2.47
その他	11	12	1	4,244	4,324	80	22,176	24,731	2,555	4,313	4,438	125	101.63	102.64	1.01
人文科学系	252	256	4	68,939	68,524	△ 415	486,536	527,673	41,137	66,156	69,746	3,590	95.96	101.78	5.82
文学部	82	80	△ 2	32,198	30,955	△ 1,243	260,689	281,653	20,964	31,180	31,397	217	96.84	101.43	4.59
人文学部	32	33	1	6,945	6,995	50	36,258	38,878	2,620	6,610	7,123	513	95.18	101.83	6.65
心理学部	26	28	2	3,884	4,054	170	31,032	33,073	2,041	4,119	4,389	270	106.05	108.26	2.21
外国語学部	28	27	△ 1	9,728	9,498	△ 230	60,509	65,226	4,717	9,429	10,227	798	96.93	107.68	10.75
国際文化学部	13	13	0	2,151	2,084	△ 67	11,014	11,333	319	1,833	2,018	185	85.22	96.83	11.61
人間学部	10	10	0	2,280	2,188	△ 92	6,055	6,725	670	1,676	1,772	96	73.51	80.99	7.48
神学部	6	6	0	191	191	0	1,098	1,030	△ 68	179	179	0	93.72	93.72	0.00
仏教学部	5	5	0	493	493	0	1,757	1,999	242	446	476	30	90.47	96.55	6.08
人間関係学部	5	5	0	1,035	1,035	0	2,482	2,556	74	925	1,043	118	89.37	100.77	11.40
グローバル・コミュニケーション学部（群）	5	5	0	858	878	20	4,264	4,616	352	763	894	131	88.93	101.82	12.89
総合心理学部	4	4	0	630	630	0	6,679	6,558	△ 121	661	656	△ 5	104.92	104.13	△ 0.79
文芸学部	3	3	0	1,240	1,240	0	20,719	20,768	49	1,352	1,463	111	109.03	117.98	8.95
臨床心理学部	3	3	0	300	300	0	1,416	1,407	△ 9	257	339	82	85.67	113.00	27.33
その他	30	34	4	7,006	7,983	977	42,564	51,851	9,287	6,726	7,770	1,044	96.00	97.33	1.33
社会科学系	541	547	6	174,396	174,989	593	1,337,215	1,466,701	129,486	178,743	184,723	5,980	102.49	105.56	3.07
経営学部	93	93	0	28,939	28,995	56	248,296	271,988	23,692	30,715	31,737	1,022	106.14	109.46	3.32
経済学部	89	89	0	38,731	38,771	40	342,340	377,772	35,432	41,029	41,836	807	105.93	107.91	1.98
法学部	79	78	△ 1	30,962	30,802	△ 160	234,672	264,789	30,117	31,299	32,631	1,332	101.09	105.94	4.85
商学部	29	29	0	14,251	14,231	△ 20	111,355	120,193	8,838	14,914	14,761	△ 153	104.65	103.72	△ 0.93
社会学部	27	28	1	8,499	8,476	△ 23	92,969	103,821	10,852	8,547	8,990	443	100.56	106.06	5.50
社会福祉学部	19	19	0	3,290	3,320	30	6,851	8,350	1,499	3,157	3,067	△ 90	95.96	92.38	△ 3.58
情報学部	14	15	1	3,380	3,600	220	35,746	34,397	△ 1,349	3,554	3,989	435	105.15	110.81	5.66
総合政策学部	13	14	1	2,950	3,310	360	20,912	23,871	2,959	2,907	3,377	470	98.54	102.02	3.48
現代社会学部	13	13	0	2,953	2,903	△ 50	19,242	20,134	892	2,946	2,949	3	99.76	101.58	1.82
人間社会学部	12	12	0	3,224	3,340	116	9,969	11,997	2,028	3,102	3,391	289	96.22	101.53	5.31

※次のページに続く

系統区分	集計学部数			入学定員(人)			志願者数(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
学部名	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減	R6年度	R7年度	増減
経営情報学部	10	10	0	2,047	2,047	0	5,096	5,247	151	1,993	2,023	30	97.36	98.83	1.47
経済経営学部	10	10	0	2,240	2,240	0	4,631	4,394	△ 237	1,973	2,011	38	88.08	89.78	1.70
観光学部	7	7	0	1,190	1,190	0	6,144	6,933	789	1,022	1,115	93	85.88	93.70	7.82
政治経済学部	5	5	0	2,870	2,840	△ 30	27,077	31,276	4,199	3,031	2,975	△ 56	105.61	104.75	△ 0.86
現代ビジネス学部	5	5	0	995	975	△ 20	1,672	1,702	30	936	1,000	64	94.07	102.56	8.49
人間福祉学部	4	4	0	630	630	0	2,617	3,268	651	577	573	△ 4	91.59	90.95	△ 0.64
国際経営学部	4	4	0	1,210	1,210	0	6,132	6,802	670	1,414	1,193	△ 221	116.86	98.60	△ 18.26
総合経営学部	4	4	0	940	940	0	1,805	1,807	2	1,095	1,107	12	116.49	117.77	1.28
社会情報学部	3	3	0	700	700	0	4,561	4,502	△ 59	735	778	43	105.00	111.14	6.14
総合福祉学部	3	3	0	1,190	1,220	30	2,967	3,387	420	1,002	1,208	206	84.20	99.02	14.82
総合社会学部	3	3	0	850	850	0	18,943	19,755	812	885	973	88	104.12	114.47	10.35
国際観光学部	3	3	0	526	526	0	5,111	6,336	1,225	531	536	5	100.95	101.90	0.95
経営経済学部	3	3	0	730	730	0	1,118	1,243	125	663	772	109	90.82	105.75	14.93
その他	89	93	4	21,099	21,143	44	126,989	132,737	5,748	20,716	21,731	1,015	98.18	102.78	4.60
家政学	82	83	1	15,084	14,529	△ 555	41,015	43,980	2,965	12,662	12,433	△ 229	83.94	85.57	1.63
家政学部	15	14	△ 1	3,683	3,385	△ 298	10,250	8,760	△ 1,490	3,205	3,074	△ 131	87.02	90.81	3.79
健康栄養学部（群）	12	12	0	1,190	1,100	△ 90	1,902	1,896	△ 6	919	918	△ 1	77.23	83.45	6.22
生活科学部	8	8	0	1,667	1,587	△ 80	5,132	7,541	2,409	1,598	1,556	△ 42	95.86	98.05	2.19
人間健康学部	7	7	0	1,225	1,231	6	5,770	5,878	108	1,164	1,263	99	95.02	102.60	7.58
人間生活学部	8	6	△ 2	1,780	1,460	△ 320	2,371	1,881	△ 490	1,175	998	△ 177	66.01	68.36	2.35
現代生活学部	4	4	0	780	510	△ 270	593	418	△ 175	374	303	△ 71	47.95	59.41	11.46
栄養科学部	3	3	0	560	560	0	1,348	1,219	△ 129	554	526	△ 28	98.93	93.93	△ 5.00
その他	25	29	4	4,199	4,696	497	13,649	16,387	2,738	3,673	3,795	122	87.47	80.81	△ 6.66
教育学	116	119	3	18,993	18,895	△ 98	90,083	96,256	6,173	17,406	17,998	592	91.64	95.25	3.61
教育学部	60	61	1	11,182	11,234	52	69,227	72,612	3,385	10,995	11,477	482	98.33	102.16	3.83
子ども（こども）教育学部	11	14	3	943	1,161	218	834	1,039	205	550	723	173	58.32	62.27	3.95
子ども学部	6	6	0	780	730	△ 50	971	896	△ 75	579	593	14	74.23	81.23	7.00
こども学部	3	4	1	265	345	80	238	346	108	182	225	43	68.68	65.22	△ 3.46
人間教育学部	4	3	△ 1	585	505	△ 80	1,620	2,259	639	473	478	5	80.85	94.65	13.80
人間発達学部	3	3	0	320	320	0	417	335	△ 82	183	198	15	57.19	61.88	4.69
発達教育学部	3	3	0	475	435	△ 40	1,761	2,012	251	420	407	△ 13	88.42	93.56	5.14
児童教育学部	3	3	0	390	280	△ 110	898	901	3	283	277	△ 6	72.56	98.93	26.37
その他	23	22	△ 1	4,053	3,885	△ 168	14,117	15,856	1,739	3,741	3,620	△ 121	92.30	93.18	0.88
体育学	10	10	0	4,670	4,670	0	9,417	10,029	612	4,579	4,713	134	98.05	100.92	2.87
芸術系	56	55	△ 1	14,500	14,476	△ 24	63,312	64,259	947	15,191	15,365	174	104.77	106.14	1.37
芸術学部	19	19	0	7,002	7,075	73	31,931	32,088	157	7,626	7,719	93	108.91	109.10	0.19
音楽学部	18	17	△ 1	2,945	2,810	△ 135	3,742	3,987	245	2,654	2,821	167	90.12	100.39	10.27
造形学部	6	6	0	1,958	1,958	0	12,893	13,189	296	2,124	2,069	△ 55	108.48	105.67	△ 2.81
美術学部	5	5	0	1,432	1,452	20	9,699	9,938	239	1,566	1,553	△ 13	109.36	106.96	△ 2.40
デザイン学部	4	4	0	716	734	18	3,277	3,039	△ 238	760	733	△ 27	106.15	99.86	△ 6.29
その他	4	4	0	447	447	0	1,770	2,018	248	461	470	9	103.13	105.15	2.02
その他	328	329	1	78,583	78,267	△ 316	489,700	517,847	28,147	76,798	79,146	2,348	97.73	101.12	3.39
国際学部	33	33	0	6,828	6,768	△ 60	46,410	50,035	3,625	6,547	6,848	301	95.88	101.18	5.30
人間科学部	31	30	△ 1	7,158	6,733	△ 425	37,832	35,622	△ 2,210	6,607	6,511	△ 96	92.30	96.70	4.40
健康科学部	24	24	0	4,621	4,531	△ 90	19,658	19,770	112	4,145	4,227	82	89.70	93.29	3.59
国際教養学部	13	12	△ 1	2,246	2,171	△ 75	12,312	13,704	1,392	2,250	2,264	14	100.18	104.28	4.10
スポーツ科学部	11	11	0	3,375	3,335	△ 40	11,980	13,124	1,144	3,710	3,683	△ 27	109.93	110.43	0.50
国際関係学部	7	7	0	2,196	2,196	0	12,263	13,458	1,195	2,275	2,295	20	103.60	104.51	0.91
スポーツ健康科学部	7	7	0	1,726	1,726	0	10,133	10,716	583	1,863	1,896	33	107.94	109.85	1.91
学芸学部	6	6	0	2,190	2,160	△ 30	6,588	6,106	△ 482	2,006	2,010	4	91.60	93.06	1.46
総合情報学部	6	6	0	1,761	1,776	15	10,173	11,291	1,118	1,837	1,937	100	104.32	109.07	4.75
健康福祉学部	6	6	0	905	895	△ 10	1,781	1,509	△ 272	716	740	24	79.12	82.68	3.56
人間文化学部	5	5	0	745	725	△ 20	1,909	1,927	18	614	601	△ 13	82.42	82.90	0.48
情報理工学部	4	5	1	1,145	1,465	320	14,988	16,169	1,181	1,171	1,436	265	102.27	98.02	△ 4.25
国際コミュニケーション学部	5	4	△ 1	846	691	△ 155	7,048	6,860	△ 188	871	639	△ 232	102.96	92.47	△ 10.49
スポーツ健康学部	4	4	0	570	600	30	4,722	3,943	△ 779	646	688	42	113.33	114.67	1.34
先進工学部	4	4	0	1,620	1,620	0	37,285	42,168	4,883	1,772	1,712	△ 60	109.38	105.68	△ 3.70
メディア学部	3	3	0	800	800	0	3,292	3,089	△ 203	839	803	△ 36	104.88	100.38	△ 4.50
情報メディア学部	3	3	0	390	390	0	702	794	92	373	408	35	95.64	104.62	8.98
現代教養学部	3	3	0	1,450	1,380	△ 70	8,874	7,660	△ 1,214	1,508	1,560	52	104.00	113.04	9.04
国際日本学部	3	3	0	860	860	0	9,970	11,841	1,871	843	984	141	98.02	114.42	16.40
心理（・）福祉学部	3	3	0	460	450	△ 10	1,041	997	△ 44	408	399	△ 9	88.70	88.67	△ 0.03
建築（・）デザイン学部	3	3	0	350	350	0	2,217	1,639	△ 578	385	370	△ 15	110.00	105.71	△ 4.29
その他	144	147	3	36,341	36,645	304	228,522	245,425	16,903	35,412	37,135	1,723	97.44	101.34	3.90
合計	1,970	1,994	24	503,869	502,755	△ 1,114	3,704,472	3,956,823	252,351	494,732	510,839	16,107	98.19	101.61	3.42

学部系統区分	
医学	医
歯学	歯/生命歯/口腔歯
薬学	薬/薬科
保健系	看護/保健医療/リハビリテーション/医療技術/医療保健/栄養/医療科/医療/保健科/リハビリテーション（専門職）/看護福祉/医療福祉/健康医療科/看護栄養/保健看護/ヒューマンケア/総合リハビリテーション/保健/保健衛生/保健福祉/医療健康/看護医療/看護リハビリテーション/保健医療技術/健康医療/国際看護/医療健康科/鍼灸/医療衛生/産業保健/健康メディカル/医療看護/医療福祉マネジメント/健康福祉学群/リハビリテーション科/医療情報/看護保健/健康医療スポーツ/医療保健科/看護福祉リハビリテーション
理・工学系	工/理工/理/建築/生命科/データサイエンス/情報工/情報科/デザイン工/環境/医用工/応用生命科/生産工/芸術工/生物理工/フロンティアサイエンス/環境都市工/技能工芸/産業理工/化学生命工/創造理工/創造工/ソフトウェア情報/バイオサイエンス/バイオ・化/コンピュータサイエンス/情報通信工/情報通信/生物生命/未来科/生物/システムデザイン工/ロボティクス＆デザイン工/建築都市工/基幹工/航空工/情報経営イノベーション（専門職）/先端理工/建築都市/未来工/化学生命/情報変革科/未来変革科/システム工/航空学群/空間デザイン/建築・環境デザイン/航空・マネジメント学群/電気自動車システム工（専門職）
農学系	農/獣医/生命環境/海洋/生物産業/生物資源科/海洋生命科/獣医学群/農食環境学群/動物看護/食料産業/フードサービスマネジメント（専門職）
人文科学系	文/人文/心理/外国語/国際文化/人間/神/仏教/人間関係/グローバル・コミュニケーション（群）/総合心理/文芸/臨床心理/グローバル教養/現代文化/人文科/心理科/国際言語文化/比較文化/文化/神道文化/こども心理/国際人文/国際英語/国際・英語/表象文化/現代心理/言語コミュニケーション/異文化コミュニケーション/文化構想/心理こども/歴史/英語キャリア/グローバル地域文化/英語国際/文化社会/教育人文/教育・心理/日本文化/共創文化/人文社会科/総合文化/子ども未来
社会科学系	経営/経済/法/商/社会/社会福祉/情報/総合政策/現代社会/人間社会/経営情報/経済経営/観光/政治経済/現代ビジネス/人間福祉/国際経営/総合経営/社会情報/総合福祉/総合社会/国際観光/経営経済/社会科/政経/国際政治経済/環境情報/経営法/社会環境/マネジメント/国際社会/政策/ビジネス/情報社会/地域創生/情報マネジメント/地域共創/環境デザイン/産業社会/商経/経済情報/流通科/コミュニケーション/流通情報/経済科/現代法/現代日本社会/現代福祉/福祉社会/生涯福祉/２１世紀アジア/コミュニティ福祉/現代経営/コミュニティ政策/シティライフ/ビジネス情報/マネジメント創造/都市生活/サービス経営/福祉/ビジネスデザイン/公益/現代マネジメント/観光ビジネス/アジア太平洋/知的財産/産業情報/地域政策/ネットワーク情報/社会イノベーション/福祉総合/ビジネスマネジメント学群/グローバルビジネス/地球社会共生/観光コミュニティ/地域創造/国際社会科/情報連携/地域経営/公共/国際コミュニティ/メディアビジネス/社会情報デザイン/経法商/事業創造（専門職）/情報（専門職）/アントレプレナーシップ/観光まちづくり/地域総合/福祉社会デザイン/人間社会科/サステイナビリティ観光/グローバルビジネス（専門職）/共創社会/総合経済/観光文化/共生まちづくり/国際経済経営/グローバルマネジメント/健康社会/地球市民/人間健康福祉/総合マネジメント/現代コミュニケーション/政策情報/都市創造
家政学	家政/健康栄養（群）/生活科/人間健康/人間生活/現代生活/栄養科/生活環境/食文化/健康生活/食物栄養科/管理栄養/人間栄養/食環境（科）/食健康科/健康プロデュース/服装/食物栄養/健康管理/服飾/人間生活科/生活創造/医療栄養/生活創生/生活共創/デジタル生活/食科
教育学	教育/子ども（こども）教育/子ども/こども/人間教育/人間発達/発達教育/児童教育/児童/健康（・）スポーツ科/保育/児童保育/発達科/子ども生活/子ども育成/人間開発/次世代教育/臨床教育/現代教育/学校教師/児童スポーツ教育/教育文化/保育児童/心理・教育学群/子ども支援/国際教育/心理共生/教育保育/国際こども教育
体育学	体育/スポーツプロモーション
芸術系	芸術/音楽/造形/美術/デザイン/映画/東京メディア芸術/造形構想/アニメーション/アニメーション文化
その他	国際/人間科/健康科/国際教養/スポーツ科/国際関係/スポーツ健康科/学芸/総合情報/健康福祉/人間文化/情報理工/国際コミュニケーション/スポーツ健康/先進工/メディア/情報メディア/現代教養/国際日本/心理（・）福祉/建築（・）デザイン/メディア情報/情報デザイン/教養/国際情報/表現/生命医科/システム理工/人間環境/人文社会（群）/現代人間/教育人間科/スポーツ/危機管理/リベラルアーツ/応用生物/スポーツマネジメント/健康スポーツ/健康科（専門職）/グローバル/ウェルビーイング/総合人間/応用生物科/国際食料情報/地域環境科/地球環境科/国際地域/現代中国/文理/不動産/文化情報/政策科/都市情報/総合文化/ホスピタリティ・ツーリズム/メディア造形/基幹理工/国際文化交流/生命工/生命・環境科/先進理工/環境園芸/総合人間科/知能情報/教育福祉/メディアコミュニケーション/経営教育/キャリアデザイン/政策創造/情報数理/情報コミュニケーション/経営文化/文化創造/文化表現/医療経営管理/芸術情報/交流文化/人間情報/社会安全/キャリア形成/応用心理/生涯スポーツ/映像/人間総合/未来デザイン/感性デザイン/マンガ/リベラルアーツ学群/グローバル・メディア・スタディーズ/グローバルスタディーズ/福祉健康/現代政策/現代国際/総合文化政策/生命健康科/バイオ環境/サービス創造/ライフデザイン/スポーツ・健康科/スポーツ人間/福祉貢献/モチベーション行動科/コミュニケーション文化/生物地球/地域共創学群/総合数理/建築・環境/観光メディア文化/芸術文化学群/総合グローバル/国際キャリア/国際リベラルアーツ/人間社会学群/人間共生/創造表現/スポーツ文化/赤坂心理・医療福祉マネジメント/健康/国際貢献/食マネジメント/地域マネジメント/コミュニティ人間科/世界教養/建築都市デザイン/アニメ・マンガ（専門職）/メディア表現/建築＆芸術/グローバル・リベラルアーツ/文理融合/環境科/デザイン・データ科/健康データサイエンス/創域理工/教育探究科学群/スポーツウエルネス/福祉心理子ども/国際共生/心理・社会福祉/ビューティ＆ウェルネス（専門職）/情報デザイン（専門職）/国際共創/健康情報/ビジネスデータサイエンス/環境共生/健康スポーツ教育/総合環境/国際交流/英語情報マネジメント/情報フロンティア/生命/世界共生/人間総合学群

※令和６年度及び７年度の集計学部を『今日の私学財政』と同様に区分した。

令和6（2024）年度

私立大学・短期大学等
入学志願動向

日本私立学校振興・共済事業団

3　地域別の動向（大学・学部別）

全国を21の地域に区分した。集計は学部所在地ごととした。

地域区分	年度	集計学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
北海道	R5	60	11,681	37,229	36,278	24,674	11,547	3.19	68.01	46.80	98.85
	R6	61	11,761	36,243	35,335	25,563	11,157	3.08	72.34	43.65	94.86
	増減	1	80	△ 986	△ 943	889	△ 390	△ 0.11	4.33	△ 3.15	△ 3.99
東北（宮城を除く）	R5	45	6,376	17,459	16,774	11,143	5,471	2.74	66.43	49.10	85.81
	R6	45	6,326	16,014	15,373	9,994	5,073	2.53	65.01	50.76	80.19
	増減	0	△ 50	△ 1,445	△ 1,401	△ 1,149	△ 398	△ 0.21	△ 1.42	1.66	△ 5.62
宮城	R5	36	8,439	30,572	29,988	18,916	8,299	3.62	63.08	43.87	98.34
	R6	38	8,629	29,716	29,160	19,177	8,357	3.44	65.76	43.58	96.85
	増減	2	190	△ 856	△ 828	261	58	△ 0.18	2.68	△ 0.29	△ 1.49
関東（埼玉、千葉、東京、神奈川を除く）	R5	55	10,179	35,666	34,584	19,311	9,917	3.50	55.84	51.35	97.43
	R6	53	9,889	31,264	30,317	17,898	10,167	3.16	59.04	56.81	102.81
	増減	△ 2	△ 290	△ 4,402	△ 4,267	△ 1,413	250	△ 0.34	3.20	5.46	5.38
埼玉	R5	85	22,742	128,914	123,018	62,776	22,294	5.67	51.03	35.51	98.03
	R6	84	22,097	134,776	128,408	60,331	20,693	6.10	46.98	34.30	93.65
	増減	△ 1	△ 645	5,862	5,390	△ 2,445	△ 1,601	0.43	△ 4.05	△ 1.21	△ 4.38
千葉	R5	96	22,858	232,628	222,040	88,451	22,266	10.18	39.84	25.17	97.41
	R6	100	23,144	227,543	217,614	86,216	21,841	9.83	39.62	25.33	94.37
	増減	4	286	△ 5,085	△ 4,426	△ 2,235	△ 425	△ 0.35	△ 0.22	0.16	△ 3.04
東京	R5	419	156,483	1,386,596	1,316,359	477,658	162,075	8.86	36.29	33.93	103.57
	R6	421	157,011	1,401,663	1,328,462	479,472	161,538	8.93	36.09	33.69	102.88
	増減	2	528	15,067	12,103	1,814	△ 537	0.07	△ 0.20	△ 0.24	△ 0.69
神奈川	R5	120	34,775	243,813	231,197	104,007	35,469	7.01	44.99	34.10	102.00
	R6	119	35,015	237,920	225,018	98,258	34,717	6.79	43.67	35.33	99.15
	増減	△ 1	240	△ 5,893	△ 6,179	△ 5,749	△ 752	△ 0.22	△ 1.32	1.23	△ 2.85
甲信越	R5	46	5,994	14,222	13,891	10,348	5,700	2.37	74.49	55.08	95.10
	R6	47	6,234	13,021	12,616	9,843	5,598	2.09	78.02	56.87	89.80
	増減	1	240	△ 1,201	△ 1,275	△ 505	△ 102	△ 0.28	3.53	1.79	△ 5.30
北陸	R5	37	5,724	23,354	22,441	15,475	5,302	4.08	68.96	34.26	92.63
	R6	38	5,784	22,676	21,776	15,605	5,128	3.92	71.66	32.86	88.66
	増減	1	60	△ 678	△ 665	130	△ 174	△ 0.16	2.70	△ 1.40	△ 3.97
東海（愛知を除く）	R5	65	10,596	37,509	36,173	25,692	9,505	3.54	71.03	37.00	89.70
	R6	65	10,626	35,118	34,059	24,997	9,598	3.30	73.39	38.40	90.33
	増減	0	30	△ 2,391	△ 2,114	△ 695	93	△ 0.24	2.36	1.40	0.63
愛知	R5	163	36,479	262,918	256,088	123,172	37,101	7.21	48.10	30.12	101.71
	R6	166	36,520	266,849	259,746	124,864	36,141	7.31	48.07	28.94	98.96
	増減	3	41	3,931	3,658	1,692	△ 960	0.10	△ 0.03	△ 1.18	△ 2.75
近畿（京都、大阪、兵庫を除く）	R5	41	10,816	111,386	105,432	48,239	10,521	10.30	45.75	21.81	97.27
	R6	38	10,276	108,101	102,948	45,672	9,508	10.52	44.36	20.82	92.53
	増減	△ 3	△ 540	△ 3,285	△ 2,484	△ 2,567	△ 1,013	0.22	△ 1.39	△ 0.99	△ 4.74
京都	R5	103	30,692	284,259	269,751	101,590	30,670	9.26	37.66	30.19	99.93
	R6	104	30,554	266,791	253,655	99,180	30,001	8.73	39.10	30.25	98.19
	増減	1	△ 138	△ 17,468	△ 16,096	△ 2,410	△ 669	△ 0.53	1.44	0.06	△ 1.74
大阪	R5	184	49,150	487,248	465,528	162,704	49,961	9.91	34.95	30.71	101.65
	R6	190	50,138	494,976	473,044	170,831	50,673	9.87	36.11	29.66	101.07
	増減	6	988	7,728	7,516	8,127	712	△ 0.04	1.16	△ 1.05	△ 0.58
兵庫	R5	111	23,682	140,173	132,455	65,212	22,216	5.92	49.23	34.07	93.81
	R6	113	23,342	149,708	141,133	65,993	22,239	6.41	46.76	33.70	95.27
	増減	2	△ 340	9,535	8,678	781	23	0.49	△ 2.47	△ 0.37	1.46
中国（広島を除く）	R5	54	8,477	20,714	20,187	15,207	6,859	2.44	75.33	45.10	80.91
	R6	56	8,667	18,053	17,609	13,721	6,724	2.08	77.92	49.01	77.58
	増減	2	190	△ 2,661	△ 2,578	△ 1,486	△ 135	△ 0.36	2.59	3.91	△ 3.33
広島	R5	49	9,558	42,407	41,093	27,178	8,869	4.44	66.14	32.63	92.79
	R6	49	9,553	44,293	43,301	29,745	8,387	4.64	68.69	28.20	87.79
	増減	0	△ 5	1,886	2,208	2,567	△ 482	0.20	2.55	△ 4.43	△ 5.00
四国	R5	29	4,715	14,373	13,927	9,878	4,065	3.05	70.93	41.15	86.21
	R6	31	4,835	14,089	13,650	9,925	3,766	2.91	72.71	37.94	77.89
	増減	2	120	△ 284	△ 277	47	△ 299	△ 0.14	1.78	△ 3.21	△ 8.32
九州（福岡を除く）	R5	74	12,835	31,433	30,922	22,786	12,158	2.45	73.69	53.36	94.73
	R6	74	12,930	29,791	29,075	22,386	12,097	2.30	76.99	54.04	93.56
	増減	0	95	△ 1,642	△ 1,847	△ 400	△ 61	△ 0.15	3.30	0.68	△ 1.17
福岡	R5	78	20,384	129,928	125,682	59,607	20,334	6.37	47.43	34.11	99.75
	R6	78	20,543	125,866	122,235	61,009	21,327	6.13	49.91	34.96	103.82
	増減	0	159	△ 4,062	△ 3,447	1,402	993	△ 0.24	2.48	0.85	4.07
全国計	R5	1,950	502,635	3,712,801	3,543,808	1,494,024	500,599	7.39	42.16	33.51	99.59
	R6	1,970	503,874	3,704,471	3,534,534	1,490,680	494,730	7.35	42.17	33.19	98.19
	増減	20	1,239	△ 8,330	△ 9,274	△ 3,344	△ 5,869	△ 0.04	0.01	△ 0.32	△ 1.40

４．学部系統別の動向（大学）

全学部を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（学部系統区分については、27ページを参照）。

系統区分	年度	集計学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	R5	31	4,153	102,449	94,948	9,455	4,171	24.67	9.96	44.11	100.43
	R6	31	4,243	113,753	105,149	9,751	4,261	26.81	9.27	43.70	100.42
	増減	0	90	11,304	10,201	296	90	2.14	△ 0.69	△ 0.41	△ 0.01
歯学	R5	17	1,995	7,423	6,811	3,875	1,566	3.72	56.89	40.41	78.50
	R6	17	1,995	7,982	7,286	3,795	1,525	4.00	52.09	40.18	76.44
	増減	0	0	559	475	△ 80	△ 41	0.28	△ 4.80	△ 0.23	△ 2.06
薬学	R5	60	11,276	74,627	69,834	32,753	10,674	6.62	46.90	32.59	94.66
	R6	62	11,416	71,663	67,239	31,993	10,304	6.28	47.58	32.21	90.26
	増減	2	140	△ 2,964	△ 2,595	△ 760	△ 370	△ 0.34	0.68	△ 0.38	△ 4.40
保健系	R5	272	40,720	171,920	164,994	80,009	39,414	4.22	48.49	49.26	96.79
	R6	279	41,435	153,563	147,498	78,305	37,724	3.71	53.09	48.18	91.04
	増減	7	715	△ 18,357	△ 17,496	△ 1,704	△ 1,690	△ 0.51	4.60	△ 1.08	△ 5.75
理・工学系	R5	172	60,899	745,076	709,765	293,618	62,044	12.23	41.37	21.13	101.88
	R6	171	60,725	753,291	718,490	298,211	60,355	12.40	41.51	20.24	99.39
	増減	△ 1	△ 174	8,215	8,725	4,593	△ 1,689	0.17	0.14	△ 0.89	△ 2.49
農学系	R5	25	8,850	82,069	77,130	32,361	9,144	9.27	41.96	28.26	103.32
	R6	25	8,890	86,942	82,152	31,883	9,028	9.78	38.81	28.32	101.55
	増減	0	40	4,873	5,022	△ 478	△ 116	0.51	△ 3.15	0.06	△ 1.77
人文科学系	R5	251	68,526	474,386	455,194	206,138	65,979	6.92	45.29	32.01	96.28
	R6	252	68,939	486,534	466,734	209,248	66,154	7.06	44.83	31.62	95.96
	増減	1	413	12,148	11,540	3,110	175	0.14	△ 0.46	△ 0.39	△ 0.32
社会科学系	R5	541	174,614	1,355,134	1,295,485	519,139	179,337	7.76	40.07	34.55	102.70
	R6	543	174,681	1,338,226	1,278,347	517,288	179,019	7.66	40.47	34.61	102.48
	増減	2	67	△ 16,908	△ 17,138	△ 1,851	△ 318	△ 0.10	0.40	0.06	△ 0.22
家政学	R5	81	15,113	46,651	44,251	26,088	13,452	3.09	58.95	51.56	89.01
	R6	82	15,114	41,015	38,585	24,687	12,662	2.71	63.98	51.29	83.78
	増減	1	1	△ 5,636	△ 5,666	△ 1,401	△ 790	△ 0.38	5.03	△ 0.27	△ 5.23
教育学	R5	114	19,038	90,525	86,541	43,267	17,433	4.75	50.00	40.29	91.57
	R6	115	18,838	89,036	84,860	42,165	17,244	4.73	49.69	40.90	91.54
	増減	1	△ 200	△ 1,489	△ 1,681	△ 1,102	△ 189	△ 0.02	△ 0.31	0.61	△ 0.03
体育学	R5	11	5,190	10,413	10,184	7,102	5,191	2.01	69.74	73.09	100.02
	R6	10	4,670	9,417	9,121	6,129	4,579	2.02	67.20	74.71	98.05
	増減	△ 1	△ 520	△ 996	△ 1,063	△ 973	△ 612	0.01	△ 2.54	1.62	△ 1.97
芸術系	R5	57	14,448	60,391	57,834	24,676	15,217	4.18	42.67	61.67	105.32
	R6	56	14,500	63,311	60,393	24,222	15,191	4.37	40.11	62.72	104.77
	増減	△ 1	52	2,920	2,559	△ 454	△ 26	0.19	△ 2.56	1.05	△ 0.55
その他	R5	318	77,813	491,737	470,837	215,543	76,977	6.32	45.78	35.71	98.93
	R6	327	78,428	489,738	468,680	213,003	76,684	6.24	45.45	36.00	97.78
	増減	9	615	△ 1,999	△ 2,157	△ 2,540	△ 293	△ 0.08	△ 0.33	0.29	△ 1.15
合　計	R5	1,950	502,635	3,712,801	3,543,808	1,494,024	500,599	7.39	42.16	33.51	99.59
	R6	1,970	503,874	3,704,471	3,534,534	1,490,680	494,730	7.35	42.17	33.19	98.19
	増減	20	1,239	△ 8,330	△ 9,274	△ 3,344	△ 5,869	△ 0.04	0.01	△ 0.32	△ 1.40

５．主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

学部名称の表記は、集計数３以上の学部とし、集計数２以下は「その他」とした。

系統区分	集計学部数			入学定員（人）			志願者数（人）			入学者数（人）			入学定員充足率（%）		
学部名	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減
医学	31	31	0	4,153	4,243	90	102,449	113,753	11,304	4,171	4,261	90	100.43	100.42	△ 0.01
歯学	17	17	0	1,995	1,995	0	7,423	7,982	559	1,566	1,525	△ 41	78.50	76.44	△ 2.06
薬学	60	62	2	11,276	11,416	140	74,627	71,663	△ 2,964	10,674	10,304	△ 370	94.66	90.26	△ 4.40
保健系	272	279	7	40,720	41,435	715	171,920	153,563	△ 18,357	39,414	37,724	△ 1,690	96.79	91.04	△ 5.75
看護学部	110	115	5	9,978	10,455	477	48,896	43,923	△ 4,973	9,900	9,782	△ 118	99.22	93.56	△ 5.66
保健医療学部	35	35	0	6,954	6,954	0	24,931	21,081	△ 3,850	6,648	6,193	△ 455	95.60	89.06	△ 6.54
リハビリテーション学部	16	18	2	1,885	2,065	180	5,986	5,350	△ 636	1,799	1,842	43	95.44	89.20	△ 6.24
医療技術学部	8	8	0	2,245	2,185	△ 60	12,641	12,012	△ 629	2,241	2,180	△ 61	99.82	99.77	△ 0.05
医療保健学部	8	8	0	1,900	1,895	△ 5	6,715	5,722	△ 993	1,709	1,608	△ 101	89.95	84.85	△ 5.10
栄養学部	7	7	0	1,337	1,337	0	4,233	3,323	△ 910	1,258	1,102	△ 156	94.09	82.42	△ 11.67
医療科学部	7	7	0	1,180	1,140	△ 40	5,162	5,113	△ 49	1,053	1,097	44	89.24	96.23	6.99
医療学部	5	5	0	510	550	40	871	1,687	816	419	497	78	82.16	90.36	8.20
保健科学部	4	4	0	910	910	0	3,023	2,553	△ 470	1,035	991	△ 44	113.74	108.90	△ 4.84
リハビリテーション学部（専門職）	4	4	0	510	510	0	542	455	△ 87	416	351	△ 65	81.57	68.82	△ 12.75
看護福祉学部	3	3	0	600	600	0	2,225	2,028	△ 197	522	541	19	87.00	90.17	3.17
医療福祉学部	3	3	0	716	716	0	950	814	△ 136	450	414	△ 36	62.85	57.82	△ 5.03
健康医療科学部	3	3	0	550	550	0	2,901	2,864	△ 37	558	486	△ 72	101.45	88.36	△ 13.09
看護栄養学部	3	3	0	455	455	0	1,380	1,102	△ 278	481	446	△ 35	105.71	98.02	△ 7.69
保健看護学部	3	3	0	340	370	30	1,886	1,589	△ 297	370	420	50	108.82	113.51	4.69
ヒューマンケア学部	3	3	0	657	657	0	4,368	3,440	△ 928	682	580	△ 102	103.81	88.28	△ 15.53
総合リハビリテーション学部	3	3	0	460	500	40	2,528	2,379	△ 149	459	512	53	99.78	102.40	2.62
その他	47	47	0	9,533	9,586	53	42,682	38,128	△ 4,554	9,414	8,682	△ 732	98.75	90.57	△ 8.18
理・工学系	172	171	△ 1	60,899	60,725	△ 174	745,076	753,291	8,215	62,044	60,355	△ 1,689	101.88	99.39	△ 2.49
工学部	51	52	1	21,069	21,045	△ 24	226,592	223,592	△ 3,000	21,098	20,185	△ 913	100.14	95.91	△ 4.23
理工学部	29	29	0	16,890	16,777	△ 113	237,957	234,724	△ 3,233	17,539	16,954	△ 585	103.84	101.06	△ 2.78
理学部	14	14	0	4,104	4,104	0	45,574	44,775	△ 799	4,120	4,077	△ 43	100.39	99.34	△ 1.05
建築学部	11	12	1	2,137	2,342	205	28,970	29,747	777	2,308	2,502	194	108.00	106.83	△ 1.17
生命科学部	9	9	0	2,042	2,155	113	28,171	30,025	1,854	2,134	2,249	115	104.51	104.36	△ 0.15
デザイン工学部	4	4	0	1,089	1,089	0	15,852	15,877	25	1,114	1,123	9	102.30	103.12	0.82
データサイエンス学部	4	4	0	505	505	0	3,168	2,901	△ 267	454	449	△ 5	89.90	88.91	△ 0.99
情報工学部	3	4	1	735	860	125	13,216	13,450	234	810	860	50	110.20	100.00	△ 10.20
情報科学部	4	3	△ 1	1,100	820	△ 280	34,286	10,119	△ 24,167	1,231	843	△ 388	111.91	102.80	△ 9.11
環境学部	3	3	0	450	440	△ 10	2,818	3,394	576	458	464	6	101.78	105.45	3.67
その他	40	37	△ 3	10,778	10,588	△ 190	108,472	144,687	36,215	10,778	10,649	△ 129	100.00	100.58	0.58
農学系	25	25	0	8,850	8,890	40	82,069	86,942	4,873	9,144	9,028	△ 116	103.32	101.55	△ 1.77
農学部	10	10	0	3,636	3,636	0	47,034	50,836	3,802	3,757	3,619	△ 138	103.33	99.53	△ 3.80
獣医学部	4	4	0	970	1,010	40	12,536	13,930	1,394	1,025	1,096	71	105.67	108.51	2.84
その他	11	11	0	4,244	4,244	0	22,499	22,176	△ 323	4,362	4,313	△ 49	102.78	101.63	△ 1.15
人文科学系	251	252	1	68,526	68,939	413	474,386	486,534	12,148	65,979	66,154	175	96.28	95.96	△ 0.32
文学部	84	82	△ 2	32,566	32,198	△ 368	254,016	260,689	6,673	31,600	31,180	△ 420	97.03	96.84	△ 0.19
人文学部	32	32	0	6,720	6,945	225	33,371	36,258	2,887	6,415	6,610	195	95.46	95.18	△ 0.28
外国語学部	27	28	1	9,533	9,728	195	57,251	60,507	3,256	9,212	9,427	215	96.63	96.91	0.28
心理学部	26	26	0	3,783	3,884	101	32,716	31,032	△ 1,684	3,942	4,119	177	104.20	106.05	1.85
国際文化学部	12	13	1	2,061	2,151	90	11,590	11,014	△ 576	1,910	1,833	△ 77	92.67	85.22	△ 7.45
人間学部	11	10	△ 1	2,250	2,280	30	5,679	6,055	376	1,884	1,676	△ 208	83.73	73.51	△ 10.22
神学部	6	6	0	191	191	0	843	1,098	255	173	179	6	90.58	93.72	3.14
仏教学部	5	5	0	493	493	0	1,512	1,757	245	406	446	40	82.35	90.47	8.12
人間関係学部	5	5	0	1,045	1,035	△ 10	2,560	2,482	△ 78	945	925	△ 20	90.43	89.37	△ 1.06
グローバル・コミュニケーション学部（群）	5	5	0	858	858	0	4,668	4,264	△ 404	808	763	△ 45	94.17	88.93	△ 5.24
総合心理学部	3	4	1	450	630	180	5,977	6,679	702	504	661	157	112.00	104.92	△ 7.08
文芸学部	3	3	0	1,240	1,240	0	19,140	20,719	1,579	1,281	1,352	71	103.31	109.03	5.72
その他	32	33	1	7,336	7,306	△ 30	45,063	43,980	△ 1,083	6,899	6,983	84	94.04	95.58	1.54
社会科学系	541	543	2	174,614	174,681	67	1,355,134	1,338,226	△ 16,908	179,337	179,019	△ 318	102.70	102.48	△ 0.22
経営学部	89	93	4	28,334	28,939	605	249,399	248,296	△ 1,103	30,190	30,715	525	106.55	106.14	△ 0.41
経済学部	89	89	0	38,546	38,731	185	345,052	342,340	△ 2,712	40,624	41,029	405	105.39	105.93	0.54
法学部	80	79	△ 1	31,087	30,962	△ 125	236,821	234,672	△ 2,149	32,066	31,299	△ 767	103.15	101.09	△ 2.06
商学部	29	29	0	14,421	14,251	△ 170	114,493	111,355	△ 3,138	14,931	14,914	△ 17	103.54	104.65	1.11
社会学部	27	27	0	8,519	8,499	△ 20	83,754	92,969	9,215	8,616	8,547	△ 69	101.14	100.56	△ 0.58
社会福祉学部	20	19	△ 1	3,410	3,290	△ 120	7,234	6,851	△ 383	2,737	3,157	420	80.26	95.96	15.70
情報学部	14	14	0	3,285	3,380	95	38,060	35,746	△ 2,314	3,724	3,554	△ 170	113.36	105.15	△ 8.21
現代社会学部	14	13	△ 1	3,081	2,953	△ 128	22,979	19,242	△ 3,737	3,107	2,946	△ 161	100.84	99.76	△ 1.08
総合政策学部	12	13	1	2,840	2,950	110	21,926	20,912	△ 1,014	2,877	2,907	30	101.30	98.54	△ 2.76
人間社会学部	13	12	△ 1	3,474	3,224	△ 250	11,467	9,969	△ 1,498	3,164	3,102	△ 62	91.08	96.22	5.14

※次のページに続く

系統区分	集計学部数			入学定員(人)			志願者数(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
学部名	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減	R5年度	R6年度	増減
経営情報学部	11	10	△ 1	2,222	2,012	△ 210	5,511	5,096	△ 415	2,205	1,993	△ 212	99.23	99.06	△ 0.17
経済経営学部	10	10	0	2,275	2,240	△ 35	5,569	4,631	△ 938	2,245	1,973	△ 272	98.68	88.08	△ 10.60
観光学部	6	7	1	1,120	1,190	70	5,877	6,144	267	929	1,022	93	82.95	85.88	2.93
政治経済学部	5	5	0	2,790	2,870	80	24,800	27,077	2,277	2,758	3,031	273	98.85	105.61	6.76
現代ビジネス学部	5	5	0	995	995	0	1,865	1,672	△ 193	916	936	20	92.06	94.07	2.01
人間福祉学部	4	4	0	630	630	0	2,334	2,617	283	591	577	△ 14	93.81	91.59	△ 2.22
国際経営学部	4	4	0	1,210	1,210	0	5,432	6,132	700	1,276	1,414	138	105.45	116.86	11.41
総合経営学部	4	4	0	940	940	0	1,884	1,805	△ 79	1,098	1,095	△ 3	116.81	116.49	△ 0.32
国際観光学部	4	3	△ 1	701	526	△ 175	4,188	5,111	923	613	531	△ 82	87.45	100.95	13.50
社会情報学部	3	3	0	700	700	0	4,695	4,561	△ 134	723	735	12	103.29	105.00	1.71
総合福祉学部	3	3	0	1,190	1,190	0	2,919	2,967	48	1,069	1,002	△ 67	89.83	84.20	△ 5.63
経営経済学部	3	3	0	730	730	0	1,234	1,118	△ 116	657	663	6	90.00	90.82	0.82
その他	92	94	2	22,114	22,269	155	157,641	146,943	△ 10,698	22,221	21,877	△ 344	100.48	98.24	△ 2.24
家政学	81	82	1	15,113	15,114	1	46,651	41,015	△ 5,636	13,452	12,662	△ 790	89.01	83.78	△ 5.23
家政学部	15	15	0	3,775	3,683	△ 92	12,981	10,250	△ 2,731	3,498	3,205	△ 293	92.66	87.02	△ 5.64
健康栄養学部（群）	12	12	0	1,190	1,190	0	2,532	1,902	△ 630	1,061	919	△ 142	89.16	77.23	△ 11.93
生活科学部	8	8	0	1,697	1,697	0	6,306	5,132	△ 1,174	1,821	1,598	△ 223	107.31	94.17	△ 13.14
人間生活学部	8	8	0	1,790	1,780	△ 10	2,898	2,371	△ 527	1,326	1,175	△ 151	74.08	66.01	△ 8.07
人間健康学部	7	7	0	1,225	1,225	0	5,788	5,770	△ 18	1,218	1,164	△ 54	99.43	95.02	△ 4.41
現代生活学部	3	4	1	640	780	140	702	593	△ 109	348	374	26	54.38	47.95	△ 6.43
栄養科学部	3	3	0	560	560	0	1,531	1,348	△ 183	563	554	△ 9	100.54	98.93	△ 1.61
その他	25	25	0	4,236	4,199	△ 37	13,913	13,649	△ 264	3,617	3,673	56	85.39	87.47	2.08
教育学	114	115	1	19,038	18,838	△ 200	90,525	89,036	△ 1,489	17,433	17,244	△ 189	91.57	91.54	△ 0.03
教育学部	60	60	0	11,327	11,182	△ 145	69,059	69,227	168	10,786	10,995	209	95.22	98.33	3.11
子ども（こども）教育学部	11	11	0	958	943	△ 15	1,029	834	△ 195	653	550	△ 103	68.16	58.32	△ 9.84
子ども学部	6	6	0	755	780	25	1,143	971	△ 172	634	579	△ 55	83.97	74.23	△ 9.74
人間教育学部	4	4	0	585	585	0	1,341	1,620	279	447	473	26	76.41	80.85	4.44
人間発達学部	3	3	0	320	320	0	498	417	△ 81	236	183	△ 53	73.75	57.19	△ 16.56
こども学部	3	3	0	265	265	0	224	238	14	183	182	△ 1	69.06	68.68	△ 0.38
発達教育学部	3	3	0	630	475	△ 155	3,371	1,761	△ 1,610	604	420	△ 184	95.87	88.42	△ 7.45
その他	24	25	1	4,198	4,288	90	13,860	13,968	108	3,890	3,862	△ 28	92.66	90.07	△ 2.59
体育学	11	10	△ 1	5,190	4,670	△ 520	10,413	9,417	△ 996	5,191	4,579	△ 612	100.02	98.05	△ 1.97
芸術系	57	56	△ 1	14,448	14,500	52	60,391	63,311	2,920	15,217	15,191	△ 26	105.32	104.77	△ 0.55
芸術学部	19	19	0	6,892	7,002	110	29,327	31,931	2,604	7,616	7,626	10	110.50	108.91	△ 1.59
音楽学部	19	18	△ 1	3,005	2,945	△ 60	3,981	3,741	△ 240	2,732	2,654	△ 78	90.92	90.12	△ 0.80
造形学部	6	6	0	1,958	1,958	0	12,491	12,893	402	2,126	2,124	△ 2	108.58	108.48	△ 0.10
美術学部	5	5	0	1,430	1,432	2	9,399	9,699	300	1,559	1,566	7	109.02	109.36	0.34
デザイン学部	4	4	0	716	716	0	3,422	3,277	△ 145	748	760	12	104.47	106.15	1.68
その他	4	4	0	447	447	0	1,771	1,770	△ 1	436	461	25	97.54	103.13	5.59
その他	318	327	9	77,813	78,428	615	491,737	489,738	△ 1,999	76,977	76,684	△ 293	98.93	97.78	△ 1.15
国際学部	27	33	6	5,989	6,828	839	42,477	46,410	3,933	5,650	6,547	897	94.34	95.88	1.54
人間科学部	31	31	0	7,354	7,158	△ 196	39,752	37,832	△ 1,920	6,967	6,607	△ 360	94.74	92.30	△ 2.44
健康科学部	22	24	2	4,646	4,621	△ 25	21,425	19,658	△ 1,767	4,369	4,145	△ 224	94.04	89.70	△ 4.34
国際教養学部	13	13	0	2,246	2,246	0	11,891	12,312	421	2,094	2,250	156	93.23	100.18	6.95
スポーツ科学部	10	11	1	2,845	3,375	530	11,052	11,980	928	3,151	3,710	559	110.76	109.93	△ 0.83
国際関係学部	7	7	0	2,196	2,196	0	12,057	12,263	206	2,205	2,275	70	100.41	103.60	3.19
スポーツ健康科学部	7	7	0	1,716	1,726	10	9,927	10,133	206	1,870	1,863	△ 7	108.97	107.94	△ 1.03
学芸学部	7	6	△ 1	2,255	2,190	△ 65	6,923	6,588	△ 335	2,039	2,004	△ 35	90.42	91.51	1.09
健康福祉学部	6	6	0	905	905	0	1,922	1,781	△ 141	765	716	△ 49	84.53	79.12	△ 5.41
総合情報学部	5	6	1	1,585	1,761	176	12,459	10,173	△ 2,286	1,744	1,837	93	110.03	104.32	△ 5.71
国際コミュニケーション学部	7	5	△ 2	1,261	846	△ 415	7,252	7,048	△ 204	1,100	871	△ 229	87.23	102.96	15.73
人間文化学部	5	5	0	725	745	20	2,448	1,909	△ 539	616	614	△ 2	84.97	82.42	△ 2.55
情報理工学部	4	4	0	1,145	1,145	0	15,393	14,988	△ 405	1,179	1,171	△ 8	102.97	102.27	△ 0.70
スポーツ健康学部	4	4	0	610	570	△ 40	4,262	4,722	460	647	646	△ 1	106.07	113.33	7.26
先進工学部	4	4	0	1,620	1,620	0	38,651	37,285	△ 1,366	1,785	1,772	△ 13	110.19	109.38	△ 0.81
メディア学部	3	3	0	800	800	0	3,906	3,292	△ 614	840	839	△ 1	105.00	104.88	△ 0.12
情報メディア学部	3	3	0	370	390	20	839	702	△ 137	396	373	△ 23	107.03	95.64	△ 11.39
現代教養学部	3	3	0	1,480	1,450	△ 30	9,430	8,874	△ 556	1,640	1,508	△ 132	110.81	104.00	△ 6.81
国際日本学部	3	3	0	860	860	0	9,988	9,970	△ 18	889	843	△ 46	103.37	98.02	△ 5.35
その他	147	149	2	37,205	36,996	△ 209	229,683	231,818	2,135	37,031	36,093	△ 938	99.53	97.56	△ 1.97
合計	1,950	1,970	20	502,635	503,874	1,239	3,712,801	3,704,471	△ 8,330	500,599	494,730	△ 5,869	99.59	98.19	△ 1.40

学部系統区分	
医学	医
歯学	歯/生命歯/口腔歯
薬学	薬
保健系	看護/保健医療/リハビリテーション/医療技術/医療保健/栄養/医療科/医療/保健科/リハビリテーション（専門職）/看護福祉/医療福祉/健康医療科/看護栄養/保健看護/ヒューマンケア/総合リハビリテーション/保健/保健衛生/保健福祉/医療健康科/医療健康/看護医療/看護リハビリテーション/保健医療技術/健康医療/国際看護/鍼灸/医療衛生/産業保健/健康メディカル/医療看護/医療福祉マネジメント/健康福祉学群/リハビリテーション科/医療情報/看護保健/健康医療スポーツ/医療保健科/看護福祉リハビリテーション/保健医療福祉
理・工学系	工/理工/理/建築/生命科/デザイン工/データサイエンス/情報工/情報科/環境/医用工/応用生命科/創造工/生産工/芸術工/生物理工/フロンティアサイエンス/環境都市工/技能工芸/産業理工/化学生命工/創造理工/ソフトウェア情報/バイオサイエンス/バイオ・化/コンピュータサイエンス/情報通信工/情報通信/生物生命/未来科/生物/システムデザイン工/ロボティクス＆デザイン工/建築都市工/基幹工/航空工/情報経営イノベーション（専門職）/先端理工/航空・マネジメント学群/建築都市/電気自動車システム工（専門職）/未来工/化学生命/情報変革科/未来変革科/工科（専門職）/応用バイオ科
農学系	農/獣医/生命環境/海洋/生物産業/生物資源科/海洋生命科/獣医学群/農食環境学群/動物看護/食料産業/フードサービスマネジメント（専門職）
人文科学系	文/人文/外国語/心理/国際文化/人間/神/仏教/人間関係/グローバル・コミュニケーション（群）/総合心理/文芸/臨床心理/現代文化/人文科/心理科/グローバル教養/国際言語文化/比較文化/文化/神道文化/こども心理/国際人文/国際英語/国際・英語/表象文化/現代心理/言語コミュニケーション/異文化コミュニケーション/文化構想/子ども未来/心理こども/歴史/英語キャリア/グローバル地域文化/英語国際/文化社会/教育人文/教育・心理
社会科学系	経営/経済/法/商/社会/社会福祉/情報/現代社会/総合政策/人間社会/経営情報/経済経営/観光/政治経済/現代ビジネス/人間福祉/国際経営/総合経営/国際観光/社会情報/総合福祉/経営経済/総合社会/社会科/政経/国際政治経済/環境情報/経営法/社会環境/マネジメント/国際社会/政策/ビジネス/地域創生/情報社会/経済情報/産業社会/商経/流通科/コミュニケーション/流通情報/経済科/現代法/現代日本社会/現代福祉/福祉社会/生涯福祉/２１世紀アジア/人間健康福祉/コミュニティ福祉/現代経営/コミュニティ政策/シティライフ/ビジネス情報/マネジメント創造/都市生活/サービス経営/福祉/総合マネジメント/ビジネスデザイン/情報マネジメント/現代コミュニケーション/公益/現代マネジメント/観光ビジネス/アジア太平洋/知的財産/産業情報/地域政策/ネットワーク情報/社会イノベーション/政策情報/福祉総合/ビジネスマネジメント学群/グローバルビジネス/地球社会共生/観光コミュニティ/地域創造/都市創造/国際社会科/情報連携/地域経営/公共/国際コミュニティ/地域共創/メディアビジネス/社会情報デザイン/経法商/事業創造（専門職）/情報（専門職）/環境デザイン/アントレプレナーシップ/観光まちづくり/地域総合/福祉社会デザイン/人間社会科/サステイナビリティ観光/グローバルビジネス（専門職）/共創社会/総合経済/国際共創/心理・福祉/流通/社会システム科/社会共生
家政学	家政/健康栄養（群）/生活科/人間生活/人間健康/現代生活/栄養科/生活環境/食文化/健康生活/食物栄養科/管理栄養/人間栄養/食健康科/健康プロデュース/服装/食物栄養/健康管理/服飾/人間生活科/生活創造/食環境科/医療栄養/生活創生/食環境/現代家政/国際ファッション（専門職）
教育学	教育/子ども（こども）教育/子ども/人間教育/人間発達/こども/発達教育/児童教育/児童/保育/健康（・）スポーツ科/児童保育/発達科/子ども生活/国際こども教育/子ども育成/人間開発/次世代教育/臨床教育/現代教育/学校教師/児童スポーツ教育/教育文化/保育児童/心理・教育学群/子ども支援/国際教育
体育学	体育/スポーツプロモーション
芸術系	芸術/音楽/造形/美術/デザイン/映画/アニメーション文化/東京メディア芸術/造形構想
その他	国際/人間科/健康科/国際教養/スポーツ科/国際関係/スポーツ健康科/学芸/健康福祉/総合情報/国際コミュニケーション/人間文化/情報理工/スポーツ健康/先進工/メディア/情報メディア/現代教養/国際日本/人文社会（群）/現代人間/教養/国際情報/表現/生命医科/システム理工/人間環境/メディア情報/教育人間科/スポーツ/心理(・)福祉/総合人間/危機管理/リベラルアーツ/応用生物/スポーツマネジメント/健康科（専門職）/健康スポーツ/建築・デザイン/文化情報/応用生物科/国際食料情報/地域環境科/地球環境科/国際地域/国際交流/現代中国/文理/不動産/政策科/都市情報/総合文化/ホスピタリティ・ツーリズム/メディア造形/基幹理工/国際文化交流/生命工/生命・環境科/先進理工/環境園芸/総合人間科/知能情報/教育福祉/英語情報マネジメント/メディアコミュニケーション/経営教育/キャリアデザイン/政策創造/情報コミュニケーション/経営文化/文化創造/文化表現/医療経営管理/芸術情報/交流文化/人間情報/社会安全/キャリア形成/応用心理/生涯スポーツ/映像/人間総合/未来デザイン/感性デザイン/マンガ/リベラルアーツ学群/情報フロンティア/グローバル・メディア・スタディーズ/グローバルスタディーズ/福祉健康/現代政策/現代国際/総合文化政策/生命健康科/バイオ環境/サービス創造/ライフデザイン/スポーツ・健康科/スポーツ人間/福祉貢献/モチベーション行動科/コミュニケーション文化/生物地球/生命/地域共創学群/総合数理/建築・環境/観光メディア文化/芸術文化学群/総合グローバル/国際キャリア/国際リベラルアーツ/人間社会学群/グローバル/人間共生/創造表現/スポーツ文化/世界共生/赤坂心理・医療福祉マネジメント/健康/人間総合学群/国際貢献/食マネジメント/地域マネジメント/コミュニティ人間科/世界教養/建築都市デザイン/アニメ・マンガ（専門職）/メディア表現/建築＆芸術/グローバル・リベラルアーツ/文理融合/環境科/デザイン・データ科/健康データサイエンス/創域理工/教育探究科学群/スポーツウエルネス/福祉心理子ども/国際共生/心理・社会福祉/ビューティ＆ウェルネス（専門職）/情報デザイン（専門職）/情報デザイン/建築デザイン/ウェルビーイング/情報数理/心理共生/国際福祉開発/心理社会

※令和５年度及び６年度の集計学部を『今日の私学財政』と同様に区分した。

令和5（2023）年度

私立大学・短期大学等
入学志願動向

日本私立学校振興・共済事業団

５．主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

学部名称の表記は、集計数３以上の学部とし、集計数２以下は「その他」とした。

系統区分	集計学部数			入学定員（人）			志願者数（人）			入学者数（人）			入学定員充足率（%）		
学部名	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減
医学	31	31	0	4,125	4,153	28	97,957	102,448	4,491	4,146	4,171	25	100.51	100.43	△ 0.08
歯学	17	17	0	2,015	1,995	△ 20	7,773	7,423	△ 350	1,534	1,566	32	76.13	78.50	2.37
薬学	60	60	0	11,391	11,276	△ 115	76,635	74,627	△ 2,008	10,798	10,674	△ 124	94.79	94.66	△ 0.13
保健系	266	272	6	39,729	40,720	991	184,961	171,927	△ 13,034	39,444	39,414	△ 30	99.28	96.79	△ 2.49
看護学部	107	110	3	9,723	9,978	255	51,399	48,896	△ 2,503	9,894	9,900	6	101.76	99.22	△ 2.54
保健医療学部	34	35	1	6,700	6,954	254	26,850	24,931	△ 1,919	6,623	6,648	25	98.85	95.60	△ 3.25
リハビリテーション学部	16	16	0	1,845	1,885	40	6,811	5,986	△ 825	1,794	1,799	5	97.24	95.44	△ 1.80
医療保健学部	8	8	0	1,820	1,900	80	7,124	6,715	△ 409	1,756	1,709	△ 47	96.48	89.95	△ 6.53
医療技術学部	7	8	1	2,125	2,245	120	12,788	12,641	△ 147	2,196	2,241	45	103.34	99.82	△ 3.52
医療科学部	7	7	0	1,180	1,180	0	5,540	5,162	△ 378	1,147	1,053	△ 94	97.20	89.24	△ 7.96
栄養学部	6	7	1	1,257	1,337	80	5,317	4,233	△ 1,084	1,130	1,258	128	89.90	94.09	4.19
医療学部	5	5	0	470	510	40	901	871	△ 30	437	419	△ 18	92.98	82.16	△ 10.82
保健科学部	4	4	0	910	910	0	3,382	3,023	△ 359	1,016	1,035	19	111.65	113.74	2.09
リハビリテーション学部（専門職）	4	4	0	510	510	0	602	542	△ 60	448	416	△ 32	87.84	81.57	△ 6.27
看護福祉学部	3	3	0	600	600	0	2,446	2,225	△ 221	563	522	△ 41	93.83	87.00	△ 6.83
医療福祉学部	3	3	0	716	716	0	1,000	950	△ 50	524	450	△ 74	73.18	62.85	△ 10.33
健康医療科学部	3	3	0	550	550	0	3,042	2,901	△ 141	570	558	△ 12	103.64	101.45	△ 2.19
看護栄養学部	3	3	0	455	455	0	1,372	1,380	8	489	481	△ 8	107.47	105.71	△ 1.76
保健看護学部	3	3	0	340	340	0	1,977	1,886	△ 91	368	370	2	108.24	108.82	0.58
ヒューマンケア学部	3	3	0	657	657	0	5,527	4,368	△ 1,159	680	682	2	103.50	103.81	0.31
総合リハビリテーション学部	3	3	0	460	460	0	2,415	2,528	113	469	459	△ 10	101.96	99.78	△ 2.18
その他	47	47	0	9,411	9,533	122	46,468	42,689	△ 3,779	9,340	9,414	74	99.25	98.75	△ 0.50
理・工学系	166	172	6	62,294	60,899	△ 1,395	777,971	745,078	△ 32,893	65,001	62,044	△ 2,957	104.35	101.88	△ 2.47
工学部	51	51	0	21,834	21,069	△ 765	243,538	226,594	△ 16,944	22,887	21,098	△ 1,789	104.82	100.14	△ 4.68
理工学部	29	29	0	17,870	16,890	△ 980	252,100	237,957	△ 14,143	18,621	17,539	△ 1,082	104.20	103.84	△ 0.36
理学部	14	14	0	4,364	4,104	△ 260	48,211	45,574	△ 2,637	4,415	4,120	△ 295	101.17	100.39	△ 0.78
建築学部	11	11	0	2,137	2,137	0	32,233	28,970	△ 3,263	2,389	2,308	△ 81	111.79	108.00	△ 3.79
生命科学部	9	9	0	2,032	2,042	10	25,634	28,171	2,537	2,091	2,134	43	102.90	104.51	1.61
情報科学部	4	4	0	1,100	1,100	0	35,040	34,286	△ 754	1,165	1,231	66	105.91	111.91	6.00
デザイン工学部	4	4	0	1,089	1,089	0	16,431	15,852	△ 579	1,118	1,114	△ 4	102.66	102.30	△ 0.36
情報工学部	3	3	0	735	735	0	14,383	13,216	△ 1,167	795	810	15	108.16	110.20	2.04
工科学部（専門職）	3	3	0	480	480	0	1,109	1,344	235	553	525	△ 28	115.21	109.38	△ 5.83
その他	38	44	6	10,653	11,253	600	109,292	113,114	3,822	10,967	11,165	198	102.95	99.22	△ 3.73
農学系	25	25	0	8,875	8,850	△ 25	79,742	82,069	2,327	9,110	9,144	34	102.65	103.32	0.67
農学部	10	10	0	3,661	3,636	△ 25	46,938	47,034	96	3,727	3,757	30	101.80	103.33	1.53
獣医学部	4	4	0	970	970	0	10,936	12,536	1,600	1,033	1,025	△ 8	106.49	105.67	△ 0.82
その他	11	11	0	4,244	4,244	0	21,868	22,499	631	4,350	4,362	12	102.50	102.78	0.28
人文科学系	250	251	1	68,634	68,526	△ 108	498,558	474,386	△ 24,172	67,898	65,979	△ 1,919	98.93	96.28	△ 2.65
文学部	84	84	0	32,856	32,566	△ 290	270,070	254,016	△ 16,054	33,262	31,600	△ 1,662	101.24	97.03	△ 4.21
人文学部	32	32	0	6,605	6,720	115	37,548	33,371	△ 4,177	6,454	6,415	△ 39	97.71	95.46	△ 2.25
外国語学部	27	27	0	9,588	9,533	△ 55	59,645	57,251	△ 2,394	9,455	9,212	△ 243	98.61	96.63	△ 1.98
心理学部	25	26	1	3,528	3,783	255	28,259	32,716	4,457	3,740	3,942	202	106.01	104.20	△ 1.81
国際文化学部	11	12	1	1,950	2,061	111	11,883	11,590	△ 293	1,720	1,910	190	88.21	92.67	4.46
人間学部	11	11	0	2,260	2,250	△ 10	6,217	5,679	△ 538	1,894	1,884	△ 10	83.81	83.73	△ 0.08
神学部	6	6	0	181	191	10	800	843	43	174	173	△ 1	96.13	90.58	△ 5.55
仏教学部	5	5	0	487	493	6	1,643	1,512	△ 131	458	406	△ 52	94.05	82.35	△ 11.70
人間関係学部	5	5	0	1,045	1,045	0	3,151	2,560	△ 591	1,009	945	△ 64	96.56	90.43	△ 6.13
グローバル・コミュニケーション学部（群）	5	5	0	888	858	△ 30	4,943	4,668	△ 275	758	808	50	85.36	94.17	8.81
文芸学部	3	3	0	1,240	1,240	0	19,655	19,140	△ 515	1,334	1,281	△ 53	107.58	103.31	△ 4.27
その他	36	35	△ 1	8,006	7,786	△ 220	54,744	51,040	△ 3,704	7,640	7,403	△ 237	95.43	95.08	△ 0.35
社会科学系	528	541	13	171,944	174,614	2,670	1,379,714	1,355,137	△ 24,577	176,631	179,337	2,706	102.73	102.70	△ 0.03
経済学部	90	89	△ 1	38,782	38,546	△ 236	342,042	345,052	3,010	40,180	40,624	444	103.60	105.39	1.79
経営学部	88	89	1	27,806	28,334	528	248,941	249,399	458	29,136	30,190	1,054	104.78	106.55	1.77
法学部	79	80	1	30,800	31,087	287	258,672	236,821	△ 21,851	32,380	32,066	△ 314	105.13	103.15	△ 1.98
商学部	29	29	0	14,421	14,421	0	110,369	114,493	4,124	15,122	14,931	△ 191	104.86	103.54	△ 1.32
社会学部	26	27	1	8,564	8,519	△ 45	87,838	83,754	△ 4,084	8,787	8,616	△ 171	102.60	101.14	△ 1.46
社会福祉学部	21	20	△ 1	3,649	3,410	△ 239	9,332	7,234	△ 2,098	3,132	2,737	△ 395	85.83	80.26	△ 5.57
現代社会学部	13	14	1	2,931	3,081	150	19,933	22,979	3,046	2,979	3,107	128	101.64	100.84	△ 0.80
情報学部	10	14	4	2,410	3,285	875	37,270	38,060	790	2,689	3,724	1,035	111.58	113.36	1.78
人間社会学部	13	13	0	3,570	3,474	△ 96	13,227	11,467	△ 1,760	3,251	3,164	△ 87	91.06	91.08	0.02
総合政策学部	12	12	0	2,840	2,840	0	20,157	21,926	1,769	3,048	2,877	△ 171	107.32	101.30	△ 6.02

【中央大学補足】
データサイエンス学部は学部数が3未満のため、項目になっていない。

なお、理・工学系のR5志願者は745,078となっているが、最新のR６年度版（本資料10～11ページ）では745,076として計上されている。

※次のページに続く

系統区分	集計学部数			入学定員(人)			志願者数(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
学部名	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減	R4年度	R5年度	増減
経営情報学部	10	11	1	2,122	2,222	100	5,873	5,511	△ 362	2,133	2,205	72	100.52	99.23	△ 1.29
経済経営学部	10	10	0	2,275	2,275	0	6,082	5,572	△ 510	2,055	2,245	190	90.33	98.68	8.35
観光学部	6	6	0	1,060	1,120	60	6,164	5,877	△ 287	928	929	1	87.55	82.95	△ 4.60
政治経済学部	5	5	0	2,730	2,790	60	25,581	24,800	△ 781	2,773	2,758	△ 15	101.58	98.85	△ 2.73
現代ビジネス学部	5	5	0	995	995	0	2,000	1,865	△ 135	910	916	6	91.46	92.06	0.60
人間福祉学部	4	4	0	630	630	0	2,292	2,334	42	614	591	△ 23	97.46	93.81	△ 3.65
国際経営学部	4	4	0	1,260	1,210	△ 50	6,217	5,432	△ 785	1,125	1,276	151	89.29	105.45	16.16
総合経営学部	4	4	0	920	940	20	1,990	1,884	△ 106	1,084	1,098	14	117.83	116.81	△ 1.02
国際観光学部	4	4	0	711	701	△ 10	3,948	4,188	240	608	613	5	85.51	87.45	1.94
総合福祉学部	3	3	0	1,190	1,190	0	3,845	2,919	△ 926	1,093	1,069	△ 24	91.85	89.83	△ 2.02
経営経済学部	3	3	0	730	730	0	1,483	1,234	△ 249	646	657	11	88.49	90.00	1.51
その他	89	95	6	21,548	22,814	1,266	166,458	162,336	△ 4,122	21,958	22,944	986	101.90	100.57	△ 1.33
家政学	82	81	△ 1	15,758	15,113	△ 645	57,521	46,651	△ 10,870	15,015	13,452	△ 1,563	95.28	89.01	△ 6.27
家政学部	15	15	0	4,110	3,775	△ 335	16,655	12,981	△ 3,674	4,279	3,498	△ 781	104.11	92.66	△ 11.45
健康栄養学部（群）	12	12	0	1,190	1,190	0	2,627	2,532	△ 95	1,027	1,061	34	86.30	89.16	2.86
生活科学部	9	8	△ 1	1,847	1,697	△ 150	7,121	6,306	△ 815	1,930	1,821	△ 109	104.49	107.31	2.82
人間生活学部	8	8	0	1,790	1,790	0	3,119	2,898	△ 221	1,486	1,326	△ 160	83.02	74.08	△ 8.94
人間健康学部	7	7	0	1,225	1,225	0	6,720	5,788	△ 932	1,264	1,218	△ 46	103.18	99.43	△ 3.75
栄養科学部	3	3	0	560	560	0	1,822	1,531	△ 291	574	563	△ 11	102.50	100.54	△ 1.96
現代生活学部	3	3	0	640	640	0	1,007	702	△ 305	445	348	△ 97	69.53	54.38	△ 15.15
その他	25	25	0	4,396	4,236	△ 160	18,450	13,913	△ 4,537	4,010	3,617	△ 393	91.22	85.39	△ 5.83
教育学	108	113	5	18,165	18,708	543	97,469	87,385	△ 10,084	16,951	17,094	143	93.32	91.37	△ 1.95
教育学部	57	60	3	10,974	11,327	353	76,248	69,059	△ 7,189	10,561	10,786	225	96.24	95.22	△ 1.02
子ども（こども）教育学部	10	11	1	878	958	80	1,192	1,029	△ 163	619	653	34	70.50	68.16	△ 2.34
子ども学部	7	6	△ 1	875	755	△ 120	1,527	1,143	△ 384	778	634	△ 144	88.91	83.97	△ 4.94
人間教育学部	4	4	0	600	585	△ 15	1,765	1,341	△ 424	436	447	11	72.67	76.41	3.74
人間発達学部	3	3	0	320	320	0	569	498	△ 71	270	236	△ 34	84.38	73.75	△ 10.63
こども学部	3	3	0	265	265	0	300	224	△ 76	235	183	△ 52	88.68	69.06	△ 19.62
発達教育学部	3	3	0	630	630	0	3,728	3,371	△ 357	633	604	△ 29	100.48	95.87	△ 4.61
その他	21	23	2	3,623	3,868	245	12,140	10,720	△ 1,420	3,419	3,551	132	94.37	91.80	△ 2.57
体育学	11	11	0	5,190	5,190	0	12,619	10,413	△ 2,206	5,409	5,191	△ 218	104.22	100.02	△ 4.20
芸術系	56	57	1	14,083	14,448	365	56,788	60,391	3,603	14,858	15,217	359	105.50	105.32	△ 0.18
音楽学部	19	19	0	2,955	3,005	50	3,932	3,981	49	2,770	2,732	△ 38	93.74	90.92	△ 2.82
芸術学部	18	19	1	6,587	6,892	305	27,492	29,327	1,835	7,300	7,616	316	110.82	110.50	△ 0.32
造形学部	6	6	0	1,958	1,958	0	11,920	12,491	571	2,109	2,126	17	107.71	108.58	0.87
美術学部	5	5	0	1,430	1,430	0	8,738	9,399	661	1,510	1,559	49	105.59	109.02	3.43
デザイン学部	4	4	0	706	716	10	3,225	3,422	197	746	748	2	105.67	104.47	△ 1.20
その他	4	4	0	447	447	0	1,481	1,771	290	423	436	13	94.63	97.54	2.91
その他	308	319	11	75,736	78,143	2,407	494,778	495,892	1,114	75,399	77,316	1,917	99.56	98.94	△ 0.62
人間科学部	30	31	1	7,384	7,354	△ 30	40,849	39,752	△ 1,097	7,258	6,967	△ 291	98.29	94.74	△ 3.55
国際学部	26	27	1	5,859	5,989	130	42,833	42,477	△ 356	5,662	5,650	△ 12	96.64	94.34	△ 2.30
健康科学部	20	22	2	4,371	4,646	275	25,754	21,425	△ 4,329	4,246	4,369	123	97.14	94.04	△ 3.10
国際教養学部	13	13	0	2,234	2,246	12	13,418	11,891	△ 1,527	2,097	2,094	△ 3	93.87	93.23	△ 0.64
スポーツ科学部	9	10	1	2,555	2,845	290	10,786	11,052	266	2,762	3,151	389	108.10	110.76	2.66
国際コミュニケーション学部	7	7	0	1,246	1,261	15	7,781	7,252	△ 529	1,108	1,100	△ 8	88.92	87.23	△ 1.69
学芸学部	7	7	0	2,235	2,255	20	7,943	6,923	△ 1,020	2,169	2,039	△ 130	97.05	90.42	△ 6.63
国際関係学部	7	7	0	2,216	2,196	△ 20	12,552	12,057	△ 495	2,032	2,205	173	91.70	100.41	8.71
スポーツ健康科学部	7	7	0	1,766	1,716	△ 50	9,627	9,927	300	1,806	1,870	64	102.27	108.97	6.70
健康福祉学部	6	6	0	880	905	25	2,072	1,922	△ 150	783	765	△ 18	88.98	84.53	△ 4.45
人間文化学部	5	5	0	725	725	0	2,173	2,448	275	638	616	△ 22	88.00	84.97	△ 3.03
総合情報学部	5	5	0	1,585	1,585	0	12,691	12,459	△ 232	1,785	1,744	△ 41	112.62	110.03	△ 2.59
情報理工学部	4	4	0	1,145	1,145	0	15,546	15,393	△ 153	1,229	1,179	△ 50	107.34	102.97	△ 4.37
スポーツ健康学部	4	4	0	610	610	0	4,446	4,262	△ 184	630	647	17	103.28	106.07	2.79
先進工学部	4	4	0	1,405	1,620	215	34,530	38,651	4,121	1,531	1,785	254	108.97	110.19	1.22
人文社会学部（群）	3	3	0	1,543	1,543	0	5,615	5,066	△ 549	1,529	1,507	△ 22	99.09	97.67	△ 1.42
メディア学部	3	3	0	790	800	10	4,589	3,906	△ 683	865	840	△ 25	109.49	105.00	△ 4.49
情報メディア学部	3	3	0	370	370	0	971	839	△ 132	409	396	△ 13	110.54	107.03	△ 3.51
現代人間学部	3	3	0	595	595	0	1,346	1,032	△ 314	402	391	△ 11	67.56	65.71	△ 1.85
現代教養学部	3	3	0	1,480	1,480	0	10,954	9,430	△ 1,524	1,653	1,640	△ 13	111.69	110.81	△ 0.88
国際日本学部	3	3	0	890	860	△ 30	10,821	9,988	△ 833	900	889	△ 11	101.12	103.37	2.25
その他	136	142	6	33,852	35,397	1,545	217,481	227,740	10,259	33,905	35,472	1,567	100.16	100.21	0.05
合計	1,908	1,950	42	497,939	502,635	4,696	3,822,486	3,713,827	△ 108,659	502,194	500,599	△ 1,595	100.85	99.59	△ 1.26

学部系統区分	
医学	医
歯学	歯/生命歯/口腔歯
薬学	薬
保健系	保健/看護/栄養/鍼灸/保健衛生/医療技術/看護福祉/保健福祉/医療衛生/保健科/産業保健/保健医療/医療福祉/リハビリテーション/医療/健康メディカル/健康医療科/看護栄養/保健看護/医療健康科/医療看護/医療健康/看護医療/医療科/看護リハビリテーション/ヒューマンケア/医療保健/総合リハビリテーション/医療福祉マネジメント/保健医療技術/保健医療福祉/健康福祉学群/リハビリテーション科/医療情報/看護保健/健康医療/健康医療スポーツ/国際看護/リハビリテーション（専門職）/医療保健科
理・工学系	理工/理/工/生産工/芸術工/情報科/医用工/デザイン工/生物理工/環境/生命科/情報工/フロンティアサイエンス/環境都市工/技能工芸/産業理工/化学生命工/創造理工/創造工/応用生命科/ソフトウェア情報/応用バイオ科/バイオサイエンス/バイオ・化/コンピュータサイエンス/建築/情報通信工/情報通信/生物生命/未来科/生物/システムデザイン工/ロボティクス＆デザイン工/建築都市工/基幹工/航空工/データサイエンス/航空・マネジメント学群/情報経営イノベーション（専門職）/先端理工/工科（専門職）/建築都市/未来工/化学生命/電気自動車システム工（専門職）
農学系	農/獣医/海洋/生物産業/生物資源科/生命環境/海洋生命科/獣医学群/農食環境学群/動物看護/食料産業/フードサービスマネジメント（専門職）
人文科学系	文/文芸/神/仏教/外国語/人文/国際言語文化/比較文化/国際文化/現代文化/人間/文化/人間関係/人文科/心理/神道文化/こども心理/心理科/国際人文/国際英語/国際・英語/表象文化/現代心理/心身科/言語コミュニケーション/異文化コミュニケーション/グローバル教養/文化構想/子ども未来/心理こども/歴史/グローバル・コミュニケーション学部（群）/英語キャリア/臨床心理/グローバル地域文化/英語国際/総合心理/文化社会/教育人文/教育・心理
社会科学系	社会/社会科/産業社会/社会福祉/法/政経/政治経済/経済/経営/商/商経/経営情報/情報/国際政治経済/経済情報/総合政策/人間社会/環境情報/社会情報/流通科/コミュニケーション/現代社会/流通情報/流通/人間福祉/経済科/国際経営/経営法/現代法/社会環境/現代日本社会/現代福祉/福祉社会/生涯福祉/観光/２１世紀アジア/人間健康福祉/コミュニティ福祉/現代経営/コミュニティ政策/総合経営/マネジメント/シティライフ/総合福祉/ビジネス情報/総合社会/国際社会/政策/マネジメント創造/都市生活/サービス経営/福祉/総合マネジメント/国際観光/ビジネスデザイン/情報マネジメント/現代コミュニケーション/公益/経済経営/経営経済/現代マネジメント/観光ビジネス/アジア太平洋/知的財産/産業情報/社会システム科/現代ビジネス/地域政策/ネットワーク情報/社会イノベーション/政策情報/福祉総合/ビジネスマネジメント学群/ビジネス/工芸/情報社会/グローバルビジネス/地球社会共生/観光コミュニティ/地域創造/都市創造/国際社会科/地域創生/情報連携/地域経営/公共/国際コミュニティ/地域共創/メディアビジネス/環境デザイン/社会共生/社会情報デザイン/事業創造（専門職）/情報（専門職）/経法商/アントレプレナーシップ/観光まちづくり/地域総合/福祉社会デザイン/グローバルビジネス（専門職）/サステイナビリティ観光/人間社会科
家政学	家政/生活科/人間生活/生活環境/食文化/健康プロデュース/栄養科/人間健康/服装/健康生活/食物栄養/食物栄養科/健康管理/管理栄養/現代生活/現代家政/服飾/健康栄養学部（群）/人間生活科/人間栄養/生活創造/食環境科/医療栄養/国際ファッション（専門職）/食健康科/生活創生
教育学	教育/児童/人間教育/人間発達/児童保育/保育/子ども/こども/発達科/子ども（こども）教育/発達教育/子ども生活/国際こども教育/子ども育成/人間開発/健康・スポーツ科/次世代教育/臨床教育/現代教育/学校教師/スポーツ健康政策/児童スポーツ教育/教育文化/保育児童/児童教育/心理・教育学群/国際教育/子ども支援
体育学	体育/スポーツプロモーション
芸術系	芸術/美術/造形/音楽/デザイン/映画/アニメーション文化/東京メディア芸術/造形構想
その他	応用生物科/国際食料情報/地域環境科/地球環境科/人間文化/国際地域/国際交流/現代中国/国際コミュニケーション/健康科/教養/文理/学芸/人間科/国際関係/国際/不動産/スポーツ健康科/文化情報/総合情報/政策科/都市情報/国際情報/総合文化/ホスピタリティ・ツーリズム/メディア造形/基幹理工/国際文化交流/表現/生命工/生命医科/生命・環境科/システム理工/先進理工/環境園芸/スポーツ科/総合人間科/知能情報/教育福祉/英語情報マネジメント/人間環境/人文社会学部（群）/メディアコミュニケーション/経営教育/メディア/キャリアデザイン/メディア情報/政策創造/情報メディア/現代人間/情報コミュニケーション/経営文化/文化創造/文化表現/医療経営管理/芸術情報/交流文化/国際福祉開発/現代教養/人間情報/社会安全/キャリア形成/国際日本/教育人間科/スポーツ/応用心理/国際教養/心理（・）福祉/生涯スポーツ/映像/総合人間/人間総合/未来デザイン/感性デザイン/マンガ/健康福祉/危機管理/リベラルアーツ学群/情報フロンティア/リベラルアーツ/グローバル・メディア・スタディーズ/グローバルスタディーズ/福祉健康/現代政策/応用生物/現代国際/総合文化政策/情報理工/生命健康科/バイオ環境/サービス創造/スポーツ健康/ライフデザイン/スポーツ・健康科/スポーツ人間/福祉貢献/モチベーション行動科/コミュニケーション文化/生物地球/生命/地域共創学群/総合数理/建築・環境/観光メディア文化/芸術文化学群/総合グローバル/国際キャリア/先進工/福祉心理/国際リベラルアーツ/人間社会学群/心理社会/グローバル/人間共生/創造表現/スポーツ文化/世界共生/心理・医療福祉マネジメント/健康/スポーツマネジメント/人間総合学群/国際貢献/食マネジメント/地域マネジメント/コミュニティ人間科/世界教養/建築都市デザイン/健康スポーツ/健康科（専門職）/グローバル・リベラルアーツ/アニメ・マンガ（専門職）/メディア表現/建築＆芸術/文理融合/環境科/教育探究科学群/建築・デザイン/デザイン・データ科/健康データサイエンス/健康スポーツ科/スポーツウエルネス/情報デザイン（専門職）/ビューティ＆ウェルネス（専門職）/国際共生/心理・社会福祉/創域理工/福祉心理子ども

※令和４年度及び５年度の集計学部を『今日の私学財政』と同様に区分した。

【学部学科別 就職希望者における就職決定率】

指標	就職希望者の就職決定率
基本データ1	(卒業進路)就職者数
演算子	÷
基本データ2	就職希望者数

指標	就職希望者の就職決定率			単位	%							
学部・学科	2018年度	2019年度	※	2020年度	※	2021年度	※	2022年度	※	2023年度	※	2024年度	※
全学計	98.3	98.0	97.5	96.8	96.7	96.4	96.3	96.9	96.8	96.7	96.7	97.3	97.4
学部計	98.3	98.0	97.5	96.8	96.7	96.4	96.3	96.9	96.8	96.7	96.7	97.3	97.4
法学部	98.2	98.0	97.8	97.9	97.9	97.2	97.2	98.1	98.1	97.8	97.7	97.6	97.6
法律学科	98.0	97.6	97.6	97.4	97.4	96.3	96.2	98.1	98.1	97.6	97.6	98.0	98.1
国際企業関係法学科	98.0	98.7	98.0	97.1	97.1	98.4	98.3	97.1	97.1	99.2	99.2	95.9	95.9
政治学科	98.6	98.4	98.1	99.1	99.0	98.6	98.6	98.5	98.5	97.5	97.5	97.5	97.5
経済学部	98.7	97.5	96.9	96.2	96.1	95.4	95.3	96.8	96.8	97.4	97.3	97.7	97.7
経済学科	98.7	96.8	96.5	96.4	96.3	95.1	95.0	96.7	96.6	96.8	96.8	96.4	96.6
経済情報システム学科	98.1	97.4	96.4	96.2	96.1	96.4	96.3	98.6	98.6	98.3	98.2	99.3	99.3
国際経済学科	98.7	98.6	97.7	96.0	95.7	94.5	94.4	96.7	96.6	97.5	97.4	98.8	98.7
公共・環境経済学科	99.3	97.5	97.5	96.1	96.0	96.9	96.8	95.8	95.8	98.0	97.9	97.7	97.6
商学部	97.6	98.4	98.1	95.4	95.3	97.6	97.5	96.1	96.1	95.8	95.8	97.8	98.1
経営学科	97.5	97.5	97.2	95.0	94.9	97.1	97.0	96.0	96.0	98.0	97.9	98.8	98.7
会計学科	98.0	98.7	98.7	93.5	93.4	97.5	97.5	97.8	97.8	95.0	94.8	97.9	98.7
商業・貿易学科	97.7	99.0	98.3	97.4	97.3	98.6	98.5	95.6	95.6	95.7	95.6	97.2	97.5
金融学科	97.1	98.4	98.4	96.8	96.7	96.7	96.6	93.8	93.8	93.3	93.8	96.9	96.9
理工学部	99.3	98.7	98.3	98.3	98.2	97.2	97.1	97.5	97.5	97.5	97.4	98.1	98.0
数学科	100.0	100.0	100.0	95.8	95.8	93.2	93.1	100.0	100.0	100.0	100.0	91.9	91.6
物理学科	96.9	100.0	100.0	97.4	97.4	90.9	90.9	97.5	97.5	100.0	100.0	96.8	96.7
都市環境学科	98.2	98.0	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.6	97.6	100.0	100.0	100.0	100.0
精密機械工学科	100.0	100.0	100.0	97.1	97.0	100.0	100.0	98.2	98.2	97.3	97.2	94.1	94.1
電気電子情報通信工学科	100.0	98.5	98.5	98.4	98.3	94.6	94.5	96.2	96.2	96.4	96.2	100.0	100.0
応用化学科	97.9	95.7	95.7	97.2	97.1	95.1	94.9	95.9	95.9	97.8	97.7	100.0	100.0
ビジネスデータサイエンス学科	100.0	98.6	98.6	98.2	98.1	98.9	98.9	99.1	99.1	92.8	92.6	98.6	98.6
情報工学科	98.2	100.0	97.0	100.0	100.0	98.7	98.7	95.3	95.2	97.0	96.9	100.0	100.0
生命科学科	100.0	95.3	95.3	100.0	100.0	100.0	100.0	93.7	93.7	100.0	100.0	100.0	100.0
人間総合理工学科	100.0	100.0	100.0	98.4	98.3	97.3	97.1	100.0	100.0	97.6	97.5	96.4	96.4
文学部	98.1	97.2	96.6	96.5	96.4	95.5	95.4	95.4	95.4	95.4	95.5	96.2	96.6
人文社会学科	98.1	97.2	96.6	96.5	96.4	95.5	95.4	95.4	95.4	95.4	95.5	96.2	96.6
総合政策学部	98.8	99.1	97.7	96.9	96.8	93.4	93.3	96.0	96.0	97.4	97.3	97.3	97.6
政策科学科	100.0	98.3	95.8	95.8	95.8	94.6	94.5	97.1	97.0	97.3	97.2	96.2	96.9
国際政策文化学科	96.9	100.0	100.0	98.2	98.1	92.3	92.2	94.9	94.9	97.5	97.4	98.4	98.4
国際経営学部	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	97.9	97.9	94.5	94.3	94.5	94.4
国際経営学科	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	97.9	97.9	94.5	94.3	94.5	94.4
国際情報学部	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	100.0	100.0	96.7	96.6	97.6	97.6
国際情報学科	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	－－－	100.0	100.0	96.7	96.6	97.6	97.6

※:「文部科学省における大学等卒業者の「就職率」の取扱いついて(通知)」(平成25年12月16日付 25文科高第667号)の定義による就職率。

資料４

統合イノベーション戦略 2025

令 和 ７ 年 ６ 月 ６ 日

閣　　議　　決　　定

目次

１．基本的な考え方 1
２．第６期基本計画の総仕上げとしての取組の加速 1
（１）先端科学技術の戦略的な推進 1
（２）知の基盤（研究力）と人材育成の強化 15
（３）イノベーション・エコシステムの形成 18
３．第７期基本計画に向けた議論も踏まえた取組の推進 21
（１）経済安全保障との連携強化 21
（２）研究力の強化、人材の育成・確保 22
（３）イノベーション力の向上 23

別添　Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策 26
１．国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革 26
（１）サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出 26
（２）地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続なイノベーションの推進 37
（３）レジリエントで安全・安心な社会の構築 54
（４）価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成 65
（５）次世代に引き継ぐ基盤となる都市と地域づくり（スマートシティの展開） 76
（６）様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用 81
２．知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化 93
（１）多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築 93
（２）新たな研究システムの構築（オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進） 111
（３）大学改革の促進と戦略的経営に向けた機能拡張 121
３．一人ひとりの多様な幸せ（well-being）と課題への挑戦を実現する教育・人材育成 127
４．官民連携による分野別戦略の推進 137
（１）ＡＩ技術 137
（２）バイオテクノロジー 146
（３）量子技術 149
（４）マテリアル 152
（５）フュージョンエネルギー 154
（６）健康・医療 157
（７）宇宙 163
（８）海洋 168
（９）食料・農林水産業 171
５．知と価値の創出のための資金循環の活性化 177
６．総合科学技術・イノベーション会議の司令塔機能の強化 180
（１）「総合知」を活用する機能の強化と未来に向けた政策の立案・情報発信 180
（２）エビデンスシステム（ｅ－ＣＳＴＩ）の活用による政策立案機能強化と政策の実効性の確保 180
（３）第６期基本計画に連動した政策評価の実施と統合戦略の策定 181
（４）司令塔機能の実効性確保 181

引き続き取り組んでいくとともに、大学等における研究セキュリティ・インテグリティ確保のため、研究者等に対する研修プログラムの実施等を進める。

（国家安全保障戦略を踏まえた先端科学技術の安全保障分野での積極的な活用）

・　「国家安全保障戦略（令和４年 12 月 16 日国家安全保障会議及び閣議決定）」を踏まえ、我が国の官民の高い技術力を幅広くかつ積極的に安全保障に活用するため、安全保障に活用可能な官民の技術力を向上させ、研究開発等に関する資金及び情報を政府横断的に活用するための体制を強化する。具体的には、防衛省の意見を踏まえた研究開発ニーズと関係府省が有する技術シーズを合致させ、総合的な防衛体制の強化に資する科学技術の研究開発を推進すべく、令和６年度に続きマッチング事業を認定する。認定された事業について、関係省庁と防衛省との間でコミュニケーションを実施することで、防衛省の研究開発に結び付く可能性が高いものを効率的に発掘・育成する。

③　ＳＩＰ、ＢＲＩＤＧＥ、ムーンショット型研究開発制度等を通じた研究開発・社会実装の推進

・　国内では人手不足が深刻化し、ＡＩ・ロボティクスによる自動化・省力化を通じた生産性向上への対応が急務となっている。また、テクノロジーを社会実装し、社会の課題解決や新たな価値創造を進めていく上では、自然科学のみならず人文・社会科学も含めた総合知の活用が重要であり、活用事例の周知やワークショップの開催等を通じた周知啓発を図るとともに、研究活動におけるダイバーシティの確保やジェンダード・イノベーションの創出等の観点も踏まえつつ、更なる推進方策を検討する。

・　科学技術を具体的かつ戦略的に社会実装していくため、ＳＩＰ第３期において、社会課題解決のニーズからバックキャストで設定した 14 課題を基礎研究から社会実装まで一気通貫で推進する。「総合知」の観点から社会実装に必要な５つの視点（技術、制度、事業、社会的受容性、人材）を導入するとともに、科学技術分野に加え人文・社会科学分野もプログラムの対象とし、課題間の連携を積極的に進めていく。ＳＩＰ第３期の３年目（令和７年度）に行うステージゲート評価も見据えつつ、具体的な社会実装を念頭に事業を推進するとともに、早期の社会実装が見込める研究については、各省庁の研究開発成果等の社会実装を後押しする「研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム」（以下「ＢＲＩＤＧＥ」という。）等を活用するなど、ＢＲＩＤＧＥとＳＩＰを一体的に運用し、研究開発成果の社会実装を加速する。

・　防災・減災の観点からは、令和６年能登半島地震等も踏まえ、今後の初動対応・応急対策を強化するため、災害対応等において有効と認められる新技術等について、平時における利活用の観点も踏まえつつ、社会実装等を推進する。ＳＩＰ第３期「スマート防災ネットワークの構築」において、迅速かつ詳細な災害情報の収集に向けて、小型ＳＡＲ衛星等の多種多様なセンシングデータを用いたデータ統合基盤や防災ＩｏＴ技術を活用したシステム、地球観測・気候予測データ等を活用し、気候変動の影響も踏まえた災害の激甚化を想定したリスク予測のための被災予測シミュレーション技術等の開発に取り組む。また、ＡＩ等も活用して効果的な災害対応を可能とするデジタルツインの構築や情報提供基盤の開発に取り組むとともに、防災研究の全体俯瞰に基づく効率的・効果的な研究開発投資及び社会実装に取り組む。くわえて、地震調査研

や研究環境のダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援するなど、第６期基本計画や「第５次男女共同参画基本計画（令和２年 12 月 25 日閣議決定）」に基づく取組を進めるとともに、指導的立場も含めた女性研究者の更なる活躍を促進する。

（「Society 5.0 の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」に基づく施策の推進）

・ 「Society 5.0 の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」（令和４年６月２日総合科学技術・イノベーション会議決定）に基づき、子供の特性を重視した学びの「時間」と「空間」の多様化、探究・ＳＴＥＡＭ教育を社会全体で支えるエコシステムの確立、文理分断からの脱却・理数系の学びに関するジェンダーギャップの解消を推進していく。特に、官民協働による「トビタテ！留学 JAPAN」を始めとする社会全体で高等学校・高等教育段階の海外留学を後押しする取組の促進や、国際科学コンテストへの派遣、大学等による特別な教育プログラムの提供等、優れた才能ある子供が国内外で切磋琢磨する機会の充実、企業等が参画して子供に多様な学びを提供するエコシステムの構築等に産業界の協力も得ながら取り組み、随時政策にフィードバックしていく。

（リカレント教育の充実）

・ 社会人が学び続けることによって社会・経済構造の変化に対応するとともに、多様で質の高いリカレント教育を受けられる環境を実現する。そのため、個人の学び直しが適切に評価されるよう、学修歴や必要とされる能力・学びの可視化、企業における学び直しの評価・処遇への反映を推進するとともに、産学官連携プラットフォームや産学協働体制による地方創生や経済成長に資するリカレント教育モデルの構築等の取組を加速する。

（３） イノベーション・エコシステムの形成

① 研究開発型スタートアップに対する徹底支援

（ＳＢＩＲ制度等を通じた支援の充実）

・ ＳＢＩＲ（Small/Startup Business Innovation Research）制度等を通じて、政策ニーズや政府調達ニーズに基づいて設定された研究開発課題について、プログラムマネージャーによる伴走支援の下で研究開発を支援する。また、令和５年度より追加している先端技術分野の技術実証フェーズを継続的に支援し、スタートアップ等による社会実装を強力に推進する。

（スタートアップからの公共調達促進）

・ 政府だけでは最適な解決策を見つけ出すのが困難な行政課題の解決に向け、スタートアップが有する高度かつ独自の新技術について、政府の調達ニーズに合わせて随意契約を可能とする制度（スタートアップ技術提案評価方式）の更なる活用促進ほか、令和５年度に拡充を行ったスタートアップの入札参加資格の特例措置に加え、ＳＢＩＲ制度を活用した企業への随意契約の特例措置の活用を推進するため、公共調達につながる研究開発課題の立案を推進する。

	除等対策におけるイノベーションを支援。	
	・ＡＩ画像解析やドローン等も活用しながら、全国に 1,000 箇所以上の定点の調査サイト（モニタリングサイト 1000）を設置し長期的な生態系の変化を把握するモニタリングを実施。	・モニタリングサイト 1000 調査を実施し、関連施策実施等の基礎となる科学的知見の集積を推進。【環】
	・「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」も踏まえて、企業が持つネイチャーポジティブに資する技術の活用推進のためのビジネスマッチングを進めるネイチャーポジティブ経営推進プラットフォームの新設等。	・同戦略を踏まえて、デジタル技術を始めとした科学技術イノベーションを活用しながら、ネイチャーポジティブ経済実現を推進。【農、経、国、環】
	・「ネイチャーポジティブとカーボンニュートラルの同時実現に向けた再エネ推進技術等の評価・実証事業」において、バイオミミクリーの視点を生かした再エネ普及技術の開発等、気候変動と生物多様性の損失への一体的な対応を可能とする技術実証を実施。	・同事業を継続して実施。地域の自然環境や生態系の質の維持・向上に資するような再エネ発電施設の施工方法や自然に学ぶアプローチ（バイオミミクリー）を生かしたCO_2の大幅削減やネイチャーポジティブに寄与する技術開発・実証を推進。【環】
	・循環経済（サーキュラーエコノミー）・ネイチャーポジティブ分野において国際標準・ルール形成の取組を検討。ネイチャーポジティブ分野におけるルール形成やその先の市場創造に向けて、我が国が優位性を有する技術として、地球観測衛星等を活用したリモートセンシングと環境ＤＮＡ測定による生物多様性データのマルチスケールデータモデリング等を特定。	・環境関連のビジネスルール（ＴＣＦＤ、ＣＥＲＥＰ、ＴＮＦＤ等）に係る国際標準化・ルール形成を推進。取り分け、自然再興分野においては、「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」に基づき、我が国の有する技術の事業化・標準化等を含めた戦略を令和９年度までに策定。また、ＴＮＦＤとの共同研究を行い、ＴＮＦＤデータファシリティを通じた開示の促進に参画。あわせて、ネイチャーポジティブなバリューチェーンの構築に向けた調査・検討等を推進。【環】
	・沖合海底自然環境保全地域等の生物学的・生態学的ベースラインデータ調査を継続。	・基礎調査を継続するとともに、保護区内の環境変化を把握するためのモニタリング調査を継続的に実施。【環】
	・自然環境保全基礎調査の総合解析（令和５～７年度）においては、「種の分布と変化」、「生態系の特徴と変化」、「過去の対策」、「今後必要な対策」の４つのテーマについて解析を実施。その結果を自然環境情報の解析や活用等の専門家からなる検討会で報告。	・解析結果を取りまとめ、一般向け資料及び政策決定者向け資料を作成し、令和８年度に公表。また、解析に活用したデータは、研究者が解析等に利用可能なデータベースとして提供。【環】
	・生物多様性保全の重要性と保全活動の効果を「見える化」するシステムの要件定義を実施。	・令和７年度の運用開始に向けて、システムの設計・開発を実施。【環】

④　国民の行動変容の喚起

基本計画における具体的な取組	実施状況・現状分析	今後の取組方針
○人文・社会科学と自然科学の融合による「総合知」を活用して、カーボンニュートラルの実現に向けた国民一人ひとりの取組の重要性に係る国民理解の醸成や脱炭素型への行動変容の促進を図る。とりわけ、BI-Tech（行	・ナッジ事業の成果を順次取りまとめ、デコ活応援団（官民連携協議会）等国内外に広く公表。また、令和７年度の事業終了に向けて、社会実装を目指した実証計画を立案。	・同取りまとめ及び公表を継続。行動に起因する社会課題の解決に向けた国民の意識変革や行動変容を推進。【環】
	・ナッジ等の行動科学の知見とＡＩ/ＩｏＴ等の先端技術の組合せ（BI-Tech）により、日常生活の様々な場面	・BI-Tech による行動変容モデルの構築・実証を進め、効果的で高度な行動変容を促進させ、脱炭素型のライフス

（６）　様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用

【あるべき姿とその実現に向けた方向性】

人文・社会科学と自然科学の融合による「総合知」を活用しつつ、我が国と価値観を共有する国・地域・国際機関等（ＥＵ、Ｇ７、ＯＥＣＤ等）と連携して、気候変動などの地球規模で進行する社会課題や、少子高齢化や経済・社会の変化に対応する社会保障制度等の国内における課題の解決に向けて、研究開発と成果の社会実装に取り組む。これにより、経済・社会の構造転換が成し遂げられ、未来の産業創造や経済成長と社会課題の解決が両立する社会を目指す。

広範で複雑な社会課題を解決するためには、知のフロンティアを開拓する多様で卓越した研究成果を社会実装し、イノベーションに結び付け、様々な社会制度の改善や、研究開発の初期段階からのＥＬＳＩ対応を促進する必要がある。このため、政府としては、国、各府省レベル、実施機関等の戦略を、エビデンスに基づき体系的・整合的に立案し、ミッションオリエンテッド型の研究開発プログラムや制度改革を進めるとともに、必要に応じて戦略を機動的に見直しできる体制を整備していく。

また、社会課題を解決するための先進的な技術の社会実装の加速化や、国際競争の下での我が国企業による海外展開の促進及び国際市場の獲得の重要な手段として、標準の戦略的・国際的な活用を官民で徹底して推進する。このため、官民の体制整備とともに、科学技術・イノベーションの社会実装やこれに伴う研究開発等に関して、官民で実施する事業を活用しつつ、官民の意識改革を図り、政府の政策や企業の経営戦略において幅広く、標準の戦略的・国際的な活用がビルトインされ、展開されるようにする。

さらに、国際的な責務と総合的な安全保障の観点も踏まえつつ、我が国と課題や価値観を共有する国・地域との間の国際的なネットワークを戦略的に構築するなどの科学技術外交を展開する。これにより、世界の知と多様性を取り込み発展させつつ、Society 5.0 を世界へ発信し、その共通理解と我が国の国際競争力の維持・強化を進める。国際的な研究活動等において核となり得る研究者を我が国から継続的に輩出し、国内外の研究コミュニティにおいて、科学技術先進国としての存在感を発揮し、国内外の多様なバックグラウンドを持つ優れた人材を我が国に引き付けるとともに、諸外国と調和した研究の健全性・公正性（研究インテグリティ）の自律的確保を支援する。

【目標】

- 少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題などに関する我が国の社会課題の解決に向けた研究開発を推進するとともに、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ（well-being）が向上する。

【科学技術・イノベーション政策において目指す主要な数値目標】（主要指標）

- 社会課題の解決の推進：次期ＳＩＰの全ての課題で人文・社会科学系の知見を有する研究者や研究機関の参画を促進する仕組みと「総合知」を有効に活用するための実施体制を組み込み、成果の社会実装を進める[104]

[104] ＳＩＰ第３期の全ての課題について、技術開発、事業、制度、社会的受容性及び人材の各視点から、関係省庁の取組と連携しつつ、プログラムを推進。

【現状データ】（参考指標）

- 算数・数学・理科が「楽しい」と思う児童・生徒の割合：算数（小学校）70%、数学（中学校）60%、理科（小学校）90%、理科（中学校）70%（令和５年）[167]
- 「社会のために役立つことをしたい」と思うこども・若者の割合：83.0%（令和４年度）[168]
- 時間外勤務時間が80時間を超える教職員の割合：小学校 6.4%、中学校 16.8%、高等学校 11.1%（令和４年６月）[169]
- 学校におけるＩＣＴ環境整備の状況：普通教室の大型掲示装置整備率 89.6%、統合型校務支援システム整備率 91.4%、学習者用デジタル教科書整備率 88.2%（令和５年度）[170]
- 教育訓練休暇制度の導入割合：8.0%（令和５年度）[171]
- キャリアコンサルタントの数：79,561人（令和６年度）[172]

①　ＳＴＥＡＭ教育の推進による探究力の育成強化

基本計画における具体的な取組	実施状況・現状分析	今後の取組方針
○ＳＴＥＡＭ教育を推進するため、2022年度から年次進行で全面実施される高等学校新学習指導要領に基づき、「理数探究」や「総合的な探究の時間」等における問題発見・課題解決的な学習活動の充実を図る。また、スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）において、科学技術人材育成システム改革を先導するような卓越した研究開発を進めるとともに、ＳＳＨのこれまでの研究開発の成果の普及・展開に向けて、2022 年度を目途に一定の実績を有する高校等を認定する制度を新たに創設し、その普及を図ることなどにより、ＳＴＥＡＭ教育を通じた生徒の探究力の育成に資する取組を充実・強化する。【文】	・高等学校各教科等指導主事連絡協議会等において、高等学校学習指導要領や「総合的な探究の時間」の指導手引書等を周知。また、同会議の理科部会、数学部会、理数部会等において、探究的な学習の充実に関する協議を実施。 ・卓越した実績のある指定校を始めＳＳＨ指定校への支援の充実、ＳＳＨ指定校と域内の学校や大学、企業等との連携が円滑になるよう、令和６年度は教育委員会等 18 機関にコーディネーターを配置。 ・令和４年度より、一定のＳＳＨの実績を有する高等学校等を、これまでの研究開発の成果を基にした実践活動を普及・展開する「認定枠」として指定。また、令和６年度に「ＳＳＨガイドライン」を作成し到達していることが望ましい姿を明確にすることで、ＳＳＨの成果の普及・展開、ＳＴＥＡＭ教育を通じた生徒の探究力の育成を推進。 ・「新時代に対応した高等学校改革推進事業」において、「普通科改革」を実施し、令和８年度までに新しい学科を設置する予定の高等学校を 35 校指定。 ・教育の更なる質の向上や学校における働き方改革を実現するため、小学校の教科担任制の推進について、高学年	・引き続き「理数探究」や「総合的な探究の時間」等における問題発見・課題解決的な学習活動の充実を図る。【文】 ・引き続きＳＳＨ指定校への支援に取り組むとともに、コーディネーターの配置や「認定枠」の活用により、ＳＳＨの成果普及・展開、生徒の探究力の育成を推進。令和７年度は 230 校を指定。【文】 ・科学技術・学術審議会人材委員会における議論を踏まえ、理数系人材育成の強化に資するＳＳＨの在り方について検討。【文】 ・国内外の機関との連携のためのコーディネート人材配置等の支援を実施。コーディネート人材育成のための情報共有等の場の構築を実施。【文】 ・教育の質の向上に向けて、引き続き教科担任制の強化に必要な定数改善を推進。【文】

[167] 文部科学省　国立教育政策研究所「国際数学・理科教育動向調査（ＴＩＭＳＳ2023）の結果（概要）」（令和６年12月）

[168] こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」（令和４年度）

[169] 文部科学省「令和４年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」（令和４年12月）。数値は回答した教育委員会における各時間帯の人数割合をそれぞれ算出し、それを足しあげた上で、回答教育委員会数で割ったもの。集計方法や対象とする時間・職員等は各教育委員会によって異なり、調査年度に詳細な勤務実態を把握できていた教育委員会のみのデータであるため、あくまでも参考値。

[170] 文部科学省「令和５年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）」（令和６年10月）

[171] 厚生労働省「令和５年度能力開発基本調査　調査結果の概要」（令和６年６月）

[172] 厚生労働省「都道府県別キャリアコンサルタント登録者数」（令和６年度）

	に加え、令和７年度予算案には４年生にも拡大するための経費を計上。 ・行政説明等を通じ、地方公共団体や学校へ小学校における教科担任制に関する好事例を横展開。 ・小学校高学年教科担任制に向けて、中学理科・数学等の教職課程を置く大学が小学校の教職課程を特例的に開設できるよう、教職課程認定基準を改正し、令和６年度に理科・数学に関連した１大学２学部５学科を認定。 ・「大学・高専機能強化支援事業」において、初回公募で計 118 件、第２回公募で 97 件の計画を選定。令和７年６月中の第３回選定に向けて公募を実施。 ・令和５年度及び令和６年度補正予算により情報、数学等の教育を重視するカリキュラムの実施、ＩＣＴを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する高等学校等に対し、必要な環境整備等の経費を支援。	・地方公共団体や学校へ小学校における教科担任制に関する好事例の横展開を継続。【文】 ・引き続き小学校の教職課程を特例的に開設できる制度について、教職課程を置く大学等に説明会等を通じて周知。【文】 ・意欲ある大学・高等専門学校を支援し、デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成を推進。（再掲）【文】 ・令和６年度補正予算及び令和７年度当初予算案において、継続校と新規採択校に加え、グローバルな視点、特色化・魅力化を図る視点、産業界と連携した最先端の職業人材育成等プロフェッショナルな視点から取り組む学校を重点的に支援するための経費や域内横断的な取組を支援するための経費を計上しており、引き続き支援の充実に取り組む。【文】
○広く我が国の初等中等教育で利活用可能なＳＴＥＡＭライブラリー の整備を加速する。あわせて、初等中等教育段階で利活用可能な教育コンテンツについて、モデルプランの提示や全国への周知を進める。また、初等中等教育機関のみならず、社会全体でＳＴＥＡＭ教育を推進できるよう、2021 年度に、ＣＯＣＮ が構築するプラットフォームと連携し、全国に分散する人材や知見、コンテンツの横展開や連携を促進する。加えて、最先端の研究内容を題材とした初等中等教育の教育コンテンツ作成を図るため、公的資金により実施している研究の中で、児童・生徒の知的好奇心を刺激し、題材として適切な研究内容について、その教材化の方策を 2021 年度までに検討し、結論を得る。【科技、文、経】	・ＪＳＴサイエンスポータルにおけるＳＴＥＡＭ教育サイト「サイエンスティーム」の運用を開始。 ・初等中等教育での利活用を目的としたＳＴＥＡＭライブラリーを運営し、ＳＴＥＡＭ教育の推進に取り組んだ。 ・民間事業者と学校が協働して実施する教育コンテンツの開発等の実証を実施。実証の先進事例を自立的に継続させるための環境整備に向けて、有識者による研究会を実施し、令和６年７月に報告書を公表。あわせて、令和７年１月に全国の先進事例をまとめた事例集を作成・公表。 ・高校生等が対象のアントレプレナーシップ教育プログラムの提供を実施。さらに、アントレプレナーシップ推進大使として起業家等が小中高を訪問し、アントレプレナーシップ教育に触れる機会拡大を実施。 ・教育デジタルコンテンツと学習指導要領コードの自動ひも付けＡＩ及び教育デジタルコンテンツを容易に検索するためのＡＰＩプロトタイプを令和５年度事業で整備し、デジタル庁ＨＰに公開。 ・競争的研究費制度の関係府省申合せに基づき、競争的研究費を獲得した研究者や研究機関が子供たちにアウトリーチ活動をするインセンティブを付与していく取組を促進するよう周知。	・「サイエンスティーム」を運用し、ＳＴＥＡＭ教育に資する動画や記事の配信、ＳＴＥＡＭライブラリーとの連携等を促進。【科技、文、経】 ・引き続きＳＴＥＡＭライブラリーの運営を行い、利活用を推進。【科技、文、経】 ・民間事業者と学校が協働して実施する教育コンテンツの開発等の実証を行うほか、研究会での議論を踏まえ、社会との連携により子どもたちへの多様な学びを提供できる環境整備を目指す。（再掲）【経】 ・アントレプレナーシップ推進大使の活動拡大を含め、産業界・自治体と連携し、小中高生がアントレプレナーシップ教育を受講できる環境整備を推進。（再掲）【科技、文、経】 ・引き続きＡＰＩプロトタイプについて、デジタル庁ＨＰに公開し、様々な教育コンテンツへの学習指導要領コードのひも付けを促進。【科技、デジ、文、経】 ・引き続き事業の特性も踏まえつつ、競争的研究費を獲得した研究者や研究機関が子供たちにアウトリーチ活動をするインセンティブを付与していく取組の推進について周知。【文】

	ティカル休暇導入等の先進的取組を実施している企業の事例を紹介。	
○博士人材の産業界へのキャリアパスの拡大と、企業人材の学び直しの双方に寄与するような企業と大学の共同研究・共同教育を加速させる取組を行う。【経】	・「博士人材の民間企業における活躍促進に向けた検討会」を開催し、博士人材の民間企業での活躍を促進するために有効な、大学による支援や企業における取組について、ガイドブックとして取りまとめを実施。また、企業で働く博士人材のロールモデル事例集を策定。 ・自社が必要とする専門人材育成のために高等教育機関に共同講座を設置する企業等に対して、その費用を一部補助する「高等教育機関における共同講座創造支援事業費補助金」を実施。28 件の企業等を支援。	・検討会で取りまとめたガイドブックと、ロールモデル事例集の周知・普及を行うとともに、博士人材の活躍促進に向けた更なる取組を実施。（再掲）【文、経】 ・事業の成果を踏まえ、必要な方策を検討。【経】

⑥　大学・高等専門学校における多様なカリキュラム、プログラムの提供

基本計画における具体的な取組	実施状況・現状分析	今後の取組方針
○様々な価値観に基づく個人の自己実現を後押しする個性豊かな大学群を整備する。具体的には、高等教育において、その享受者として最も重要なステークホルダー、大学の構成員である学生を、大学の発展に長期的に利害を共有する者と位置づけ、国立大学法人に対しては、ガバナンス・コードにおいて学生がどのような教育成果を享受することができたのかを示す情報の公表を求めるとともに、各大学は、学生の満足度や卒業後、学生の能力が社会でどのように評価されているかなどの長期的な視点も含めて調査・分析・検証し、その結果を教育課程や入学者選抜につなげるのみならず、学生が適切な大学選択を行えるよう、比較可能な形で情報公開を充実させることで、学生や学生になり得る国民への教育に関する説明と結果責任を果たす。【科技、文】	・各国立大学法人において、学生が享受した教育成果を示す情報の公表も含むガバナンス・コードへの適合状況等に関する報告書を公表。	・引き続き各国立大学法人において、学生が享受した教育成果を示す情報の公表も含むガバナンス・コードへの適合状況等に関する報告書を公表。【文】
○学部・研究科などの枠を超えて教育課程を設置できる学位プログラム制度や、ダブルメジャー等の学位取得が可能な制度について積極的な活用を促す。あわせて、大学教育における文理を横断したリベラルアーツ教育の幅広い実現を図るため、当該制度を活用して全学的な共通教育から大学院教育までを通じて広さと深さを両立する新しいタイプの教育プログラム（レイトスペシャライゼーションプログラム等）を複数構築する。【文】	・「知識集約型社会を支える人材育成事業」に採択された大学の取組について、事業成果発信のためのイベントやシンポジウムの開催等も含めてフォローアップ等を実施。	・令和 6 年度で終了する「知識集約型社会を支える人材育成事業」について、令和 7 年度に行う事後評価において、事業計画の達成状況等を適切に評価。【文】
○2022 年度からの国立大学法人の第 4 期中期目標期間に合わせ、地域課題や大学の強みなどに基づくリカレント教育を経営の柱とする大学を、積極的に評価する。あわせて、地域の産業界	・国立大学法人運営費交付金「成果を中心とする実績状況に基づく配分」において、評価項目の一つとして、社会人学生比率の評価を実施。	・評価項目の一つとして、社会人学生比率の評価を継続。【文】

６．総合科学技術・イノベーション会議の司令塔機能の強化

（１）　「総合知」を活用する機能の強化と未来に向けた政策の立案・情報発信

基本計画における具体的な取組	実施状況・現状分析	今後の取組方針
社会課題を解決するためには、従来の延長線上の取組のみならず、新たな価値観を示し、制度的なアプローチをとることが求められる。新たな技術を社会で活用するにあたり生じる制度面や倫理面、社会における受容などの課題に対応するため、人文・社会科学も含めた「総合知」を活用できる仕組みを構築する。その際、2030 年、更にその先の目指すべき社会像を描き、その社会像からのバックキャスト的アプローチで政策の体系化を図るとともに、現状をしっかりと把握・分析し、未来に向けた新たな政策をフォーキャスト的なアプローチで立案し、これらを総合してフォーサイト[188]を行う。 また、政策立案にあたっては、社会との多層的な科学技術コミュニケーションや国民をはじめとする多様なセクターへの情報発信も重要である。トランス・サイエンス[189]が重視される時代における「政策のための科学（Science for Policy）」の重要性にも鑑み、アカデミアと政治・行政との間で、課題認識や前提を共有した上で、科学的知見に基づく独立かつ的確な助言や提言が行われることが重要であり、例えば、これらの関係者間をつなぐ仕組みの構築を検討する。	・総合知を活用する場の構築を推進するため、ワークショップやシンポジウムを開催するとともに、「総合知ポータルサイト」やＳＮＳで総合知の基本的考え方や活用事例を発信。総合知に関する指標のモニタリングを実施。 ・ＳＮＳ（Facebook、X）を用いた科学技術・イノベーション政策に関する情報を、Facebook では 113 件、X では 46 件発信（令和６年度実績）。	・総合知に関するワークショップ等の開催や活用事例等を発信。総合知に関する指標のモニタリングを継続。（再掲）【科技】 ・科学技術・イノベーション政策に関して、ＳＮＳを始めとする多様なメディアを通じた情報発信を継続。【科技】

（２）　エビデンスシステム（ｅ－ＣＳＴＩ）の活用による政策立案機能強化と政策の実効性の確保

基本計画における具体的な取組	実施状況・現状分析	今後の取組方針
科学技術・イノベーション行政において、客観的な証拠に基づく政策立案を行うＥＢＰＭを徹底し、2023 年度までに全ての関係府省においてエビデンスに基づく政策立案等を行う。その際、エビデンスシステム（e-CSTI）を活用し、民間投資の呼び水となるような政府研究開発投資のマネジメント、国立大学・研究開発法人における高度な法人運営（EBMgt[190]）をはじめとする各施策、国家戦略の企画立案等のパフォーマンスの向上を図る。	・研究者の属性情報を活用した可視化・分析を実施。作成したツールをｅ－ＣＳＴＩを通じて関係府省・研究機関に共有。 ・科学技術関係予算の対応付けデータを収集し、過年度収集データと統合・整理した上で可視化。 ・研究機関の研究設備・機器の共用状況や技術職員に係る令和５年度データを収集、過年度データとの分析・可視化。	・視点を充実させた分析結果を活用し、ＥＢＰＭ・ＥＢＭｇｔを推進。【科技】 ・イノベーション・エコシステムに係る調査を実施。【科技】 ・ｅ－ＣＳＴＩを通じた分析の充実・多様化を図るため、データの整理・分析の高度化、継続的なデータマネジメントに向けた検討を実施。【科技】 ・科学技術関係予算の対応付けデータの収集、第６期基本計画の中目標に関連する事業の整理及び関連する各種指標の状況の可視化を継続。【科技】 ・研究設備・機器の共用状況等のデータ収集・調査・分析を継続。【科技】

188 変化が激しく、複雑で、不確実な未来に対して様々な情報を組み合わせて考察する活動。

189 科学に問うことはできるが、科学だけでは答えることができない問題。

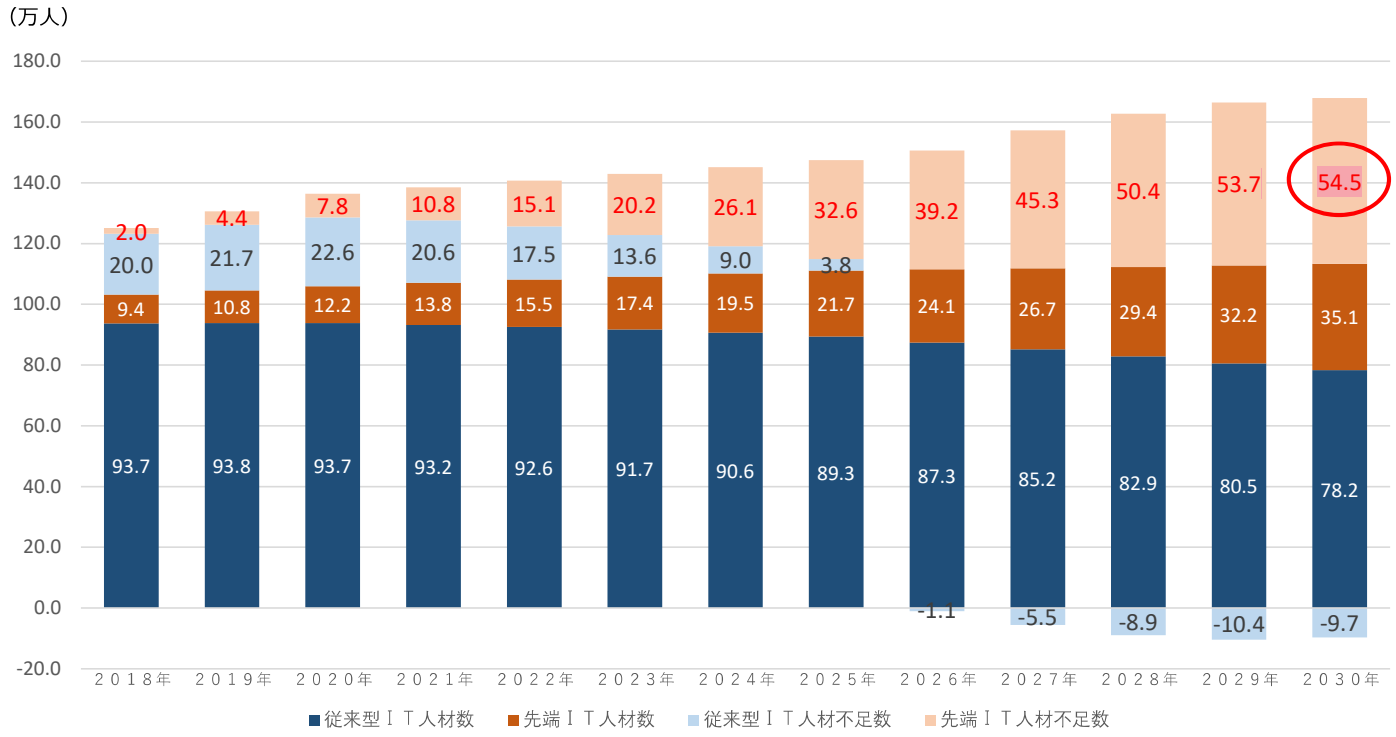
190 エビデンスに基づくマネジメント。

我が国の「知の総和」向上の未来像
～高等教育システムの再構築～
（答申）

関　係　デ　ー　タ　集

IT人材需給に関する試算

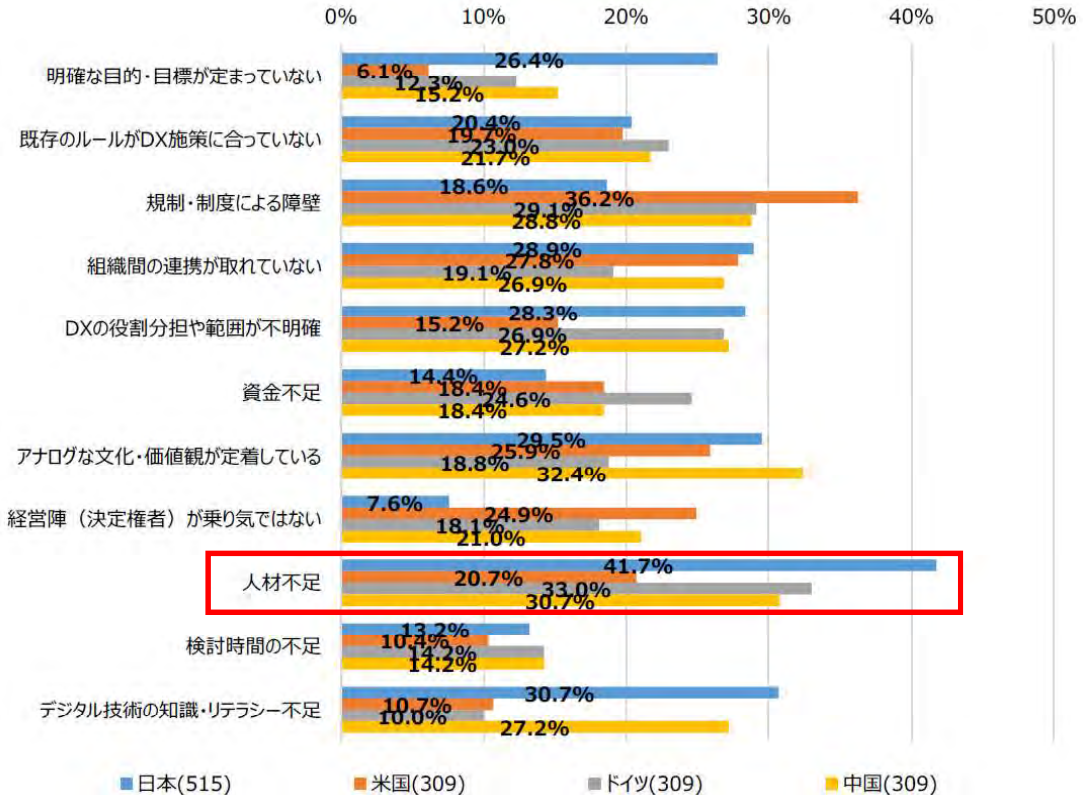
ＩＴ人材需給に関する試算では、人材のリスキリングが停滞した場合、2030年には先端ＩＴ人材が54.5万人不足。



（出典）経済産業省委託調査「ＩＴ人材需給に関する調査（みずほ情報総研株式会社）」（2019年３月）より作成。

企業がデジタル化を推進する上での課題（日米独中比較）

アメリカ、ドイツ、中国と比較して、日本はデジタル化を推進する上での課題として、「人材不足」を挙げている企業が圧倒的に多い。



（出典）総務省委託調査「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究の請負成果報告書（株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）」（2023年３月）

資料６

経済産業省

令和８年１月27日
p.3,11,12について
数値修正

2040年の就業構造推計（改訂版）について

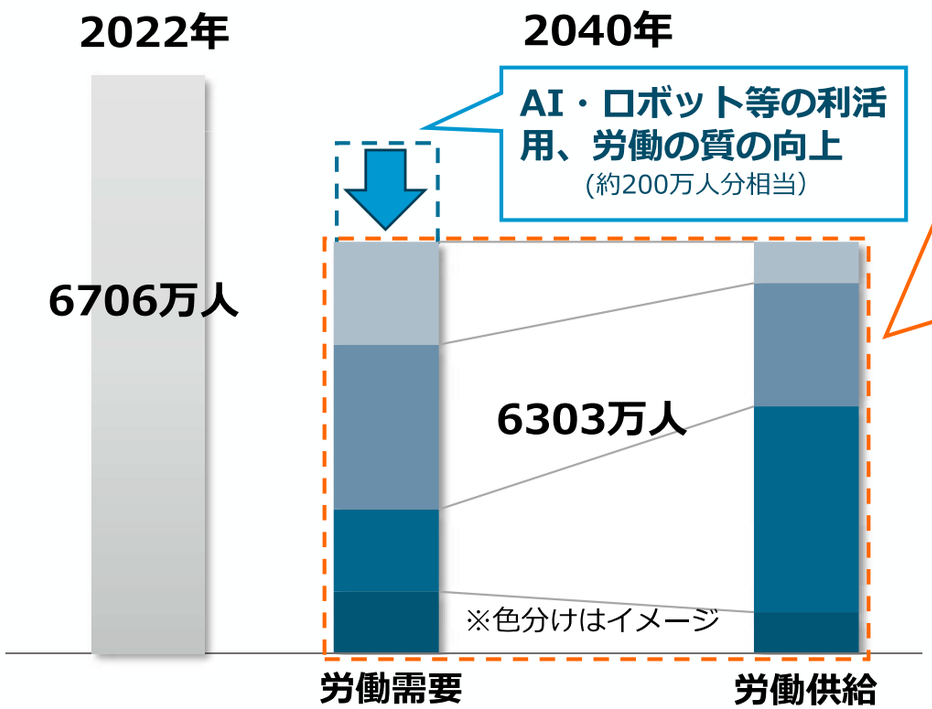
2026年1月

経済産業省　経済産業政策局

暫定版（数値精査中）

2040年の就業構造推計（改訂版）の概要

- 2040年に十分な国内投資や産業構造転換が実現する場合(注)、人口減少により就業者数は約6700万人(2022年)から約6300万人となるが、**AI・ロボット等の利活用やリスキリング等により労働需要が効率化され、全体で大きな不足は生じない。**
- 一方で、職種・学歴・地域間では需給ミスマッチが生じるリスクがあり、**事務職(約440万人)や文系人材(約80万人)が余剰、AI・ロボット等利活用人材(約340万人)を含む専門職や現場人材(約260万人)、理系人材(約120万人)が不足する**可能性。



職種・学歴間のミスマッチ

職種別	専門職	うち AI・ロボット等利活用人材	事務職	現場人材	うち 生産工程従事者
2040年 需給ミスマッチ	-181万人	-339万人	437万人	-260万人	-206万人
2040年需要数/供給数	1867万人/1686万人	782万人/443万人	1039万人/1476万人	3283万人/3023万人	731万人/525万人
2022年就業者数	1288万人	236万人	1455万人	3637万人	835万人

学歴別	高卒（普通科）	高卒（工業科）	高専卒	大卒・院卒 理系	大卒・院卒 文系
2040年 需給ミスマッチ	31万人	-91万人	-15万人	-124万人	76万人
2040年需要数/供給数	778万人/810万人	538万人/447万人	77万人/62万人	899万人/776万人	1549万人/1625万人
2022年就業者数	899万人	534万人	64万人	689万人	1678万人

（注）2025年6月経済産業省産業構造審議会新機軸部会「第4次中間整理」における2040年の産業構造推計（新機軸ケース）を前提としている。また、2022年就業者数は、総務省「就業構造基本調査」（令和4年度）、文部科学省「学校基本調査」（令和4年度）の調査票情報を基に経済産業省が独自に作成・加工して利用しており、提供主体（総務省、文部科学省）が作成・公表している統計等とは異なる。
（注）職種分類について、「専門職」は、日本標準職業分類上の専門的・技術的職業従事者を指す。また、そのうち「AI・ロボット等利活用人材」は、日本標準職業分類上の機械技術者やその他の情報処理通信技術者等の職種を集計。「現場人材」は、日本職業分類上の生産工程従事者、建設・採掘従事者、サービス職業従事者等の職種を集計。学歴は学校基本調査上の学部学科コードを元に分類。なお、右表には主要な項目のみ掲載しているため、ミスマッチ数の合計はゼロにならない。

暫定版（数値精査中）

全国版就業構造結果（改訂版）・職種間ミスマッチ

- AI・ロボット等利活用による省力化に伴い、**事務職は約440万人の余剰**が生じる可能性。
- 多くの産業において、**AI・ロボット等利活用人材(約340万人)や現場人材(約260万人)不足。**

	専門職	うちAI・ロボット等の利活用を担う人材	事務職	現場人材	うち生産工程従事者	うちその他現場人材
全産業 2040年需給ミスマッチ	-181万人	-339万人	437万人	-260万人	-206万人	-54万人
2040年需要数/供給数	1867万人/1686万人	782万人/443万人	1039万人/1476万人	3283万人/3023万人	731万人/525万人	2552万人/2498万人
2022年就業者数	1288万人	236万人	1455万人	3637万人	835万人	2803万人
主な産業の2040年の需給ミスマッチの内訳 農林水産業	-9	-7	-1	-110	-3	-107
製造業	-149	-125	-40	-256	-198	-58
情報通信業	116	102	50	13	2	11
卸売業、小売業	-81	-77	26	-20	-4	-16
建設業	-33	-26	20	-31	-2	-30
宿泊業、飲食サービス業	-21	-21	2	12	0	12
運輸業、郵便業	-25	-26	27	26	0	25

（単位：万人）

（注）2022年就業者数は、総務省「就業構造基本調査」（令和4年度）、文部科学省「学校基本調査」（令和4年度）の調査票情報を基に経済産業省が独自に作成・加工して利用しており、提供主体が作成・公表している統計等とは異なる。
（注）産業分類は日本標準産業分類による。職業分類について、「専門職」は日本標準職業分類上の専門的・技術的職業従事者を指す。また、うち「AI・ロボット等利活用人材」は、日本標準職業分類上の機械技術者やその他の情報処理通信技術者等の職種を集計。「現場人材」は、日本職業分類上の生産工程従事者、建設・採掘従事者、サービス職業従事者等の職種を集計。なお、表中には主要な項目のみ掲載しており、ミスマッチ数の合計はゼロにならない。

暫定版（数値精査中）

全国版就業構造結果（改訂版） ・学歴間ミスマッチ

- 専門職を中心に、**大卒・院卒の理系人材で約120万人の不足**が生じるリスク。
- 事務職の需要が減少する一方、**大卒・院卒の文系人材は約80万人の余剰**が生じる可能性。

全職業

	高卒（普通科）	高卒（工業科）	高専卒	大卒理系	院卒理系	大卒文系	院卒文系
2040年需給ミスマッチ	**31**万人	**-91**万人	**-15**万人	**-96**万人	**-27**万人	**61**万人	**15**万人
2040年需要数/供給数	778万人/810万人	538万人/447万人	77万人/62万人	683万人/586万人	217万人/189万人	1439万人/1501万人	110万人/125万人
2022年就業者数	899万人	534万人	64万人	525万人	164万人	1556万人	122万人

主な職業の2040年の需給ミスマッチの内訳

専門職	4	-54	-14	-87	-24	-69	4
うちAI・ロボット等の活用を担う人材	1	-60	-15	-108	-33	-135	-7
事務職	41	8	3	20	6	163	14
現場人材	-24	-47	-5	-29	-9	-27	-2
うち生産工程従事者	-22	-42	-5	-26	-8	-41	-2
うちその他現場人材	-1	-5	-0	-4	-0	14	0

（単位：万人）

（注）2022年就業者数は、総務省「就業構造基本調査」（令和4年度）、文部科学省「学校基本調査」（令和4年度）の調査票情報を基に経済産業省が独自に作成・加工して利用しており、提供主体が作成・公表している統計等とは異なる。
（注）職業分類について、「専門職」は日本標準職業分類上の専門的・技術的職業従事者を指す。また、うち「AI・ロボット等利活用人材」は、日本標準職業分類上の機械技術者やその他の情報処理通信技術者等の職種を集計。「現場人材」は、日本職業分類上の生産工程従事者、建設・採掘従事者、サービス職業従事者等の職種を集計。学歴分類は、学校基本調査の学部学科コードを元に分類。表中には主要な項目のみ掲載しており、ミスマッチ数の合計はゼロにならない。

推計結果を踏まえた今後の更なる検討課題

（理工系人材の抜本的な拡大に向けた対応）

- **将来的な産業構造転換に向けて、100万人規模の理工系人材の不足は死活的な課題。成長戦略における戦略分野の動向も踏まえ、年間数万人規模での質的・量的充足に向けた取組の促進が必要ではないか。**
  1. 理系転換・文理融合、新設・再編、広域連携等に積極的な大学・高校等の安定的な財務・経営基盤の確保
  2. 地域の実情に即した産学連携案件の掘り起こしに向けた制度面も含む環境整備の検討
  3. 産業界のスキル需要の可視化、職務給等の処遇改善による理工系を志望する人材の拡大

（地方を中心とした現場人材の育成）

- **地方では製造現場やエッセンシャル産業を支える現場人材が大幅に不足。専門高校、専修学校や短大等の教育機関における人材育成の充実に加え、社会人のリスキリングも含めた対応が必要ではないか。**

（AI・ロボット時代に即した教育・人材育成）

- **今後、生成AI・ロボットによるスキル代替が急速に進展。現場人材の不足を補い、専門職の価値創造、生産性向上にも貢献する。あらゆる教育段階において、AI・ロボットと協働する人材の育成を目指すべきではないか。**

（参考）生成AI時代のDX推進に必要な人材・スキルの考え方2024　（令和6年6月）＜概要＞

～変革のための生成AIへの向き合い方～

令和６年度第１回中央職業能力開発促進協議会資料4-3より

資料７

- 生成AI技術は急速に進展し、国内企業の導入が加速も、本格的な利活用には課題
- **生成AIの利活用を妨げる課題と解決に向けた示唆、生成AI時代のDX推進人材のスキル、政策対応**を取りまとめ

（１）生成AIの利活用の現在地

- 開発者の貢献や企業の前向きな生成AI導入（国内企業の生成AIの社内利活用・推進は１年前から大きく進展）
- 一方、組織として生成AIの日常業務への組み込み、新サービス創出、これを後押しする経営層の関与が停滞（世界平均より低い）

（２） 生成AI利活用の課題、解決策と今後

- 組織として**生成AIを日常業務に組み込んで利用**する取組や、**新たなサービス創出につながる活用**、また、これを後押しするような**経営層の関与において停滞**
- **利活用を妨げる課題解決に向けた示唆**

・生成AIへの理解不足と向き合い方

目的志向のアプローチ、環境整備と実験、答えでなく問いを深める

・経営層の姿勢、関与

経営層自身がビジョン・方針を定め、変革推進人材の役割を定義

・推進人材とスキル

スキルトレンドをデータドリブンに捉え、人材定義・教育・活躍の場作り

・データの整備

全社的なデータマネジメントとデータ「目利き」人材の育成・確保

- **経験機会の喪失と実践的な教育・人材育成**
- **開発生産性の革新で、新たなベンダー・ユーザーの契機**

（３）生成AI時代のDX推進に必要な人材・スキル

- 生成AIの業務での活用により知識や技術が補填されるため、**DX推進人材はより創造性の高い役割としてリーダーシップや批判的思考などパーソナルスキルやビジネス・デザインスキルが重要**となる
- DX推進人材には「問いを立てる力」や「仮説を立て・検証する力」、に加えて**「評価する・選択する力」**が求められる

求められるスキル

・ビジネスアーキテクト：選択肢から適切なものを判断する選択・評価する力

・デザイナー：独自視点の問題解決能力、顧客体験を追求する姿勢

・データサイエンティスト：利活用スキル（使う、作る、企画）、背景理解・対応スキル（技術的理解、技術・倫理・推進の各課題対応）

・ソフトウェアエンジニア：AIスキル（AIツールを使いこなす）、上流スキル（設計・技術面でビジネス側を牽引）、対人スキル

・サイバーセキュリティ：AI活用の利益とリスク評価、社内管理スキル、コミュニケーションスキル

（４）生成AIを利活用するための人材・スキルのあり方に関する対応　＜経済産業省における政策対応＞

- 「デジタルスキル標準」（DSS）の見直し
- 「デジタルガバナンス・コード」の見直し
- AI学習機会の裾野の拡大
- 生成AI時代に求められる継続的な学びの実現に向けた環境整備

資料８

18歳人口推移（2027年度進学対象者～2037年度進学対象者）

進学時期	2027年度進学対象者			2028年度進学対象者			2029年度進学対象者			2030年度進学対象者			2031年度進学対象者			2032年度進学対象者			2033年度進学対象者			2034年度進学対象者			2035年度進学対象者			2036年度進学対象者			2037年度進学対象者			増減率			
2025年度時点の学年	高校2年生			高校1年生			中学3年生			中学2年生			中学1年生			小学6年生			小学5年生			小学4年生			小学3年生			小学2年生			小学1年生			2027年度進学対象者－2027年度進学対象者			
性別	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	
計	538,927	516,581	1,055,508	532,296	508,340	1,040,636	539,337	513,580	1,052,917	527,668	506,269	1,033,937	520,423	498,020	1,018,443	519,304	496,699	1,016,003	515,074	490,867	1,005,941	508,638	488,402	997,040	492,528	469,730	962,258	476,535	457,170	933,705	457,994	439,434	897,428	85.0%	85.1%	85.0%	計
北海道	20,194	19,396	39,590	19,916	18,777	38,693	20,082	19,100	39,182	19,581	18,924	38,505	19,137	18,296	37,433	19,160	18,329	37,489	18,676	17,788	36,464	18,438	17,694	36,132	17,445	16,803	34,248	17,112	16,487	33,599	16,133	15,555	31,688	79.9%	80.2%	80.0%	北海道
青森県	4,988	4,697	9,685	4,660	4,528	9,188	4,699	4,623	9,322	4,595	4,485	9,080	4,525	4,186	8,711	4,457	4,218	8,675	4,342	4,161	8,503	4,274	4,180	8,454	4,193	4,037	8,230	3,926	3,853	7,779	3,801	3,636	7,437	76.2%	77.4%	76.8%	青森県
岩手県	5,052	4,723	9,775	4,897	4,716	9,613	4,842	4,692	9,534	4,653	4,548	9,201	4,660	4,387	9,047	4,586	4,429	9,015	4,445	4,255	8,700	4,366	4,205	8,571	4,193	3,969	8,162	4,015	3,899	7,914	3,719	3,560	7,279	73.6%	75.4%	74.5%	岩手県
宮城県	9,764	9,401	19,165	9,547	9,190	18,737	9,669	9,143	18,812	9,212	9,054	18,266	9,386	9,133	18,519	9,411	9,012	18,423	9,232	8,691	17,923	9,346	8,642	17,988	8,608	8,390	16,998	8,365	7,983	16,348	7,892	7,722	15,614	80.8%	82.1%	81.5%	宮城県
秋田県	3,552	3,419	6,971	3,495	3,332	6,827	3,379	3,281	6,660	3,278	3,243	6,521	3,158	3,104	6,262	3,066	3,039	6,105	3,073	2,922	5,995	3,002	2,865	5,867	2,816	2,728	5,544	2,660	2,605	5,265	2,543	2,450	4,993	71.6%	71.7%	71.6%	秋田県
山形県	4,462	4,246	8,708	4,387	4,102	8,489	4,323	4,136	8,459	4,184	4,051	8,235	4,090	3,855	7,945	4,019	3,918	7,937	3,848	3,796	7,644	3,989	3,730	7,719	3,655	3,551	7,206	3,621	3,437	7,058	3,348	3,215	6,563	75.0%	75.7%	75.4%	山形県
福島県	7,552	7,190	14,742	7,278	6,953	14,231	7,477	6,927	14,404	7,070	6,821	13,891	6,994	6,417	13,411	7,247	7,026	14,273	7,151	6,857	14,008	6,882	6,839	13,721	6,613	6,470	13,083	6,371	6,240	12,611	6,010	5,865	11,875	79.6%	81.6%	80.6%	福島県
茨城県	11,978	11,296	23,274	11,902	11,219	23,121	11,699	11,134	22,833	11,411	10,862	22,273	11,145	10,853	21,998	11,192	10,611	21,803	11,157	10,549	21,706	10,935	10,525	21,460	10,600	10,001	20,601	10,240	9,876	20,116	9,736	9,271	19,007	81.3%	82.1%	81.7%	茨城県
栃木県	8,557	7,994	16,551	8,407	7,910	16,317	8,231	7,881	16,112	8,011	7,516	15,527	7,766	7,643	15,409	7,698	7,433	15,131	7,934	7,455	15,389	7,582	7,290	14,872	7,548	6,943	14,491	6,954	6,624	13,578	6,896	6,327	13,223	80.6%	79.1%	79.9%	栃木県
群馬県	8,515	8,031	16,546	8,359	7,714	16,073	8,138	7,748	15,886	7,825	7,639	15,464	7,566	7,453	15,019	7,792	7,382	15,174	7,751	7,285	15,036	7,236	7,269	14,505	7,274	6,795	14,069	6,950	6,689	13,639	6,773	6,425	13,198	79.5%	80.0%	79.8%	群馬県
埼玉県	31,457	29,868	61,325	31,535	29,643	61,178	31,620	29,754	61,374	30,656	28,838	59,494	30,421	28,963	59,384	30,679	29,482	60,161	30,453	29,141	59,594	30,398	29,039	59,437	29,357	27,726	57,083	28,251	27,195	55,446	27,328	26,475	53,803	86.9%	88.6%	87.7%	埼玉県
千葉県	26,711	25,575	52,286	26,555	24,744	51,299	26,406	25,068	51,474	26,047	24,586	50,633	25,690	24,283	49,973	25,747	24,416	50,163	25,879	24,490	50,369	25,435	24,629	50,064	24,547	23,612	48,159	23,967	22,893	46,860	23,187	22,310	45,497	86.8%	87.2%	87.0%	千葉県
東京都	52,541	50,540	103,081	52,854	50,951	103,805	53,802	51,653	105,455	53,078	50,994	104,072	53,088	51,317	104,405	53,239	51,141	104,380	53,993	52,157	106,150	53,702	51,803	105,505	52,317	50,629	102,946	51,065	48,819	99,884	49,615	47,604	97,219	94.4%	94.2%	94.3%	東京都
神奈川県	38,219	36,416	74,635	37,652	36,167	73,819	38,045	36,597	74,642	37,274	35,576	72,850	37,049	35,668	72,717	37,861	35,608	73,469	37,755	36,079	73,834	37,279	35,623	72,902	35,844	34,284	70,128	34,981	33,310	68,291	33,474	32,299	65,773	87.6%	88.7%	88.1%	神奈川県
新潟県	9,120	8,489	17,609	8,714	8,400	17,114	9,000	8,457	17,457	8,766	8,077	16,843	8,451	8,019	16,470	8,597	8,247	16,844	8,279	7,939	16,218	8,225	7,928	16,153	7,873	7,443	15,316	7,596	7,159	14,755	7,157	6,913	14,070	78.5%	81.4%	79.9%	新潟県
富山県	4,382	4,106	8,488	4,243	4,130	8,373	4,218	3,844	8,062	4,083	3,870	7,953	3,974	3,794	7,768	3,958	3,826	7,784	3,907	3,716	7,623	3,848	3,692	7,540	3,737	3,578	7,315	3,632	3,507	7,139	3,535	3,320	6,855	80.7%	80.9%	80.8%	富山県
石川県	4,929	4,951	9,880	4,873	4,723	9,596	4,861	4,527	9,388	4,976	4,698	9,674	4,693	4,585	9,278	4,854	4,470	9,324	4,539	4,470	9,009	4,596	4,363	8,959	4,499	4,147	8,646	4,410	4,174	8,584	4,140	3,910	8,050	84.0%	79.0%	81.5%	石川県
福井県	3,570	3,401	6,971	3,501	3,302	6,803	3,421	3,285	6,706	3,379	3,183	6,562	3,285	3,105	6,390	3,209	3,075	6,284	3,157	2,961	6,118	3,176	2,981	6,157	3,075	2,875	5,950	2,938	2,864	5,802	2,848	2,682	5,530	79.8%	78.9%	79.3%	福井県
山梨県	3,426	3,373	6,799	3,454	3,174	6,628	3,421	3,221	6,642	3,377	3,151	6,528	3,184	3,157	6,341	3,133	3,081	6,214	3,243	3,047	6,290	3,223	3,032	6,255	2,971	2,979	5,950	2,920	2,897	5,817	2,823	2,733	5,556	82.4%	81.0%	81.7%	山梨県
長野県	8,961	8,750	17,711	8,733	8,387	17,120	8,912	8,509	17,421	8,777	8,331	17,108	8,437	8,185	16,622	8,420	8,114	16,534	8,442	8,080	16,522	8,278	7,828	16,106	8,007	7,414	15,421	7,573	7,422	14,995	7,311	7,024	14,335	81.6%	80.3%	80.9%	長野県
岐阜県	9,035	8,643	17,678	8,742	8,372	17,114	8,990	8,396	17,386	8,669	8,292	16,961	8,430	8,199	16,629	8,371	7,879	16,250	7,988	7,682	15,670	8,055	7,562	15,617	7,584	7,383	14,967	7,315	7,030	14,345	7,113	6,769	13,882	78.7%	78.3%	78.5%	岐阜県
静岡県	16,177	15,550	31,727	15,905	15,325	31,230	16,143	15,475	31,618	15,780	15,342	31,122	15,691	14,649	30,340	15,267	14,605	29,872	14,758	13,816	28,574	14,621	13,913	28,534	13,881	13,388	27,269	13,427	12,703	26,130	12,731	12,267	24,998	78.7%	78.9%	78.8%	静岡県
愛知県	35,060	33,342	68,402	34,895	33,094	67,989	35,466	33,825	69,291	34,846	33,439	68,285	34,476	32,759	67,235	33,844	32,295	66,139	33,596	31,887	65,483	33,360	31,890	65,250	32,595	30,922	63,517	31,574	30,212	61,786	30,647	29,261	59,908	87.4%	87.8%	87.6%	愛知県
三重県	7,892	7,616	15,508	7,899	7,506	15,405	7,863	7,446	15,309	7,736	7,355	15,091	7,459	7,155	14,614	7,384	7,063	14,447	7,259	6,868	14,127	7,195	6,923	14,118	6,955	6,533	13,488	6,582	6,262	12,844	6,373	6,132	12,505	80.8%	80.5%	80.6%	三重県
滋賀県	6,937	6,655	13,592	6,824	6,600	13,424	7,040	6,528	13,568	6,776	6,597	13,373	6,688	6,522	13,210	6,815	6,405	13,220	6,739	6,237	12,976	6,483	6,363	12,846	6,316	5,995	12,311	6,072	5,675	11,747	5,968	5,804	11,772	86.0%	87.2%	86.6%	滋賀県
京都府	10,767	10,536	21,303	10,690	10,255	20,945	10,652	10,226	20,878	10,378	10,131	20,509	10,103	9,776	19,879	9,892	9,449	19,341	9,756	9,416	19,172	9,766	9,210	18,976	9,347	9,084	18,431	9,019	8,724	17,743	8,580	8,283	16,863	79.7%	78.6%	79.2%	京都府
大阪府	36,958	35,306	72,264	36,065	34,842	70,907	36,804	35,255	72,059	35,866	34,957	70,823	35,433	34,246	69,679	34,990	33,526	68,516	34,877	33,411	68,288	34,242	33,392	67,634	33,721	32,193	65,914	32,821	31,053	63,874	31,601	30,618	62,219	85.5%	86.7%	86.1%	大阪府
兵庫県	23,906	23,114	47,020	23,441	22,353	45,794	23,925	22,756	46,681	23,504	22,671	46,175	23,073	22,024	45,097	22,851	22,318	45,169	23,062	21,709	44,771	22,455	21,581	44,036	22,181	21,072	43,253	21,164	20,183	41,347	20,259	19,191	39,450	84.7%	83.0%	83.9%	兵庫県
奈良県	5,800	5,581	11,381	5,862	5,295	11,157	5,740	5,488	11,228	5,686	5,356	11,042	5,731	5,235	10,966	5,345	5,241	10,586	5,204	4,957	10,161	5,247	4,967	10,214	4,957	4,821	9,778	4,788	4,635	9,423	4,807	4,437	9,244	82.9%	79.5%	81.2%	奈良県
和歌山県	3,949	3,867	7,816	3,842	3,666	7,508	3,789	3,703	7,492	3,706	3,810	7,516	3,738	3,617	7,355	3,536	3,427	6,963	3,562	3,493	7,055	3,478	3,369	6,847	3,372	3,158	6,530	3,306	3,111	6,417	2,977	2,953	5,930	75.4%	76.4%	75.9%	和歌山県
鳥取県	2,361	2,149	4,510	2,342	2,286	4,628	2,371	2,213	4,584	2,352	2,409	4,761	2,264	2,201	4,465	2,347	2,281	4,628	2,275	2,190	4,465	2,297	2,151	4,448	2,245	2,063	4,308	2,161	2,043	4,204	2,110	1,877	3,987	89.4%	87.3%	88.4%	鳥取県
島根県	2,792	2,692	5,484	2,814	2,669	5,483	2,779	2,723	5,502	2,818	2,682	5,500	2,812	2,592	5,404	2,748	2,693	5,441	2,709	2,625	5,334	2,879	2,523	5,402	2,645	2,498	5,143	2,516	2,413	4,929	2,362	2,244	4,606	84.6%	83.4%	84.0%	島根県
岡山県	8,429	8,020	16,449	8,230	7,885	16,115	8,364	8,029	16,393	8,338	7,808	16,146	8,110	7,792	15,902	8,081	7,703	15,784	8,030	7,651	15,681	7,858	7,458	15,316	7,547	7,374	14,921	7,498	7,161	14,659	7,131	6,803	13,934	84.6%	84.8%	84.7%	岡山県
広島県	12,452	12,182	24,634	12,608	11,928	24,536	12,747	12,215	24,962	12,460	12,079	24,539	12,262	11,847	24,109	12,213	11,632	23,845	11,976	11,519	23,495	11,655	11,376	23,031	11,399	10,687	22,086	10,984	10,643	21,627	10,451	10,074	20,525	83.9%	82.7%	83.3%	広島県
山口県	5,577	5,361	10,938	5,466	5,315	10,781	5,655	5,410	11,065	5,309	5,208	10,517	5,259	5,049	10,308	5,390	5,064	10,454	5,194	4,768	9,962	5,312	4,834	10,146	4,836	4,640	9,476	4,632	4,509	9,141	4,447	4,219	8,666	79.7%	78.7%	79.2%	山口県
徳島県	2,968	2,699	5,667	2,780	2,711	5,491	2,951	2,779	5,730	2,869	2,697	5,566	2,767	2,653	5,420	2,827	2,638	5,465	2,867	2,596	5,463	2,770	2,668	5,438	2,739	2,511	5,250	2,600	2,492	5,092	2,414	2,341	4,755	81.3%	86.7%	83.9%	徳島県
香川県	4,295	4,120	8,415	4,217	4,033	8,250	4,247	3,977	8,224	4,198	3,995	8,193	4,029	3,942	7,971	4,110	3,937	8,047	4,039	3,827	7,866	3,929	3,678	7,607	3,841	3,705	7,546	3,748	3,492	7,240	3,451	3,416	6,867	80.3%	82.9%	81.6%	香川県
愛媛県	5,501	5,298	10,799	5,566	5,335	10,901	5,611	5,202	10,813	5,662	5,306	10,968	5,380	5,116	10,496	5,574	5,108	10,682	5,386	5,039	10,425	5,073	5,028	10,101	5,101	4,817	9,918	4,819	4,691	9,510	4,618	4,464	9,082	83.9%	84.3%	84.1%	愛媛県
高知県	2,863	2,705	5,568	2,671	2,555	5,226	2,758	2,566	5,324	2,588	2,546	5,134	2,599	2,538	5,137	2,604	2,471	5,075	2,495	2,448	4,943	2,525	2,433	4,958	2,431	2,216	4,647	2,384	2,359	4,743	2,256	2,148	4,404	78.8%	79.4%	79.1%	高知県
福岡県	23,311	22,714	46,025	22,989	22,683	45,672	24,333	23,077	47,410	23,719	22,905	46,624	23,687	22,588	46,275	23,715	22,567	46,282	23,652	22,358	46,010	23,198	22,496	45,694	22,733	21,452	44,185	21,943	21,457	43,400	21,165	20,462	41,627	90.8%	90.1%	90.4%	福岡県
佐賀県	3,832	3,841	7,673	3,776	3,704	7,480	3,962	3,665	7,627	3,965	3,683	7,648	3,803	3,569	7,372	3,609	3,565	7,174	3,633	3,407	7,040	3,625	3,405	7,030	3,511	3,296	6,807	3,416	3,237	6,653	3,332	3,110	6,442	87.0%	81.0%	84.0%	佐賀県
長崎県	6,105	5,709	11,814	5,912	5,485	11,397	5,995	5,611	11,606	5,840	5,619	11,459	5,740	5,471	11,211	5,786	5,481	11,267	5,560	5,496	11,056	5,560	5,181	10,741	5,372	5,132	10,504	5,269	4,957	10,226	5,001	4,722	9,723	81.9%	82.7%	82.3%	長崎県
熊本県	8,149	7,975	16,124	8,121	7,886	16,007	8,376	7,975	16,351	8,408	7,711	16,119	8,240	7,609	15,849	8,165	7,731	15,896	8,030	7,776	15,806	7,921	7,671	15,592	7,601	7,362	14,963	7,447	7,283	14,730	7,302	7,045	14,347	89.6%	88.3%	89.0%	熊本県
大分県	4,986	4,781	9,767	4,800	4,652	9,452	4,954	4,812	9,766	4,766	4,611	9,377	4,834	4,439	9,273	4,719	4,546	9,265	4,536	4,291	8,827	4,539	4,434	8,973	4,478	4,135	8,613	4,272	4,123	8,395	3,961	3,935	7,896	79.4%	82.3%	80.8%	大分県
宮崎県	4,986	4,918	9,904	5,020	4,812	9,832	5,152	4,991	10,143	5,128	4,944	10,072	4,949	4,742	9,691	5,008	4,803	9,811	4,902	4,630	9,532	4,554	4,611	9,165	4,609	4,401	9,010	4,519	4,298	8,817	4,276	4,080	8,356	85.8%	83.0%	84.4%	宮崎県
鹿児島県	7,694	7,317	15,011	7,706	7,084	14,790	7,759	7,281	15,040	7,686	7,330	15,016	7,635	7,119	14,754	7,230	7,028	14,258	7,297	6,897	14,194	7,145	6,868	14,013	6,989	6,528	13,517	6,572	6,563	13,135	6,412	6,049	12,461	83.3%	82.7%	83.0%	鹿児島県
沖縄県	8,215	8,028	16,243	8,151	7,947	16,098	8,666	8,376	17,042	8,382	8,339	16,721	8,532	8,168	16,700	8,558	8,386	16,944	8,436	8,034	16,470	8,686	8,260	16,946	8,370	7,990	16,360	8,140	7,928	16,068	7,980	7,434	15,414	97.1%	92.6%	94.9%	沖縄県

※2027年度進学対象者は文部科学省「学校基本調査（令和6年度版）」での「卒業後の状況調査」の「中学校」における「都道府県別高等学校等への進学者数」の人数に基づく。

※2028年度進学対象者は文部科学省「学校基本調査（令和7年度版）」での「卒業後の状況調査」の「中学校」における「都道府県別高等学校等への進学者数」の人数に基づく。

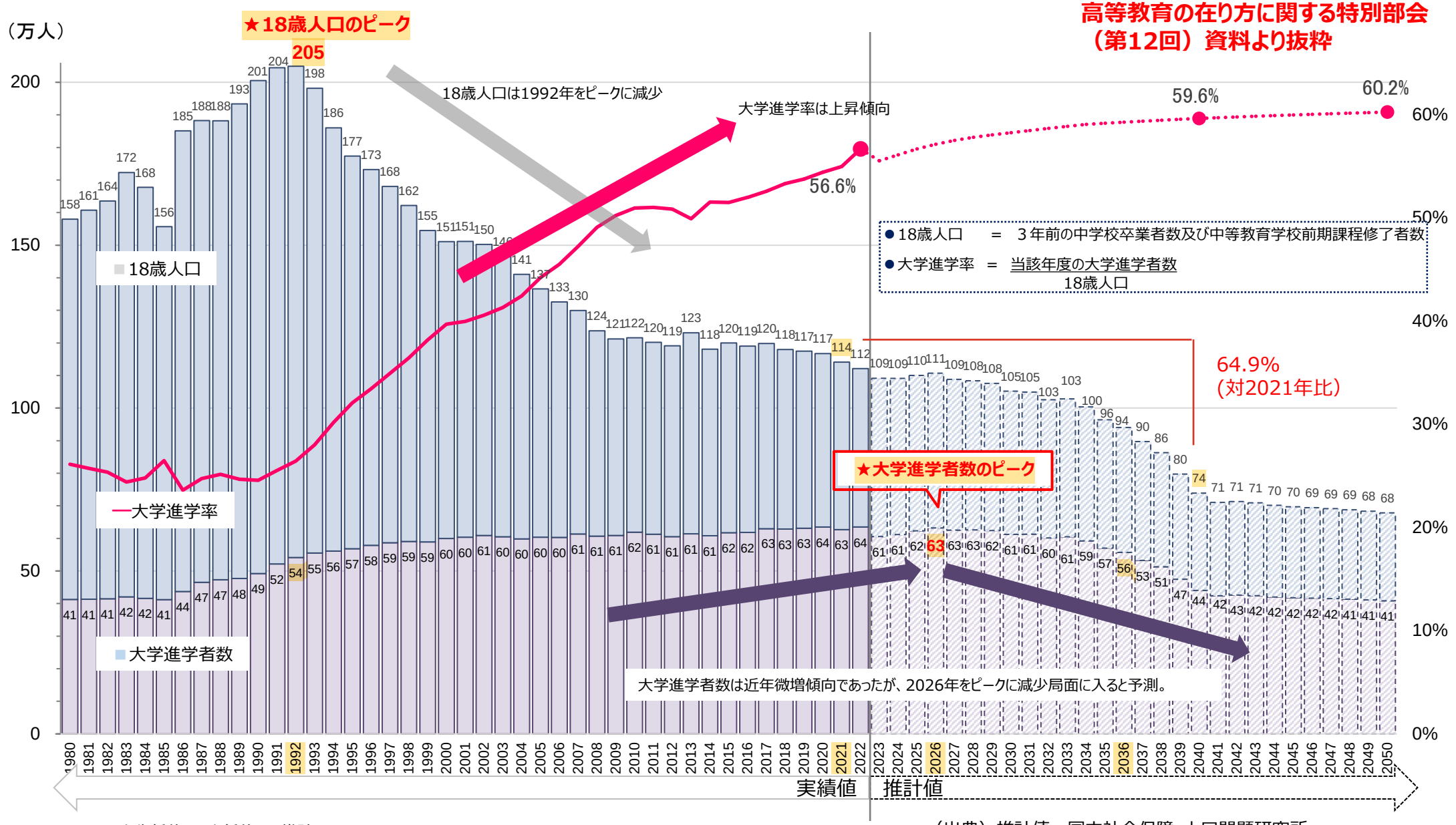
※2029年度進学対象者～2031年度進学対象者は文部科学省「学校基本調査（令和7年度版）」での「学校調査票（中学校）」における「学年別生徒数」、2031年度進学対象者～2036年度進学対象者は「学校調査票（小学校）」における「学年別児童数」の各人数に基づく。

大学進学者数等の将来推計について

資料９

18歳人口が減少し続ける中でも、大学進学率は上昇し、大学進学者数も増加傾向にあったが、2026年以降は18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少局面に突入すると予測される。

文部科学省
高等教育の在り方に関する特別部会
（第12回）資料より抜粋



※　出生低位・死亡低位での推計
※　18歳人口：３年前の中学校卒業者数及び中等教育学校前期課程修了者数

（出典）推計値：国立社会保障・人口問題研究所

2040年の各都道府県進学者等推計（出生低位・死亡低位）①

	北海道			青森県			岩手県			宮城県			秋田県			山形県			福島県			茨城県			栃木県			群馬県			埼玉県			千葉県		
18歳人口【2021】	45,007			11,830			11,379			20,998			8,171			10,269			17,622			27,454			18,417			18,806			64,508			54,908		
高校等卒業者数【2021】	40,596			11,056			10,585			19,412			7,586			9,555			16,130			25,234			17,183			16,849			56,216			49,294		
大学進学者数【2021】	21,039			4,975			4,460			9,982			3,345			4,097			7,215			14,797			9,063			8,971			35,056			30,362		
大学進学率【2021】	46.7%			42.1%			39.2%			47.5%			40.9%			39.9%			40.9%			53.9%			49.2%			47.7%			54.3%			55.3%		
大学進学率（国公私別）【2021】	10.0%	3.4%	33.4%	12.0%	5.1%	25.0%	11.2%	5.4%	22.6%	9.3%	2.6%	35.6%	14.4%	4.4%	22.2%	11.0%	2.7%	26.2%	7.6%	3.2%	30.1%	8.5%	2.1%	43.3%	8.5%	2.0%	38.8%	7.9%	3.7%	36.0%	4.2%	0.9%	49.3%	4.3%	0.6%	50.4%
短大進学率【2021】	4.1%			4.8%			4.2%			4.6%			5.9%			4.7%			5.0%			2.7%			4.0%			4.2%			3.5%			3.1%		
専門学校進学率（現役）【2021】	20.8%			14.8%			17.8%			16.2%			16.5%			18.1%			15.6%			17.2%			16.9%			15.5%			16.1%			17.6%		
大学数【2021】	37			10			6			14			7			6			8			10			9			15			27			27		
大学数（国公私別）【2021】	7	6	24	1	2	7	1	1	4	2	1	11	1	3	3	1	2	3	1	2	5	3	1	6	1	0	8	1	4	10	1	1	25	1	1	25
入学定員【2021】	18,806			3,363			2,509			11,511			2,090			2,766			3,579			6,461			4,668			5,785			28,855			25,751		
入学定員（国公私別）【2021】	5,600	1,345	11,861	1,322	516	1,525	1,030	440	1,039	2,722	420	8,369	955	665	470	1,663	145	958	945	599	2,035	3,760	170	2,531	910	0	3,758	1,098	1,482	3,205	1,535	395	26,925	2,592	180	22,979
大学入学者数【2021】	19,119			3,407			2,544			11,713			2,075			2,792			3,451			6,697			4,823			5,983			28,847			27,402		
（国公私別）【2021】	5,756	1,434	11,929	1,371	549	1,487	1,068	473	1,003	2,779	453	8,481	985	694	396	1,690	148	954	991	605	1,855	3,829	171	2,697	929	0	3,894	1,142	1,551	3,290	1,598	406	26,843	2,635	180	24,587
県外から流入【2021】	4,954			1,363			1,281			6,061			1,194			1,868			1,822			3,727			2,639			3,249			18,497			17,051		
県内から流出【2021】	6,874			2,931			3,197			4,330			2,464			3,173			5,586			11,827			6,879			6,237			24,706			20,011		
流出入差（流入−流出）【2021】	-1,921			-1,568			-1,916			1,731			-1,270			-1,305			-3,764			-8,101			-4,240			-2,988			-6,209			-2,961		
自県進学率【2021】	67.3%			41.1%			28.3%			56.6%			26.3%			22.6%			22.6%			20.1%			24.1%			30.5%			29.5%			34.1%		
18歳人口推計【2040】	25,440			5,732			5,609			12,328			3,865			5,334			8,873			15,183			10,379			10,284			41,712			35,741		
大学進学者数推計【2040】	14,472			2,575			2,373			6,248			1,792			2,250			4,077			9,274			5,305			5,213			25,180			21,885		
大学進学率推計【2040】	56.9%			44.9%			42.3%			50.7%			46.4%			42.2%			46.0%			61.1%			51.1%			50.7%			60.4%			61.2%		
大学入学者数推計【2040】	13,186			1,939			1,465			7,223			1,250			1,691			2,093			4,832			3,034			4,702			21,388			20,123		
（国公私別）【2040】	3,970	989	8,227	780	313	846	615	272	578	1,714	279	5,230	593	418	239	1,024	90	578	601	367	1,125	2,763	123	1,946	584	0	2,450	897	1,219	2,585	1,185	301	19,902	1,935	132	18,056
入学定員充足率推計【2040】	70.1%			57.7%			58.4%			62.7%			59.8%			61.1%			58.5%			74.8%			65.0%			81.3%			74.1%			78.1%		
（国公私別）【2040】	70.9%	73.5%	69.4%	59.0%	60.6%	55.5%	59.7%	61.9%	55.6%	63.0%	66.5%	62.5%	62.1%	62.9%	50.8%	61.6%	61.8%	60.3%	63.6%	61.2%	55.3%	73.5%	72.6%	76.9%	64.2%	-	65.2%	81.7%	82.2%	80.7%	77.2%	76.2%	73.9%	74.7%	73.4%	78.6%
大学進学者数【2021】−大学進学者数推計【2040】	-6,567		(-31%)	-2,400		(-48%)	-2,087		(-47%)	-3,734		(-37%)	-1,553		(-46%)	-1,847		(-45%)	-3,138		(-43%)	-5,523		(-37%)	-3,758		(-41%)	-3,758		(-42%)	-9,876		(-28%)	-8,477		(-28%)
大学入学者数【2021】−大学入学者数推計【2040】	-5,932		(-31%)	-1,468		(-43%)	-1,079		(-42%)	-4,490		(-38%)	-825		(-40%)	-1,101		(-39%)	-1,358		(-39%)	-1,864		(-28%)	-1,789		(-37%)	-1,281		(-21%)	-7,459		(-26%)	-7,278		(-27%)

（参考）
大学進学者…各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
大学入学者…各県に所在する大学に入学した者

大学進学者数（2021年度）に占める1都３県割合
188,096（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）
609,121全体【47都道府県】（その他除く）
=30.9%

※赤字補足は本学にて追記

2040年の各都道府県進学者等推計（出生低位・死亡低位）②

※赤字補足は本学にて追記

	東京都			神奈川県			新潟県			富山県			石川県			福井県			山梨県			長野県			岐阜県			静岡県			愛知県			三重県		
18歳人口【2021】	104,150			78,433			19,807			9,656			10,574			7,584			7,768			20,242			20,034			34,622			71,537			17,458		
高校等卒業者数【2021】	101,997			67,477			18,071			8,898			10,073			7,246			7,874			18,424			17,986			31,948			63,402			15,401		
大学進学者数【2021】	78,180			44,498			8,698			4,561			5,607			4,104			5,018			9,269			9,760			16,879			38,573			7,864		
大学進学率【2021】	75.1%			56.7%			43.9%			47.2%			53.0%			54.1%			64.6%			45.8%			48.7%			48.8%			53.9%			45.0%		
大学進学率（国公私別）【2021】	6.7%	1.0%	67.3%	3.7%	1.2%	51.8%	9.6%	4.0%	30.4%	13.5%	5.6%	28.2%	13.7%	5.2%	34.1%	14.6%	6.3%	33.3%	9.5%	5.7%	49.4%	8.5%	4.1%	33.2%	9.1%	3.2%	36.4%	8.4%	3.9%	36.4%	9.6%	3.0%	41.3%	8.7%	2.5%	33.8%
短大進学率【2021】	1.9%			2.9%			3.8%			6.4%			5.7%			4.8%			5.4%			6.9%			5.4%			3.5%			3.1%			4.9%		
専門学校進学率（現役）【2021】	11.8%			14.7%			24.6%			15.8%			13.5%			13.9%			17.9%			19.5%			12.4%			15.7%			12.1%			12.8%		
大学数【2021】	146			32			22			5			14			6			7			11			13			14			52			7		
大学数（国公私別）【2021】	12	2	132	2	2	28	3	4	15	1	1	3	2	4	8	1	2	3	1	2	4	1	4	6	1	3	9	2	4	8	4	3	45	1	1	5
入学定員【2021】	153,377			44,893			6,699			2,575			6,502			2,300			4,169			4,020			4,940			8,090			41,964			3,190		
入学定員（国公私別）【2021】	9,716	1,570	142,091	1,662	1,130	42,101	2,467	765	3,467	1,770	495	310	1,726	590	4,186	855	450	995	825	990	2,354	1,978	960	1,082	1,240	200	3,500	2,145	935	5,010	3,976	1,764	36,224	1,310	100	1,780
大学入学者数【2021】	153,519			45,619			6,592			2,588			6,492			2,362			4,245			4,163			4,825			7,970			42,461			3,303		
（国公私別）【2021】	10,055	1,592	141,872	1,697	1,174	42,748	2,547	826	3,219	1,832	480	276	1,764	620	4,108	895	485	982	851	1,075	2,319	2,023	1,007	1,133	1,265	220	3,340	2,166	1,051	4,753	4,092	1,830	36,539	1,335	102	1,866
県外から流入【2021】	100,599			28,384			3,132			1,640			3,813			1,083			3,012			2,276			2,679			3,165			14,960			1,554		
県内から流出【2021】	25,261			27,263			5,238			3,613			2,928			2,825			3,785			7,382			7,614			12,074			11,072			6,115		
流出入差（流入−流出）【2021】	75,339			1,121			-2,106			-1,973			885			-1,742			-773			-5,106			-4,935			-8,909			3,888			-4,561		
自県進学率【2021】	67.7%			38.7%			39.8%			20.8%			47.8%			31.2%			24.6%			20.4%			22.0%			28.5%			71.3%			22.2%		
18歳人口推計【2040】	92,106			52,183			11,136			5,640			6,596			4,651			4,521			11,393			10,969			19,553			49,082			10,378		
大学進学者数推計【2040】	74,182			32,200			5,417			3,070			3,958			2,826			3,308			6,113			6,176			9,720			28,536			5,082		
大学進学率推計【2040】	80.5%			61.7%			48.6%			54.4%			60.0%			60.8%			73.2%			53.7%			56.3%			49.7%			58.1%			49.0%		
大学入学者数推計【2040】	121,312			34,648			4,163			1,773			4,473			1,648			3,025			2,831			3,307			5,082			30,368			2,276		
（国公私別）【2040】	7,946	1,258	112,109	1,289	892	32,468	1,609	522	2,033	1,255	329	189	1,215	427	2,831	624	338	685	606	766	1,652	1,376	685	770	867	151	2,289	1,381	670	3,031	2,927	1,309	26,132	920	70	1,286
入学定員充足率推計【2040】	79.1%			77.2%			62.1%			68.8%			68.8%			71.6%			72.6%			70.4%			67.0%			62.8%			72.4%			71.4%		
（国公私別）【2040】	81.8%	80.1%	78.9%	77.6%	78.9%	77.1%	65.2%	68.2%	58.6%	70.9%	66.4%	61.0%	70.4%	72.4%	67.6%	73.0%	75.2%	68.8%	73.5%	77.4%	70.2%	69.5%	71.3%	71.2%	69.9%	75.4%	65.4%	64.4%	71.7%	60.5%	73.6%	74.2%	72.1%	70.2%	70.3%	72.2%
大学進学者数【2021】−大学進学者数推計【2040】	-3,998		(-5%)	-12,298		(-28%)	-3,281		(-38%)	-1,491		(-33%)	-1,649		(-29%)	-1,278		(-31%)	-1,710		(-34%)	-3,156		(-34%)	-3,584		(-37%)	-7,159		(-42%)	-10,037		(-26%)	-2,782		(-35%)
大学入学者数【2021】−大学入学者数推計【2040】	-32,206		(-21%)	-10,971		(-24%)	-2,429		(-37%)	-815		(-32%)	-2,019		(-31%)	-714		(-30%)	-1,220		(-29%)	-1,332		(-32%)	-1,518		(-31%)	-2,888		(-36%)	-12,093		(-28%)	-1,027		(-31%)

94.9%

（参考）
大学進学者…各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
大学入学者…各県に所在する大学に入学した者

大学進学者推計（2040年度）に占める1都３県割合

153,447（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）

＝ 34.8%

440,526 全体【47都道府県計】（その他除く）

※赤字補足は本学にて追記

2040年の各都道府県進学者等推計（出生低位・死亡低位）③

	滋賀県			京都府			大阪府			兵庫県			奈良県			和歌山県			鳥取県			島根県			岡山県			広島県			山口県			徳島県		
18歳人口【2021】	14,328			23,145			79,549			51,482			12,973			8,809			5,195			6,233			18,190			26,108			12,219			6,581		
高校等卒業者数【2021】	12,836			22,526			71,803			45,157			11,585			8,163			4,820			6,014			17,342			22,985			10,855			6,054		
大学進学者数【2021】	7,185			15,965			47,469			29,769			7,877			4,366			2,177			2,748			9,328			14,387			4,706			3,246		
大学進学率【2021】	50.1%			69.0%			59.7%			57.8%			60.7%			49.6%			41.9%			44.1%			51.3%			55.1%			38.5%			49.3%		
大学進学率（国公私別）【2021】	6.7%	3.3%	40.1%	8.6%	4.2%	56.1%	5.9%	3.0%	50.7%	8.9%	4.2%	44.8%	10.5%	3.9%	46.3%	9.5%	3.9%	36.2%	14.2%	5.1%	22.6%	12.5%	7.0%	24.6%	12.7%	4.2%	34.4%	11.4%	5.2%	38.5%	10.0%	4.9%	23.6%	16.0%	-	29.9%
短大進学率【2021】	4.7%			4.1%			4.6%			3.6%			4.2%			4.0%			7.2%			5.0%			4.0%			2.9%			4.5%			4.0%		
専門学校進学率（現役）【2021】	15.3%			13.1%			13.7%			12.1%			11.2%			16.6%			18.0%			20.1%			17.3%			10.7%			14.2%			14.9%		
大学数【2021】	9			34			56			36			11			5			3			2			18			21			10			4		
大学数（国公私別）【2021】	2	1	6	3	4	27	2	2	52	2	4	30	3	2	6	1	1	3	1	1	1	1	1	0	1	2	15	1	5	15	1	3	6	2	0	2
入学定員【2021】	7,548			35,123			54,721			27,777			4,858			2,035			1,519			1,617			9,905			13,399			4,211			2,893		
入学定員（国公私別）【2021】	945	600	6,003	3,706	1,046	30,371	4,155	2,863	47,703	2,690	1,902	23,185	730	348	3,780	890	280	865	1,139	300	80	1,157	460	0	2,195	550	7,160	2,336	1,570	9,493	1,917	1,084	1,210	1,388	0	1,505
大学入学者数【2021】	7,661			35,049			56,375			27,050			4,777			2,038			1,554			1,682			9,068			13,328			4,306			2,638		
（国公私別）【2021】	957	625	6,079	3,820	1,082	30,147	4,278	2,943	49,154	2,767	1,897	22,386	770	348	3,659	939	281	818	1,161	315	78	1,206	476	0	2,257	577	6,234	2,407	1,677	9,244	1,965	1,113	1,228	1,422	0	1,216
県外から流入【2021】	6,052			26,717			28,439			13,866			3,648			1,261			1,223			1,203			5,111			5,662			3,090			1,455		
県内から流出【2021】	5,576			7,633			19,533			16,585			6,748			3,589			1,846			2,269			5,371			6,721			3,490			2,063		
流出入差（流入−流出）【2021】	476			19,084			8,906			-2,719			-3,100			-2,328			-623			-1,066			-260			-1,059			-400			-608		
自県進学率【2021】	22.4%			52.2%			58.9%			44.3%			14.3%			17.8%			15.2%			17.4%			42.4%			53.3%			25.8%			36.4%		
18歳人口推計【2040】	9,494			14,655			51,865			32,315			7,294			4,953			3,259			3,996			11,892			16,686			7,063			3,829		
大学進学者数推計【2040】	5,604			11,080			35,810			20,725			5,043			2,888			1,581			1,864			6,952			9,211			2,721			2,034		
大学進学率推計【2040】	59.0%			75.6%			69.0%			64.1%			69.1%			58.3%			48.5%			46.6%			58.5%			55.2%			38.5%			53.1%		
大学入学者数推計【2040】	5,606			25,337			41,204			19,487			3,378			1,434			1,100			1,169			6,514			8,838			3,011			1,778		
（国公私別）【2040】	700	457	4,448	2,762	782	21,793	3,127	2,151	35,927	1,993	1,367	16,127	545	246	2,588	661	198	576	821	223	55	838	331	0	1,621	414	4,478	1,596	1,112	6,130	1,374	778	859	958	0	820
入学定員充足率推計【2040】	74.3%			72.1%			75.3%			70.2%			69.5%			70.5%			72.4%			72.3%			65.8%			66.0%			71.5%			61.5%		
（国公私別）【2040】	74.1%	76.2%	74.1%	74.5%	74.8%	71.8%	75.3%	75.1%	75.3%	74.1%	71.9%	69.6%	74.6%	70.7%	68.5%	74.2%	70.6%	66.5%	72.1%	74.3%	69.0%	72.4%	71.9%	-	73.9%	75.4%	62.5%	68.3%	70.8%	64.6%	71.7%	71.8%	71.0%	69.0%	-	54.5%
大学進学者数【2021】−大学進学者数推計【2040】	-1,581		(-22%)	-4,885		(-31%)	-11,659		(-25%)	-9,044		(-30%)	-2,834		(-36%)	-1,478		(-34%)	-596		(-27%)	-884		(-32%)	-2,376		(-25%)	-5,176		(-36%)	-1,985		(-42%)	-1,212		(-37%)
大学入学者数【2021】−大学入学者数推計【2040】	-2,055		(-27%)	-9,712		(-28%)	-15,171		(-27%)	-7,563		(-28%)	-1,399		(-29%)	-604		(-30%)	-454		(-29%)	-513		(-31%)	-2,554		(-28%)	-4,490		(-34%)	-1,295		(-30%)	-860		(-33%)

（参考）
大学進学者…各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
大学入学者…各県に所在する大学に入学した者

5

2040年の各都道府県進学者等推計（出生低位・死亡低位）④

	香川県			愛媛県			高知県			福岡県			佐賀県			長崎県			熊本県			大分県			宮崎県			鹿児島県			沖縄県			その他
18歳人口【2021】	9,310			12,483			6,184			46,524			8,412			12,691			16,741			10,244			10,517			15,625			16,363			
高校等卒業者数【2021】	8,593			11,445			5,891			41,516			7,697			11,857			15,073			9,745			9,842			14,227			14,424			
大学進学者数【2021】	4,840			6,144			2,845			22,333			3,455			5,434			7,075			4,091			4,180			6,126			7,002			17,919
大学進学率【2021】	52.0%			49.2%			46.0%			48.0%			41.1%			42.8%			42.3%			39.9%			39.7%			39.2%			42.8%			
大学進学率（国公私別）【2021】	13.5%	3.7%	34.7%	14.8%	4.2%	30.2%	9.9%	6.2%	29.8%	9.3%	3.0%	35.7%	12.3%	2.1%	26.7%	14.2%	5.3%	23.3%	10.1%	3.4%	28.8%	13.5%	4.2%	22.3%	12.8%	4.2%	22.8%	12.0%	2.4%	24.8%	9.6%	3.4%	29.8%	
短大進学率【2021】	4.8%			4.5%			4.3%			4.4%			4.2%			3.8%			3.2%			7.1%			4.7%			7.2%			3.6%			
専門学校進学率（現役）【2021】	15.8%			17.1%			16.1%			16.1%			16.5%			15.5%			18.1%			20.1%			16.1%			19.6%			24.0%			
大学数【2021】	4			5			5			35			2			8			9			5			7			6			8			
大学数（国公私別）【2021】	1	1	2	1	1	3	1	2	2	3	4	28	1	0	1	1	1	6	1	1	7	1	1	3	1	2	4	2	0	4	1	3	4	
入学定員【2021】	2,189			3,860			2,215			25,761			1,818			3,986			5,712			3,520			2,335			3,683			3,972			
入学定員（国公私別）【2021】	1,239	90	860	1,770	100	1,990	1,075	860	280	4,110	1,999	19,652	1,278	0	540	1,641	730	1,615	1,667	480	3,565	1,070	80	2,370	1,035	300	1,000	2,053	0	1,630	1,547	640	1,785	
大学入学者数【2021】	2,092			3,875			2,212			25,963			1,817			3,914			5,643			3,029			2,174			3,652			4,153			
（国公私別）【2021】	1,275	90	727	1,818	100	1,957	1,110	906	196	4,214	2,097	19,652	1,315	0	502	1,657	752	1,505	1,706	505	3,432	1,086	81	1,862	1,064	312	798	2,100	0	1,552	1,567	664	1,922	
県外から流入【2021】	1,260			1,840			1,459			11,422			1,244			1,942			2,357			1,947			1,096			1,601			937			
県内から流出【2021】	4,008			4,109			2,092			7,792			2,882			3,462			3,789			3,009			3,102			4,075			3,786			
流出入差（流入−流出）【2021】	-2,748			-2,269			-633			3,630			-1,638			-1,520			-1,432			-1,062			-2,006			-2,474			-2,849			
自県進学率【2021】	17.2%			33.1%			26.5%			65.1%			16.6%			36.3%			46.4%			26.4%			25.8%			33.5%			45.9%			
18歳人口推計【2040】	5,640			7,171			3,528			34,719			5,622			7,814			11,584			6,503			6,901			10,500			13,082			
大学進学者数推計【2040】	3,278			3,998			1,817			17,081			2,438			3,889			5,003			2,849			2,845			4,371			6,212			19,268
大学進学率推計【2040】	58.1%			55.7%			51.5%			49.2%			43.4%			49.8%			43.2%			43.8%			41.2%			41.6%			47.5%			
大学入学者数推計【2040】	1,444			2,589			1,497			19,315			1,326			2,857			4,052			2,813			1,528			2,673			3,527			
（国公私別）【2040】	880	62	502	1,215	67	1,307	751	613	133	3,135	1,560	14,620	959	0	366	1,209	549	1,098	1,225	363	2,465	1,009	75	1,729	748	219	561	1,537	0	1,136	1,331	564	1,632	
入学定員充足率推計【2040】	66.0%			67.1%			67.6%			75.0%			72.9%			71.7%			70.9%			79.9%			65.5%			72.6%			88.8%			
（国公私別）【2040】	71.0%	69.0%	58.3%	68.6%	66.8%	65.7%	69.9%	71.3%	47.4%	76.3%	78.0%	74.4%	75.1%	-	67.8%	73.7%	75.2%	68.0%	73.5%	75.5%	69.1%	94.3%	94.0%	73.0%	72.3%	73.1%	56.1%	74.9%	-	69.7%	86.0%	88.1%	91.4%	
大学進学者数【2021】−大学進学者数推計【2040】	-1,562		(-32%)	-2,146		(-35%)	-1,028		(-36%)	-5,252		(-24%)	-1,017		(-29%)	-1,545		(-28%)	-2,072		(-29%)	-1,242		(-30%)	-1,335		(-32%)	-1,755		(-29%)	-790		(-11%)	
大学入学者数【2021】−大学入学者数推計【2040】	-648		(-31%)	-1,286		(-33%)	-715		(-32%)	-6,648		(-26%)	-491		(-27%)	-1,057		(-27%)	-1,591		(-28%)	-216		(-7%)	-646		(-30%)	-979		(-27%)	-626		(-15%)	

（参考）
大学進学者…各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
大学入学者…各県に所在する大学に入学した者

中央大学首都圏からの志願者及び入学者の動向（全学）

１都３県（東京、神奈川、千葉、埼玉）

志願者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都3県	50,606	49,857	55,801	156,264	52,088
1都3県以外	20,478	19,492	21,506	61,476	20,492
計	71,084	69,349	77,307	217,740	72,580

志願者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都3県	71.2%	71.9%	72.2%	71.8%
1都3県以外	28.8%	28.1%	27.8%	28.2%

入学者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都3県	4,349	4,470	4,067	12,886	4,295
1都3県以外	1,824	1,799	1,659	5,282	1,761
計	6,173	6,269	5,726	18,168	6,056

入学者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都3県	70.5%	71.3%	71.0%	70.9%
1都3県以外	29.5%	28.7%	29.0%	29.1%

※本表には外国の学校、高等学校卒業程度認定試験等は含まない

１都６県（東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城）

志願者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都6県	54,754	53,868	60,454	169,076	56,359
1都6県以外	16,330	15,481	16,853	48,664	16,221
計	71,084	69,349	77,307	217,740	72,580

志願者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都6県	77.0%	77.7%	78.2%	77.7%
1都6県以外	23.0%	22.3%	21.8%	22.3%

入学者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都6県	4,681	4,813	4,392	13,886	4,629
1都6県以外	1,492	1,456	1,334	4,282	1,427
計	6,173	6,269	5,726	18,168	6,056

入学者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都6県	75.8%	76.8%	76.7%	76.4%
1都6県以外	24.2%	23.2%	23.3%	23.6%

１都６県内訳

	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
都道府県名	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
茨城県	1,959	154	2,055	143	2,366	141
栃木県	963	80	932	92	1,087	99
群馬県	1,226	98	1,024	108	1,200	85
埼玉県	7,596	528	7,311	511	8,373	436
千葉県	5,639	396	5,559	419	6,219	358
東京都	25,104	2,331	25,321	2,434	28,109	2,219
神奈川県	12,267	1,094	11,666	1,106	13,100	1,054

中央大学地域区分別　入学者の動向（全学）

地域区分別集計	入学者数							
	地域区分別入学者数				地域区分別入学者数が全体に占める割合			
入学者数	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	3か年 合計	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	3か年 合計
北海道	148	157	140	445	2.4%	2.5%	2.4%	2.4%
東北	229	211	185	625	3.7%	3.4%	3.2%	3.4%
北関東	332	343	325	1,000	5.4%	5.5%	5.7%	5.5%
1都3県（南関東）	4,349	4,470	4,067	12,886	70.5%	71.3%	71.0%	70.9%
甲信越	209	204	196	609	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%
北陸	64	44	67	175	1.0%	0.7%	1.2%	1.0%
東海	312	311	271	894	5.1%	5.0%	4.7%	4.9%
近畿	130	137	127	394	2.1%	2.2%	2.2%	2.2%
中国	79	82	86	247	1.3%	1.3%	1.5%	1.4%
四国	71	54	46	171	1.2%	0.9%	0.8%	0.9%
九州・沖縄	250	256	216	722	4.0%	4.1%	3.8%	4.0%
合計	6,173	6,269	5,726	18,168	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域区分は以下の通りとする。

SEQ	地方名称	都道府県						
1	北海道	北海道						
2	東北	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	
3	北関東	茨城県	栃木県	群馬県				
4	１都３県（南関東）	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県			
5	甲信越	山梨県	長野県	新潟県				
6	北陸	富山県	石川県	福井県				
7	東海	静岡県	岐阜県	愛知県	三重県			
8	近畿	滋賀県	京都府	奈良県	和歌山県	大阪府	兵庫県	
9	中国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県		
10	四国	徳島県	香川県	愛媛県	高知県			
11	九州	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	熊本県	宮崎県	鹿児島県
12	沖縄	沖縄県						

中央大学首都圏からの志願者及び入学者の動向（経済学部、理工学部）

経済学部１都３県（東京、神奈川、千葉、埼玉）

志願者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都3県	8,888	7,995	9,480	26,363	8,788
1都3県以外	3,614	3,241	3,800	10,655	3,552
計	12,502	11,236	13,280	37,018	12,339

志願者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都3県	71.1%	71.2%	71.4%	71.2%
1都3県以外	28.9%	28.8%	28.6%	28.8%

入学者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都3県	691	732	588	2,011	670
1都3県以外	353	339	313	1,005	335
計	1,044	1,071	901	3,016	1,005

入学者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都3県	66.2%	68.3%	65.3%	66.7%
1都3県以外	33.8%	31.7%	34.7%	33.3%

※本表には外国の学校、高等学校卒業程度認定試験等は含まない

経済学部１都６県（東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城）

志願者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都6県	9,603	8,611	10,301	28,515	9,505
1都6県以外	2,899	2,625	2,979	8,503	2,834
計	12,502	11,236	13,280	37,018	12,339

志願者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都6県	76.8%	76.6%	77.6%	77.0%
1都6県以外	23.2%	23.4%	22.4%	23.0%

入学者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都6県	750	796	641	2,187	729
1都6県以外	294	275	260	829	276
計	1,044	1,071	901	3,016	1,005

入学者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都6県	71.8%	74.3%	71.1%	72.5%
1都6県以外	28.2%	25.7%	28.9%	27.5%

理工学部　１都３県（東京、神奈川、千葉、埼玉）

志願者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都3県	12,731	12,642	14,618	39,991	13,330
1都3県以外	3,187	2,770	3,248	9,205	3,068
計	15,918	15,412	17,866	49,196	16,399

志願者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都3県	80.0%	82.0%	81.8%	81.3%
1都3県以外	20.0%	18.0%	18.2%	18.7%

入学者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都3県	871	834	765	2,470	823
1都3県以外	177	136	162	475	158
計	1,048	970	927	2,945	982

入学者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都3県	83.1%	86.0%	82.5%	83.9%
1都3県以外	16.9%	14.0%	17.5%	16.1%

※本表には外国の学校、高等学校卒業程度認定試験等は含まない

理工学部１都６県（東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城）

志願者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都6県	13,678	13,540	15,618	42,836	14,279
1都6県以外	2,240	1,872	2,248	6,360	2,120
計	15,918	15,412	17,866	49,196	16,399

志願者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都6県	85.9%	87.9%	87.4%	87.1%
1都6県以外	14.1%	12.1%	12.6%	12.9%

入学者数	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	合計	3カ年平均
1都6県	933	886	824	2,643	881
1都6県以外	115	84	103	302	101
計	1,048	970	927	2,945	982

入学者数割合	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均
1都6県	89.0%	91.3%	88.9%	89.7%
1都6県以外	11.0%	8.7%	11.1%	10.3%

中央大学キャンパス来訪型イベント　参加者数集計結果

①中央大学オープンキャンパス　参加者数集計結果	R6年度入試（2023年度実施）		R7年度入試（2024年度実施）	
	総数	うち受験対象者	総数	うち受験対象者
オープンキャンパス（総数）	39,811	26,910	40,495	27,742
多摩キャンパス（経済・商・文・総合政策・国際経営学部）	18,732	12,529	16,915	10,968
後楽園キャンパス（理工学部）	11,774	8,395	12,864	9,342
市ヶ谷田町キャンパス（国際情報学部）	1,564	968	1,486	954
茗荷谷キャンパス（法学部）	7,741	5,018	9,230	6,478

※すべて実数

②中央大学附属生ウェルカムイベント　参加者数集計結果	R6年度入試（2023年度実施）		R7年度入試（2024年度実施）	
	総数	うち受験対象者	総数	うち受験対象者
附属生ウェルカムイベント（総数）	1,655	488	1,816	626
法学部　学部選択セミナー	770	281	741	269
経済学部　学部選択セミナー	567	146	673	228
商学部　学部選択セミナー	553	187	673	275
理工学部　学部選択セミナー	312	51	336	93
文学部　学部選択セミナー	250	47	252	88
総合政策学部　学部選択セミナー	320	103	346	145
国際経営学部　学部選択セミナー	287	33	351	71
国際情報学部　学部選択セミナー	269	90	185	64

キャンパス来訪型イベント参加者数集計結果（①＋②）	R6年度入試（2023年度実施）		R7年度入試（2024年度実施）	
	総数	うち受験対象者	総数	うち受験対象者
	41,466	27,398	42,311	28,368

中央大学　2024年度・2025年度新入生アンケート「各種キャンパス来訪型のイベントの満足度」

＊集計結果について：上段は「回答数」下段は「回答率」を表す。

●2024年度新入生アンケート

調査対象：2024年度学部新入生（4月入学生）全員　調査実施期間：2024年4月1日～4月29日
調査実施方法：C plus での周知を行い、manaba によるアンケート方式にて実施。

問7　本学のオープンキャンパスや大学説明会等に参加した際の満足度について、あてはまるものを選択してください。
　　なお、参加したことがないイベントについては「参加したことがないのでわからない」を選択してください。

問7-1　オープンキャンパス、キャンパス見学会（中央大学に実際に来る形式のもの）

	合計	1. 満足だった	2. どちらかといえば満足だった	3. どちらかといえば不満だった	4. 不満だった	5. 参加したことがないのでわからない	回答者に占めるイベント参加者の割合（※）	参考：回答数・回答率
全体	6166	1689	1235	68	27	3147	3019	6179
	100.0%	27.4%	20.0%	1.1%	0.4%	51.0%	49.0%	95.6%
法学部	1240	350	266	8	2	614	626	1242
	100.0%	28.2%	21.5%	0.6%	0.2%	49.5%	50.5%	90.9%
経済学部	1113	312	245	14	7	535	578	1114
	100.0%	28.0%	22.0%	1.3%	0.6%	48.1%	51.9%	98.8%
商学部	1093	307	238	18	9	521	572	1093
	100.0%	28.1%	21.8%	1.6%	0.8%	47.7%	52.3%	96.9%
理工学部	945	204	169	12	4	556	389	947
	100.0%	21.6%	17.9%	1.3%	0.4%	58.8%	41.2%	95.2%
文学部	956	311	154	9	4	478	478	963
	100.0%	32.5%	16.1%	0.9%	0.4%	50.0%	50.0%	94.9%
総合政策学部	306	85	75	5	1	140	166	306
	100.0%	27.8%	24.5%	1.6%	0.3%	45.8%	54.2%	99.4%
国際経営学部	369	88	50	1	0	230	139	370
	100.0%	23.8%	13.6%	0.3%	0.0%	62.3%	37.7%	97.9%
国際情報学部	144	32	38	1	0	73	71	144
	100.0%	22.2%	26.4%	0.7%	0.0%	50.7%	49.3%	99.3%

（※）（選択肢1+2+3+4）/回答者数)%

●2025年度新入生アンケート

調査対象：2025年度学部新入生（4月入学生）全員　調査実施期間：2025年4月1日～4月30日
調査実施方法：C plus での周知を行い、manaba によるアンケート方式にて実施。

問Ⅵ．中央大学のオープンキャンパスや大学説明会等に参加した際のあなたの満足度について、最もあてはまるものを選んでください。
なお、参加したことがないイベントについては「参加したことがないのでわからない」を選んでください。

問Ⅵ-1.中央大学のオープンキャンパス、キャンパス見学会、附属ウェルカムイベント等の満足度

	合計	1.満足だった	2.どちらかといえば満足だった	3.どちらかといえば不満だった	4.不満だった	5.参加したことがないのでわからない	回答者に占めるイベント参加者の割合（※）	参考：回答数・回答率
全体	5380	1533	1364	114	31	2338	3042	5509
	100.0%	28.5%	25.4%	2.1%	0.6%	43.5%	56.5%	93.7%
法学部	1361	389	325	36	10	601	760	1400
	100.0%	28.6%	23.9%	2.6%	0.7%	44.2%	55.8%	91.1%
経済学部	879	263	253	17	6	340	539	909
	100.0%	29.9%	28.8%	1.9%	0.7%	38.7%	61.3%	96.0%
商学部	779	211	249	22	6	291	488	794
	100.0%	27.1%	32.0%	2.8%	0.8%	37.4%	62.6%	96.2%
理工学部	869	217	217	18	6	411	458	893
	100.0%	25.0%	25.0%	2.1%	0.7%	47.3%	52.7%	94.3%
文学部	877	286	165	11	1	414	463	891
	100.0%	32.6%	18.8%	1.3%	0.1%	47.2%	52.8%	90.0%
総合政策学部	279	86	75	2	−	116	163	282
	100.0%	30.8%	26.9%	0.7%	0.0%	41.6%	58.4%	99.3%
国際経営学部	173	44	44	6	2	77	96	174
	100.0%	25.4%	25.4%	3.5%	1.2%	44.5%	55.5%	95.6%
国際情報学部	163	37	36	2	−	88	75	166
	100.0%	22.7%	22.1%	1.2%	0.0%	54.0%	46.0%	100.0%

（※）（選択肢1+2+3+4）/回答者数)%

資料15

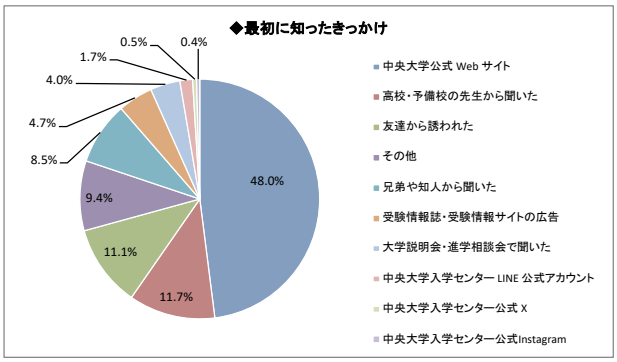
CHUO UNIVERSITY OPEN CAMPUS2025

多摩キャンパス　8/6(水)・8/7(木)
来場者アンケート集計

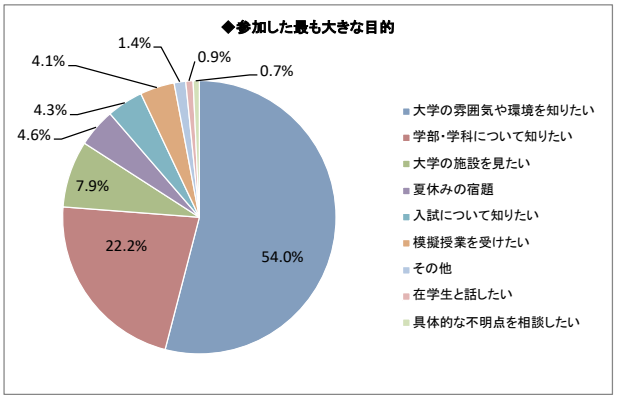
4. 設問別の回答数と割合① Q2.最初に知ったきっかけ／Q3.参加した目的／Q12.大学に求めること

Q2.オープンキャンパスへの参加について		回答数	割合
1	土日以外不可	433	8.1%
2	夏休み中なので平日でも可	3749	70.3%
3	いつでも可	1148	21.5%
合計		5330	100.0%

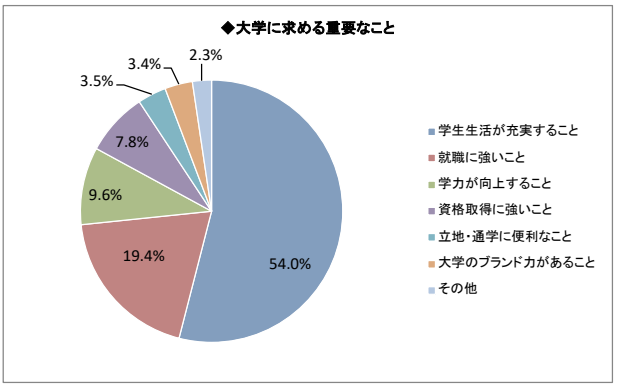
Q3.最初に知ったきっかけ（一つ選択）		回答数	割合
1	高校・予備校の先生から聞いた	622	11.7%
2	大学説明会・進学相談会で聞いた	214	4.0%
3	兄弟や知人から聞いた	451	8.5%
4	友達から誘われた	590	11.1%
5	受験情報誌・受験情報サイトの広告	251	4.7%
6	中央大学公式 Web サイト	2558	48.0%
7	中央大学入学センター LINE 公式アカウント	91	1.7%
8	中央大学入学センター公式 X	28	0.5%
9	中央大学入学センター公式Instagram	23	0.4%
10	その他	502	9.4%
合計		5330	100.0%



Q4.参加した最も大きな目的（一つ選択）		回答数	割合
1	大学の雰囲気や環境を知りたい	2880	54.0%
2	大学の施設を見たい	421	7.9%
3	模擬授業を受けたい	217	4.1%
4	学部・学科について知りたい	1182	22.2%
5	入試について知りたい	229	4.3%
6	在学生と話したい	46	0.9%
7	具体的な不明点を相談したい	39	0.7%
8	夏休みの宿題	243	4.6%
9	その他	73	1.4%
合計		5330	100.0%



Q12大学に求めることで最も重要なこと（一つ選択）		回答数	割合
1	学生生活が充実すること	2878	54.0%
2	学力が向上すること	510	9.6%
3	就職に強いこと	1032	19.4%
4	資格取得に強いこと	415	7.8%
5	立地・通学に便利なこと	188	3.5%
6	大学のブランド力があること	182	3.4%
7	その他	125	2.3%
合計		5330	100.0%



■OCへの参加について

〇今年度平日開催になったため「夏休み中なので平日でも可」が昨年比18.1%上昇した。「土日以外不可」は22.3%減少。

■最初に知ったきっかけ

〇 大学公式Webサイトは、昨年の49.8%から-1.8%、一昨年の50.8%から-2.8%で2年連続の減少となった。

■参加した目的

〇割合の変動で目立ったのは「学部・学科について知りたい」が昨年比1.6%増の22.2%、「模擬授業を受けたい」は昨年比1.4%減の4.1%。

■大学に求めること

〇昨年との比較では大きな差異は見られない。最も変動したのは「資格取得に強いこと」の0.9%増。

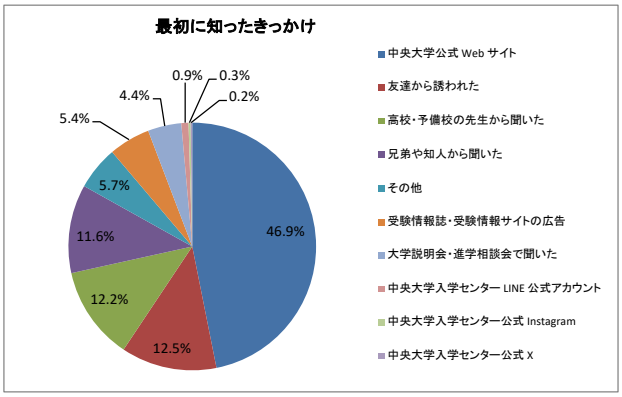
CHUO UNIVERSITY OPEN CAMPUS2025

後楽園キャンパス　8/6(水)・8/7(木)
来場者アンケート集計

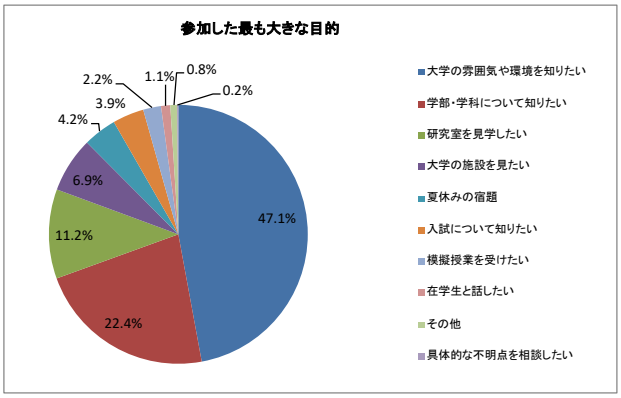
4. 設問別の回答数と割合①　Q2.OCへの参加について／Q3.最初に知ったきっかけ／Q4.参加した目的／Q12.大学に求めること

Q14.オープンキャンパスへの参加について		回答数	割合
1	土日以外不可	438	13.2%
2	夏休み中なので平日でも可	2,383	71.9%
3	いつでも可	493	14.9%
合計		3,314	100.0%

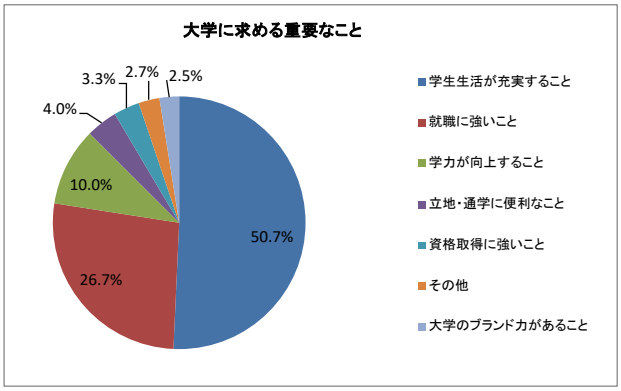
Q3.最初に知ったきっかけ		回答数	割合
1	高校・予備校の先生から聞いた	404	12.2%
2	大学説明会・進学相談会で聞いた	145	4.4%
3	兄弟や知人から聞いた	383	11.6%
4	友達から誘われた	414	12.5%
5	受験情報誌・受験情報サイトの広告	179	5.4%
6	中央大学公式 Web サイト	1,553	46.9%
7	中央大学入学センター LINE 公式アカウント	31	0.9%
8	中央大学入学センター公式 X	7	0.2%
9	中央大学入学センター公式 Instagram	9	0.3%
10	その他	189	5.7%
合計		3,314	100.0%



Q4.参加した目的		回答数	割合
1	大学の雰囲気や環境を知りたい	1,561	47.1%
2	大学の施設を見たい	229	6.9%
3	研究室を見学したい	370	11.2%
4	模擬授業を受けたい	74	2.2%
5	学部・学科について知りたい	741	22.4%
6	入試について知りたい	130	3.9%
7	在学生と話したい	38	1.1%
8	具体的な不明点を相談したい	5	0.2%
9	夏休みの宿題	138	4.2%
10	その他	28	0.8%
合計		3,314	100.0%



Q12.大学に求めること		回答数	割合
1	学生生活が充実すること	1,681	50.7%
2	学力が向上すること	332	10.0%
3	就職に強いこと	886	26.7%
4	資格取得に強いこと	110	3.3%
5	立地・通学に便利なこと	133	4.0%
6	大学のブランド力があること	83	2.5%
7	その他	89	2.7%
合計		3,314	100.0%



■OCへの参加について

〇「土日以外不可」が昨年の7.3%から13.2%に増加。「夏休み中なので平日でも可」が77.1%から71.9%に減少した。

■最初に知ったきっかけ

〇告知の中心は「大学公式Webサイト」で46.9%。昨年より2.1%増加した。その他は大きな変動は見られなかった。

■参加した目的

〇いずれの項目も1%程度以下の変動で顕著な変化は見られなかった。

■大学に求めること

〇「学生生活が充実すること」が昨年の48.2%より2.5%増加し、50.7%となった。

中央大学経済学部競合校一覧

経済学科

大学名	学部	学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済学科
法政大学	経済学部	経済学科
学習院大学	経済学部	経済学科
横浜国立大学	経済学部	経済学科

社会経済学科

大学名	学部	学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済政策学科
青山学院大学	経済学部	現代経済デザイン学科
法政大学	経済学部	現代ビジネス学科
東京都立大学	経済経営学部	経済経営学科

CHUO University
Faculty of Economics

中央大学経済学部　競合校の特色

資料17

経済学部経済学科の競合校　特色

大学名 学部 学科	横浜国立大学 経済学部 経済学科	青山学院大学 経済学部 経済学科	立教大学 経済学部 経済学科	法政大学 経済学部 経済学科	学習院大学 経済学部 経済学科
特色	分野の多様性に加え、分析手法・アプローチの多様性がある。ミクロ経済学やマクロ経済学、計量経済学といった数学を駆使する近代経済学を中心に学修を深めることができる。現代資本主義の特徴を政治と経済の両面から把握する政治経済学を中心に歴史分析や制度分析を学ぶこともでき、フィールドワーク（現地調査）を通じて現実の経済について理解を深められる。近年脚光を浴びているデータサイエンスに関連するプログラミングやビジュアライゼーションの手法を用いた経済分析に取り組むことができる点も特徴である。	「理論・数量」「応用経済」「歴史・思想」の3つのコースを配置することで、学生が自身の関心に応じて経済学を幅広く学ぶ機会を提供し、身につけた知識を応用することで、現実社会の“生きた経済”を明確に捉える眼を養います。また、最先端の経済学を現実社会に応用させながら、市場経済を主体的に動かしていく力を育て、同時に、公平な経済社会実現のために、経済社会の歴史的背景や制度的実態をふまえた上で、より良い制度や施策を提案できる高い学問的見識と、強い意志をもって社会貢献できる行動力を培うことができる。	政治や経済の理論と歴史を軸に基礎から段階的に学び、理論や統計を用いて経済の動きをデータ化する「経済理論科目群」「経済政策科目群」「国際経済科目群」の専門性を深める。また、企業の協力による課題解決型の実習系科目やゼミ、インターンシップなどの実践的科目を用意し、身に付けた理論を実際に生かしていくことができる。	複雑化した現代社会と政治・社会・文化をも巻き込み多くの要因が絡み合った日本と諸外国との問題を分析・検証し、問題解決へと導く基礎となる能力を身につけることを目指している。	どんな分野にでも幅広く応用できる課題解決力。経済学科で勉強することで身につくデータ分析や意思決定の手法は、社会に出てからあらゆるシーンで真価を発揮。 その力の活用方法を、行政や民間の組織で活躍する教授陣から学べることが、学習院大学の経済学科の強みとなっている。
養成する人物像	経済学の理論と現実をバランスよく教育するとともに、貿易港横浜を背景とした国際色豊かな教育を行う。経済学の専門性に加えて、歴史、制度、政治的背景も含む外国経済事情の理解、実践的な英語力、統計的・数理的分析能力を備えた人材を育成	経済学を理論、政策、歴史の3方向から総合的に学び、現実の経済問題を自ら分析できる力を養い、弾力的な思考と行動力を持った自由で独立した学生を育成する。	経済の理論と歴史を踏まえ、 グローバルな視点から 問題分析できる人を育てます。	社会の第一線において活躍する人材、経済学の知識と思考方法にもとづいて、現実の経済の動きを幅広い観点から的確に把握し、論理的な思考方法によって問題解決への道を模索できる人材	現代社会が直面する国内及び海外の様々な経済・経営問題を主体的に捉え、自ら調べ、解決する能力及びそのための豊かな創造力を持ち、かつ、高い倫理性を備えた人材を育成する。
ディプロマ・ポリシー	学位を授与するために修得しておくべき学修成果（身に付けるべき資質・能力）の目標として、 ・グローバル化・多極化の進展と新興国・地域の勃興にともなう経済社会の課題を、国や地域の固有な条件(制度・歴史・文化・商習慣・法制度・環境など)に適応して、深い洞察力を備え把握する能力を身に付ける。 ・日本経済は出生率低下と高齢化による生産年齢人口の減少、労働生産性の低迷、国内市場縮小が進み、国際競争力の低下が懸念されている。海外労働力と海外市場の成長性を取り込んで生産性向上を図り、さらに省エネルギー、自然災害への取組、高齢化問題、社会福祉といった経済社会問題を解決するためのイノベーティブな経済社会メカニズムをデザインする能力を身に付ける。 ・グローバルまたはローカルな諸課題に対して必要な情報・データにアクセスし、明晰な分析を加え、情報発信できる能力を身に付ける。その際、数学・外国語・情報処理の能力を駆使して、経済学の専門知識と統計的・数理的手法をもとにイノベーティブな解決策を提案できる技能を身に付ける。 ・アジアで展開するグローバル・ビジネス、世界規模で連動する金融取引、日本のローカルでの公共政策の実施といった局面で発揮することが期待されるコミュニケーション能力、実践的英語力、リーダーシップを身に付ける	知識・技能…経済学を理論・政策・歴史の側面から総合的に修得している。・修得した専門的知識を社会生活に応用し、または大学院レベルの専門的学習にスムーズに移行できる力を身につけている。 思考力・判断力・表現力…現実の経済社会で生じている諸問題を自ら分析することができる。　意欲・関心・態度…強い意志と行動力をもって自主的に率先して社会に貢献する意欲を有している。	国際社会に通用する専門的知識と教養を身につけている、経済現象を歴史的・理論的に考察することができる、現実の問題を発見し、分析し、解決に取り組むことができる、経済・経済政策・会計に関するデータ分析・情報処理を行うことができる、自らのキャリアを設計することができる、状況に応じた適切なコミュニケーション能力、日常生活での基本的なコミュニケーション能力がある学生に「学士（経済学）」を授与。	経済学の基本的な知識、多文化・異文化に関する知識、人類の文化、社会と自然に関する知識の理解、コミュニケーションスキル、情報通信技術（ICT）を用いての情報分析活用の他、数量的スキル、論理的思考、問題解決力などの汎用的技能、社会の一員として高い倫理観と責任感、協調的行動、身につけた教養と専門知識を総合的に活用し、現代社会を全体的，かつ創造的にとらえることで新たな課題を発見し，その解決によって社会に貢献できる学生に「学士(経済学)」を授与する。	履修規定に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、経済学の知識や技能、課題や問題に対する思考・判断・表現力があり、柔軟かつ広い視野からなる経済感覚をもって、社会や組織における自分の役割を認識し、人との結びつきや協働を重んじながら、目標を実現するために自ら責任感をもって意欲的に行動することができると判断した場合に「学士（経済学）」の学位を授与。
カリキュラム・ポリシー	・数学・外国語・情報処理の基礎的学力を修得させる教育・経済の理論・応用や地域の制度・歴史などについてバランスのとれた教育・貿易港横浜を背景とした国際色が豊かな教育・グローバル化する経済の仕組みを理解させる教育・地域の固有な条件(制度・歴史・商習慣・法制度・環境など)を理解させる教育・キャリア形成を支援する教育、この6つの教育を総合的体系的に行う。	「理論・数量コース」・「応用経済コース」・「歴史・思想コース」の3つのコースにおいて、履修科目を「基礎科目」「専攻科目」の2つに分類し、段階学習によって専門性を高めて行けるようにカリキュラムを整備。1年次の基礎科目により経済学の土台を作り、その土台のうえで専攻科目によって体系的な学問理解を深めるような科目編成を行う。	学士課程における修業年限４年間を「導入期」「形成期」「完成期」の３期に区分し編成。経済学部での学習に必要な基本的知識やスキルを身につけ（導入期）、段階的に専門教育に必要な基本的知識を身につける。（形成期）また、学科選択科目や自由選択科目の履修を通じて、より応用的な問題や政策的な問題を学習し、リベラルアーツ分野における学習の完成を目指す。（完成期）	カリキュラムを「基礎教育科目」「保健体育科目」「外国語科目」「総合教育科目」「専門教育科目」の区分にて編成。共通の科目、熟達度に合わせた教育が可能な科目、専門教育科目では、ブリッジング・積み上げ式・体系性・分野・研究テーマ志向型のように配置・編成されている。	「基礎ミクロ経済学」「基礎マクロ経済学」「統計学入門」「入門演習」「専門基礎科目」「専門応用科目」「外国書講読」「英語で学ぶ経済学」などの科目を配置し、カリキュラムを体系的に編成。
アドミッション・ポリシー	経済・社会・歴史・制度・法律に深い関心をもち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会が抱える問題の解決に取り組みたい人、市場システム・経済社会制度を学び、経済学的手法で経済社会の諸問題の解決に挑戦したい人、必要な情報に自分からアクセスして自己の思考で整理し、さらに自ら情報を発信する力を身に付けたい人	高等学校卒業程度の知識を有し、思考力・判断力・表現力があり、学科の特徴を理解した上で、言語・文化・文学・歴史・人間・思想・地域・社会などに興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、社会のために役立てる意欲を有していること。	高等学校教育課程の全ての科目に対し真面目に取り組み相応の知識を有している、また、高い国語能力に加えて、外国語や数学の十分な知識がある、社会科学を学ぶ学部であるので歴史や社会などについての水準以上の関心と能力を有していることが望まれます。国際社会に通用する専門的知識と教養を身につけている、経済現象を歴史的・理論的に考察することができる、現実の問題を発見し、分析し、解決に取り組むことができる、経済・経済政策・会計に関するデータ分析・情報処理を行うことができる、自らのキャリアを設計することができる人	高等学校で学んだ主要教科・科目について、教科書レベルの知識をもっている、課題解決のために知識・技能を多面的、総合的に活用できる。また、その考察をまとめることができる。世の中の現状を経済という観点から考えることに関心や好奇心をもって深めていく向上心をもっている。経済学を中心に幅広い分野にわたる教養を身に着け、それらを経済学の専門知識と結びつけて自分の世界を広げていくことができる。論理的思考を修得しようとする。自分の学びをデザインしていく行動力をもっている。高い倫理観をもっている。	高等学校卒業相当の知識を有している、一貫した筋道を立てて考察することができる、考えをまとめ、的確に発信し、表現することができる。 幅広い分野に関心を持ち、多様な価値観を認めた上で、自らの考えを相手に伝えることができる。 経済学に関心がある上で、自らの考えを相手に伝えることができる。 経済学に関心があり、その専門知識や経験を会得し、日常生活や社会において活かしたいという意欲がある、歴史、政治、地理、言語など、経済と関わりがある幅広い分野に関心がある、積極的に他者とコミュニケーションをとることによって、相互理解に努めようとする意欲がある。
学費	(2025年度) ・入学金　282,000 ・年間授業料　535,800 ・合計　817,800	(2025年度) ・入学金　200,000 ・年間授業料　833,000 ・施設設備費他　335,000 ・合計　1,368,000	(2026年度) ・入学金　200,000 ・年間授業料　1,171,000 ・合計　1,371,000	(2025年度) ・入学金　240,000 ・年間授業料　831,000 ・教育充実費　228,000 ・合計　1,299,000	(2026年度) ・入学金　200,000 ・年間授業料　828,000 ・教育充実費　322,000 ・合計　1,350,000

経済学部経済学科の競合校　特色

大学名 学部 学科	横浜国立大学 経済学部 経済学科	青山学院大学 経済学部 経済学科	立教大学 経済学部 経済学科	法政大学 経済学部 経済学科	学習院大学 経済学部 経済学科
取得可能な資格・免許	経済学部は記載なし	資格等：司書・社会教育主事・学芸員	免許：高等学校（一種・地理歴史）	免許：中学校教諭一種（社会）、高等学校教諭一種（地理歴史）、高等学校教諭一種（公民）、高等学校教諭一種（情報）資格等：図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、博物館学芸員	免許：中学校教諭一種免許（社会）、高等学校教諭一種免許（公民）資格等：学芸員資格
卒業後の進路	(2023年度)　情報通信業17.5%、運輸業・郵便業1.4%、卸売業・小売業4.2%、金融業・保険業21.2%、不動産業・物品賃貸業2.8%、学術研究、専門・技術サービス業26.4%、生活関連サービス業・娯楽業0.9%、教育・学習支援業1.4%、複合サービス業2.4%、その他サービス業8.5%、公務0.5%建設業1.4%、食品・飲料・たばこ・飼料製造業0.5%、繊維工業0.5%、印刷・同関連業0.5%、化学工業、石油・石炭製品製造業0.9%、鉄鋼業、非貴金属・金属製品製造業0.5%、はん用、生産用、業務用機械器具製造業2.4%、電子部品・デバイス・電子回路製造業0.9%、輸送用機械器具製造業0.9%、その他製造業0.9%、電気・ガス・熱供給・水道業0.9%、	(2024年度)　建設・住宅12人、製造業30人、電気・ガス・熱供給・水道1人、情報通信業69人、運輸・郵便6人、卸売業・小売業26人、金融業・保険業63人、不動産業・物品賃貸業19人、学術研究、専門・技術サービス業20人、宿泊業・飲食サービス業3人、生活関連サービス・娯楽4人、教育学習支援2人、医療・福祉1人、その他サービス16人、公務4人、 (2024年度)　進学13人	(学部全体・2024年度) 農業・林業・水産・鉱業・建設2.6%、製造業10.8%、卸・小売7.3%、金融・保険25.9%、運輸・通信6.5%、不動産・電気・ガス4.9%、放送・広告3.0%、情報15.7%、サービス15.9%、公務5.6%、不明1.7%	（学部全体） 主な進路先 ＜上位５業種＞ １．情報・通信 ２．サービス ３．金融・保険 ４．卸・小売 ５．製造 ＜就職先の例＞ キーエンス、ＴＯＰＰＡＮ、ニトリ、あいおいニッセイ同和損害保険、静岡銀行、横浜銀行、日本生命保険相互会社、三井住友銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行、ＳＭＢＣ日興証券、みずほ証券、三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券、第一生命保険、三菱ＵＦＪ銀行、りそなグループ、大和証券、野村證券、明治安田生命保険相互会社、日本政策金融公庫、三井住友信託銀行、住友生命保険相互会社、アマゾンジャパン合同会社、全日本空輸、ソラシドエア、ＪＡＬスカイ、サイバーエージェント、産業経済新聞社、リクルート、ソフトバンク、楽天グループ、富士ソフト、東京電力ホールディングス、エイチ・アイ・エス、王子ホールディングス、キリンホールディングス、コナミグループ、セコム、ＪＴＢグループ、ＮＴＴ東日本、経済産業省、防衛省、東京税関、関東信越国税局、東京国税局	2025年3月卒業者（採用数が多い順） （株）りそなホールディングス （株）千葉銀行 みずほリサーチ＆テクノロジーズ（株） みずほ証券（株） 東京２３特別区人事委員会 日本電気（株） 野村證券（株） （株）ＮＴＴドコモ （株）長谷工コーポレーション （株）日本政策金融公庫 あいおいニッセイ同和損害保険（株） いすゞ自動車（株） 埼玉県人事委員会 三井住友カード（株） 日本航空（株）

経済学部社会経済学科の競合校　特色

大学名 学部 学科	東京都立大学 経済経営学部 経済経営学科	青山学院大学 経済学部 現代経済デザイン学科	立教大学 経済学部 経済政策学科	法政大学 経済学部 現代ビジネス学科	明治大学 政治経済学部 経済学科
特色	経済学と経営学の体系的なカリキュラムの提供を通して、教養教育と専門性の高い先進教育を展開、社会や組織のリーダーとして、市場と組織という２つの調整メカニズムを通じて、社会全体を望ましい姿に導いていくための政策立案能力と問題解決能力の涵養をめざします。	社会が直面する諸問題に科学的にアプローチし、新たなシステム設計を提案していくために、公共経済学と地域経済学の二つを柱として学びます。また、分析ツールとして、 GIS（地理情報システム）を駆使したデータ分析を活用できる実践力を習得する。	経済や社会をめぐる政策を、３つの視点で掘り下げる。多彩な専門科目を、実践的に学ぶ。論理的思考力を磨くゼミ教育。	複雑化した現代社会と政治・社会・文化をも巻き込み多くの要因が絡み合った日本と諸外国との問題を分析・検証し、問題解決へと導く基礎となる能力を身につけることを目指している。	経済学は地球上の有限な資源の分配，生産，消費活動を通して，地球上の人々の経済的厚生を高めることを目的としているが，経済学の視点だけではなく，他学科に設置されている政治学，行政学及び社会学系科目並びにその他学際的科目も履修して，総合的視点から経済学を学ぶことができる。
養成する人物像	世界および日本の経済についての幅広い知識やそのメカニズムを理解・修得し、社会・経済の様々な問題を解決するための能力を培うことで、将来のあるべき政策や将来像を立案し国・自治体、民間企業に適切な指針を与えるリーダーとして、あるいは深く経済学を探究する研究者として活躍する人材を育成する。	公共部門と国際・地域社会の役割や相互関連性を理解し、複雑化する現代社会の諸問題を発見する能力、分析する能力、解決策を立案する能力などを身につけ、公共性の考えに基づいた新しい社会経済システムを提案できる人材を育成。	幅広い視野と柔軟な頭脳をもって、変動する経済社会に対応できる、自立的な思考能力をもった人材を社会に送り出す。	社会の第一線において活躍する人材、経済学の知識と思考方法にもとづいて，現実の経済の動きを幅広い観点から的確に把握し，論理的な思考方法によって問題解決への道を模索できる人材	「教養豊かな専門人」を目指して、政治、経済、政策、社会及び文化を有機的に結び付けて習得させ、政治、行政、産業及び地域で活躍する優秀な人材を世に送り出すことをその目標としています。その基盤の上に、国際的な舞台で活躍できる人材を育成します。
ディプロマ・ポリシー	経済学コース、経営学コースそれぞれの分野固有の知識・理解及び技術の他、普遍的に有用性を持つ能力（コミュニケーション力、情報活用力、総合的問題思考力、論理的思考力、能動的学修姿勢、倫理観、社会的責任の自覚、異なる文化・社会への理解）等、学修成果を獲得した者に学士（経営学）の学位を授与する。	知識・技能…公共経済学および地域経済学をベースとした経済学の基礎を体系的に修得している、修得した専門的知識を現代経済の諸問題に応用させながら、市場経済を主体的に動かしていく力を持っている。 思考力・判断力・表現力…現実の経済社会で生じている諸問題に対し、自らの利害を超えて、社会のためにどのような制度や政策が望ましいのかについて、公平な経済社会実現という観点から、より良い制度や施策を提案できる高い学問的見識を身につけ、かつわかりやすく一般に説明できる。意欲・関心・態度…自律した思考に基づき、行動力と柔軟性・協調性をもって社会に貢献する意欲を有している。	国際社会に通用する専門的知識と教養を身につけている、経済現象を歴史的・理論的に考察することができる、現実の問題を発見し、分析し、解決に取り組むことができる、経済・経済政策・会計に関するデータ分析・情報処理を行うことができる、自らのキャリアを設計することができる、状況に応じた適切なコミュニケーション能力、日常生活での基本的なコミュニケーション能力がある学生に「学士（経済学）」を授与。	経済学の基本的な知識、多文化・異文化に関する知識、人類の文化、社会と自然に関する知識の理解、コミュニケーションスキル、情報通信技術（ICT）を用いての情報分析活用の他、数量的スキル、論理的思考、問題解決力などの汎用的技能、社会の一員として高い倫理観と責任感、協調的行動、身につけた教養と専門知識を総合的に活用し，現代社会を全体的，かつ創造的にとらえることで新たな課題を発見し，その解決によって社会に貢献できる学生に「学士(経済学)」を授与	今日のグローバル社会で生じる多様な社会的事象を歴史や思想を踏まえて多角的な視点から正確に捉え、政治学・経済学・政策学の各分野における専門知識を修得し、さらに社会学などの知見を土台・ルーツとして独自の分析を行うことができる者、データ分析力や語学力などを発揮しながら、社会に発信し、行動する力を修得した者。経済学科の場合、１　現代経済の基本原理に関する知識　２　現実の経済的・社会的な諸問題に対する理解力　３　経済現象や社会現象に対する実証的分析手法　４　経済学分野の応用力と実践力及び問題発見・解決に資する知識　５　国際経済の知識をもとに国際的課題について多角的に捉える能力を修得した学生に経済学の学位を授与。
カリキュラム・ポリシー	専門分野の基本的な知識・理解及び技術を身に付けさせる専門教育、並びに、専門外の分野の知識・理解を含む幅広い教養を身に付けさせる全学共通教育によって編成する。全学共通教育と専門教育の双方において、普遍的に有用性を持つ能力を獲得・強化することができるよう、それぞれの開講科目の履修によって獲得できる能力を明示する。経済経営学部経済経営学科では、経済学コース、経営学コースの２つのコースによる教育課程を編成する。	社会経済を取り巻く具体的な諸問題を探求し、解決策を提案できる力を養うため、公共経済学と地域経済学の2つを柱とした系統的な科目群を用意し、演習・実習科目が、互いに関連性と統一性をもって配置され、段階的に専門知識を深めることができるカリキュラムとする。１・2年次ではコア科目を配置し、2年次後半から「公共コース」と「地域コース」に分かれ、選択したコースに応じて3・4年次に専門科目へと進むように編成する。なお、各コースを包含する形でGIS（地理情報システム）による空間分析も学習することができる。	学士課程における修業年限４年間を「導入期」「形成期」「完成期」の３期に区分し編成。経済学部での学習に必要な基本的知識やスキルを身につけ（導入期）、段階的に専門教育に必要な基本的知識を身につける。（形成期）また、学科選択科目や自由選択科目の履修を通じて、より応用的な問題や政策的な問題を学習し、リベラルアーツ分野における学習の完成を目指す。（完成期）	カリキュラムを「基礎教育科目」「保健体育科目」「外国語科目」「総合教育科目」「専門教育科目」の区分にて編成。共通の科目、熟達度に合わせた教育が可能な科目、専門教育科目では、ブリッジング・積み上げ式・体系性・分野・研究テーマ志向型のように配置・編成されている。	広い教養を身につけるための基礎科目を習得、高度な国際的感覚と教養を養うために２か国語以上の履修を義務付ける「外国語科目」の履修、「健康・運動科学科目」の必修、さらに専門領域を学ぶ「基本科目」「応用科目」と段階的に履修できるよう配置されており、少人数による「教養演習（1.2年次」「専門演習（3.4年次）」がある。
アドミッション・ポリシー	経済・経営に広く関心を抱き、その事象を探り、これらの原理の解明に取り組みたい人、大学で学んだ知識や思考法を将来の経済・経営に活かし、社会に貢献したい人、ゼミナール・講義の場、その他大学における活動を通して他者と交わり、自己を向上させようとする人	高等学校卒業程度の知識を有している、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをもとめることができる、学科の特徴を理解した上で、言語・文化・文学・歴史・人間・思想・地域・社会などに興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、社会のために役立てる意欲を有している。	高等学校教育課程の全ての科目に対し真面目に取り組み相応の知識を有している、また、高い国語能力に加えて、外国語や数学の十分な知識がある、社会科学を学ぶ学部であるので歴史や社会などについての水準以上の関心と能力を有していることが望まれます。国際社会に通用する専門的知識と教養を身につけている、経済現象を歴史的・理論的に考察することができる、現実の問題を発見し、分析し、解決に取り組むことができる、経済・経済政策・会計に関するデータ分析・情報処理を行うことができる、自らのキャリアを設計することができる人	高等学校で学んだ主要教科・科目について、教科書レベルの知識をもっている、課題解決のために知識・技能を多面的、総合的に活用できる。また、その考察をまとめることができる。世の中の現状を経済という観点から考えることに関心や好奇心をもって深めていく向上心をもっている。経済学を中心に幅広い分野にわたる教養を身に着け、それらを経済学の専門知識と結びつけて自分の世界を広げていくことができる。論理的思考を修得しようとする。自分の学びをデザインしていく行動力をもっている。高い倫理観をもっている。	経済発展および持続可能な経済社会の実現にむけて、ミクロ・マクロ経済学をベースとした多面的な経済理論・歴史・実証（データ）分析の知見を踏まえ、最適な解の提案・発信をめざす学生、上記を実現するための知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ、学習する態度を有する学生
学費	(2025年度) ・入学金　282,000 ・年間授業料　520,800 ・合計　817,800	(2025年度) ・入学金　200,000 ・年間授業料　833,000 ・施設設備費　305,000 ・合計　1,338,000	(2026年度) ・入学金　200,000 ・年間授業料　1,171,000 ・合計　1,371,000	(2025年度) ・入学金　240,000 ・年間授業料　831,000 ・教育充実費　228,000 ・合計　1,299,000	(2026年度) ・入学金　200,000 ・年間授業料　901,000 ・教育充実費他　268,000 ・合計　1,369,000

経済学部社会経済学科の競合校　特色

大学名 学部 学科	東京都立大学 経済経営学部 経済経営学科	青山学院大学 経済学部 現代経済デザイン学科	立教大学 経済学部 経済政策学科	法政大学 経済学部 現代ビジネス学科	明治大学 政治経済学部 経済学科
取得可能な資格・免許	学士以外の記載なし	資格等：司書・社会教育主事・学芸員	免許：中学校一種(社会)、高等学校一種(公民)	免許：中学校教諭一種　(社会)、高等学校教諭一種（ 地理歴史）、高等学校教諭一種（ 公民）、高等学校教諭一種　(情報）資格等：図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、博物館学芸員	免許：中学校教諭(社会)、高等学校教諭(地理歴史・公民)、資格等：学芸員、社会教育主事、司書、司書教諭
卒業後の進路	(2025年度)　情報通信業24.7%、金融業・保険業13.2%、公務員9.3%、製造業5.5%サービス業6.0%、卸売業・小売業6.0%、学術研究、専門・技術サービス業12.1%、その他産業12.1%、進学2.7%、その他8.2%	(2024年度)　建設・住宅5人、製造業9人、情報通信業15人、運輸・郵便5人、卸売業・小売業14人、金融業・保険業15人、不動産業・物品賃貸業6人、学術研究、専門・技術サービス業9人、宿泊業・飲食サービス業1人、生活関連サービス・娯楽1人、教育学習支援2人、医療・福祉1人、その他サービス7人、公務5人、 (2024年度)　進学5人	(学部全体・2024年度) 農業・林業・水産・鉱業・建設2.6%、製造業10.8%、卸・小売7.3%、金融・保険25.9%、運輸・通信6.5%、不動産・電気・ガス4.9%、放送・広告3.0%、情報15.7%、サービス15.9%、公務5.6%、不明1.7%	（学部全体） 主な進路先 ＜上位５業種＞ １．情報・通信 ２．サービス ３．金融・保険 ４．卸・小売 ５．製造 ＜就職先の例＞ キーエンス、ＴＯＰＰＡＮ、ニトリ、あいおいニッセイ同和損害保険、静岡銀行、横浜銀行、日本生命保険相互会社、三井住友銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行、ＳＭＢＣ日興証券、みずほ証券、三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券、第一生命保険、三菱ＵＦＪ銀行、りそなグループ、大和証券、野村證券、明治安田生命保険相互会社、日本政策金融公庫、三井住友信託銀行、住友生命保険相互会社、アマゾンジャパン合同会社、全日本空輸、ソラシドエア、ＪＡＬスカイ、サイバーエージェント、産業経済新聞社、リクルート、ソフトバンク、楽天グループ、富士ソフト、東京電力ホールディングス、エイチ・アイ・エス、王子ホールディングス、キリンホールディングス、コナミグループ、セコム、ＪＴＢグループ、ＮＴＴ東日本、経済産業省、防衛省、東京税関、関東信越国税局、東京国税局	(2024年度)　情報通信業24%、金融業・保険業18%、製造業12%、学術研究、専門技術サービス業11%、卸売業、小売業9%、不動産業、物品賃貸業5%、サービス業（他に分類されないもの）5%、公務（他に分類されるものを除く）5%

私立大 2026年度入試難易度予想ランキング表 （方式別ランク）

【経済・経営・商学系】

東日本				西日本		
		科目数	偏差値			科目数
早稲田	（政治経済－経済－テ併用）	－	70.0			
慶應義塾	（経済－経済A方式）	2	67.5			
	（経済－経済B方式）	2				
	（商－商B方式）	2				
国際基督教	（教養－アーツサイエ人文）	1				
	（教養－アーツサイエ日英）	1				
明治	（経営－全学部3科目）	3				
	（経営－全学英語4技能）	2				
早稲田	（政治経済－国際政経－テ併用）	－				
	（商－地歴・公民型）	3				
慶應義塾	（商－商A方式）	3	65.0			
国際基督教	（教養－アーツサイエ数理）	1				
早稲田	（商－数学型）	3				
青山学院	（経済－経済個別A）	2	62.5	同志社	（商－商学総合全学部）	3
	（経済－経済個別B）	2				
	（経済－経済全学部）	3				
	（経済－現代経済個別A）	2				
	（経済－現代経済個別B）	2				
上智	（経済－経営TEAP）	2				
法政	（経営－経営T日程）	2				
	（経営－経営英語外部）	1				
	（経営－市場経営英語外部）	1				
明治	（政治経済－経済全学部）	3				
	（商－商学部別）	3				
	（商－商学部英語4技能）	3				
	（商－商全学部）	3				
立教	（経営－経営）	2				
	（経営－国際経営）	2				
青山学院	（国際政経－国際経済全学部）	3	60.0	同志社	（経済－経済個別）	3
	（経済－現代経済全学部）	3			（経済－経済全学部）	3
	（経営－経営全学部）	3			（商－商学総合個別）	3
	（経営－マーケ全学部）	3			（商－フレックス個別）	3
上智	（経済－経済TEAP文系）	2			（商－フレックス全学部）	3
	（経済－経済TEAP理系）	1				
中央	（経済－経済一般3）	3				
	（経済－経済共通3）	3				
	（経済－経済英語外部）	2				
	（経済－経済情報英語外部）	2				
	（経済－国際経済英語外部）	2				
	（経済－公共環境一般3）	3				
	（経済－公共環境共通3）	3				
	（経済－公共環境英語外部）	2				
	（国際経営－国際経営一般2）	2				
	（国際経営－国際経営英語外部）	1				
	（商－フレ－フリーメジャー）	3				
	（商－フレ－フリー英語外部）	2				
	（商－フレ－経営一般3）	3				
	（商－フレ－経営＋1一般3）	3				
	（商－フレ－会計一般3）	3				
	（商－フレ－会計＋1一般3）	3				
	（商－フレ－金融一般3）	3				
法政	（経済－経済T日程）	2				
	（経済－国際経済英語外部）	1				
	（経営－経営戦略T日程）	2				
	（経営－経営戦略英語外部）	1				
	（経営－市場経営A方式）	3				
	（経営－市場経営T日程）	2				
武蔵	（経済－経済全学グロ）	1				
	（経営－経営全学グロ）	1				
明治	（政治経済－経済学部別）	3				
立教	（経済－経済）	2				
	（経済－経済政策）	2				
学習院	（経済－経済コア）	3	57.5	南山	（経済－経済B方式）	2
	（経済－経済プラス）	3		立命館	（経営－国際経営全学文系）	3
	（経済－経営コア）	3			（経営－国際経営学部文系）	3
	（経済－経営プラス）	3			（経営－経営全学文系）	3
國學院	（経済－経営A最高）	3			（経営－経営学部文系）	3
	（経済－経営A英語）	2			（経営－経営学部情文）	3
成蹊	（経済－現代経済2全学）	2		関西	（経済－経済英語外部）	2
中央	（経済－経済情報一般3）	3		関西外国語	（英語キャリー英語キャリ前期S）	1
	（経済－経済情報共通3）	3				
	（経済－国際経済一般3）	3				

※ボーダー偏差値の高い順に並べています
※各大学のボーダーは1月現在のものです

私立大 2026年度入試難易度予想ランキング表 （方式別ランク）

【経済・経営・商学系】

東日本				西日本		
		科目数	偏差値			科目数
中央	（経済－国際経済共通3）	3	57.5			
	（商－フレ－国際マーケ一般3）	3				
	（商－フレ－国際マ＋1一般3）	3				
	（商－フレ－金融＋1一般3）	3				
東京理科	（経営－経営B方式）	3				
	（経営－ビジネスB方式）	3				
	（経営－国際デザB方式）	3				
東洋	（経営－マーケ前3最高）	3				
法政	（経済－国際経済T日程）	2				
	（経済－現代ビジA方式）	3				
	（経済－現代ビジT日程）	2				
	（経営－経営A方式）	3				
	（経営－経営戦略A方式）	3				
武蔵	（経済－経済個別）	3				
	（経済－経済全学）	2				
	（経済－経営個別）	3				
	（経済－経営全学）	2				
	（経済－金融個別）	3				
	（経済－金融全学）	2				
	（経済－金融全学グロ）	1				
明治学院	（経済－経済全学部3）	3				
	（経済－経済全学英語）	2				
	（経済－経営全学英語）	2				
	（経済－国際経営全学英語）	2				
立教	（経済－会計ファイナンス）	2				
國學院	（経済－経済A3教科）	3	55.0	南山	（経済－経済A方式）	3
	（経済－経済A最高）	3			（経済－経済全学個別）	3
	（経済－経済A英語）	2			（経営－経営A方式）	3
	（経済－経営A3教科）	3			（経営－経営B方式）	2
	（経済－経営A特色型）	3			（経営－経営全学個別）	3
成蹊	（経済－経済数理2全学）	2		立命館	（経済－経済全学文系）	3
	（経済－現代経済3個別）	3			（経済－経済学部文系）	3
	（経営－総合経営3個別）	3			（経済－国際全学文系）	3
	（経営－総合経営2全学）	2		関西	（経済－経済3）	3
成城	（経済－経済S）	2			（経済－経済3同一）	3
	（経済－経営A3）	3			（商－商3）	3
	（経済－経営S）	2			（商－商3同一）	3
東洋	（経済－経済前英国地公）	3		関西学院	（経済－全学部日程）	3
	（経済－経済前3最高）	3			（経済－全学部日程理系）	3
	（経済－国際経済前3英語）	3			（経済－学部傾斜）	3
	（経済－国際経済前3最高）	3			（経済－学部均等）	3
	（経営－経営前英国地公）	3			（経済－英数日程）	2
	（経営－経営前期3英語）	3			（商－全学部日程）	3
	（経営－マーケ前期3）	3			（商－学部傾斜）	3
日本女子	（家政－家政経済個別3）	3			（商－学部均等）	3
法政	（経済－経済A方式）	3			（商－英数日程）	2
	（経済－国際経済A方式）	3				
武蔵	（国際教養－経済経営全学）	3				
明治学院	（経済－経済A日程3）	3				
	（経済－経営A日程3）	3				
	（経済－経営全学部3）	3				
	（経済－国際経営A日程3）	3				
獨協	（経済－経済全学前）	2	52.5	中京	（経済－経済前期A3）	3
	（経済－経営全学前）	2			（経済－経済前期A2）	2
國學院	（経済－経済A特色型）	3			（経済－経済前期M3）	3
駒澤	（経済－経済全学）	3			（経済－経済前期M2）	2
	（経営－経営全学）	3			（経営－経営前期A2）	2
	（経営－市場戦略全学）	3			（経営－経営前期M2）	2
昭和女子	（グローバルー会計ファイナB）	2		名古屋外国語	（現代国際－グロビジ前期M2）	2
成蹊	（経済－経済数理3個別）	3		立命館	（食マネジメ－食マネジ全学文系）	3
成城	（経済－経済A3）	3			（食マネジメ－食マネジ学部文系）	3
専修	（商－マーケテ前B選択）	3			（食マネジメ－食マネジ学部情文）	3
	（商－マーケテ前C英語）	3			（食マネジメ－食マネジ理系3）	3
	（商－マーケテ前D国語）	3		龍谷	（経営－商前スタ）	3
	（商－マーケティ全学部）	3			（経営－商前高点）	3
	（商－マーケティ全国）	3		関西外国語	（英語キャリー英語キャリ前期A）	2
東洋	（経済－経済前英国数）	3			（英語キャリー英語キャリ前期B）	2
	（経済－国際経済前期3）	3		近畿	（経済－経済前A）	3
	（経済－総合政策前期3）	3			（経済－経済前B）	3
	（経済－総合政策前3最高）	3			（経営－経営前A）	3
	（経営－経営前3英国数）	3			（経営－経営前B）	3
	（経営－会計前期3）	3		大和	（政治経済－経済経営前期）	3

※ボーダー偏差値の高い順に並べています
※各大学のボーダーは1月現在のものです

国公立大 2026年度入試難易度予想ランキング表 （方式別ランク）

【経済・経営・商学系】

前期日程 東日本			前期日程 西日本			共テ得点率	中期・後期・別日程 東日本			中期・後期・別日程 西日本		
		2次			2次				2次			2次
						98	国際教養	（国際教養－国際教養C日程）				
						90	一橋	（経済－経済）	72.5	九州	（経済－経済・経営）	
						87	国際教養	（国際教養－国際教養B日程）	70.0			
東京	（文科二類）	67.5				86	東北	（経済－理系）	67.5			
						85	東北	（経済－文系）	67.5			
			京都	（経済－経済経営文系）	67.5	84	横浜国立	（経済－経済DSEP）	67.5	大阪公立	（経済－経済（高得点選抜））	
				（経済－経済経営理系）	65.0			（経済－経済LBEEP）	67.5		（商）	
一橋	（商）	65.0				83	横浜国立	（経済－経済一般）	67.5			
横浜市立	（国際商－国際商B方式）	62.5										
一橋	（経済－経済）	65.0	大阪	（経済－経済・経営）	65.0	82	北海道	（経済）				
埼玉	（経済－経済（国際プログラム枠））	57.5				81	横浜国立	（経営－経営一般）	67.5	名古屋市立	（経済－経済経営Eコース（英語））	65.0
										広島	（経済－経済）	
			神戸	（経営－経営）	62.5	80	千葉	（法政経－法政経）		名古屋市立	（経済－経済経営Mコース（数学））	65.0
			九州	（経済－経済・経営）	60.0		横浜国立	（経営－経営DSEP）	67.5	滋賀	（経済－総合経済A方式（英・国））	57.5
											（経済－総合経済A方式（英・数））	57.5
										県立広島	（地域創生－地域－経営）	
東北	（経済－理系）	60.0	名古屋	（経済）	60.0	79	国際教養	（国際教養－国際教養A日程）	65.0			
横浜国立	（経営－経営一般）	65.0	神戸	（経済－経済（数学））	62.5							
				（経済－経済（英数））	62.5							
				（経済－経済（総合））	60.0							
東北	（経済－文系）	60.0				78				滋賀	（経済－総合経済B方式（英・国））	57.5
横浜国立	（経済－経済一般）	62.5									（経済－総合経済B方式（英・数））	57.5
	（経営－経営DSEP）	65.0								九州	（経済－経済工）	60.0
北海道	（総合文系）	62.5	金沢	（文系一括）	55.0	77	東京都立	（経済経営－経済経営）				
筑波	（総合選抜－文系）	60.0	滋賀	（経済－総合経済A方式（英・国））	55.0							
横浜国立	（経済－経済DSEP）	62.5										
	（経済－経済LBEEP）	62.5										
北海道	（経済）	60.0	名古屋市立	（経済－経済経営）	57.5	76	埼玉	（経済－経済）		静岡県立	（経営情報－経営情報）	
										大阪公立	（経済－経済（ユニーク選抜））	
										兵庫県立	（国際商経－経済学・経営学）	57.5
			滋賀	（経済－総合経済A方式（英・数））	55.0	75	小樽商科	（商）				
							東京都立	（都市環境－観光科学）				
東京都立	（経済経営－経済経営（一般））	57.5	大阪公立	（経済－経済）	57.5	74	新潟	（経済科学－総合経済）		和歌山	（経済－経済）	
							長野県立	（グローバルーグローバルマネジメント－中）				
千葉	（法政経－法政経）	60.0	大阪公立	（商）	57.5	73	高崎経済	（経済－中）	52.5	島根	（法文－法経）	
東京都立	（都市環境－観光科学）	52.5	九州	（経済－経済工）	57.5	72	茨城	（人文社会－法律経済）	52.5	福知山公立	（地域経営－地域経営）	
										県立広島	（地域創生－情報）	
										香川	（経済－経済）	
										長崎	（経済－総合経済）	
										鹿児島	（法文－法経－地域社会・経済）	
東京都立	（経済経営－経済経営（数理））	57.5	滋賀	（経済－総合経済B方式（英・国））	55.0	71				奈良県立	（地域創造－地域創造－中）	
横浜市立	（国際商－国際商A方式）	55.0										
			広島	（経済－経済）	55.0	70	福島	（人文社会－経済経営）	47.5	佐賀	（経済－経済法）	
			滋賀	（経済－総合経済B方式（英・数））	55.0	69	宇都宮	（データサイーデータサイエンス経営）		富山	（経済－経済経営）	
			岡山	（経済－経済）	55.0		長野	（地域経営－地域経営－中）	50.0			
小樽商科	（商－夜）	47.5	金沢	（人間社会－経済）	52.5	68				福山市立	（都市経営－都市経営）	
埼玉	（経済－経済（一般選抜枠））	55.0	兵庫県立	（国際商経－経済学・経営学）	52.5					山口	（経済）	
			奈良県立	（地域創造－地域創造）						佐賀	（経済－経営）	
高崎経済	（経済）	50.0				67				広島	（経済－夜－経済）	
長野	（地域経営－地域経営）									下関市立	（経済－経済－中）	45.0
										周南公立	（経済経営－経済経営－中）	
										佐賀	（経済－経済）	
茨城	（人文社会－法律経済）	47.5	下関市立	（経済－経済B方式）		66	旭川市立	（経済－経営経済）	50.0	高知工科	（経済マネ）	
							新潟県立	（国際経済－国際経済B日程）	47.5	北九州市立	（経済）	
信州	（経法－応用経済）	50.0	福知山公立	（地域経営－地域経営3教科型）		65	青森公立	（経営経済－経済）				
			高知工科	（経済マネ－B方式）	45.0		弘前	（人文社会－社会経営）				
小樽商科	（商）	50.0	岐阜	（社シス経営）	57.5	64				福井県立	（経済－経済）	50.0
			兵庫県立	（国際商経－グローバルビジネス）	50.0						（経済－経営）	50.0
			県立広島	（地域創生－地域－経営）						下関市立	（経済－公共マネジメント－中）	45.0
			香川	（経済－経済）	50.0					大分	（経済－総合経済）	
宇都宮	（データサイーデータサイエンス経営）	50.0	静岡	（人文社会－経済）	47.5	63				下関市立	（経済－国際商－中）	45.0
新潟	（経済科学－総合経済）	47.5	下関市立	（経済－公共マネジメントB方式）								
茨城	（地域未来－英語選択）	50.0	下関市立	（経済－国際商B方式）		62	新潟県立	（国際経済－国際経済C日程）		島根県立	（地域政策－経済経営・デジタルマネジメント）	



※ボーダー得点率の高い順に並べています
※各大学のボーダーは1月現在のものです

中央大学スポーツ情報学部競合校一覧（5校）

・青山学院大学社会情報学部社会情報学科（神奈川県相模原市）

・関西大学ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科（大阪府吹田市）

・千葉大学情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科（千葉県千葉市）

・一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部ソーシャル・データサイエンス学科（東京都国立市）

・早稲田大学スポーツ科学部スポーツ科学科（埼玉県所沢市）

以上

中央大学スポーツ情報学部 競合校の学費設定分析（2025年度学費）

単位:円

大学	学部	学科	入学定員	学納金合計（初年度納入金）	入学金除く	入学金
青山学院大学	社会情報学部	社会情報学科	220	1,623,000	1,423,000	200,000
関西大学	ビジネスデータサイエンス学部	ビジネスデータサイエンス学科	350	1,622,000	1,362,000	260,000
早稲田大学	スポーツ科学部	スポーツ科学科	400	1,729,000	1,529,000	200,000
中央大学（2027年度学費）	スポーツ情報学部	スポーツ情報学科	295	1,720,000	1,480,000	240,000

初年度納入金	2025年度	2026年度（推計※1）	2027年度（推計※1）
私立大学工学部(全国)※2	1,650,081	1,683,083	1,716,744
競合校(私立大学平均)	1,658,000	1,691,160	1,724,983

※1 毎年2%の学費上昇率を見込み、2025年度学費を基準に推計
※2 出典:旺文社 教育情報センター「2025年度大学の学費平均額」

参考：国公立競合校の2025年度学費

一橋大学	ソーシャル・データサイエンス学部	ソーシャル・データサイエンス学科	60	924,960	642,960	282,000
千葉大学	情報・データサイエンス学部	情報・データサイエンス学科	100	924,960	642,960	282,000

出典：2025年度学費については、各大学Webサイトなどの公表値

中央大学経済学部　競合校の志願者等および入学者状況

経済学部経済学科　競合校の状況

年度	大学名	横浜国立大学	青山学院大学	立教大学	法政大学	学習院大学
	学部	経済学部	経済学部	経済学部	経済学部	経済学部
	学科	経済学科	経済学科	経済学科	経済学科	経済学科
2025年度	入学定員数	258	407	332	492	250
	志願者数	2,407	7,601	5,130	6,841	3,596
	志願倍率(志願者÷入学定員)	9.3	18.7	15.5	13.9	14.4
	受験者数	1,515	6,350	4,922	非公開	非公開
	合格者数	354	1,064	1,517	1,999	890
	入学者数	287	435	326	590	255
	充足率	111.2%	106.9%	98.2%	119.9%	102.0%
2024年度	入学定員数	258	407	332	492	250
	志願者数	2,100	6,437	4,553	7,147	3,767
	志願倍率(志願者÷入学定員)	8.1	15.8	13.7	14.5	15.1
	受験者数	1,216	5,313	非公開	非公開	非公開
	合格者数	346	1,097	1,473	2,035	1,005
	入学者数	286	442	336	461	247
	充足率	110.9%	108.6%	101.2%	93.7%	98.8%
2023年度	入学定員数	258	407	332	492	250
	志願者数	2,599	6,684	6,912	7,143	2,946
	志願倍率(志願者÷入学定員)	10.1	16.4	20.8	14.5	11.8
	受験者数	1,679	5,515	非公開	非公開	非公開
	合格者数	333	991	1,824	2,073	890
	入学者数	267	434	363	522	262
	充足率	103.5%	106.6%	109.3%	106.1%	104.8%
2022年度	入学定員数	258	407	332	492	250
	志願者数	1,331	6,761	4,600	7,568	3,151
	志願倍率(志願者÷入学定員)	5.2	16.6	13.9	15.4	12.6
	受験者数	740	5,548	非公開	非公開	非公開
	合格者数	334	1,085	1,590	1,773	941
	入学者数	264	426	323	497	283
	充足率	102.3%	104.7%	97.3%	101.0%	113.2%
2021年度	入学定員数	258	407	330	492	250
	志願者数	947	7,182	5,215	5,704	2,762
	志願倍率(志願者÷入学定員)	3.7	17.6	15.8	11.6	11.0
	受験者数	934	5,996	非公開	非公開	非公開
	合格者数	453	1,099	1,421	1,624	766
	入学者数	259	411	322	471	255
	充足率	100.4%	101.0%	97.6%	95.7%	102.0%
5年平均	志願倍率(志願者÷入学定員)	7.3	17.0	15.9	14.0	13.0
	充足率	105.7%	105.6%	100.7%	103.3%	104.2%

経済学部社会経済学科　競合校の状況

年度	大学名	東京都立大学	青山学院大学	立教大学	法政大学	明治大学
	学部	経済経営学部	経済学部	経済学部	経済学部	政治経済学部
	学科	経済経営学科	現代経済デザイン学科	経済政策学科	現代ビジネス学科	経済学科
2025年度	入学定員数	200	132	176	153	695
	志願者数	905	1,449	1,779	1,927	8,543
	志願倍率(志願者÷入学定員)	4.5	11.0	10.1	12.6	12.3
	受験者数	非公開	1,206	1,671	非公開	非公開
	合格者数	229	239	547	476	2,659
	入学者数	218	139	180	177	745
	充足率	109.0%	105.3%	102.3%	115.7%	107.2%
2024年度	入学定員数	200	132	176	153	695
	志願者数	747	1,735	2,030	1,787	7,809
	志願倍率(志願者÷入学定員)	3.7	13.1	11.5	11.7	11.2
	受験者数	非公開	1,405	非公開	非公開	非公開
	合格者数	229	248	623	520	2,551
	入学者数	211	152	169	168	690
	充足率	105.5%	115.2%	96.0%	109.8%	99.3%
2023年度	入学定員数	200	132	176	153	695
	志願者数	793	1,425	1,918	1,196	7,908
	志願倍率(志願者÷入学定員)	4.0	10.8	10.9	7.8	11.4
	受験者数	非公開	1,173	非公開	非公開	非公開
	合格者数	230	242	627	404	2,459
	入学者数	214	131	159	161	721
	充足率	107.0%	99.2%	90.3%	105.2%	103.7%
2022年度	入学定員数	200	132	176	153	695
	志願者数	757	1,962	2,142	2,741	7,485
	志願倍率(志願者÷入学定員)	3.8	14.9	12.2	17.9	10.8
	受験者数	非公開	1,672	非公開	非公開	非公開
	合格者数	227	258	729	620	2,507
	入学者数	202	137	187	152	728
	充足率	101.0%	103.8%	106.3%	99.3%	104.7%
2021年度	入学定員数	200	132	175	153	695
	志願者数	992	1,378	2,165	1,356	6,667
	志願倍率(志願者÷入学定員)	5.0	10.4	12.4	8.9	9.6
	受験者数	非公開	1,134	非公開	非公開	非公開
	合格者数	227	233	605	403	2,100
	入学者数	202	128	188	166	676
	充足率	101.0%	97.0%	107.4%	108.5%	97.3%
5年平均	志願倍率(志願者÷入学定員)	4.2	12.0	11.4	11.8	11.1
	充足率	104.7%	104.1%	100.5%	107.7%	102.4%

資料22

中央大学スポーツ情報学部スポーツ情報学科　競合校の志願等及び入学者状況

【志願状況】（一般・総合型・学校推薦型合計）

大学名	学部名	学科名	志願者数			受験者数			合格者数			志願倍率（志願者数/入学定員）				実質倍率（志願者数/合格者数）			
			2023年度	2024年度	2025年度	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年平均	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年平均
青山学院大学	社会情報学部	社会情報学科	1,956	2,351	2,093	1,731	2,130	1,875	531	516	506	8.9	10.7	9.5	9.7	3.7	4.6	4.1	4.1
関西大学	ビジネスデータサイエンス学部	ビジネスデータサイエンス学科			3,415			非公開			876			9.8	9.8			3.9	3.9
千葉大学	情報・データサイエンス学部	情報・データサイエンス学科		383	462		377	430		109	108		3.8	4.6	4.2		3.5	4.3	3.9
一橋大学	ソーシャル・データサイエンス学部	ソーシャル・データサイエンス学科	830	654	756	262	256	262	69	65	65	13.8	10.9	12.6	12.4	12.0	10.1	11.6	11.2
早稲田大学	スポーツ科学部	スポーツ科学科	1,977	2,221	3,090	1,529	1,733	2,444	577	624	620	4.9	5.6	7.7	6.1	3.4	3.6	5.0	4.0

※志願倍率3カ年平均については、設置年度により２カ年平均もしくは単年度のみ
※原則として各大学の公開情報に基づいて作成しているため、非公開の数値については数値未反映
※青山学院大学社会情報学部社会情報学科の受験者数は総合型選抜等の受験生数が非公開のため、一般選抜の受験生のみの実績
※早稲田大学スポーツ科学部スポーツ科学科については、スポーツ総合Ⅱ（アスリート選抜）は入試結果が非公開のため未反映、また総合型選抜等の受験生が非公開のため、一般選抜の受験生のみの実績

【入学定員充足状況】

大学名	学部名	学科名	入学定員			入学者数			入学定員充足率（%）			
			2023年度	2024年度	2025年度	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年平均
青山学院大学	社会情報学部	社会情報学科	220	220	220	228	236	249	103.6	107.3	113.2	108.0
関西大学	ビジネスデータサイエンス学部	ビジネスデータサイエンス学科			350			396			113.1	113.1
千葉大学	情報・データサイエンス学部	情報・データサイエンス学科		100	100		103	102		103.0	102.0	102.5
一橋大学	ソーシャル・データサイエンス学部	ソーシャル・データサイエンス学科	60	60	60	67	63	60	111.7	105.0	100.0	105.6
早稲田大学	スポーツ科学部	スポーツ科学科	400	400	400	418	416	406	104.5	104.0	101.5	103.3

※関西大学ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科は2025年4月開設のため2025年度実績のみ
※千葉大学情報・データサイエンス学部情報・データサイエンス学科は2024年4月開設のため2024年度・2025年度実績のみ

出典：各大学公式Webサイト、ガイドブックなどの入試結果情報公表値、河合塾Kei -Net掲載数値他

2025年度 大学の学費平均額

私立大学の授業料・初年度納入金平均額が多くの学問分野で上昇

旺文社　教育情報センター　2025 年 8 月 22 日

弊誌『螢雪時代』では大学を対象にアンケートを実施している。2025年度の学費は『螢雪時代8月臨時増刊　全国大学内容案内号』に、大学別に掲載した。本稿では回答を元に、設置者別の学費平均額、学問分野別の学費平均額をまとめた。

※初年度納入金＝入学金、授業料、施設設備費、諸会費など1年次に支払う学費。

■設置者別では私立が高額

国立大学の入学金および授業料は、文部科学省の定める省令で決められている。標準額（昼間部）は入学金282,000円、授業料535,800円。特別な事情があるときは標準額の20%増を上限に各大学で決定できる。標準額と異なる国立大学は6校あり、図表2に示した。学費の改定理由は、たとえば「教育研究の高度化やトップアーティスト育成の中核をなす実技指導の重点強化などに充てる（東京藝術大学）」「教育・修学環境・修学支援などの改革を行い、高い価値をもつ理系イノベーション人材の輩出を目指す（東京農工大学）」など、教育環境の整備・改善を目的としている。

［図表1］ 2025年度 大学の学費（［国立大学］標準額と［公立大学・私立大学］平均額）

国立大学（標準額［文部科学省令］）			公立大学（平均額）			私立大学（平均額）	
昼間部	入学金	282,000円	地域内	入学金	220,661円	入学金	256,116円
	授業料	535,800円		授業料	533,017円	授業料	988,497円
	初年度納入金	817,800円		初年度納入金	838,805円	初年度納入金	1,659,912円
	（入学金と授業料の合計）						
夜間部	入学金	141,000円	地域外	入学金	380,531円		
	授業料	267,900円		授業料	536,518円		
	初年度納入金	408,900円		初年度納入金	1,003,795円		
	（入学金と授業料の合計）						

※国立大学は、文部科学省令による標準額。公・私立大学は、旺文社調査・算出による平均額（夜間含む／大学単位で集計、算出）。
※2025年の学生募集をした大学を集計。通信制のみの大学、専門職大学は含まない。 ※公立大学で地域内・地域外の区分がない大学は地域内に含む。
※初年度納入金以外に学生教育研究災害傷害保険料の納入、学友会費、実習費などの納入が必要な場合がある。

［図表2］ 標準額以外の国立大学

大学名	改定された年度	入学金	授業料
千葉大学	2020年度	*	642,960
東京大学	2025年度	*	642,960
東京科学大学（旧東京医科歯科大学）	2020年度	*	642,960
東京科学大学（旧東京工業大学）	2019年度	*	635,400
東京藝術大学	入学金2017年度、授業料2019年度	338,400	642,960
東京農工大学	2024年度	*	642,960
一橋大学	2020年度	*	642,960

※入学金欄に付した「*」は標準額であることを示す。

［図表3］
2025年度　大学の学費
（［公立大学・私立大学］中央値）

	公立大学（中央値）		私立大学（中央値）	
地域内	入学金	230,500円	入学金	240,000円
	授業料	535,800円	授業料	892,500円
	初年度納入金	823,465円	初年度納入金	1,482,085円
地域外	入学金	359,800円		
	授業料	535,800円		
	初年度納入金	978,175円		

※旺文社調査・算出による中央値（夜間含む／大学単位で集計、算出）。
※2025年の学生募集をした大学を集計。通信制のみの大学、専門職大学は含まない。
※初年度納入金以外に学生教育研究災害傷害保険料の納入、学友会費、実習費などの納入が必要な場合がある。
※公立大学で地域内・地域外の区分がない大学は地域内に含む。

文科省から国立大学に交付される運営費交付金は近年は横ばいだが、制度が始まった2004年度と比較し約1,600億円減少している。財源の多様化は進んではいるものの、今後、標準額を上回る学費にする大学が新たに現れることも十分考えられる（8月20日、埼玉大学が教育研究活動のさらなる充実に向けた機能強化を目的として、2026年入学者から授業料を現行の標準額の20％増とすることを検討していると公表。10月上旬を目途に決定予定）。

公立大学の入学金は、入学者や保護者の住所が地域内か地域外かで異なることが多い。公立大学への進学を考える場合、その大学の示す地域内・地域外がどこを指すか、また、地域内か地域外かを判定する基準日はいつなのかも調べておきたい。授業料は国立大学の標準額と同程度のことが多い。

私立大学は、入学金は国公立大学とあまり差はないが、授業料の平均額は100万円近くで、それに伴い、初年度納入金は高額になる。

平均値の他、中央値も求めた（図表3）。中央値は平均値より下がる結果となった。平均値は突出した数値に影響されるが、中央値はそのような数値に影響されない。私立大学の授業料は医学部系統や歯学部系統が高額で、平均値が中央値と比較して高くなる。

■公立大学は学部間の差は小さいが、私立大学は学部によってさまざま

学部系統別の学費を4ページの図表4に表した。

公立大学では学部系統による授業料の差は小さいが、どの学部も地域内と地域外で入学金の差が大きい。私立大学は入学金、授業料ともに学部間の差が大きく、医学部や歯学部が高額であることが目を引く。

前年と比較し、私立大学の授業料と初年度納入金が多くの学部系統で上昇した。ただ、授業料が上がったように見えても、実験実習費や施設設備費などを授業料に含むようになった例がある。また逆に、入学金と授業料が下がっても、そこに含まれない項目が上がり、その結果、初年度納入金が上昇することもある。当然ながら総額でいくらになるか把握することが大切である。

■69の学問分野のうち、私立大学では授業料は49分野で、初年度納入金は57分野で値上がり

系統をさらに細かく、学問分野別に見てみる（図表5）。

同一学部系統内に複数の分野があるとき、私立大学の授業料は分野間で差があるケースと差がないケースが見られる。たとえば、農・獣医畜産・水産学部系統では獣医学分野の授業料は高額で、芸術学部系統では音楽分野が高額だ。一方、文学部系統など授業料にあまり差が見られない系統もある。

69の学問分野のうち、私立大学では授業料が49分野で、初年度納入金が57分野で値上がりした。文系、理系を問わず、多くの学問分野での学費上昇が見て取れる。

■文科省は大学に入学金納入の負担軽減を依頼

文科省は6月、2026年入試に向けて、私立大学に対し入学金の負担軽減の検討、対応依頼を通知した。入学しなかった場合、入試方式など一定の条件のもと入学金を返還する大学も現れ始めた。桃山学院大学は約8割、美作大学は全額返還するとの発表があった。授業料と異なり、入学金は入学辞退者に対して返還不要との最高裁の判決があるものの、今後このような対応を示す大学が続くことも考えられる。

（2025.8 今村）

次ページ以降に、学部系統別と学問分野別の学費平均額を掲載

[図表4] 2025年度 公立大学・私立大学 [学部系統別]の学費平均額

（単位：円）

学部系統	公立大学									私立大学					
	地域内						地域外								
	入学金		授業料		初年度納入金		入学金		授業料		初年度納入金		入学金		授業料		初年度納入金	
文学部	214,415		471,035	↓	734,499	↑	343,078		521,706		918,764	↑	224,356	↓	823,502	↑	1,330,730	↑
外国語学部	203,029		520,041		782,528		355,200		519,056		937,139		220,793	↓	817,144	↑	1,325,612	↑
人文・教養・人間科学部	218,500		515,739	↓	808,964	↑	359,145		532,314		971,878	↑	223,332	↓	857,410	↑	1,353,738	↑
教育・教員養成系学部	236,580		486,640	↓	753,925		367,556		539,044		940,199		229,415	↓	817,947	↑	1,374,142	↑
法学部	197,493		496,457	↓	762,338	↑	349,057		533,657		951,102	↑	217,063	↓	834,649	↑	1,303,602	↑
経済・経営・商学部	210,168	↓	527,253	↓	812,869	↓	364,032		540,958		981,095		221,867	↓	824,100	↑	1,316,375	↑
社会・社会福祉学部	210,255	↓	513,520	↓	777,966	↓	350,872	↓	539,656		948,554	↓	224,354	↓	832,214	↑	1,342,786	↑
国際関係学部	215,815	↓	544,630		849,153	↑	366,231	↓	544,969		1,005,064	↑	217,931	↓	860,004	↑	1,359,830	↑
理学部	212,788	↓	489,794	↓	757,004	↓	347,903	↓	535,745		941,093	↓	223,926	↓	1,102,942	↑	1,621,596	↑
工学部	214,864	↓	512,310	↓	785,610		350,655	↓	537,175		949,071	↑	231,870		1,112,862	↑	1,650,081	↑
農・獣医畜産・水産学部	235,783		535,800		816,874	↑	373,867		535,800		954,958	↑	246,375		992,194	↓	1,642,945	↑
医学部	258,125		540,450		967,531		555,571		541,114		1,268,350		1,361,290	↑	2,738,548		7,135,657	↑
歯学部	282,000		535,800		825,600		520,000		535,800		1,063,600		594,118		2,963,529		5,136,794	
薬学部	207,286		535,800		854,981	↓	392,457		535,800		1,040,153	↓	306,107	↓	1,392,432	↓	2,144,929	↑
看護・医療・栄養学部	221,327	↓	530,245	↓	822,243	↓	374,411	↓	537,345		984,352	↓	255,824	↓	992,096		1,717,060	↑
家政・生活科学部	215,585		537,162		817,182	↑	386,554		537,162		991,036	↑	230,907	↓	825,958	↑	1,414,535	↑
体育・健康科学部	189,875		557,100		766,088		337,450		557,100		913,663		234,685	↓	856,271	↑	1,432,595	↑
芸術学部	228,880		516,136	↓	807,693		385,313		537,070		985,188		231,270	↓	1,065,139	↓	1,693,866	↑

[図表4・5共通]

※旺文社調査・算出による平均額（夜間含む／大学・学部単位で集計、算出）。

※2025年の学生募集をした大学を集計。通信制のみの大学、専門職大学は含まない。

※初年度納入金以外に学生教育研究災害傷害保険料の納入、学友会費、実習費などの納入が必要な場合がある。

※公立大学で地域内・地域外の区分がない大学は地域内に含む。

※対前年で1,000円以上の増減を、各々上向き矢印・下向き矢印で示した。

※学部系統・学問分野の各分類は原則、『螢雪時代4月臨時増刊 全国大学 学部・学科案内号』に準じた。

[図表5] 2025年度 公立大学・私立大学 [学問分野別]の学費平均額

（単位：円）

学部系統	学問分野	公立大学									私立大学					
		地域内						地域外								
		入学金		授業料		初年度納入金		入学金		授業料		初年度納入金		入学金		授業料		初年度納入金	
文学部	文学	197,054		473,977	↓	716,035	↑	324,727		510,082		887,149	↑	221,886	↓	826,067	↑	1,319,282	↑
	史学・地理学	216,200		357,200	↓	589,177	↑	330,200		529,800		878,000	↑	220,240		844,526	↑	1,316,059	↑
	哲学	188,000		357,200	↓	561,753		315,333		530,800		862,687		218,291	↓	830,553	↑	1,295,363	↑
	心理学	251,075		474,350	↓	774,915		373,175		539,450		962,115		226,545	↓	825,522	↑	1,342,985	↑
外国語学部	語学	203,029		520,041		782,528		355,200		519,056		937,139		220,793	↓	817,144	↑	1,325,612	↑

学部系統	学問分野	公立大学												私立大学					
		地域内						地域外											
		入学金		授業料		初年度納入金		入学金		授業料		初年度納入金		入学金		授業料		初年度納入金	
人文・教養・人間科学部	文化学	202,550		522,117		781,503	↑	332,875		520,406		918,202	↑	223,424	↓	830,004	↑	1,320,865	↑
	教養学	－		－		－		－		－		－		218,214	↓	971,200	↑	1,477,466	↓
	総合科学	218,892	↓	496,246	↓	778,167	↑	362,323	↓	536,308		963,582	↓	219,459	↑	913,905	↑	1,418,668	↑
	人間科学／人文系その他	264,375		558,525		955,815	↑	407,250		558,525		1,101,815	↑	228,939	↓	844,523	↑	1,357,449	↑
教育・教員養成系学部	教育学	226,667		446,500	↓	688,610		363,333		533,300		912,077		221,217		851,980	↑	1,358,195	↑
	小学校・幼稚園課程	216,200		535,800		790,598	↓	329,000		535,800		914,710	↓	230,351	↓	812,429	↑	1,365,494	↑
	中等教育課程	211,500		557,900		799,400		352,500		557,900		940,400		234,954	↓	831,841	↑	1,425,319	↑
	特別支援教育課程	216,200		546,850		815,483	↓	352,500		546,850		951,783	↓	236,385	↓	811,113	↑	1,359,308	↑
	養護教諭課程	－		－		－		－		－		－		229,474	↓	800,053	↓	1,439,522	↓
法学部	法学	228,000		401,850	↓	681,915	↓	375,250		532,050		959,365	↓	217,691		821,681	↑	1,293,308	↑
	政治学・政策学	196,762	↑	493,431	↓	758,687	↑	344,062	↑	533,492		946,048		217,585		850,973	↑	1,317,550	↑
経済・経営・商学部	経済学	215,246		513,750	↓	791,768	↓	362,633		535,450		961,898	↓	215,434	↓	817,968	↑	1,293,508	↑
	経営学・経営情報学・商学・会計学	207,938	↓	526,247	↓	812,877	↓	358,300		541,565		979,292		224,619	↓	824,788	↑	1,325,871	↑
社会・社会福祉学部	社会学・観光学・メディア学	207,665		487,260	↓	745,612		360,560		539,340		951,837		224,689	↓	845,359	↑	1,351,876	↑
	社会福祉学	219,691	↓	539,261		813,151	↓	350,309	↓	539,418		949,587	↓	223,225	↓	805,377	↑	1,317,432	↑
国際関係学部	国際関係学・国際文化学	215,815	↓	544,630		849,153	↑	366,231	↓	544,969		1,005,064	↑	217,931	↓	860,004	↑	1,359,830	↑
理学部	数学・情報科学	193,779	↓	481,674	↓	735,278	↓	320,022	↓	536,533		922,224	↑	218,131	↓	1,110,368	↑	1,606,798	↑
	物理学	215,600		432,960	↓	709,492		340,200		537,120		943,252		222,286		1,183,189	↑	1,703,151	↑
	化学	226,667		450,100	↓	738,377		370,167		536,900		972,843		220,313	↓	1,206,669	↑	1,721,878	↑
	生物学・生命科学	235,600		484,380	↓	777,098		376,180		536,460		972,258		222,881	↓	1,143,487	↑	1,679,567	↑
	地学	235,000	↓	535,800		770,800	↓	332,000	↓	535,800		867,800	↓	210,000		1,068,375	↑	1,588,695	↑
	環境科学／その他	238,631		494,585	↓	788,619	↑	384,415		534,646		974,465	↑	232,383	↓	1,044,167	↓	1,595,821	↑
工学部	機械工学	222,214	↓	501,100	↓	788,784	↓	345,308		538,492		954,306		232,194	↓	1,141,863	↑	1,660,531	↑
	電気・電子工学	226,563		504,500	↓	791,729		359,000		537,133		960,845		230,677		1,143,095	↑	1,652,311	↑
	情報工学	225,273	↓	516,538	↓	799,378		361,225	↑	536,633		960,028	↑	229,785		1,114,689	↑	1,616,549	↑
	土木工学	218,500		468,825	↓	742,466		363,725		533,925		952,791		237,674	↓	1,157,642	↑	1,665,137	↑
	建築学	216,000		502,313	↓	777,096	↑	362,438		534,863		956,083	↑	230,051	↓	1,111,276	↑	1,628,044	↑
	原子力工学	－		－		－		－		－		－		250,000		1,241,000		1,734,065	
	応用物理学	216,000		535,800		779,130		341,000		535,800		904,130		232,500		1,294,875	↑	1,826,881	↑
	応用化学	205,820		482,220	↓	743,392	↑	333,280		534,300		922,932	↑	234,038		1,183,838	↑	1,709,921	↑
	生物工学	186,775		535,800		785,664	↑	314,375		535,800		913,264	↑	232,121		1,219,558	↑	1,687,662	↑
	資源工学	282,000		535,800		949,060		423,000		535,800		1,090,060		231,429	↑	1,310,314	↓	1,765,657	↓

学部系統	学問分野	公立大学												私立大学					
		地域内						地域外											
		入学金		授業料		初年度納入金		入学金		授業料		初年度納入金		入学金		授業料		初年度納入金	
工学部	材料工学	242,833		535,800		846,620		369,167		535,800		972,953		237,467		1,187,400	↑	1,655,364	↑
	航空・宇宙工学	191,000		357,200	↓	566,420		321,333		530,800		870,353		218,577	↓	1,105,923	↓	1,779,351	↓
	船舶・海洋工学・商船学	282,000		535,800		817,800		382,000		535,800		917,800		210,000	↓	1,091,333	↑	1,510,617	↓
	経営工学・管理工学	188,000	↓	535,800		783,800	↓	329,000	↓	535,800		924,800	↓	232,789	↑	1,196,853	↓	1,765,681	↓
	医用・生体工学	180,167		544,133		796,432		305,500		544,133		921,765		248,772	↑	1,134,360	↑	1,729,969	↑
	光工学／その他	191,000		530,800		765,497		382,000		530,800		956,497		236,158	↓	1,241,695	↑	1,671,812	↑
農・獣医畜産・水産学部	農学	256,150		535,800		819,670	↑	396,725		535,800		960,245	↑	243,636	↓	964,727	↓	1,585,594	↓
	農芸化学	261,857		535,800		837,441		425,200		535,800		1,000,784		245,909	↑	1,001,136	↑	1,620,523	↑
	農業工学	282,000		535,800		841,133		409,333		535,800		968,467		235,000	↓	984,500	↑	1,659,900	↑
	農業経済学	282,000		535,800		838,387		460,600		535,800		1,016,987		256,923	↑	863,769	↓	1,440,627	↓
	森林科学	225,600		535,800		781,400	↑	352,500		535,800		908,300	↑	245,000	↓	959,000	↓	1,529,950	↓
	獣医学	282,000		535,800		1,002,800		382,000		535,800		1,102,800		250,000		1,313,889	↑	2,192,527	↑
	畜産学・動物学	282,000		535,800		856,520		470,000		535,800		1,044,520		235,833	↓	883,438	↓	1,573,932	↑
	水産学	235,000		535,800		793,880		423,000		535,800		981,880		243,000		1,052,300		1,584,770	↑
	生物生産・生物資源学	248,578		535,800		809,018	↑	383,978		535,800		944,418	↑	240,833	↓	1,045,917	↑	1,631,738	↑
医学部	医学	258,125		540,450		967,531		555,571		541,114		1,268,350		1,361,290	↑	2,738,548		7,135,657	↑
歯学部	歯学	282,000		535,800		825,600		520,000		535,800		1,063,600		594,118		2,963,529		5,136,794	
薬学部	薬学	207,286		535,800		854,981	↓	392,457		535,800		1,040,153	↓	306,107	↓	1,392,432	↓	2,144,929	↑
看護・医療・栄養学部	看護学	218,091	↓	528,043	↓	815,467	↓	364,480	↓	537,994		972,960	↓	261,839	↓	1,046,147	↓	1,815,244	↓
	医療・保健学	239,219	↓	508,744	↓	790,907	↓	401,867	↓	541,660		982,667	↓	258,234		992,759	↓	1,736,251	↑
	栄養学	215,165	↓	535,800		820,484	↓	378,140	↓	535,800		987,209	↓	240,579	↓	889,630	↑	1,524,222	↑
家政・生活科学部	家政・生活科学	282,000		535,800		817,800		388,400		535,800		924,200		233,953	↓	786,716	↑	1,387,346	↑
	食物学	219,669		535,800		829,767	↑	420,046		535,800		1,030,144	↑	233,290	↓	827,297	↑	1,460,868	↑
	被服学	188,000		535,800		799,133		329,000		535,800		940,133		235,000	↓	843,420	↑	1,450,468	↑
	住居学	216,240		535,800		798,240	↑	356,600		535,800		938,600	↑	221,981	↓	964,087	↑	1,527,188	↑
	児童学・子ども学	224,033		539,733		818,596		392,333		539,733		995,229		230,314	↓	793,533	↑	1,359,008	↑
体育・健康科学部	体育・健康科学	189,875		557,100		766,088		337,450		557,100		913,663		234,685	↓	856,271	↑	1,432,595	↑
芸術学部	美術	264,375		535,800		866,859	↓	424,000		535,800		1,027,981		233,229		1,074,938	↓	1,709,161	↑
	デザイン	229,700		511,220	↓	804,257		379,979		537,337		981,028		233,480	↓	1,059,918	↓	1,663,257	↑
	工芸	252,625		535,800		855,276	↓	403,857		535,800		1,008,030		231,833	↓	1,087,500	↓	1,740,241	↑
	音楽	282,000		535,800		879,753		497,000		535,800		1,092,630		230,085	↓	1,193,237		1,941,041	↑
	芸術系その他（CG等含む）	205,250		474,350	↓	742,330	↓	349,943		539,971		953,577		230,977	↑	997,373	↑	1,579,070	↑

資料24

令和7年度　私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額（定員１人当たり）の調査結果について

Ⅰ　調査方法等

1. 本調査は，日本私立学校振興・共済事業団よりデータの提供を受け，私立大学等の昼間部における初年度学生納付金等についてまとめたものである。
2. 初年度学生納付金等平均額の算定に当たっては，令和7年度入学定員を用いて加重平均している。なお，学部（学科）内で入試区分ごとに学生納付金に差異がある場合には，入試区分ごとの募集定員を用いて加重平均している。
3. 計数は端数処理により，合計において一致しない場合がある。

Ⅱ　調査結果（授業料、入学料及び施設設備費の状況）　※増減率は前回調査（令和5年度）との比較

1. 私立大学学部

区　　分	授　業　料	入　学　料	施設設備費	合　　計	増　減　率
	円	円	円	円	%
文科系学部	850,392	219,951	141,892	1,212,235	1.5
理科系学部	1,195,313	245,362	161,378	1,602,053	4.7
医歯系学部	2,825,359	1,088,248	865,535	4,779,143	△ 0.9
その他学部	990,190	247,208	235,657	1,473,056	0.9
全　平　均	968,069	240,365	172,550	1,380,983	1.2

（参考）平均額の推移

	授　業　料	増　減　率	入　学　料	増　減　率	施設設備費	増　減　率	合　　計	増　減　率
	円	%	円	%	円	%	円	%
令和元年度	911,716	0.8	248,813	△ 0.5	180,194	△ 0.9	1,340,723	0.4
令和2年度	927,705	1.8	247,052	△ 0.7	181,466	0.7	1,356,223	1.2
令和3年度	930,943	0.3	245,951	△ 0.4	180,186	△ 0.7	1,357,080	0.1
令和5年度	959,205	3.0	240,806	△ 2.1	165,271	△ 8.3	1,365,281	0.6
令和7年度	968,069	0.9	240,365	△ 0.2	172,550	4.4	1,380,983	1.2

2. 私立大学短期大学部・私立短期大学

区　　分	授　業　料	入　学　料	施設設備費	合　　計	増　減　率
	円	円	円	円	%
全　平　均	734,328	236,054	170,132	1,140,514	0.9

（参考）平均額の推移

	授　業　料	増　減　率	入　学　料	増　減　率	施設設備費	増　減　率	合　　計	増　減　率
	円	%	円	%	円	%	円	%
令和元年度	703,349	0.0	239,058	△ 1.1	172,795	△ 0.6	1,115,202	△ 0.3
令和2年度	714,751	1.6	238,946	△ 0.0	170,251	△ 1.5	1,123,948	0.8
令和3年度	723,368	1.2	237,615	△ 0.6	166,603	△ 2.1	1,127,586	0.3
令和5年度	729,069	0.8	237,122	△ 0.2	163,836	△ 1.7	1,130,027	0.2
令和7年度	734,328	0.7	236,054	△ 0.5	170,132	3.8	1,140,514	0.9

3. 私立高等専門学校

区　　分	授　業　料	入　学　料	施設設備費	合　　計	増　減　率
	円	円	円	円	%
全　平　均	821,873	243,544	215,089	1,280,506	13.4

令和7年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額（定員１人当たり）

調査校：592校

※（ ）内は対前回調査（令和5年度）増減率

（単位：円）

（昼間部）

		授業料		入学料		施設設備費		合計	
		令和5年度	令和7年度	令和5年度	令和7年度	令和5年度	令和7年度	令和5年度	令和7年度
文科系	文・教育	835,587	856,599 (2.5%)	223,686	220,152 (△1.6%)	151,748	148,245 (△2.3%)	1,211,021	1,224,996 (1.2%)
	神・仏教	768,832	822,902 (7.0%)	220,745	225,791 (2.3%)	154,518	154,938 (0.3%)	1,144,095	1,203,631 (5.2%)
	社会福祉	792,688	810,384 (2.2%)	218,549	221,468 (1.3%)	171,128	175,766 (2.7%)	1,182,365	1,207,617 (2.1%)
	法・商・経	823,706	848,758 (3.0%)	224,364	219,676 (△2.1%)	136,333	135,121 (△0.9%)	1,184,403	1,203,555 (1.6%)
	平均	827,135	850,392 (2.8%)	223,867	219,951 (△1.7%)	143,838	141,892 (△1.4%)	1,194,841	1,212,235 (1.5%)
理科系	理・工	1,148,551	1,184,612 (3.1%)	223,534	233,331 (4.4%)	109,005	130,125 (19.4%)	1,481,090	1,548,068 (4.5%)
	薬	1,433,292	1,418,656 (△1.0%)	332,681	326,148 (△2.0%)	310,097	338,340 (9.1%)	2,076,070	2,083,144 (0.3%)
	農・獣医	1,033,471	1,043,051 (0.9%)	250,752	248,752 (△0.8%)	199,543	203,894 (2.2%)	1,483,766	1,495,697 (0.8%)
	平均	1,162,738	1,195,313 (2.8%)	234,756	245,362 (4.5%)	132,956	161,378 (21.4%)	1,530,451	1,602,053 (4.7%)
医歯系	医	2,656,053	2,708,609 (2.0%)	1,360,098	1,375,271 (1.1%)	1,063,284	1,052,224 (△1.0%)	5,079,434	5,136,104 (1.1%)
	歯	3,218,227	3,026,060 (△6.0%)	594,849	594,837 (△0.0%)	568,631	544,605 (△4.2%)	4,381,708	4,165,502 (△4.9%)
	平均	2,863,713	2,825,359 (△1.3%)	1,077,425	1,088,248 (1.0%)	880,566	865,535 (△1.7%)	4,821,704	4,779,143 (△0.9%)
その他	家政	833,396	851,482 (2.2%)	240,020	234,273 (△2.4%)	183,698	185,490 (1.0%)	1,257,113	1,271,245 (1.1%)
	芸術	1,131,010	1,160,002 (2.6%)	239,945	236,206 (△1.6%)	270,491	293,945 (8.7%)	1,641,446	1,690,152 (3.0%)
	体育	870,889	897,304 (3.0%)	240,072	238,748 (△0.6%)	194,664	186,577 (△4.2%)	1,305,625	1,322,628 (1.3%)
	保健	996,528	996,030 (△0.0%)	262,142	257,732 (△1.7%)	243,128	242,818 (△0.1%)	1,501,799	1,496,580 (△0.3%)
	平均	977,635	990,190 (1.3%)	251,164	247,208 (△1.6%)	231,743	235,657 (1.7%)	1,460,542	1,473,056 (0.9%)
全　平　均		959,205	968,069 (0.9%)	240,806	240,365 (△0.2%)	165,271	172,550 (4.4%)	1,365,281	1,380,983 (1.2%)

※医学部看護学科は「医」区分に含まず，「保健」区分に含める。

		（参　　考）					
		実験実習料		その他		総計	
		令和5年度	令和7年度	令和5年度	令和7年度	令和5年度	令和7年度
文科系	文・教育	9,485	8,985 (△5.3%)	87,385	94,613 (8.3%)	1,307,891	1,328,595 (1.6%)
	神・仏教	2,101	1,027 (△51.1%)	60,290	51,284 (△14.9%)	1,206,487	1,255,943 (4.1%)
	社会福祉	9,018	8,713 (△3.4%)	75,628	79,657 (5.3%)	1,267,011	1,295,987 (2.3%)
	法・商・経	5,038	5,077 (0.8%)	64,329	72,649 (12.9%)	1,253,770	1,281,281 (2.2%)
	平均	6,953	6,752 (△2.9%)	73,955	81,575 (10.3%)	1,275,749	1,300,561 (1.9%)
理科系	理・工	30,782	43,434 (41.1%)	39,167	70,166 (79.1%)	1,551,040	1,661,668 (7.1%)
	薬	28,254	30,080 (6.5%)	73,266	67,960 (△7.2%)	2,177,590	2,181,184 (0.2%)
	農・獣医	108,004	105,896 (△2.0%)	30,606	33,399 (9.1%)	1,622,377	1,634,992 (0.8%)
	平均	36,835	48,742 (32.3%)	41,290	65,919 (59.6%)	1,608,576	1,716,714 (6.7%)
医歯系	医	290,323	281,426 (△3.1%)	1,461,294	1,423,718 (△2.6%)	6,831,051	6,841,248 (0.1%)
	歯	1,121	973 (△13.2%)	970,255	959,674 (△1.1%)	5,353,084	5,126,150 (△4.2%)
	平均	183,496	178,283 (△2.8%)	1,279,911	1,253,055 (△2.1%)	6,285,110	6,210,481 (△1.2%)
その他	家政	46,046	44,370 (△3.6%)	108,159	117,449 (8.6%)	1,411,319	1,433,065 (1.5%)
	芸術	39,275	33,862 (△13.8%)	105,473	112,128 (6.3%)	1,786,195	1,836,143 (2.8%)
	体育	38,344	33,787 (△11.9%)	101,036	103,889 (2.8%)	1,445,005	1,460,305 (1.1%)
	保健	110,052	110,251 (0.2%)	88,278	94,638 (7.2%)	1,700,129	1,701,468 (0.1%)
	平均	76,033	74,686 (△1.8%)	96,716	103,035 (6.5%)	1,633,291	1,650,776 (1.1%)
全　平　均		28,864	30,290 (4.9%)	83,194	96,374 (15.8%)	1,477,339	1,507,647 (2.1%)

（参考１）

私立大学の初年度学生納付金等の推移

（円）

	学生納付金			合　計	参考		総計
	授 業 料	入 学 料	施設整備費		実験実習料	そ の 他	
平成20年度	848,178	273,602	187,281	1,309,061	37,744	106,270	1,453,075
平成21年度	851,621	272,169	188,356	1,312,146	37,151	105,562	1,454,859
平成22年度	858,265	268,924	188,477	1,315,666	35,581	106,306	1,457,553
平成23年度	857,763	269,481	187,007	1,314,251	35,421	103,140	1,452,813
平成24年度	859,367	267,608	188,907	1,315,882	35,337	91,878	1,443,097
平成25年度	860,266	264,417	187,907	1,312,590	34,753	86,986	1,434,329
平成26年度	864,384	261,089	186,171	1,311,644	34,914	88,438	1,434,996
平成27年度	868,447	256,069	184,446	1,308,962	34,763	94,846	1,438,571
平成28年度	877,735	253,461	185,620	1,316,816	33,659	93,492	1,443,967
平成29年度	900,093	252,030	181,294	1,333,418	34,069	88,242	1,455,729
平成30年度	904,146	249,985	181,902	1,336,033	34,412	90,331	1,460,776
令和元年度	911,716	248,813	180,194	1,340,723	34,644	91,163	1,466,530
令和２年度	927,705	247,052	181,466	1,356,223	34,652	89,317	1,480,192
令和３年度	930,943	245,951	180,186	1,357,080	34,462	91,423	1,482,964
令和５年度	959,205	240,806	165,271	1,365,281	28,864	83,194	1,477,339
令和７年度	968,069	240,365	172,550	1,380,983	30,290	96,374	1,507,647

※各年度における私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額（定員１人当たり）
※計数は端数処理により、合計において一致しない場合がある。

中央大学

2027年度構想についてのアンケート調査

報告書

令和8年2月
株式会社高等教育総合研究所

目次

1-1. 高校生アンケート調査 概要..... 2

1-2. 調査実施高等学校等一覧..... 3

1-3. 高校生アンケート調査 集計結果..... 14

1-4. 高校生アンケート調査 結果概要..... 18

2-1. 中央大学附属高校生アンケート調査 概要..... 24

2-2. 調査実施附属高等学校一覧..... 25

2-3. 中央大学附属高校生アンケート調査 集計結果..... 26

2-4. 中央大学附属高校生アンケート調査 結果概要..... 30

3. 受験・入学意向 五重クロス集計結果合計..... 36

＜添付資料＞

高校生アンケート調査用紙..... 39
高校生アンケート調査WEB画面..... 42
中央大学附属高校生アンケート調査WEB画面..... 55
中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」概要.....64
中央大学「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」概要.....68

1-1.高校生アンケート調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」（入学定員295人）、「経済学部 経済学科（学科名仮称）」（入学定員542人）、「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」（入学定員520人）における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 令和9年3月に高校卒業予定である高校2年生（令和7年度） [調査地域] 中央大学に志願実績のある全国の高等学校、および農業学科を有する高等学校から調査の協力を得た。また、オープンキャンパス等に来場した生徒には個別で調査の協力を得た。
調査内容	・回答者の基本情報（居住地、性別） ・卒業後の志望進路 ・志望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・中央大学が令和9年度に設置構想中の新学部学科への受験・入学意向
調査時期	令和7年8月～令和8年1月 オープンキャンパスでの調査は、8月2日、8月3日に茗荷谷キャンパスと市ヶ谷田町キャンパスにて、8月6日、8月7日に多摩キャンパスと後楽園キャンパスにて実施した。
調査方法	高校側の希望に基づき、紙方式・WEB方式のいずれかでアンケート調査を実施。 [紙方式] ①高校での実施依頼分については、アンケート用紙と中央大学が設置構想中の新学部学科の概要資料を必要部数送付。ホームルーム等で配付の上、その場での回答・回収を依頼した。 ②キャンパス訪問で来学のあった生徒には、個別にアンケート用紙と中央大学が設置構想中の新学部学科の概要資料を配布。その場での回答を依頼した。 [WEB方式] ①オープンキャンパス実施分については、来場者に対し、個別にアンケート調査サイトへのアクセス用QRコードを配布し、回答を依頼した。 ②高校での実施依頼分については、担当教員のメールアドレスにアンケート調査サイトURLおよびアクセス用QRコードを送付。自校対象生徒のタブレット端末等に配信の上、原則その場での回答・送信を依頼した。 **※なお、両調査は、既回答者による重複回答を防止するための周知および調査フォームへの明記を行い、回答者の重複が生じないよう措置を講じて実施した。**
調査件数	有効回答数44,228件
備考	・スポーツ情報学部 スポーツ情報学科は、オープンキャンパスでの調査後に構想内容および概要資料が変更されたため、オープンキャンパス時の回答のみを無効としている。なお、その他アンケート調査実施分については、すべて変更後の内容に基づいて調査を実施している。 ・調査開始時点において同年度に設置構想中であった「情報農学部 情報農学科（仮称）」（入学定員297人）については、設置年度変更のため本資料での報告は割愛とする。

1-2. 調査実施高等学校等一覧

※有効回答数44,228件の調査実施高等学校等内訳。
※高校コード順に記載。

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
1	01132A	北海道	函館中部高等学校	178
2	01136D	北海道	函館商業高等学校	150
3	01214K	北海道	滝川西高等学校	173
4	01221B	北海道	旭川北高等学校	143
5	01298A	北海道	苫小牧東高等学校	46
6	01342A	北海道	釧路湖陵高等学校	184
7	01501G	北海道	北海高等学校	15
8	01502E	北海道	札幌光星高等学校	279
9	01507F	北海道	藤女子高等学校	46
10	01524F	北海道	函館大学付属有斗高等学校	125
11	02118A	青森県	五所川原高等学校	163
12	02151C	青森県	三沢商業高等学校	81
13	02516A	青森県	八戸工業大学第二高等学校	53
14	03514K	岩手県	花巻東高等学校	81
15	04102F	宮城県	仙台第二高等学校	33
16	04110G	宮城県	石巻高等学校	167
17	04188C	宮城県	宮城野高等学校	172
18	04509J	宮城県	聖和学園高等学校	34
19	04512J	宮城県	聖ウルスラ学院英智高等学校	248
20	05123D	秋田県	本荘高等学校	179
21	05134K	秋田県	横手高等学校	115
22	05165K	秋田県	県立秋田北鷹高等学校	40
23	06103E	山形県	山形西高等学校	158
24	06149C	山形県	酒田東高等学校	79
25	06163J	山形県	酒田光陵高等学校	123
26	06503A	山形県	日本大学山形高等学校	32
27	06517A	山形県	酒田南高等学校	46
28	07133B	福島県	葵高等学校	183
29	07185E	福島県	郡山高等学校	137
30	07519B	福島県	いわき秀英高等学校	16

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
31	08104D	茨城県	日立第一高等学校	160
32	08120F	茨城県	水戸第二高等学校	228
33	08122B	茨城県	緑岡高等学校	263
34	08147H	茨城県	土浦第二高等学校	4
35	08161C	茨城県	藤代高等学校	175
36	08220B	茨城県	古河中等教育学校	52
37	08501E	茨城県	明秀学園日立高等学校	99
38	08508B	茨城県	水城高等学校	195
39	08510D	茨城県	土浦日本大学高等学校	22
40	08512A	茨城県	東洋大学附属牛久高等学校	102
41	08521K	茨城県	つくば秀英高等学校	63
42	09128G	栃木県	佐野高等学校	117
43	09147C	栃木県	大田原女子高等学校	115
44	09156B	栃木県	矢板東高等学校	125
45	09177E	栃木県	佐野東高等学校	182
46	09179A	栃木県	宇都宮中央高等学校	14
47	09503G	栃木県	宇都宮文星女子高等学校	56
48	10101A	群馬県	（県立）前橋高等学校	97
49	10103G	群馬県	前橋女子高等学校	36
50	10106A	群馬県	前橋商業高等学校	24
51	10121E	群馬県	県立伊勢崎商業高等学校	209
52	10122C	群馬県	（県立）太田高等学校	258
53	10129A	群馬県	館林高等学校	158
54	10160F	群馬県	（市立）前橋高等学校	70
55	10169K	群馬県	前橋東高等学校	122
56	10175D	群馬県	高崎経済大学附属高等学校	252
57	10181J	群馬県	四ツ葉学園中等教育学校	35
58	10182G	群馬県	富岡高等学校	15
59	10184C	群馬県	桐生高等学校	59
60	10508C	群馬県	東京農業大学第二高等学校	31

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
61	10512A	群馬県	高崎健康福祉大学高崎高等学校	129
62	11102D	埼玉県	熊谷高等学校	249
63	11106G	埼玉県	川口高等学校	186
64	11119J	埼玉県	本庄高等学校	296
65	11122J	埼玉県	越ケ谷高等学校	38
66	11125C	埼玉県	秩父高等学校	166
67	11154G	埼玉県	熊谷商業高等学校	124
68	11175K	埼玉県	越谷南高等学校	73
69	11502K	埼玉県	叡明高等学校	374
70	11507A	埼玉県	本庄第一高等学校	121
71	11508J	埼玉県	山村学園高等学校	90
72	11515A	埼玉県	本庄東高等学校	354
73	11520H	埼玉県	浦和実業学園高等学校	108
74	11521F	埼玉県	星野高等学校	53
75	11527E	埼玉県	埼玉栄高等学校	179
76	11529A	埼玉県	浦和学院高等学校	313
77	11534H	埼玉県	春日部共栄高等学校	46
78	12102K	千葉県	千葉女子高等学校	121
79	12103H	千葉県	千葉東高等学校	42
80	12108J	千葉県	検見川高等学校	279
81	12125J	千葉県	小金高等学校	34
82	12155A	千葉県	成東高等学校	39
83	12161E	千葉県	長生高等学校	66
84	12192E	千葉県	習志野高等学校	282
85	12205A	千葉県	柏陵高等学校	28
86	12253A	千葉県	幕張総合高等学校	50
87	12503C	千葉県	昭和学院高等学校	26
88	12506H	千葉県	市川高等学校	28
89	12513A	千葉県	麗澤高等学校	55
90	12515G	千葉県	千葉英和高等学校	212

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
91	12517C	千葉県	日出学園高等学校	37
92	12519K	千葉県	千葉商科大学付属高等学校	239
93	12523H	千葉県	敬愛学園高等学校	237
94	12525D	千葉県	日本体育大学柏高等学校	260
95	12530A	千葉県	千葉日本大学第一高等学校	151
96	12539D	千葉県	八千代松陰高等学校	44
97	12542D	千葉県	植草学園大学附属高等学校	214
98	12546G	千葉県	東京学館浦安高等学校	450
99	12553K	千葉県	流通経済大学付属柏高等学校	226
100	13006A	東京都	東京学芸大学附属高等学校	49
101	13117C	東京都	上野高等学校	271
102	13122K	東京都	大泉高等学校	96
103	13181E	東京都	神代高等学校	274
104	13188B	東京都	第五商業高等学校	4
105	13195E	東京都	竹早高等学校	157
106	13206D	東京都	豊島高等学校	283
107	13208A	東京都	豊多摩高等学校	18
108	13233A	東京都	日野高等学校	231
109	13235H	東京都	広尾高等学校	185
110	13246C	東京都	福生高等学校	171
111	13281A	東京都	調布南高等学校	104
112	13288J	東京都	八王子北高等学校	46
113	13289G	東京都	成瀬高等学校	247
114	13295A	東京都	砂川高等学校	116
115	13306A	東京都	東大和南高等学校	191
116	13308G	東京都	南平高等学校	260
117	13310J	東京都	晴海総合高等学校	2
118	13507A	東京都	麹町学園女子高等学校	50
119	13509H	東京都	白百合学園高等学校	161
120	13510A	東京都	正則学園高等学校	143

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
121	13513F	東京都	東京家政学院高等学校	47
122	13515B	東京都	二松學舎大学附属高等学校	239
123	13516A	東京都	雙葉高等学校	168
124	13528D	東京都	聖心女子学院高等科	100
125	13532B	東京都	三田国際学園高等学校	12
126	13537C	東京都	明治学院高等学校	189
127	13549G	東京都	関東国際高等学校	356
128	13551J	東京都	実践女子学園高等学校	117
129	13557H	東京都	富士見丘高等学校	149
130	13559D	東京都	桐朋女子高等学校	155
131	13562D	東京都	跡見学園高等学校	193
132	13570E	東京都	東洋大学京北高等学校	269
133	13575F	東京都	貞静学園高等学校	130
134	13576D	東京都	東京電機大学高等学校	204
135	13578A	東京都	東洋女子高等学校	169
136	13589F	東京都	駿台学園高等学校	37
137	13591H	東京都	サレジアン国際学園高等学校	76
138	13593D	東京都	瀧野川女子学園高等学校	57
139	13600A	東京都	中村高等学校	67
140	13602G	東京都	潤徳女子高等学校	118
141	13605A	東京都	修徳高等学校	107
142	13608F	東京都	関東第一高等学校	99
143	13610H	東京都	攻玉社高等学校	189
144	13611F	東京都	香蘭女学校高等科	160
145	13612D	東京都	品川女子学院高等部	140
146	13613B	東京都	青稜高等学校	254
147	13617E	東京都	立正大学付属立正高等学校	211
148	13619A	東京都	自由ケ丘学園高等学校	212
149	13622A	東京都	トキワ松学園高等学校	62
150	13625F	東京都	多摩大学目黒高等学校	112

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
151	13632J	東京都	田園調布学園高等部	180
152	13637K	東京都	恵泉女学園高等学校	176
153	13641H	東京都	駒澤大学高等学校	436
154	13645A	東京都	昭和女子大学附属昭和高等学校	144
155	13651E	東京都	玉川聖学院高等部	153
156	13654K	東京都	東京都市大学等々力高等学校	210
157	13656F	東京都	日本学園高等学校	26
158	13657D	東京都	日本大学櫻丘高等学校	56
159	13662A	東京都	玉川学園高等部	72
160	13664G	東京都	日本大学第三高等学校	201
161	13665E	東京都	実践学園高等学校	241
162	13666C	東京都	東亜学園高等学校	130
163	13668K	東京都	大妻中野高等学校	97
164	13672H	東京都	杉並学院高等学校	338
165	13676A	東京都	文化学園大学杉並高等学校	207
166	13680J	東京都	東京立正高等学校	195
167	13681G	東京都	日本大学第二高等学校	361
168	13694J	東京都	豊島学院高等学校	45
169	13703A	東京都	英明フロンティア高等学校	84
170	13704K	東京都	富士見高等学校	116
171	13710D	東京都	聖パウロ学園高等学校	83
172	13713J	東京都	八王子学園八王子高等学校	172
173	13716C	東京都	立川女子高等学校	17
174	13717A	東京都	明星高等学校	63
175	13718K	東京都	啓明学園高等学校	85
176	13719H	東京都	桜美林高等学校	358
177	13720A	東京都	錦城高等学校	23
178	13721K	東京都	白梅学園高等学校	227
179	13724D	東京都	日本体育大学桜華高等学校	26
180	13725B	東京都	明治学院東村山高等学校	197

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
181	13726A	東京都	明法高等学校	102
182	13727J	東京都	国立音楽大学附属高等学校	49
183	13731G	東京都	聖徳学園高等学校	117
184	13732E	東京都	吉祥女子高等学校	5
185	13736H	東京都	大成高等学校	443
186	13746E	東京都	穎明館高等学校	11
187	13747C	東京都	大妻多摩高等学校	134
188	14101B	神奈川県	鶴見高等学校	250
189	14104G	神奈川県	横浜平沼高等学校	190
190	14119E	神奈川県	港北高等学校	268
191	14131D	神奈川県	新城高等学校	72
192	14137C	神奈川県	百合丘高等学校	228
193	14139K	神奈川県	横須賀大津高等学校	166
194	14152G	神奈川県	七里ガ浜高等学校	41
195	14172A	神奈川県	上溝南高等学校	286
196	14174H	神奈川県	津久井浜高等学校	139
197	14175F	神奈川県	秦野高等学校	229
198	14178A	神奈川県	厚木王子高等学校	169
199	14180B	神奈川県	伊志田高等学校	100
200	14204C	神奈川県	桜丘高等学校	268
201	14205A	神奈川県	金沢高等学校	73
202	14206K	神奈川県	戸塚高等学校	15
203	14209D	神奈川県	高津高等学校	3
204	14210H	神奈川県	橘高等学校	83
205	14212D	神奈川県	横浜商業高等学校	29
206	14222A	神奈川県	逗子葉山高等学校	169
207	14261B	神奈川県	有馬高等学校	258
208	14266C	神奈川県	元石川高等学校	104
209	14300G	神奈川県	神奈川総合産業高等学校	144
210	14310D	神奈川県	横浜栄高等学校	79

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
211	14313J	神奈川県	平塚中等教育学校	29
212	14323F	神奈川県	相模原弥栄高等学校	10
213	14325B	神奈川県	平塚農商高等学校	101
214	14502F	神奈川県	横浜雙葉高等学校	90
215	14503D	神奈川県	横浜共立学園高等学校	81
216	14504B	神奈川県	横浜女学院高等学校	102
217	14507G	神奈川県	関東学院高等学校	196
218	14510G	神奈川県	横浜清風高等学校	324
219	14512C	神奈川県	神奈川学園高等学校	107
220	14522A	神奈川県	英理女子学院高等学校	166
221	14524G	神奈川県	桐蔭学園高等学校	130
222	14534D	神奈川県	緑ヶ丘女子高等学校	59
223	14537J	神奈川県	カリタス女子高等学校	120
224	14541G	神奈川県	日本女子大学附属高等学校	131
225	14542E	神奈川県	平塚学園高等学校	360
226	14545K	神奈川県	鎌倉女学院高等学校	22
227	14547F	神奈川県	鎌倉女子大学高等部	95
228	14548D	神奈川県	清泉女学院高等学校	154
229	14551D	神奈川県	湘南学園高等学校	41
230	14553A	神奈川県	日本大学藤沢高等学校	60
231	14554J	神奈川県	藤嶺学園藤沢高等学校	114
232	14556E	神奈川県	聖園女学院高等学校	61
233	14557C	神奈川県	向上高等学校	154
234	14566B	神奈川県	麻布大学附属高等学校	254
235	14567A	神奈川県	聖セシリア女子高等学校	134
236	14572G	神奈川県	横浜隼人高等学校	235
237	14578F	神奈川県	公文国際学園高等部	80
238	14581F	神奈川県	桐蔭学園中等教育学校	70
239	15184A	新潟県	佐渡高等学校	177
240	15209K	新潟県	国際情報高等学校	34

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
241	15504H	新潟県	中越高等学校	42
242	16504C	富山県	富山第一高等学校	155
243	17501D	石川県	北陸学院高等学校	273
244	17503A	石川県	金沢高等学校	89
245	18105G	福井県	福井商業高等学校	67
246	18502H	福井県	仁愛女子高等学校	21
247	19104D	山梨県	韮崎高等学校	131
248	19123A	山梨県	都留高等学校	8
249	19130C	山梨県	甲府東高等学校	109
250	19133H	山梨県	甲府商業高等学校	179
251	19501E	山梨県	山梨英和高等学校	63
252	19505H	山梨県	山梨学院高等学校	67
253	20109A	長野県	須坂高等学校	140
254	20128G	長野県	上田染谷丘高等学校	175
255	20156B	長野県	伊那弥生ケ丘高等学校	70
256	20172D	長野県	松本工業高等学校	3
257	20173B	長野県	松本県ケ丘高等学校	25
258	20174A	長野県	松本美須々ケ丘高等学校	224
259	20510K	長野県	長野日本大学高等学校	288
260	20515A	長野県	東海大学付属諏訪高等学校	62
261	21143F	岐阜県	多治見北高等学校	166
262	21178J	岐阜県	可児高等学校	10
263	22134B	静岡県	静岡城北高等学校	21
264	22138E	静岡県	静岡商業高等学校	74
265	22185G	静岡県	沼津市立沼津高等学校	21
266	22503H	静岡県	知徳高等学校	44
267	22507A	静岡県	加藤学園暁秀高等学校	114
268	22508J	静岡県	加藤学園高等学校	134
269	22523B	静岡県	静岡北高等学校	15
270	22524A	静岡県	静岡学園高等学校	62

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
271	22535F	静岡県	浜松学芸高等学校	131
272	23226C	愛知県	天白高等学校	7
273	23231K	愛知県	向陽高等学校	6
274	23273E	愛知県	岡崎西高等学校	11
275	23274C	愛知県	名東高等学校	75
276	23502E	愛知県	愛知淑徳高等学校	78
277	24510A	三重県	皇學館高等学校	7
278	24515B	三重県	津田学園高等学校	162
279	26510B	京都府	洛南高等学校	31
280	27501J	大阪府	プール学院高等学校	148
281	27523K	大阪府	明星高等学校	141
282	27559A	大阪府	箕面自由学園高等学校	90
283	27584A	大阪府	大阪国際高等学校	52
284	28238D	兵庫県	西宮東高等学校	1
285	28519G	兵庫県	滝川高等学校	39
286	28520A	兵庫県	須磨学園高等学校	149
287	28544H	兵庫県	淳心学院高等学校	84
288	29132D	奈良県	高田商業高等学校	190
289	29503F	奈良県	天理高等学校	71
290	32124K	島根県	浜田高等学校	104
291	32508C	島根県	石見智翠館高等学校	137
292	33194F	岡山県	岡山大安寺中等教育学校	129
293	33514C	岡山県	岡山学芸館高等学校	196
294	33518F	岡山県	金光学園高等学校	158
295	33523B	岡山県	岡山高等学校	58
296	34519K	広島県	広島工業大学高等学校	56
297	35110F	山口県	柳井高等学校	99
298	35126B	山口県	防府高等学校	51
299	36143H	徳島県	鳴門渦潮高等学校	58
300	37510B	香川県	香川誠陵高等学校	79

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
301	38105F	愛媛県	新居浜西高等学校	34
302	38503E	愛媛県	新田高等学校	241
303	40124C	福岡県	八幡高等学校	82
304	40152J	福岡県	明善高等学校	21
305	40513C	福岡県	九州国際大学付属高等学校	519
306	40525G	福岡県	福岡大学附属若葉高等学校	322
307	40534F	福岡県	九州産業大学付属九州産業高等学校	190
308	40538J	福岡県	東福岡高等学校	168
309	40541J	福岡県	福岡工業大学附属城東高等学校	160
310	40547H	福岡県	久留米信愛高等学校	112
311	41140A	佐賀県	鹿島高等学校	111
312	42111B	長崎県	佐世保西高等学校	200
313	42118K	長崎県	諫早高等学校	262
314	42133C	長崎県	県立大崎高等学校	31
315	42155D	長崎県	長崎商業高等学校	114
316	42520G	長崎県	長崎日本大学高等学校	327
317	43104E	熊本県	第二高等学校	384
318	43129A	熊本県	宇土高等学校	162
319	43514H	熊本県	熊本学園大学付属高等学校	309
320	44146F	大分県	中津南高等学校	176
321	45122D	宮崎県	宮崎商業高等学校	192
322	45512B	宮崎県	日向学院高等学校	119
323	46191B	鹿児島県	種子島高等学校	39
324	47507G	沖縄県	沖縄カトリック高等学校	22
325	-	-	オープンキャンパス	1,542
326	-	-	キャンパス訪問	12

1-3. 高校生アンケート調査 集計結果

※「回答割合」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
1. 北海道	1,363	3.1%
2. 青森県	310	0.7%
3. 岩手県	98	0.2%
4. 宮城県	670	1.5%
5. 秋田県	342	0.8%
6. 山形県	439	1.0%
7. 福島県	354	0.8%
8. 茨城県	1,381	3.1%
9. 栃木県	635	1.4%
10. 群馬県	1,625	3.7%
11. 埼玉県	3,432	7.8%
12. 千葉県	3,565	8.1%
13. 東京都	11,338	25.6%
14. 神奈川県	8,516	19.3%
15. 新潟県	272	0.6%
16. 富山県	163	0.4%
17. 石川県	358	0.8%
18. 福井県	93	0.2%
19. 山梨県	575	1.3%
20. 長野県	1,004	2.3%
21. 岐阜県	187	0.4%
22. 静岡県	646	1.5%
23. 愛知県	191	0.4%
24. 三重県	168	0.4%
25. 滋賀県	5	0.0%
26. 京都府	28	0.1%
27. 大阪府	388	0.9%
28. 兵庫県	321	0.7%
29. 奈良県	271	0.6%
30. 和歌山県	4	0.0%
31. 鳥取県	6	0.0%
32. 島根県	235	0.5%
33. 岡山県	492	1.1%
34. 広島県	94	0.2%
35. 山口県	167	0.4%
36. 徳島県	53	0.1%
37. 香川県	85	0.2%
38. 愛媛県	275	0.6%
39. 高知県	2	0.0%
40. 福岡県	1,551	3.5%
41. 佐賀県	148	0.3%
42. 長崎県	930	2.1%
43. 熊本県	860	1.9%
44. 大分県	166	0.4%
45. 宮崎県	313	0.7%
46. 鹿児島県	45	0.1%
47. 沖縄県	41	0.1%
無回答	23	0.1%
合計	44,228	100.0%

問２ あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
①男性	18,698	42.3%
②女性	23,363	52.8%
③回答しない	1,084	2.5%
無回答	1,083	2.4%
合計	44,228	100.0%

問３ 卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
①大学	40,759	92.2%
②短期大学	1,204	2.7%
③専門職大学	954	2.2%
④専門職短期大学	252	0.6%
⑤専門学校	3,973	9.0%
⑥就職	1,521	3.4%
⑦その他	459	1.0%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

問４　問３で①～④を選択した方に質問です。志望する大学等の設置者の希望を選択してください（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
①国立	16,321	39.4%
②公立	11,559	27.9%
③私立	30,637	74.0%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。
※問４の回答割合は問３で「①大学」「②短期大学」「③専門職大学」「④専門職短期大学」のいずれかまたは複数を選択した41,376人（実人数）を全回答者数として算出。

問５ 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
農学(農学、農業生産科学など)	1,541	3.5%
農芸化学(農業化学、食品科学、資源生物科学など)	1,539	3.5%
農業工学(農業生産工学、農業システム工学、環境管理工学など)	590	1.3%
農業経済学(農村経済学、農業経営学、フードビジネス学、環境マネジメント学など)	852	1.9%
農学その他(林学、獣医学畜産学、水産学など)	1,233	2.8%
情報学(情報科学、情報システム工学など)	4,141	9.4%
データサイエンス	2,036	4.6%
工学その他(機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など)	5,227	11.8%
スポーツ科学	2,786	6.3%
スポーツ健康学	2,362	5.3%
スポーツマネジメント学	1,746	3.9%
体育学その他	1,115	2.5%
経済学	9,481	21.4%
商学	5,493	12.4%
法学・政治学	5,225	11.8%
社会学	4,215	9.5%
社会科学その他	1,072	2.4%
人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)	8,351	18.9%
理学(数学、物理学、化学、生物、地学など)	3,768	8.5%
保健(医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーションなど)	6,957	15.7%
商船(商船学)	134	0.3%
家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)	1,624	3.7%
教育(教育学、教職課程(幼稚園、小学校、中学校、高校教員)、保育など)	5,761	13.0%
芸術(美術、デザイン、音楽など)	4,021	9.1%
その他(教養学、総合科学、国際学、人間科学など)	4,771	10.8%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

問６ 中央大学が2027年4月に設置構想中の以下の学科のうち、あなたが最も興味のある学科を１つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①情報農学部 情報農学科（仮称）	9,480	21.4%
②スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）	11,475	25.9%
③経済学部 経済学科（学科名仮称）	12,566	28.4%
④経済学部 社会経済学科（学科名仮称）	10,129	22.9%
無回答	578	1.3%
合計	44,228	100.0%

問７ 問６で選択した最も興味のある学科が開設された場合、受験を希望しますか。次より１つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①第一志望として受験する	1,730	3.9%
②第二志望として受験する	2,126	4.8%
③第三志望以降として受験する	6,798	15.4%
④受験しない	32,960	74.5%
無回答	614	1.4%
合計	44,228	100.0%

問８ 上記、問７で①～③を選択した方に質問です。問６で選択した最も興味のある学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より１つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①入学する	2,927	27.5%
②志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	7,132	66.9%
③入学しない	572	5.4%
無回答	23	0.2%
合計	10,654	100.0%

※問８の回答割合は問７で「①第一志望として受験する」「②第二志望として受験する」「③第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した10,654人（実人数）を全回答者数として算出。

1-4. 高校生アンケート調査 結果概要

■スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）

（１）受験・入学意向クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート調査集計結果」より）

以下の図の通り、中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した対象者は合計2,490人で、予定する入学定員295人の8.4倍となった。
そのうち「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は395人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計1,504人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	477	入学する	395
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	53
		入学しない・無回答	29
第二志望として受験する	477	入学する	163
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	286
		入学しない・無回答	28
第三志望以降として受験する	1,536	入学する	209
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,218
		入学しない・無回答	109

（2）受験・入学意向 五重クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート調査集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかを選択した上で、中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかを選択した対象者は合計12,780人で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは337人、「第二志望として受験する」としたのは273人、「第三志望以降として受験する」としたのは769人で合計すると1,379人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは304人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で794人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	40,759	私立	30,183	情報学、データサイエンス、スポーツ科学、スポーツマネジメント学、経済学、商学	12,780	スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）	3,290	第一志望として受験する	337	入学する	304
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	30
										入学しない・無回答	3
								第二志望として受験する	273	入学する	100
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	168
										入学しない・無回答	5
								第三志望以降として受験する	769	入学する	114
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	626
										入学しない・無回答	29

■経済学部 経済学科（学科名仮称）

（１）受験・入学意向クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート調査集計結果」より）

以下の図の通り、中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科（学科名仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した対象者は合計3,805人で、予定する入学定員542人の7.0倍となった。
そのうち「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は532人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計2,380人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	660	入学する	532
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	112
		入学しない・無回答	16
第二志望として受験する	862	入学する	308
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	523
		入学しない・無回答	31
第三志望以降として受験する	2,283	入学する	299
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,857
		入学しない・無回答	127

（2）受験・入学意向 五重クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート調査集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した上で、中央大学「経済学部 経済学科（学科名仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は8,830人で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは504人、「第二志望として受験する」としたのは589人、「第三志望以降として受験する」としたのは1,365人で合計すると2,458人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは418人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で1,451人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	40,759	私立	30,183	経済学、商学	8,830	経済学部 経済学科（学科名仮称）	4,842	第一志望として受験する	504	入学する	418
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	78
										入学しない・無回答	8
								第二志望として受験する	589	入学する	230
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	346
										入学しない・無回答	13
								第三志望以降として受験する	1,365	入学する	208
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,105
										入学しない・無回答	52

■経済学部 社会経済学科（学科名仮称）

（１）受験・入学意向クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート調査集計結果」より）

以下の図の通り、中央大学が設置構想中の「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した対象者は合計2,589人で、予定する入学定員520人の5.0倍となった。
そのうち「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は278人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計1,781人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	339	入学する	278
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	46
		入学しない・無回答	15
第二志望として受験する	509	入学する	184
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	305
		入学しない・無回答	20
第三志望以降として受験する	1,741	入学する	170
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,476
		入学しない・無回答	95

（2）受験・入学意向 五重クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート調査集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した上で、中央大学「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は8,830人で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは202人、「第二志望として受験する」としたのは271人、「第三志望以降として受験する」としたのは771人で合計すると1,244人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは177人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で824人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	40,759	私立	30,183	経済学、商学	8,830	経済学部 社会経済学科（学科名仮称）	2,457	第一志望として受験する	202	入学する	177
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	22
										入学しない・無回答	3
								第二志望として受験する	271	入学する	108
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	157
										入学しない・無回答	6
								第三志望以降として受験する	771	入学する	80
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	667
										入学しない・無回答	24

2-1. 中央大学附属高校生アンケート調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」（入学定員295人）、「経済学部 経済学科（学科名仮称）」（入学定員542人）、「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」（入学定員520人）における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 令和9年3月に中央大学の附属高校を卒業予定である高校2年生（令和7年度） [調査地域] 東京都　3校 ・中央大学高等学校 ・中央大学杉並高等学校 ・中央大学附属高等学校 神奈川県　1校 ・中央大学附属横浜高等学校
調査内容	・回答者の基本情報（居住地、性別） ・卒業後の志望進路 ・志望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・中央大学が令和9年度に設置構想中の新学部学科への受験・入学意向
調査時期	令和8年1月～2月
調査方法	WEB方式でアンケート調査を実施。 担当教員のメールアドレスにアンケート調査サイトURLおよびアクセス用QRコードを送付。自校対象生徒のタブレット端末等に配信の上、原則その場での回答・送信を依頼した。 **※なお、本調査は、「高校生アンケート調査」では回答していないことを確認した上で実施した。また回答は1人1回のみとし、重複回答を防止するための周知および調査フォームへの明記を行い、回答者の重複が生じないよう措置を講じて実施した。**
調査件数	有効回答数941件
備考	本調査については、スポーツ情報学部の構想内容及び概要資料が変更された後に行っている。

2-2. 調査実施附属高等学校一覧

※有効回答数941件の調査実施附属高等学校内訳。
※高校コード順に記載。

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
1	13511K	東京都	中央大学高等学校	132
2	13679E	東京都	中央大学杉並高等学校	266
3	13738D	東京都	中央大学附属高等学校	251
4	14505A	神奈川県	中央大学附属横浜高等学校	292

2-3. 中央大学附属高校生アンケート調査 集計結果

※「回答割合」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
1. 北海道	1	0.1%
2. 青森県	0	0.0%
3. 岩手県	0	0.0%
4. 宮城県	0	0.0%
5. 秋田県	0	0.0%
6. 山形県	0	0.0%
7. 福島県	0	0.0%
8. 茨城県	1	0.1%
9. 栃木県	0	0.0%
10. 群馬県	0	0.0%
11. 埼玉県	148	15.7%
12. 千葉県	48	5.1%
13. 東京都	464	49.3%
14. 神奈川県	277	29.4%
15. 新潟県	0	0.0%
16. 富山県	0	0.0%
17. 石川県	0	0.0%
18. 福井県	0	0.0%
19. 山梨県	1	0.1%
20. 長野県	0	0.0%
21. 岐阜県	0	0.0%
22. 静岡県	0	0.0%
23. 愛知県	0	0.0%
24. 三重県	0	0.0%

選択肢	回答数	回答割合
25. 滋賀県	0	0.0%
26. 京都府	0	0.0%
27. 大阪府	0	0.0%
28. 兵庫県	0	0.0%
29. 奈良県	0	0.0%
30. 和歌山県	0	0.0%
31. 鳥取県	0	0.0%
32. 島根県	0	0.0%
33. 岡山県	0	0.0%
34. 広島県	0	0.0%
35. 山口県	0	0.0%
36. 徳島県	0	0.0%
37. 香川県	0	0.0%
38. 愛媛県	0	0.0%
39. 高知県	0	0.0%
40. 福岡県	0	0.0%
41. 佐賀県	0	0.0%
42. 長崎県	0	0.0%
43. 熊本県	0	0.0%
44. 大分県	0	0.0%
45. 宮崎県	0	0.0%
46. 鹿児島県	0	0.0%
47. 沖縄県	1	0.1%
無回答	0	0.0%
合計	941	100.0%

問2　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
①男性	353	37.5%
②女性	564	59.9%
③回答しない	24	2.6%
無回答	0	0.0%
合計	941	100.0%

問3　卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
①大学	935	99.4%
②短期大学	1	0.1%
③専門職大学	2	0.2%
④専門職短期大学	1	0.1%
⑤専門学校	10	1.1%
⑥就職	5	0.5%
⑦その他	6	0.6%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

問4　問3で①～④を選択した方に質問です。志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
①国立	178	19.0%
②公立	70	7.5%
③私立	867	92.7%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。
※問４の回答割合は問３で「①大学」「②短期大学」「③専門職大学」「④専門職短期大学」のいずれかまたは複数を選択した935人（実人数）を全回答者数として算出。

問5　高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
情報学(情報科学、情報システム工学など)	138	14.7%
データサイエンス	91	9.7%
工学その他(機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など)	117	12.4%
スポーツ科学	55	5.8%
スポーツ健康学	50	5.3%
スポーツマネジメント学	56	6.0%
体育学その他	22	2.3%
経済学	376	40.0%
商学	376	40.0%
法学・政治学	443	47.1%
社会学	154	16.4%
社会科学その他	31	3.3%
人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)	209	22.2%
理学(数学、物理学、化学、生物、地学など)	90	9.6%
農学(農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、獣医学畜産学、水産学など)	59	6.3%
保健(医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーションなど)	61	6.5%
商船(商船学)	5	0.5%
家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)	18	1.9%
教育(教育学、教職課程(幼稚園、小学校、中学校、高校教員)、保育など)	97	10.3%
芸術(美術、デザイン、音楽など)	65	6.9%
その他(教養学、総合科学、国際学、人間科学など)	97	10.3%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

問6　中央大学が2027年4月に設置構想中の以下の学科のうち、あなたが最も興味のある学科を1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）	261	27.7%
②経済学部 経済学科（学科名仮称）	370	39.3%
③経済学部 社会経済学科（学科名仮称）	310	32.9%
無回答	0	0.0%
合計	941	100.0%

問7　問6で選択した最も興味のある学科が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①第一志望として受験する	90	9.6%
②第二志望として受験する	103	10.9%
③第三志望以降として受験する	261	27.7%
④受験しない	487	51.8%
無回答	0	0.0%
合計	941	100.0%

問8　上記、問7で①～③を選択した方に質問です。問6で選択した最も興味のある学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①入学する	153	33.7%
②志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	289	63.7%
③入学しない	12	2.6%
無回答	0	0.0%
合計	454	100.0%

※問８の回答割合は問７で「①第一志望として受験する」「②第二志望として受験する」「③第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した454人（実人数）を全回答者数として算出。

2-4. 中央大学附属高校生アンケート調査 結果概要

■スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）

（１）受験・入学意向クロス集計結果（「2-3.中央大学附属高校生アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した対象者は合計117人であった。
そのうち「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は28人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計70人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	31	入学する	28
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	3
		入学しない・無回答	0
第二志望として受験する	20	入学する	6
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	12
		入学しない・無回答	2
第三志望以降として受験する	66	入学する	7
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	58
		入学しない・無回答	1

（2）受験・入学意向 五重クロス集計結果（「2-3.中央大学附属高校生アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかを選択した上で、中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかを選択した対象者は合計564人で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは26人、「第二志望として受験する」としたのは14人、「第三志望以降として受験する」としたのは38人で合計すると78人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは23人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で45人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	935	私立	867	情報学、データサイエンス、スポーツ科学、スポーツマネジメント学、経済学、商学	564	スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）	147	第一志望として受験する	26	入学する	23
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	3
										入学しない・無回答	0
								第二志望として受験する	14	入学する	2
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10
										入学しない・無回答	2
								第三志望以降として受験する	38	入学する	3
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	35
										入学しない・無回答	0

■経済学部 経済学科（学科名仮称）

（１）受験・入学意向クロス集計結果（「2-3.中央大学附属高校生アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科（学科名仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した対象者は合計203人であった。
そのうち「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は30人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計128人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	33	入学する	30
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
		入学しない・無回答	2
第二志望として受験する	56	入学する	25
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	30
		入学しない・無回答	1
第三志望以降として受験する	114	入学する	11
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	98
		入学しない・無回答	5

（2）受験・入学意向 五重クロス集計結果（「2-3.中央大学附属高校生アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した上で、中央大学「経済学部 経済学科（学科名仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は472人で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは30人、「第二志望として受験する」としたのは51人、「第三志望以降として受験する」としたのは76人で合計すると157人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは27人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で90人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	935	私立	867	経済学、商学	472	経済学部 経済学科（学科名仮称）	233	第一志望として受験する	30	入学する	27
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
										入学しない・無回答	2
								第二志望として受験する	51	入学する	24
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	27
										入学しない・無回答	0
								第三志望以降として受験する	76	入学する	10
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	63
										入学しない・無回答	3

■経済学部 社会経済学科（学科名仮称）

（１）受験・入学意向クロス集計結果（「2-3.中央大学附属高校生アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、中央大学が設置構想中の「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した対象者は合計134人であった。
そのうち「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は24人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計85人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	26	入学する	24
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	2
		入学しない・無回答	0
第二志望として受験する	27	入学する	11
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	16
		入学しない・無回答	0
第三志望以降として受験する	81	入学する	11
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	69
		入学しない・無回答	1

（2）受験・入学意向 五重クロス集計結果（「2-3.中央大学附属高校生アンケート調査集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した上で、中央大学「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は471人で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは21人、「第二志望として受験する」としたのは18人、「第三志望以降として受験する」としたのは59人で合計すると98人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは21人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で60人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	935	私立	867	経済学、商学	472	経済学部 社会経済学科（学科名仮称）	149	第一志望として受験する	21	入学する	21
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0
										入学しない・無回答	0
								第二志望として受験する	18	入学する	8
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10
										入学しない・無回答	0
								第三志望以降として受験する	59	入学する	8
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	50
										入学しない・無回答	1

3.受験・入学意向 五重クロス集計結果合計

＜五重クロス集計結果合計の前提＞
■高校生アンケート調査
・「1-4.高校生アンケート調査 結果概要」における受験意向、入学意向の回答結果

■中央大学附属高校生アンケート調査
・「2-4.中央大学附属高校生アンケート調査 結果概要」における受験意向、入学意向の回答結果

■スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）

以下の図の通り、「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「情報学」「データサイエンス」「スポーツ科学」「スポーツマネジメント学」「経済学」「商学」のいずれかを選択した対象者は合計13,344人で、その上で「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」を「第一志望として受験する」としたのは363人、「第二志望として受験する」としたのは287人、「第三志望以降として受験する」としたのは807人で合計すると1,457人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは327人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で839人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	41,694	私立	31,050	情報学、データサイエンス、スポーツ科学、スポーツマネジメント学、経済学 、商学	13,344	スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）	3,437	第一志望として受験する	363	入学する	327
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	33
										入学しない・無回答	3
								第二志望として受験する	287	入学する	102
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	178
										入学しない・無回答	7
								第三志望以降として受験する	807	入学する	117
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	661
										入学しない・無回答	29

■経済学部 経済学科（学科名仮称）

以下の図の通り、「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は9,302人で、その上で「経済学部 経済学科（学科名仮称）」を「第一志望として受験する」としたのは534人、「第二志望として受験する」としたのは640人、「第三志望以降として受験する」としたのは1,441人で合計すると2,615人であった。なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは445人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で1,541人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	41,694	私立	31,050	経済学、商学	9,302	経済学部 経済学科（学科名仮称）	5,075	第一志望として受験する	534	入学する	445
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	79
										入学しない・無回答	10
								第二志望として受験する	640	入学する	254
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	373
										入学しない・無回答	13
								第三志望以降として受験する	1,441	入学する	218
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,168
										入学しない・無回答	55

■経済学部 社会経済学科（学科名仮称）

以下の図の通り、「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は9,302人で、その上で「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」を「第一志望として受験する」としたのは223人、「第二志望として受験する」としたのは289人、「第三志望以降として受験する」としたのは830人で合計すると1,342人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは198人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で884人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	41,694	私立	31,050	経済学、商学	9,302	経済学部 社会経済学科（学科名仮称）	2,606	第一志望として受験する	223	入学する	198
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	22
										入学しない・無回答	3
								第二志望として受験する	289	入学する	116
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	167
										入学しない・無回答	6
								第三志望以降として受験する	830	入学する	88
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	717
										入学しない・無回答	25

高校生アンケート調査用紙

複製（コピー）使用禁止

中央大学2027年度設置構想についての高校生アンケート（対象:高校2年生の皆さん）

中央大学では2027年４月、「情報農学部 情報農学科（仮称）」「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」を設置、既存の経済学部・学科を再編し「経済学部 経済学科／社会経済学科（いずれも学科名仮称）」を設置することを構想中です。リーフレットで概要をご覧の上、受験・入学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※中央大学が2027年4月に設置を予定している学部学科に関するアンケートへの回答は１回のみとなります。
※2025年度において中央大学が実施した本アンケート調査と同一内容のアンケートに回答した方は再度回答できません。

※本アンケートは中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

記入要領	記入例
1. 回答は**所定の欄を塗りつぶしてください。** 2. 回答用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。 3. 記入は必ず**鉛筆又はシャープペンシル**で濃く書いてください。	良い例 ● 悪い例 ✓ ⊙ ⊖ ○ ●

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

北海道・東北
① 北海道　② 青森県　③ 岩手県　④ 宮城県　⑤ 秋田県　⑥ 山形県　⑦ 福島県

関東
⑧ 茨城県　⑨ 栃木県　⑩ 群馬県　⑪ 埼玉県　⑫ 千葉県　⑬ 東京都　⑭ 神奈川県

中部・北陸
⑮ 新潟県　⑯ 富山県　⑰ 石川県　⑱ 福井県　⑲ 山梨県　⑳ 長野県　㉑ 岐阜県　㉒ 静岡県　㉓ 愛知県　㉔ 三重県

関西
㉕ 滋賀県　㉖ 京都府　㉗ 大阪府　㉘ 兵庫県　㉙ 奈良県　㉚ 和歌山県

中国・四国
㉛ 鳥取県　㉜ 島根県　㉝ 岡山県　㉞ 広島県　㉟ 山口県　㊱ 徳島県　㊲ 香川県　㊳ 愛媛県　㊴ 高知県

九州・沖縄
㊵ 福岡県　㊶ 佐賀県　㊷ 長崎県　㊸ 熊本県　㊹ 大分県　㊺ 宮崎県　㊻ 鹿児島県　㊼ 沖縄県

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

① 男性　② 女性　③ 回答しない

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問３　卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

① 大学　② 短期大学　③ 専門職大学　④ 専門職短期大学
⑤ 専門学校　⑥ 就職　⑦ その他

▶問４　問３で①～④を選択した方に質問です。（※問3で①～④を選択しなかった方は問５に進んでください）
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

① 国立　② 公立　③ 私立

→裏面に続く

問５　高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

【農　学】	① 農学（農学、農業生産科学など）　② 農芸化学（農業化学、食品科学、資源生物科学など） ③ 農業工学（農業生産工学、農業システム工学、環境管理工学など） ④ 農業経済学（農村経済学、農業経営学、フードビジネス学、環境マネジメント学など） ⑤ 農学その他（林学、獣医学畜産学、水産学など）
【工　学】	⑥ 情報学（情報科学、情報システム工学など）　⑦ データサイエンス ⑧ 工学その他（機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など）
【体　育　学】	⑨ スポーツ科学　⑩ スポーツ健康学　⑪ スポーツマネジメント学　⑫ 体育学その他
【社 会 科 学】	⑬ 経済学　⑭ 商学　⑮ 法学・政治学　⑯ 社会学　⑰ 社会科学その他
【その他（上記以外）】	⑱ 人文科学（文学、史学、哲学、心理学など）　⑲ 理学（数学、物理学、化学、生物、地学など） ⑳ 保健（医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーションなど）　㉑ 商船（商船学） ㉒ 家政（家政学、食物学、被服学、住居学など） ㉓ 教育（教育学、教職課程《幼稚園、小学校、中学校、高校教員》、保育など） ㉔ 芸術（美術、デザイン、音楽など） ㉕ その他（教養学、総合科学、国際学、人間科学など）

ここからは中央大学が設置構想中の「情報農学部 情報農学科（仮称）」「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」および「経済学部 経済学科 / 社会経済学科（いずれも学科名仮称）」のリーフレットを見てからお答えください。

問６　中央大学が2027年4月に設置構想中の以下の学科のうち、あなたが最も興味のある学科を1つ選択してください。

① 情報農学部 情報農学科（仮称）　② スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）
③ 経済学部 経済学科（学科名仮称）　④ 経済学部 社会経済学科（学科名仮称）

問７　問６で選択した最も興味のある学科が開設された場合、受験を希望しますか。
次より１つ選択してください。

① 第一志望として受験する　② 第二志望として受験する
③ 第三志望以降として受験する　④ 受験しない

▶問８　**上記、問７で①～③を選択した方に質問です。**
問６で選択した最も興味のある学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。
次より１つ選択してください。

① 入学する　② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する　③ 入学しない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

高校生アンケート調査WEB画面

中央大学2027年度構想についての高校生アンケート
（対象:高校2年生の皆さん）

中央大学では2027年4月、「情報農学部 情報農学科（仮称）」「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」を設置、既存の経済学部・学科を再編し「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」を設置することを構想中です。リーフレット（問5の後に表示されます）で概要をご覧の上、受験・入学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※中央大学が2027年4月に設置を予定している学部学科に関するアンケートへの回答は１回のみとなります。ただし、スポーツ情報学部（仮称）については、2025年10月より構想内容を一部改訂しております。オープンキャンパス等で回答済みの方も再度ご協力ください。
※2025年度において中央大学が実施した本アンケート調査と同一内容のアンケートに回答した方は再度回答できません。

※本アンケートは中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

- ○ ①男性
- ○ ②女性
- ○ ③回答しない

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問３　卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

- ☐ ①大学
- ☐ ②短期大学
- ☐ ③専門職大学
- ☐ ④専門職短期大学
- ☐ ⑤専門学校
- ☐ ⑥就職
- ☐ ⑦その他

問４　問３で①～④を選択した方に質問です。
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

- ☐ ①国立
- ☐ ②公立
- ☐ ③私立

問５　高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

【農学】

☐ 1.農学(農学、農業生産科学など)

☐ 2.農芸化学(農業化学、食品科学、資源生物科学など)

☐ 3.農業工学(農業生産工学、農業システム工学、環境管理工学など)

☐ 4.農業経済学(農村経済学、農業経営学、フードビジネス学、環境マネジメント学など)

☐ 5.農学その他(林学、獣医学畜産学、水産学など)

【工学】

☐ 6.情報学(情報科学、情報システム工学など)

☐ 7.データサイエンス

☐ 8.工学その他(機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など)

【体育学】

☐ 9.スポーツ科学

☐ 10.スポーツ健康学

☐ 11.スポーツマネジメント学

☐ 12.体育学その他

【社会科学】

☐ 13.経済学

☐ 14.商学

☐ 15.法学・政治学

☐ 16.社会学

☐ 17.社会科学その他

【その他(上記以外)】

☐ 18.人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)

☐ 19.理学(数学、物理学、化学、生物、地学など)

☐ 20.保健(医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーションなど)

☐ 21.商船(商船学)

☐ 22.家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)

☐ 23.教育(教育学、教職課程(幼稚園、小学校、中学校、高校教員)、保育など)

☐ 24.芸術(美術、デザイン、音楽など)

☐ 25.その他(教養学、総合科学、国際学、人間科学など)

中央大学2027年度構想についての高校生アンケート
（対象:高校2年生の皆さん）

ここからは以下の中央大学が設置構想中の「情報農学部 情報農学科（仮称）」「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」および「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」のリーフレットを見てからお答えください。

▼「情報農学部 情報農学科（仮称）」リーフレット
画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください



GREEN × TECHNOLOGY

農業×テクノロジーで切り拓く食と環境の未来





設置の理念

農業×テクノロジーを根幹とした学びで、農・食・環境分野の社会課題を解決に導く。

それが、**中央大学情報農学部（仮称）が目指す未来。**

日本の農業は、人口減少や高齢化、耕作放棄地の増加、気候変動、
食の安定供給など、さまざまな課題を抱えています。
こうした課題を、ドローンや農業AIなどの最先端テクノロジーを農業に活用する**「AgriTech」**で
解決に導くとともに、**法的素養**や**国際感覚**をもとに、**農 食 環境**の未来を切り拓きます。

養成する人材像

経済発展と環境保全の両立に向けて、国際感覚と法的素養を基に、農学に関する専門的かつ広い知識と情報科学を始めとした最先端の技術により、「農」から連なる「食」「環境」の分野を中心に、新たな価値を発見・創造し続け、持続可能な社会の実現に貢献する人材を養成します。

アントレプレナー

「農」「食」「環境」分野において、スタートアップや新たなビジネスモデルを構築するための知識と経験、新しい価値を創造するための起業家精神を備えた人材。



ジェネラリスト

農学に関連する法律や政策、国際社会の構造や課題を理解し、「農」「食」「環境」分野での政策立案、農業への幅広い支援など、地域特性に応じた課題解決を実現できる人材。



スペシャリスト

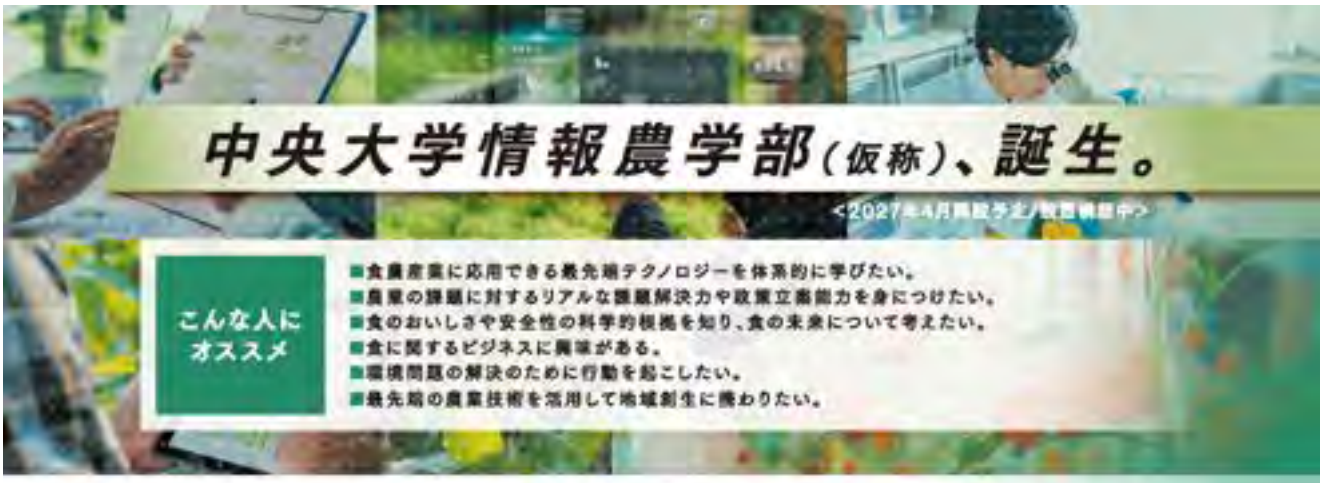
農学の専門知識と最先端の知識・技術を結集・融合し、「農」「食」「環境」分野の専門家として、様々な調整・仲介を通じて直接的課題解決や新たな価値を創り出すことができる人材。



期待される卒業後の進路

【民間企業などで課題解決に取り組む人】農業関連企業（農業機械、農薬、種苗・生産）、総合商社、流通・小売・食品会社、製薬会社、IT企業、コンサルティング会社、NPO法人やスタートアップ企業など
【官公庁などで政策提言に携わる人】公務員、国際公務員など
【専門的な学びを追究する人】大学院進学など

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。



中央大学情報農学部（仮称）、誕生。

<2027年4月開設予定/設置構想中>

こんな人にオススメ

- 食農産業に応用できる最先端テクノロジーを体系的に学びたい。
- 農業の課題に対するリアルな課題解決力や政策立案能力を身につけたい。
- 食のおいしさや安全性の科学的根拠を知り、食の未来について考えたい。
- 食に関するビジネスに興味がある。
- 環境問題の解決のために行動を起こしたい。
- 最先端の農業技術を活用して地域創生に携わりたい。

学びの特色

4年間の学びの流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
本学部の基礎となる幅広い学び	農学基幹系を中心に「農」「食」「環境」分野の基礎を定着	目的別のコースでそれぞれの専門分野を深く学ぶ	研究成果を論文にまとめ学びの集大成とする
外国語科目、総合教育科目			
導入演習			
早期キャリア教育			
自然科学系/情報科学系/農学基幹系	情報科学系/農学基幹系	アグリテックコース フードサイエンス・マネジメントコース 環境システムコース	卒業研究
実習科目	アグリ・チャレンジ・プログラム 実習科目		

コース共通の学び

実地派遣型授業「アグリ・チャレンジ・プログラム」

キャンパスを離れ、連携する地方の農場等に一定期間滞在しながら学ぶ、実地派遣型授業「アグリ・チャレンジ・プログラム」を2年次に開講します。現場のリアルを体感し、高年次の学びや将来に向けた課題意識を育みます。

文理横断・融合教育

「農」「食」「環境」を取り巻く地球規模の問題解決に取り組む力を育むため、農学の専門知識や最先端技術といった理系分野と、法的な政策立案や解決の視点・国際的な感覚・新しい価値に挑戦する精神（アントレプレナーシップ）といった文系分野を横断的に学べるカリキュラムを展開します。

早期キャリア教育

農業に関わる様々な分野で活躍する社会人による授業などのキャリア教育を1年次から必修化します。将来について明確なイメージを早期に持つことで、学びの意欲と効果を高めます。

目的に合わせて選べるコース制



※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

中央大学情報農学部情報農学科（仮称）概要

<2027年4月開設予定/設置構想中>

学部・学科名称	情報農学部 情報農学科（仮称）
設置場所	多摩キャンパス
入学定員	297名（1学年）
収容定員	1,188名
初年度納付金（予定）	入学金　：240,000円 授業料等：1,687,800円 初年度納付金（計）1,927,800円

※「授業料等」には、施設設備費・実験実習費・その他諸会費等を含みます。また、フィールドワーク・体験型授業等に参加するための費用・経費が別途必要です。

類似する大学・学部

- 千葉大学：園芸学部園芸学科
- 東京農工大学：農学部生物生産学科
- 東京農業大学：農学部農学科
- 法政大学：生命科学部応用植物科学科
- 明治大学：農学部農学科

アドミッションポリシー

【知識・技能】
●「農」「食」「環境」分野における社会的課題の解決に向けた本学部の学びにおいては、高等学校における各教科・科目について、文系・理系問わず幅広く学ぶ意欲・関心があることが望まれます。

【思考力・判断力・表現力等】
●論理的かつ創造的な思考力に加え、コミュニケーション力・理解力・数学的思考力を備えていることが望まれます。

【学ぶ意欲・姿勢】
●農業人口の減少、高齢化による耕作放棄地の増加、食の安定供給・安全などの問題を抱えている農業において、「農」「食」「環境」分野への興味・好奇心を通じて、課題を発見し、その解決へ向けて挑戦・努力を継続できること。また農業の源流である生命の尊厳や倫理およびELSI（倫理的・法的・社会的課題）に対して真摯に向き合う態度を有していることが望まれます。

多摩キャンパス ACCESS ▶▶▶



行動する知性。
中央大学

情報農学部（仮称）に関するお問い合わせ

情報農学部（仮称）開設準備室事務室　TEL:042-674-2427

<多摩キャンパス>
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

<中央大学 公式サイト>
https://www.chuo-u.ac.jp/

受験生サイト
中央大学 受験生ナビ
Connect Web CHUO UNIV.

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

▼「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」リーフレット
画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください


データサイエンスで
世界はもっと躍動する
Heart : 147.4bpm
TOP SPEED : 8.47 m/s
Stamina :
Kick Point
Shooting angle
Shooting impact
Ball rotation speed
xG:17.9
熱狂の裏には、膨大なデータがある。
その一つひとつに、
人々の意志や情熱が刻まれている。
その一つひとつに、
社会を変えるヒントが眠っている。
君の好きなスポーツで学ぶ、
データを読み解き使う力は、
やがて社会を動かす。
君の“スキ”が、社会の未来を創る。
中央大学に、スポーツ情報学部（仮称）新設。
［2027年4月開設予定（設置構想中）］

行動する知性。
中央大学


止めるな、世界。
動かせ、未来。
スポーツ情報学部、始動。
スポーツでデータサイエンスを学び、社会を変革する。
〔2027年4月開設予定(学部名仮称/設置構想中)〕
「AI・データサイエンス」の能力・技術により、
社会課題を解決する力を養成する。
持続可能な社会へ向けて、より良い未来の構築に
貢献できる新たな学部が誕生。
データを正しく分析し
社会課題の解決を導ける人材に
学びのアウトライン
TACTICAL ANALYSIS
データサイエンスコース
スポーツビジネスコース
スポーツ情報


こんな人にオススメ
学びのPICK UP
データサイエンス×スポーツ
スポーツプラクティス
学びのキーワード


カリキュラム

中央大学 スポーツ情報学部 スポーツ情報学科 概要

［2027年4月開設予定（学部学科名仮称/設置構想中）］

学部・学科名称	スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）
学部・学科設置場所	多摩キャンパス
入学定員／収容定員	入学定員：295名／収容定員：1,180名
初年度納付金（予定）	1,720,000円（入学金：240,000円＋授業料等：1,480,000円） ※「授業料等」には、施設設備費・実験実習料を含みます。 ※その他諸会費（父母連絡会費 5,000円、学友会費：10,000円）が必要となります。 ※授業履修が必須な体験学習授業等への参加費用・経費が別途必要となる場合があります。
アドミッションポリシー	［知識・技能］ AI・データサイエンスに関する知識や技術とビジネスの専門知識による、課題発見・解決能力および実行能力を涵養する本学部の学びに向けて、高等学校における数学を中心に、各教科・科目について文系・理系問わず幅広く学ぶ意欲・関心があることが望まれます。 ［思考力・判断力・表現力等］ 論理的かつ合理的な思考力に加え、コミュニケーション力・理解力・読解力・数学的思考力を備えていることが望まれます。 ［学ぶ態度・姿勢］ AI・データサイエンスに関する知識・技術を始め、スポーツデータサイエンスやスポーツビジネスに関する諸領域の学びと当該領域における課題発見・解決に興味・関心を有するとともに、そういった学びの先にある持続可能でウェルビーイングな社会の実現を目指す態度・姿勢を有していることが望まれます。
類似する大学・学部	●青山学院大学：社会情報学部 社会情報学科 ●関 西 大 学：ビジネスデータサイエンス学部 ビジネスデータサイエンス学科 ●千 葉 大 学：情報・データサイエンス学部 情報・データサイエンス学科 ●一 橋 大 学：ソーシャル・データサイエンス学部 ソーシャル・データサイエンス学科 ●早 稲 田 大 学：スポーツ科学部 スポーツ科学科

多摩キャンパスアクセス



公式HPやSNSでも最新情報を発信中

Connect Web

@chuo_admission

@chuo_admission

行動する知性。 中央大学

<スポーツ情報学部（仮称）に関するお問い合わせ>
スポーツ情報学部（仮称）
開設準備室事務室 TEL：042-674-2437

<多摩キャンパス>
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学公式サイト https://www.chuo-u.ac.jp

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

▼「経済学部 経済学科/社会経済学科（仮称）」リーフレット
画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください


中央大学
中央大学経済学部
CHUO University Faculty of Economics
経済学科*
社会経済学科*
中大経済のシンカが未来を動かす
新・中央大学経済学部始動


本質を見抜く分析力の
経済学科
最適解に挑む実践力の
社会経済学科
社会に求められる
真の「経済学」とは
何だろうか?
[新たな中央大学経済学部のポイント]
1 専門性を更に強化し社会に活きる能力を高める
2 最先端の学び
3 2年次でコース選択



▼経済学部 競合校一覧
画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください

経済学科

大学名	学部	学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済学科
法政大学	経済学部	経済学科
学習院大学	経済学部	経済学科
横浜国立大学	経済学部	経済学科

社会経済学科

大学名	学部	学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済政策学科
青山学院大学	経済学部	現代経済デザイン学科
法政大学	経済学部	現代ビジネス学科
東京都立大学	経済経営学部	経済経営学科

◯ 資料を確認しました

中央大学2027年度構想についての高校生アンケート
（対象:高校2年生の皆さん）

問６　中央大学が2027年4月に設置構想中の以下の学科のうち、あなたが最も興味のある学科を１つ選択してください。

◯ ①情報農学部 情報農学科（仮称）

◯ ②スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）

◯ ③経済学部 経済学科（学科名仮称）

◯ ④経済学部 社会経済学科（学科名仮称）

問７　問６で選択した最も興味のある学科が開設された場合、受験を希望しますか。次より１つ選択してください。

◯ ①第一志望として受験する

◯ ②第二志望として受験する

◯ ③第三志望以降として受験する

◯ ④受験しない

問８　上記、問７で①～③を選択した方に質問です。
問６で選択した最も興味のある学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より１つ選択してください。

◯ ①入学する

◯ ②志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

◯ ③入学しない

問９　あなたの学年をお答えください。

◯ ①高校1年生

◯ ②高校2年生

◯ ③高校3年生

◯ ④その他

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

中央大学附属高校生アンケート調査WEB画面

中央大学2027年度構想についての高校生アンケート
（対象:高校2年生の皆さん）

中央大学では2027年4月、「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」を設置、既存の経済学部・学科を再編し「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」を設置することを構想中です。リーフレット（問5の後に表示されます）で概要をご覧の上、受験・入学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※中央大学が2027年4月に設置を予定している学部学科に関するアンケートへの回答は１回のみとなります。
※送信した回答を訂正することはできません。あらかじめご注意ください。

※本アンケートは中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

- ◯ ①男性
- ◯ ②女性
- ◯ ③回答しない

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

問３　卒業後の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

- ☐ ①大学
- ☐ ②短期大学
- ☐ ③専門職大学
- ☐ ④専門職短期大学
- ☐ ⑤専門学校
- ☐ ⑥就職
- ☐ ⑦その他

問４　問３で①～④を選択した方に質問です。
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

- ☐ ①国立
- ☐ ②公立
- ☐ ③私立

問５　高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

【工学】

☐ 1.情報学(情報科学、情報システム工学など)

☐ 2.データサイエンス

☐ 3.工学その他(機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など)

【体育学】

☐ 4.スポーツ科学

☐ 5.スポーツ健康学

☐ 6.スポーツマネジメント学

☐ 7.体育学その他

【社会科学】

☐ 8.経済学

☐ 9.商学

☐ 10.法学・政治学

☐ 11.社会学

☐ 12.社会科学その他

【その他(上記以外)】

☐ 13.人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)

☐ 14.理学(数学、物理学、化学、生物、地学など)

☐ 15.農学(農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、獣医学畜産学、水産学など)

☐ 16.保健(医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーションなど)

☐ 17.商船(商船学)

☐ 18.家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)

☐ 19.教育(教育学、教職課程(幼稚園、小学校、中学校、高校教員)、保育など)

☐ 20.芸術(美術、デザイン、音楽など)

☐ 21.その他(教養学、総合科学、国際学、人間科学など)

中央大学2027年度構想についての高校生アンケート
（対象:高校2年生の皆さん）

ここからは以下の中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」および「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」の概要資料を見てからお答えください。

▼「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」リーフレット
画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください



行動する知性。
中央大学


止めるな、世界。
動かせ、未来。
スポーツ情報学部、始動。
スポーツでデータサイエンスを学び、社会を変革する。
【2027年4月開設予定（学部名仮称/設置構想中）】
「AI・データサイエンス」の能力・技術により、
社会課題を解決する力を育成する。
持続可能な社会へ向けて、より良い未来の構築に
貢献できる新たな学部が誕生。
データを正しく分析し
社会課題の解決を導ける人材に
学びのアウトライン
育成する人材像
期待される卒業後の進路
TACTICAL ANALYSIS
データサイエンスコース
こんな人にオススメ
学びのPOINT UP
データサイエンス×スポーツ
スポーツプラクティス
カリキュラム

中央大学 スポーツ情報学部 スポーツ情報学科 概要

［2027年4月開設予定（学部学科名仮称/設置構想中）］

学部・学科名称	スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）
学部・学科設置場所	多摩キャンパス
入学定員／収容定員	入学定員：295名／収容定員：1,180名
初年度納付金（予定）	1,720,000円（入学金：240,000円＋授業料等：1,480,000円） ※「授業料等」には、施設設備費・実験実習料を含みます。 ※その他諸会費（父母連絡会費 5,000円、学友会費：10,000円）が必要となります。 ※別途費用が必要な体験学習等への参加費用・経費が自己負担となる場合があります。
アドミッションポリシー	【知識・技能】 AI・データサイエンスに関する知識や技術とビジネスの専門知識による、課題発見・解決能力および実行能力を獲得する本学部の学びに向けて、高等学校における数学を中心に、各教科・科目について文系・理系問わず幅広く学ぶ意志・関心があることが望まれます。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的かつ合理的な思考力に加え、コミュニケーション力・理解力・読解力・数学的思考力を備えていることが望まれます。 【学ぶ態度・姿勢】 AI・データサイエンスに関する知識・技術を始め、スポーツデータサイエンスやスポーツビジネスに関する関係域の学びと当該領域における課題発見・解決に興味・関心を有するとともに、そういった学びの先にある持続可能でウェルビーイングな社会の実現を目指す態度・姿勢を有していることが望まれます。
類似する大学・学部	●青山学院大学：社会情報学部 社会情報学科 ●関 西 大 学：ビジネスデータサイエンス学部 ビジネスデータサイエンス学科 ●千 葉 大 学：情報・データサイエンス学部 情報・データサイエンス学科 ●一 橋 大 学：ソーシャル・データサイエンス学部 ソーシャル・データサイエンス学科 ●早 稲 田 大 学：スポーツ科学部 スポーツ科学科

多摩キャンパスアクセス



多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」直結

- 京王動物園線「多摩動物公園駅」から徒歩約10分
- JR中央線「豊田駅」からバス約15分 バス停「中央大学」下車
- 京王線・小田急線「多摩センター駅」からバス約12分 バス停「中央大学」下車

公式HPやSNSでも最新情報を発信中

Connect Web CHUO UNIV.

行動する知性。 中央大学

＜スポーツ情報学部（仮称）に関するお問い合わせ＞
◎スポーツ情報学部（仮称）
開設準備室事務室 TEL：042-674-2437

＜多摩キャンパス＞
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学公式サイト https://www.chuo-u.ac.jp

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

▼「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」リーフレット
画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください

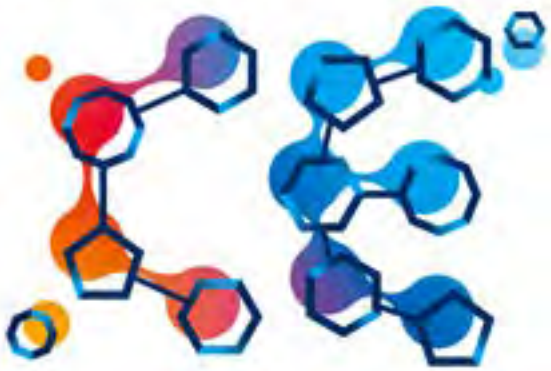
中央大学

中央大学経済学部

CHUO University Faculty of Economics

経済学科*
Department of Economics

社会経済学科*
Department of Society and Economics



中大経済のシン力が未来を動かす

1965年開設の伝統を誇る中央大学経済学部は、
時代に即して、変革を重ねてきました。
これからも、研究に基づく教育を「深化」「進化」させ、「真価」を発揮し続けます。

新・中央大学経済学部始動
2027年4月より 2学科 4コースへ





▼経済学部 競合校一覧
画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください

経済学科

大学名	学部	学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済学科
法政大学	経済学部	経済学科
学習院大学	経済学部	経済学科
横浜国立大学	経済学部	経済学科

社会経済学科

大学名	学部	学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済政策学科
青山学院大学	経済学部	現代経済デザイン学科
法政大学	経済学部	現代ビジネス学科
東京都立大学	経済経営学部	経済経営学科

◯ 資料を確認しました

中央大学2027年度構想についての高校生アンケート
（対象:高校2年生の皆さん）

問６　中央大学が2027年4月に設置構想中の以下の学科のうち、あなたが最も興味のある学科を1つ選択してください。

◯ ①スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）

◯ ②経済学部 経済学科（学科名仮称）

◯ ③経済学部 社会経済学科（学科名仮称）

問７　問６で選択した最も興味のある学科が開設された場合、受験を希望しますか。次より１つ選択してください。

◯ ①第一志望として受験する

◯ ②第二志望として受験する

◯ ③第三志望以降として受験する

◯ ④受験しない

問８　上記、問７で①～③を選択した方に質問です。
問６で選択した最も興味のある学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より１つ選択してください。

◯ ①入学する

◯ ②志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

◯ ③入学しない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

中央大学

「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」

概要

データサイエンスで世界はもっと躍動する



熱狂の裏には、膨大なデータがある。

その一つひとつに、
人々の意志や情熱が刻まれている。
その一つひとつに、
社会を変えるヒントが眠っている。

君の好きなスポーツで学ぶ、
データを読み解き使う力は、
やがて社会を動かす。
君の“スキ”が、社会の未来を創る。

中央大学に、スポーツ情報学部（仮称）新設。

［2027年4月開設予定（設置構想中）］

行動する知性。
中央大学



止めるな、世界。
動かせ、未来。

スポーツ情報学部、始動。

スポーツでデータサイエンスを学び、社会を変革する。

［2027年4月開設予定（学部名仮称/設置構想中）］





「AI・データサイエンス」の能力・技術により、社会課題を解決する力を養成する。持続可能な社会へ向けて、より良い未来の構築に貢献できる新たな学部が誕生。

【設置の理念】 近年、多くのスポーツの現場において、スタッツなどのデータ分析による戦術立案や選手評価、データに基づくマーケティング戦略考案や価格設定、AR技術などによるデータ可視化を利用した新たな観戦体験などにAIやデータサイエンスの活用が積極的に行われています。データを十二分に分析・活用するには、データを収集・加工・管理する仕組みに加え、分析したデータが現場で活用されるように促すためのコミュニケーション力も必要です。スポーツ情報学部（仮称）は、データサイエンスとビジネスの文理横断・融合型の学びにより、**スポーツデータサイエンス**や**スポーツビジネス**の分野を通じてAI・データサイエンスに関する知識や技術を身に付け、社会における課題を発見・分析し、解決策を立案、社会に実装できる人材を養成するとともに、持続可能でウェルビーイングな社会の実現に貢献します。





データを正しく分析し社会課題の解決を導ける人材に







学びのアウトライン

どのようにデータを取得・管理するか、集まったデータから何を読み取るか。スポーツ現場とコミュニケーションを図り、テクノロジーと人間の橋渡しを実現。

スポーツデータサイエンス

スポーツデータエンジニアリング

データサイエンスコース

AI・データサイエンスによる分析やモデリングなど、スポーツアナリティクスやスポーツデータサイエンスを追究

スポーツビジネスコース

データに基づくマーケティング分析・マネジメント戦略やスポーツツーリズムなど、スポーツビジネスや地域経済の発展に寄与



スポーツ現場



養成する人材像

AI・データサイエンスに関する知識や技術とビジネスの専門知識により、データを適切に分析し、その背景にある本質的な課題を正しく見抜いたうえで、的確な課題解決案を策定することができ、その実装を通じてウェルビーイングな社会の構築に貢献できる人材を養成します。

期待される卒業後の進路

AI・データサイエンスの応用領域としてスポーツデータサイエンスやスポーツビジネスの分野を修めた卒業生は、データサイエンス力とビジネス力を備えたデータ活用人材として下記の進路先で活躍することを想定しています。

企業（IT・スポーツ産業他）／コンサルティング／NPO法人／スポーツ運営組織／大学院　など

学びの特色

数理・データサイエンス・AI教育プログラムへ申請予定

2年次までのカリキュラムで文部科学省が定める数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）の認定取得を目指します。

企業・地域団体と連携したPBL型教育を推進

学内外の企業や団体・地域と連携した問題解決型教育を通じて、実践的にデータサイエンスを学びます。

文理融合の学びを実現するきめ細やかな教育

入学時における文理の背景を考慮して数学系科目のレベル別クラスやフォローアップ教育を充実させます。

こんな人にオススメ

- 各種スポーツデータに関するスタッツなどのデータ分析に興味がある。
- スポーツ観戦などを通じて、グッズ販売やチケット販売動向などのマーケティングに関するデータに興味がある。
- マネージャーやデータアナリストなどの経験を通じてスポーツアナリティクスに興味がある。

学びのキーワード

人工知能　スポーツアナリティクス　画像処理　動作解析　バイオメカニクス　ブランド　マネジメント　AR/VR　eスポーツ　スポーツテック　ファンエンゲージメント　スポーツスポンサーシップ　統計　プログラミング　分析　拡張スポーツ

学びのPICK UP



データサイエンス×スポーツ

ウェアラブル端末、AR・VR技術の活用、eスポーツなど、スポーツデータサイエンスの可能性を追求できる科目を多数実践予定です。



スポーツプラクティス

スポーツの現場を担う企業等と連携をして、企業が抱える実際の課題に挑戦し、多くの「気付き」が得られるようなPBL型の実践科目を実施予定です。

カリキュラム

入学・コース選択

1年次	2年次	3年次	4年次	将来の進路
データを活用する基礎力と複合的思考力、広い視野の獲得	データサイエンティスト人材として、専門基礎の定着と応用への接続	各専門領域における応用力・実践力の涵養	社会を変革する「実地応用」力の醸成	データ活用人材

数理・情報・データサイエンスへの理解

スポーツと統計学／微分積分・線形代数／データサイエンス基礎技術

多変量解析／スポーツテックとデータ活用／アルゴリズムとプログラミング／AI・データサイエンス応用基礎

外国語・プロダクトデザイン・法学・色彩学 etc.

経営学／経済学（ミクロ・マクロ）／マーケティング論

ビジネスデータサイエンス／会計論（財務・管理）／スポーツマーケティング／経営戦略論

経済・ビジネスへの理解

専門演習（ゼミ形式による卒業課題・卒業研究）

機械学習、最適化、質的データ解析／データ構造とアルゴリズム／自然言語処理と生成AI

画像処理とAI動作解析／スポーツ映像分析論／デジタル・マーケティング

スポーツファイナンス／スポーツツーリズム／スポーツスポンサーシップ論

地域やプロスポーツ組織等と連携した現場課題解決型（PBL型）教育　イベントプロデュース演習・スポーツアナリティクス実習・スポーツツーリズム実践論 etc.

企業／コンサルティング／NPO法人／スポーツ運営組織／大学院

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

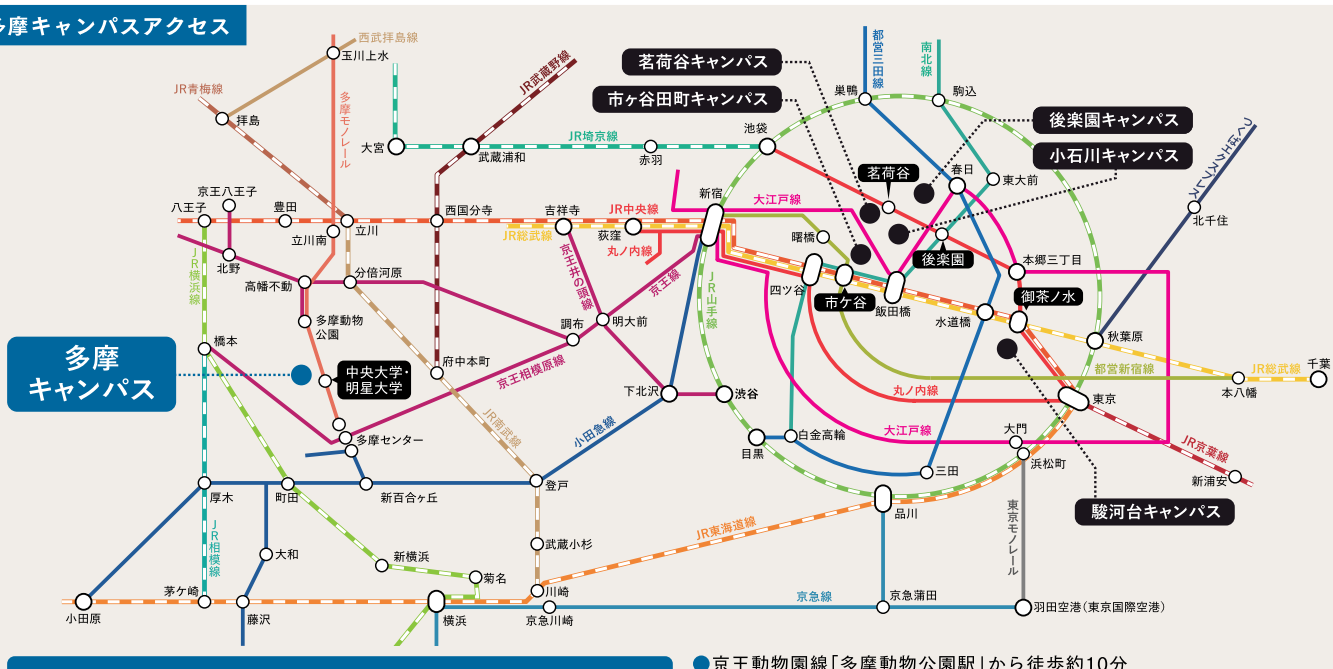
※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

中央大学 スポーツ情報学部 スポーツ情報学科 概要

［2027年4月開設予定（学部学科名仮称/設置構想中）］

学部・学科名称	スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）
学部・学科設置場所	多摩キャンパス
入学定員／収容定員	入学定員：295名／収容定員：1,180名
初年度納付金（予定）	1,720,000円（入学金：240,000円＋授業料等：1,480,000円） ※「授業料等」には、施設設備費・実験実習料を含みます。 ※その他諸会費（父母連絡会費:5,000円、学友会費:10,000円）が必要となります。 ※実費精算が必要な体験型授業等への参加費用・経費が別途必要となる場合があります。
アドミッションポリシー	［知識・技能］ AI・データサイエンスに関する知識や技術とビジネスの専門知識による、課題発見・解決能力および実行能力を涵養する本学部の学びに向けて、高等学校における数学を中心に、各教科・科目について文系・理系問わず幅広く学ぶ意志・関心があることが望まれます。 ［思考力・判断力・表現力等］ 論理的かつ合理的な思考力に加え、コミュニケーション力・理解力・読解力・数学的思考力を備えていることが望まれます。 ［学ぶ態度・姿勢］ AI・データサイエンスに関する知識・技術を始め、スポーツデータサイエンスやスポーツビジネスに関する諸領域の学びと当該領域における課題発見・解決に興味・関心を有するとともに、そういった学びの先にある持続可能でウェルビーイングな社会の実現を目指す態度・姿勢を有していることが望まれます。
類似する大学・学部	●青山学院大学：社会情報学部 社会情報学科 ●関　西　大　学：ビジネスデータサイエンス学部 ビジネスデータサイエンス学科 ●千　葉　大　学：情報・データサイエンス学部 情報・データサイエンス学科 ●一　橋　大　学：ソーシャル・データサイエンス学部 ソーシャル・データサイエンス学科 ●早 稲 田 大 学：スポーツ科学部 スポーツ科学科

多摩キャンパスアクセス



多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」直結

- 京王動物園線「多摩動物公園駅」から徒歩約10分
- JR中央線「豊田駅」からバス約15分　バス停「中央大学」下車
- 京王線・小田急線「多摩センター駅」からバス約12分　バス停「中央大学」下車

公式HPやSNSでも最新情報を発信中

中央大学 受験生ナビ Connect Web CHUO UNIV.

中央大学 入学センター 公式LINE @chuo_admissions

中央大学 入学センター 公式X @chuo_admission

中央大学 入学センター 公式Instagram @chuo_admission

行動する知性。
中央大学

<スポーツ情報学部（仮称）に関するお問い合わせ>
●スポーツ情報学部（仮称）
開設準備室事務室 TEL：042-674-2437

<多摩キャンパス>
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学公式サイト https://www.chuo-u.ac.jp

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

中央大学

「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」

概要

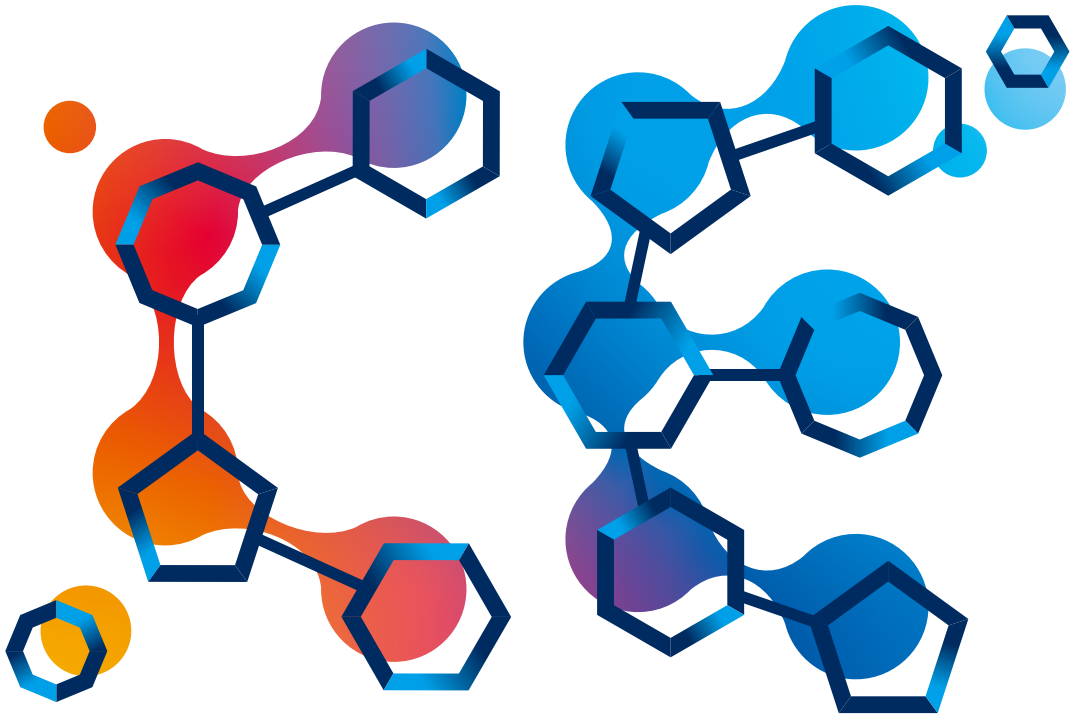
中央大学経済学部

CHUO University Faculty of Economics

経済学科※
Department of Economics

社会経済学科※
Department of Society and Economics

※いずれも仮称、設置構想中



中大経済のシンカが未来を動かす

1905年開設の伝統を誇る中央大学経済学部は、
時代に即して、変革を重ねてきました。
これからも、研究に基づく教育を「深化」「進化」させ、「真価」を発揮し続けます。

新・中央大学経済学部始動

2027年4月より 2学科 4コースへ

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

社会に求められる 真の「経済学」とは何だろうか？

絶えず変化し続ける社会で、複雑化する課題。
中央大学経済学部は、経済学の知識や思考を活かし、
社会に貢献できる力を養います。

新たな中央大学経済学部のポイント

Point 1 **専門性を更に強化し社会に活きる能力を高める**

学問体系に沿って、段階的・系統的に学ぶカリキュラムを整え、各学科が目指す専門知識を備えた人材を育成。また、自分の力を社会に還元する視点を持ち、社会的福祉に寄与できる力を養います。

Point 2 **最先端の学び**

絶えず変化・多様化する社会のニーズに対応できる力を身に付けるカリキュラムを実施します。

例 経済学科「リアル×デジタル」世界標準の学び　社会経済学科 多様な立場を理解する「フィールドワーク」

Point 3 **2年次でコース選択**

1年次は自分の関心のある領域を見定め、2年次でコース選択をすることで、なりたい自分により近づくことができます。

Department of Economics

本質を見抜く分析力の経済学科

（仮称、設置構想中）

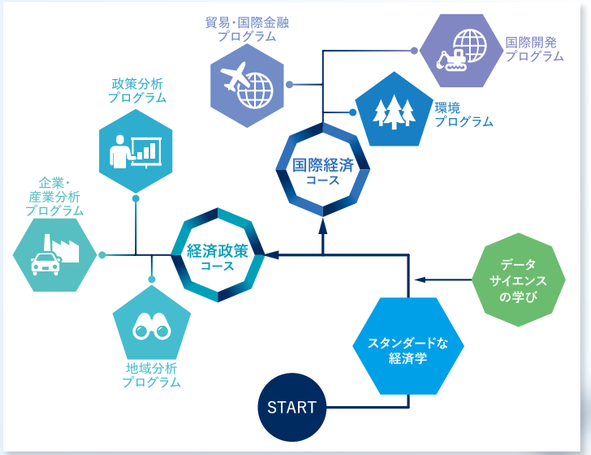
経済政策コース

- 政策分析プログラム
- 企業・産業分析プログラム
- 地域分析プログラム

国際経済コース

- 貿易・国際金融プログラム
- 国際開発プログラム
- 環境プログラム

ミクロ経済学・マクロ経済学をベースに理論を深く学び、企業・産業・国際・環境といった範囲の広い問題に対し理論とデータを駆使してその本質を見抜き、政策提言ができるようになります。



こんな人におすすめ

- データ分析のスキルを身に付けたい
- 国際・環境などの大規模課題に興味がある

進路　経済理論とデータ分析の基礎の上に専門的知識を修得し、変化する時代の中で社会を正しくリードしていく人材へ。

官公庁やシンクタンクで政策立案に携わる人 / アナリスト / データサイエンティスト / 民間企業で経営計画に携わる人 / 国際経済、国際金融関連のビジネスや活動に携わる人 / 環境問題、福祉政策に関わる人 / 大学院を経て研究者

Department of Society and Economics

最適解に挑む実践力の社会経済学科

（仮称、設置構想中）

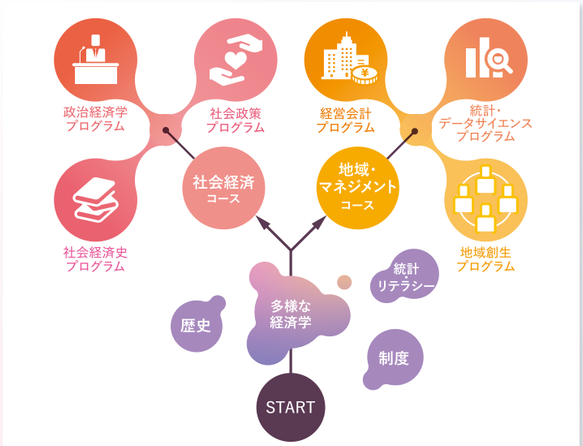
社会経済コース

- 政治経済学プログラム
- 社会政策プログラム
- 社会経済史プログラム

地域・マネジメントコース

- 経営会計プログラム
- 統計・データサイエンスプログラム
- 地域創生プログラム

ミクロ・マクロ経済学（入門）、マルクス経済学、歴史、制度、また経営や会計、統計まで幅広く学び、貧困・マイノリティ・ジェンダー・地域格差など、多様な立場が絡む諸問題に対して最適解をまとめる胆力を養います。



こんな人におすすめ

- 経営・会計・統計に興味がある
- 地域社会の課題解決に取り組みたい

進路　地域社会や企業・経営での問題に挑み、最適解を導き出し、その発展に貢献する人材へ。

公務員 / 金融機関 / 会計士・税理士 / 民間企業で課題解決・提案業務に携わる人 / 起業家や経営者 / 地域活性化支援ビジネスに関わる人 / NPO・社会課題に関わる人 / 大学院を経て研究者

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

CHUO University
Faculty of Economics

Message

設置の理念

現代の複雑な社会課題に対応できる人材の育成は社会的要請であり、それに応えるため経済学部は現行の4学科（経済学科、経済情報システム学科、国際経済学科、公共・環境経済学科）を、経済学科と社会経済学科の2学科に再編します。新設の2学科では、経済学の体系に基づく2つの系統的カリキュラムにより、高度な専門知識の修得を図ります。



養成する人材像

経済学部では、本学の「建学の精神」である「實地應用ノ素ヲ養フ」教育を重視し、経済や経営についての専門的知識を備え、社会の多様なニーズに応えられる、冷静な思考力と温かい心を持った国際的な視野に立つ経済人を育成します。

経済学科

先端的な経済・経営知識を基に、物事の本質を見抜く冷徹な「頭脳」と他者への配慮を持ち、国際的に行動できる人材を育成。論理的思考力や優れたコミュニケーション力も養成します。

社会経済学科

経済学・統計学・経営学・会計学の専門知識を備えた上で、社会問題に対し多様な視点を踏まえ「最適解をまとめる胆力」を持つ人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

求める人材

経済学科

- 現実の経済現象を的確に把握するために、経済の専門知識を身に付けたい人
- 論理的で粘り強い思考力で、民間企業で活躍したい人
- 国際フィールド調査等の経験を生かして、内外を問わず、国際的に働きたい人
- 多様な空間を繋ぐコミュニケーションの能力で、物理的な壁に縛られないキャリアを描きたい人

社会経済学科

- 社会問題の背景にある経済の仕組みを専門的に学びたい人
- 民間企業や官公庁、NPO等で高度な経済学の専門知識を生かしたい人
- 起業家や経営者として必要なデータサイエンスや経営学の専門知識を学びたい人
- 会計に関する専門知識を生かして、公認会計士や税理士として活躍したい人

求められる資質（知識・能力・姿勢）

経済学およびその関連領域を学ぶ上で必要となる、高校までに身に付けておくべき基礎学力を持つ人

＋

経済学科

パソコンやタブレットによる情報処理スキルや分析スキル、オンラインツール技能の学修に強い意欲を有している。

＋

社会経済学科

さまざまな社会問題に関心を持ち、社会経済学科で学修する意欲と能力を有している。

学生納付金

（単位：円）

学費				諸会費		初年度納入額		
入学金（入学申込金）	授業料	教育充実費	施設設備費	父母連絡会費	学友会費	入学手続時納入金	入学後納入額	合計
240,000	873,600	15,000	232,100	5,000	10,000	815,350	560,350	1,375,700

※2027年度予定金額。今後、学費改定により変更になる場合があります。

定員数

（人）

	入学定員	収容定員
経済学科	542	2,168
社会経済学科	520	2,080
合計	1,062	4,248

※再編前後で定員数（合計）は同じです。

中央大学
経済学部

● アクセス
多摩キャンパス
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
モノレール口 多摩都市モノレール「中央大学・明星大学駅」直結
北門 京王動物園線「多摩動物公園駅」徒歩10分

● お問い合わせ TEL 042-674-3311

中央大学公式WEBサイト（経済学部）

経済学部特設WEBサイト

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

経済学科

大学名	学部	学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済学科
法政大学	経済学部	経済学科
学習院大学	経済学部	経済学科
横浜国立大学	経済学部	経済学科

社会経済学科

大学名	学部	学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済政策学科
青山学院大学	経済学部	現代経済デザイン学科
法政大学	経済学部	現代ビジネス学科
東京都立大学	経済経営学部	経済経営学科

資料25の2

中央大学

2027年度構想についてのアンケート調査

追加実施分報告書

令和8年6月
株式会社高等教育総合研究所

目次

1-1. 高校生アンケート追加調査 概要.....2

1-2. 追加調査実施高等学校等一覧..... 3

1-3. 高校生アンケート追加調査 集計結果..... 12

1-4. 高校生アンケート追加調査 結果概要..... 16

2. 受験・入学意向 五重クロス集計結果合計..... 20

＜添付資料＞

高校生アンケート追加調査WEB画面.....22
高校生アンケート追加調査WEB画面（オープンキャンパス）..... 30
中央大学「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」概要.....38

1-1.高校生アンケート追加調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科（学科名仮称）」（入学定員542人）、「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」（入学定員520人）における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 令和9年3月に高校卒業予定である高校3年生（令和8年度） [調査地域] 中央大学に志願実績のある全国の高等学校のうち、昨年度に実施した本構想にかかる高校生アンケート調査に未回答である高等学校から調査の協力を得た。 さらに、中央大学との接触者にあたる生徒およびオープンキャンパス等に来場した生徒には、本構想に関するアンケートへの回答に未回答である旨を確認したうえで、個別で調査の協力を得た。
調査内容	・回答者の基本情報（居住地、性別） ・卒業後の志望進路 ・志望する大学等の設置者 ・興味のある学問分野 ・中央大学が令和9年度に設置構想中の新学部学科への受験・入学意向
調査時期	・オープンキャンパスを除く調査は、令和8年6月11日～6月22日に実施した。 ・オープンキャンパスでの調査は、6月20日、6月21日に多摩キャンパスにて実施した。
調査方法	WEB方式でアンケート調査を実施。 ①各高校においては、高校担当教員を通じてアンケート調査サイトURLおよびアクセス用QRコードを生徒へ提示、あるいは配信・送付した。６月実施外部進学説明会の参加者、高校にて中央大学が実施した説明会の参加者については、アンケート調査サイトへのアクセス用QRコードを配付し、回答を依頼した。中央大学との接触者（大学案内等、これまでに資料請求等を行った者、入学センター公式SNS（LINE）登録者）については、個別にアンケート調査サイトへのアクセス用QRコードを送信し、回答を依頼した。 ②オープンキャンパスにおいては、来場者に対し、個別にアンケート調査サイトへのアクセス用QRコードを配付し、回答を依頼した。 **※なお、両調査は、既回答者による重複回答を防止するための周知および調査フォームへの明記を行い、回答者の重複が生じないよう措置を講じて実施した。**
調査件数	有効回答数9,674件 （協力高校を含む249校に所属する生徒より回答9,233件／オープンキャンパスでの回答441件）
備考	・高校での実施依頼分について、所属高校名は回答者による記述回答である。高校名が確認できない回答はすべて無効とした。

1-2. 追加調査実施高等学校等一覧

※有効回答数9,674件の回答者の所属高等学校等内訳。
※高校コード順に記載。

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
1	01108J	北海道	札幌手稲高等学校	2
2	01125J	北海道	札幌藻岩高等学校	62
3	01159C	北海道	小樽潮陵高等学校	62
4	01220D	北海道	旭川西高等学校	127
5	01321J	北海道	帯広柏葉高等学校	2
6	01363D	北海道	北広島高等学校	2
7	01371E	北海道	札幌新川高等学校	65
8	01411H	北海道	函館高等学校	23
9	01415A	北海道	札幌開成中等教育学校	7
10	01536K	北海道	旭川龍谷高等学校	2
11	01555F	北海道	北嶺高等学校	1
12	02112B	青森県	八戸北高等学校	112
13	02501B	青森県	東奥義塾高等学校	62
14	03115B	岩手県	花巻北高等学校	1
15	03183G	岩手県	釜石高等学校	1
16	04101H	宮城県	仙台第一高等学校	1
17	04501C	宮城県	仙台育英学園高等学校	24
18	05152H	秋田県	秋田商業高等学校	53
19	05167F	秋田県	能代松陽高等学校	1
20	06107H	山形県	山形市立商業高等学校	21
21	06112D	山形県	寒河江高等学校	28
22	06501D	山形県	東北文教大学山形城北高等学校	32
23	07172C	福島県	原町高等学校	93
24	07188K	福島県	福島東高等学校	48
25	07510J	福島県	日本大学東北高等学校	65
26	07511G	福島県	東日本国際大学附属昌平高等学校	1
27	08159A	茨城県	取手第一高等学校	1
28	08196F	茨城県	水戸桜ノ牧高等学校	14
29	08218A	茨城県	那珂湊高等学校	1
30	08514G	茨城県	清真学園高等学校	1

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
31	08515E	茨城県	江戸川学園取手高等学校	2
32	08517A	茨城県	常総学院高等学校	31
33	09131G	栃木県	足利高等学校	32
34	10110K	群馬県	高崎女子高等学校	1
35	10126F	群馬県	沼田高等学校	167
36	10131B	群馬県	渋川高等学校	1
37	10151G	群馬県	尾瀬高等学校	1
38	10166E	群馬県	利根商業高等学校	81
39	10183E	群馬県	吾妻中央高等学校	37
40	10502D	群馬県	桐生第一高等学校	12
41	10506G	群馬県	高崎商科大学附属高等学校	37
42	11001K	埼玉県	筑波大学附属坂戸高等学校	1
43	11108C	埼玉県	熊谷女子高等学校	69
44	11136J	埼玉県	坂戸高等学校	39
45	11165B	埼玉県	豊岡高等学校	204
46	11176H	埼玉県	川口北高等学校	1
47	11178D	埼玉県	所沢北高等学校	16
48	11184J	埼玉県	川越南高等学校	1
49	11196B	埼玉県	滑川総合高等学校	1
50	11203J	埼玉県	春日部東高等学校	9
51	11213F	埼玉県	浦和南高等学校	1
52	11227F	埼玉県	所沢西高等学校	220
53	11255A	埼玉県	伊奈学園総合高等学校	1
54	11263B	埼玉県	和光国際高等学校	37
55	11501A	埼玉県	聖望学園高等学校	197
56	11506B	埼玉県	淑徳与野高等学校	2
57	11512G	埼玉県	大宮開成高等学校	2
58	11514C	埼玉県	狭山ケ丘高等学校	9
59	11518F	埼玉県	武南高等学校	1
60	11535F	埼玉県	城北埼玉高等学校	23

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
61	11536D	埼玉県	西武台高等学校	1
62	11543G	埼玉県	川越東高等学校	30
63	11547K	埼玉県	東野高等学校	14
64	11549F	埼玉県	栄北高等学校	2
65	11557G	埼玉県	開智未来高等学校	1
66	12111J	千葉県	八千代高等学校	114
67	12113E	千葉県	薬園台高等学校	3
68	12126G	千葉県	松戸国際高等学校	136
69	12135F	千葉県	我孫子高等学校	274
70	12174G	千葉県	安房高等学校	42
71	12193C	千葉県	千葉市立千葉高等学校	1
72	12507F	千葉県	東葉高等学校	1
73	12511D	千葉県	千葉黎明高等学校	1
74	12521A	千葉県	国府台女子学院高等部	148
75	12522K	千葉県	東邦大学付属東邦高等学校	1
76	12528J	千葉県	日本大学習志野高等学校	28
77	12531J	千葉県	二松学舎大学附属柏高等学校	139
78	12545J	千葉県	芝浦工業大学柏高等学校	8
79	12549A	千葉県	昭和学院秀英高等学校	1
80	13007K	東京都	東京大学教育学部附属中等教育学校	1
81	13101G	東京都	青山高等学校	2
82	13106H	東京都	足立高等学校	277
83	13112B	東京都	井草高等学校	2
84	13157B	東京都	国分寺高等学校	33
85	13162J	東京都	江北高等学校	2
86	13165C	東京都	小平高等学校	261
87	13166A	東京都	狛江高等学校	307
88	13169F	東京都	鷺宮高等学校	110
89	13179C	東京都	昭和高等学校	1
90	13180G	東京都	新宿高等学校	1

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
91	13184K	東京都	墨田川高等学校	45
92	13222F	東京都	白鴎高等学校	1
93	13230G	東京都	東大和高等学校	1
94	13247A	東京都	文京高等学校	2
95	13251K	東京都	町田高等学校	30
96	13253F	東京都	松原高等学校	1
97	13271D	東京都	目黒高等学校	29
98	13274J	東京都	雪谷高等学校	209
99	13302H	東京都	松が谷高等学校	1
100	13304D	東京都	小平南高等学校	20
101	13320F	東京都	上水高等学校	3
102	13327C	東京都	青梅総合高等学校	1
103	13331A	東京都	日野台高等学校	5
104	13503J	東京都	神田女学園高等学校	1
105	13514D	東京都	東洋高等学校	1
106	13517J	東京都	三輪田学園高等学校	1
107	13521G	東京都	開智日本橋学園高等学校	1
108	13530F	東京都	高輪高等学校	1
109	13535G	東京都	東洋英和女学院高等部	101
110	13536E	東京都	普連土学園高等学校	1
111	13539K	東京都	山脇学園高等学校	129
112	13545D	東京都	目白研心高等学校	1
113	13550A	東京都	國學院高等学校	199
114	13556K	東京都	東京女学館高等学校	1
115	13558F	東京都	晃華学園高等学校	13
116	13567E	東京都	京華高等学校	2
117	13580B	東京都	日本大学豊山高等学校	262
118	13587K	東京都	順天高等学校	71
119	13596J	東京都	開成高等学校	4
120	13609D	東京都	品川翔英高等学校	1

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
121	13614A	東京都	朋優学院高等学校	1
122	13623K	東京都	目黒日本大学高等学校	1
123	13634E	東京都	鴎友学園女子高等学校	1
124	13638H	東京都	佼成学園女子高等学校	133
125	13659A	東京都	サレジアン国際学園世田谷高等学校	1
126	13660D	東京都	日本工業大学駒場高等学校	2
127	13663J	東京都	フェリシア高等学校	1
128	13669H	東京都	宝仙学園高等学校	38
129	13675B	東京都	國學院大學久我山高等学校	1
130	13689B	東京都	巣鴨高等学校	1
131	13701E	東京都	東京家政大学附属女子高等学校	1
132	13702C	東京都	日本大学豊山女子高等学校	1
133	13708B	東京都	共立女子第二高等学校	2
134	13714G	東京都	八王子実践高等学校	1
135	13715E	東京都	昭和第一学園高等学校	1
136	13722H	東京都	創価高等学校	1
137	13723F	東京都	拓殖大学第一高等学校	1
138	13733C	東京都	成蹊高等学校	158
139	13739B	東京都	武蔵野大学高等学校	1
140	14103J	神奈川県	横浜翠嵐高等学校	2
141	14111K	神奈川県	光陵高等学校	28
142	14113F	神奈川県	希望ケ丘高等学校	1
143	14120J	神奈川県	川和高等学校	2
144	14121G	神奈川県	市ケ尾高等学校	81
145	14125K	神奈川県	松陽高等学校	103
146	14129B	神奈川県	川崎高等学校	1
147	14163B	神奈川県	茅ケ崎北陵高等学校	89
148	14169A	神奈川県	相模原高等学校	1
149	14171C	神奈川県	麻溝台高等学校	45
150	14177B	神奈川県	厚木高等学校	2

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
151	14185C	神奈川県	大磯高等学校	123
152	14207H	神奈川県	東高等学校	2
153	14240K	神奈川県	住吉高等学校	113
154	14250G	神奈川県	岸根高等学校	1
155	14258B	神奈川県	大船高等学校	1
156	14284A	神奈川県	神奈川総合高等学校	36
157	14285K	神奈川県	みなと総合高等学校	1
158	14292B	神奈川県	横須賀総合高等学校	127
159	14501H	神奈川県	フェリス女学院高等学校	1
160	14513A	神奈川県	横浜創英高等学校	1
161	14514K	神奈川県	捜真女学校高等学部	1
162	14516F	神奈川県	橘学苑高等学校	1
163	14517D	神奈川県	鶴見大学附属高等学校	2
164	14530A	神奈川県	横浜高等学校	3
165	14533F	神奈川県	三浦学苑高等学校	335
166	14544A	神奈川県	鎌倉学園高等学校	8
167	14550F	神奈川県	湘南工科大学附属高等学校	2
168	14560C	神奈川県	アレセイア湘南高等学校	1
169	14573E	神奈川県	桐光学園高等学校	18
170	14574C	神奈川県	森村学園高等部	32
171	15118B	新潟県	新発田高等学校	9
172	15169G	新潟県	高田北城高等学校	1
173	15211A	新潟県	柏崎翔洋中等教育学校	1
174	16115C	富山県	富山いずみ高等学校	1
175	17118C	石川県	金沢商業高等学校	119
176	18506A	福井県	敦賀気比高等学校	28
177	19138J	山梨県	白根高等学校	1
178	19504K	山梨県	駿台甲府高等学校	8
179	20139B	長野県	野沢北高等学校	1
180	20176G	長野県	松本蟻ケ崎高等学校	2

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
181	20505C	長野県	松本第一高等学校	5
182	20516J	長野県	佐久長聖高等学校	1
183	21516D	岐阜県	帝京大学可児高等学校	146
184	22153J	静岡県	掛川西高等学校	241
185	22160A	静岡県	袋井高等学校	9
186	22179B	静岡県	新居高等学校	132
187	22190C	静岡県	浜松市立高等学校	2
188	22211K	静岡県	静岡市立清水桜が丘高等学校	46
189	22509G	静岡県	星陵高等学校	11
190	22531C	静岡県	磐田東高等学校	30
191	22541A	静岡県	桐陽高等学校	2
192	22542J	静岡県	藤枝明誠高等学校	134
193	23515G	愛知県	東海学園高等学校	1
194	23519K	愛知県	名古屋高等学校	1
195	23524F	愛知県	桜花学園高等学校	1
196	23531J	愛知県	愛知啓成高等学校	20
197	24505E	三重県	高田高等学校	1
198	26504H	京都府	京都外大西高等学校	177
199	26519F	京都府	京都産業大学附属高等学校	107
200	26530G	京都府	福知山成美高等学校	29
201	27166H	大阪府	富田林高等学校	1
202	27524H	大阪府	桃山学院高等学校	1
203	27574D	大阪府	早稲田摂陵高等学校	2
204	27577J	大阪府	清風南海高等学校	1
205	27590F	大阪府	利晶学園高等学校	27
206	28115J	兵庫県	神戸商業高等学校	38
207	28503A	兵庫県	灘高等学校	3
208	28543K	兵庫県	賢明女子学院高等学校	1
209	28553G	兵庫県	第一学院高等学校	3
210	29509E	奈良県	智辯学園高等学校	1

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
211	32102J	島根県	松江北高等学校	80
212	32136C	島根県	松江東高等学校	1
213	33124E	岡山県	岡山県立玉島高等学校	2
214	33184J	岡山県	玉野光南高等学校	1
215	34103H	広島県	広島皆実高等学校	32
216	34507F	広島県	安田女子高等学校	158
217	34508D	広島県	比治山女子高等学校	2
218	34522K	広島県	広島なぎさ高等学校	1
219	35128J	山口県	山口高等学校	1
220	35501B	山口県	高水高等学校	6
221	35504G	山口県	山口県桜ケ丘高等学校	1
222	35508K	山口県	野田学園高等学校	1
223	35511K	山口県	慶進高等学校	107
224	37130A	香川県	高松西高等学校	1
225	37133F	香川県	香川中央高等学校	1
226	38156A	愛媛県	今治東中等教育学校	1
227	39135C	高知県	高知商業高等学校	98
228	40159F	福岡県	三池高等学校	153
229	40196A	福岡県	北九州市立高等学校	1
230	40207K	福岡県	春日高等学校	50
231	40509E	福岡県	東筑紫学園高等学校	1
232	40512E	福岡県	明治学園高等学校	20
233	40532K	福岡県	筑陽学園高等学校	27
234	40542G	福岡県	福岡雙葉高等学校	51
235	41120F	佐賀県	神埼清明高等学校	21
236	43101A	熊本県	済々黌高等学校	1
237	43508C	熊本県	九州学院高等学校	64
238	43525C	熊本県	一ツ葉高等学校	1
239	44113K	大分県	大分舞鶴高等学校	14
240	45504A	宮崎県	鵬翔高等学校	8

番号	高校コード	所在地	高校名	有効回答数
241	45506H	宮崎県	宮崎第一高等学校	61
242	46146G	鹿児島県	国分高等学校	14
243	46502A	鹿児島県	樟南高等学校	1
244	46522E	鹿児島県	池田学園池田高等学校	5
245	47103J	沖縄県	那覇高等学校	10
246	47149G	沖縄県	宜野湾高等学校	1
247	47501H	沖縄県	沖縄尚学高等学校	88
248	47503D	沖縄県	興南高等学校	59
249	47509C	沖縄県	Ｎ高等学校	1
250	-	-	オープンキャンパス	441

1-3. 高校生アンケート追加調査 集計結果

※「回答割合」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
1. 北海道	362	3.7%
2. 青森県	166	1.7%
3. 岩手県	12	0.1%
4. 宮城県	32	0.3%
5. 秋田県	55	0.6%
6. 山形県	82	0.8%
7. 福島県	209	2.2%
8. 茨城県	66	0.7%
9. 栃木県	41	0.4%
10. 群馬県	352	3.6%
11. 埼玉県	1,022	10.6%
12. 千葉県	918	9.5%
13. 東京都	2,491	25.7%
14. 神奈川県	1,323	13.7%
15. 新潟県	16	0.2%
16. 富山県	2	0.0%
17. 石川県	122	1.3%
18. 福井県	30	0.3%
19. 山梨県	18	0.2%
20. 長野県	16	0.2%
21. 岐阜県	120	1.2%
22. 静岡県	616	6.4%
23. 愛知県	55	0.6%
24. 三重県	3	0.0%
25. 滋賀県	21	0.2%
26. 京都府	264	2.7%
27. 大阪府	40	0.4%
28. 兵庫県	54	0.6%
29. 奈良県	4	0.0%
30. 和歌山県	2	0.0%
31. 鳥取県	0	0.0%
32. 島根県	81	0.8%
33. 岡山県	5	0.1%
34. 広島県	194	2.0%
35. 山口県	117	1.2%
36. 徳島県	0	0.0%
37. 香川県	2	0.0%
38. 愛媛県	2	0.0%
39. 高知県	98	1.0%
40. 福岡県	293	3.0%
41. 佐賀県	21	0.2%
42. 長崎県	1	0.0%
43. 熊本県	77	0.8%
44. 大分県	13	0.1%
45. 宮崎県	67	0.7%
46. 鹿児島県	23	0.2%
47. 沖縄県	166	1.7%
無回答	0	0.0%
合計	9,674	100.0%

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
男性	4,455	46.0%
女性	5,028	52.0%
回答しない	191	2.0%
無回答	0	0.0%
合計	9,674	100.0%

問３　卒業の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
①大学	8,934	92.4%
②短期大学	112	1.2%
③専門職大学	107	1.1%
④専門職短期大学	27	0.3%
⑤専門学校	651	6.7%
⑥就職	310	3.2%
⑦その他	75	0.8%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

問４　問３で①～④を選択した方に質問です。（※問３で①～④を選択しなかった方は問５に進んでください）志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
国立	2,708	28.0%
公立	1,777	18.4%
私立	7,608	78.7%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。
※問４の回答割合は問３で「①大学」「②短期大学」「③専門職大学」「④専門職短期大学」のいずれかまたは複数を選択した9,026人（実人数）を全回答者数として算出。

問５　高等学校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
経済学	2,894	29.9%
商学	1,695	17.5%
法学・政治学	1,333	13.8%
社会学	1,603	16.6%
社会科学その他	538	5.6%
人文科学（文学、史学、哲学、心理学など）	1,822	18.8%
理学（数学、物理学、化学、生物、地学など）	777	8.0%
工学（機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など）	1,043	10.8%
農学（農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、獣医学畜産学、水産学など）	421	4.4%
保健（医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーションなど）	1,323	13.7%
商船（商船学）	28	0.3%
家政（家政学、食物学、被服学、住居学など）	265	2.7%
教育（教育学、教職課程（幼稚園、小学校、中学校、高等学校教員）、保育、体育学など）	1,153	11.9%
芸術（美術、デザイン、音楽など）	613	6.3%
その他（教養学、総合科学、国際学、人間科学など）	1,395	14.4%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

問６　中央大学が2027年4月に設置構想中の経済学部２学科のうち、あなたが最も興味のある学科を1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
経済学科（仮称）：政策やビジネスの動向を論理的に分析	4,458	46.1%
社会経済学科（仮称）：多角的な視点から実社会の課題にアプローチ	5,216	53.9%
合計	9,674	100.0%

問７　問６で選択した最も興味のある学科が開設された場合、受験を希望しますか。次より１つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①第一志望として受験する	851	8.8%
②第二志望として受験する	529	5.5%
③第三志望以降として受験する	1,278	13.2%
④受験しない	7,016	72.5%
無回答	0	0.0%
合計	9,674	100.0%

問８　上記、問７で①～③を選択した方に質問です。問６で最も興味があるとされた学部学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの1つを選択）

選択肢	回答数	回答割合
入学する	1,139	42.9%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,457	54.8%
入学しない	62	2.3%
無回答	0	0.0%
合計	2,658	100.0%

※問８の回答割合は問７で「①第一志望として受験する」「②第二志望として受験する」「③第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した2,658人（実人数）を全回答者数として算出。

1-4. 高校生アンケート追加調査 結果概要

■経済学部 経済学科（学科名仮称）

（１）受験・入学意向クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート追加調査集計結果」より）

以下の図の通り、中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科（学科名仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した対象者は合計1,294人であった。
そのうち「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は400人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計673人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	428	入学する	400
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	23
		入学しない・無回答	5
第二志望として受験する	250	入学する	91
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	155
		入学しない・無回答	4
第三志望以降として受験する	616	入学する	76
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	518
		入学しない・無回答	22

（2）受験・入学意向 五重クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート追加調査集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した上で、中央大学「経済学部 経済学科（学科名仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は2,838人で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは363人、「第二志望として受験する」としたのは197人、「第三志望以降として受験する」としたのは368人で合計すると928人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは340人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で429人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	8,934	私立	7,119	経済学、商学	2,838	経済学科（仮称）：政策やビジネスの動向を論理的に分析	1,649	第一志望として受験する	363	入学する	340
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	19
										入学しない・無回答	4
								第二志望として受験する	197	入学する	78
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	117
										入学しない・無回答	2
								第三志望以降として受験する	368	入学する	45
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	312
										入学しない・無回答	11

■経済学部 社会経済学科（学科名仮称）

（１）受験・入学意向クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート追加調査集計結果」より）

以下の図の通り、中央大学が設置構想中の「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した対象者は合計1,364人であった。
そのうち「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は393人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計738人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	423	入学する	393
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	23
		入学しない・無回答	7
第二志望として受験する	279	入学する	96
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	178
		入学しない・無回答	5
第三志望以降として受験する	662	入学する	83
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	560
		入学しない・無回答	19

（2）受験・入学意向 五重クロス集計結果（「1-3.高校生アンケート追加調査集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した上で、中央大学「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」に受験・入学意向を示した人数を確認した。
「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は2,838人で、その上で同学部学科を「第一志望として受験する」としたのは349人、「第二志望として受験する」としたのは169人、「第三志望以降として受験する」としたのは260人で合計すると778人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは335人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で321人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	8,934	私立	7,119	経済学、商学	2,838	社会経済学科（仮称）：多角的な視点から実社会の課題にアプローチ	1,189	第一志望として受験する	349	入学する	335
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	12
										入学しない・無回答	2
								第二志望として受験する	169	入学する	63
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	105
										入学しない・無回答	1
								第三志望以降として受験する	260	入学する	39
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	216
										入学しない・無回答	5

2.受験・入学意向 五重クロス集計結果合計

本章においては、追加調査分を含め、学生確保に関するアンケート調査全体について、五重クロス集計を行った結果を記載する。

＜五重クロス集計結果合計の前提＞

【中央大学 2027年度構想についてのアンケート調査 報告書】　37～38ページ
■高校生アンケート調査・中央大学附属高校生アンケート調査
・「3.受験・入学意向 五重クロス集計結果合計」における受験意向、入学意向の回答結果

【中央大学 2027年度構想についてのアンケート調査 追加実施分報告書】　17、19ページ
・「1-4.高校生アンケート追加調査 結果概要（２）受験・入学意向 五重クロス集計結果」における受験意向、入学意向の回答結果

■経済学部 経済学科（学科名仮称）

以下の図の通り、「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は12,140人で、その上で「経済学部 経済学科（学科名仮称）」を「第一志望として受験する」としたのは897人、「第二志望として受験する」としたのは837人、「第三志望以降として受験する」としたのは1,809人で合計すると3,543人であった。なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは785人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で1,970人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	50,628	私立	38,169	経済学、商学	12,140	経済学部 経済学科（学科名仮称）	6,724	第一志望として受験する	897	入学する	785
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	98
										入学しない・無回答	14
								第二志望として受験する	837	入学する	332
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	490
										入学しない・無回答	15
								第三志望以降として受験する	1,809	入学する	263
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1,480
										入学しない・無回答	66

■経済学部 社会経済学科（学科名仮称）

以下の図の通り、「大学」進学、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「経済学」「商学」のいずれかまたは両方を選択した対象者は12,140人で、その上で「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」を「第一志望として受験する」としたのは572人、「第二志望として受験する」としたのは458人、「第三志望以降として受験する」としたのは1,090人で合計すると2,120人であった。
なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは533人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で1,205人確認された。

進路		学校種		学問分野		学部		受験意向		入学意向	
大学	50,628	私立	38,169	経済学、商学	12,140	経済学部 社会経済学科（学科名仮称）	3,795	第一志望として受験する	572	入学する	533
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	34
										入学しない・無回答	5
								第二志望として受験する	458	入学する	179
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	272
										入学しない・無回答	7
								第三志望以降として受験する	1,090	入学する	127
										志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	933
										入学しない・無回答	30

高校生アンケート追加調査WEB画面

中央大学2027年度構想についての高校生アンケート
（対象：高校３年生の皆さん）

中央大学では2027年4月、既存の経済学部・学科を再編し「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」を設置することを構想中です。リーフレット（問5の後に表示されます）で概要をご覧の上、受験・入学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※本アンケートは中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

中央大学が2027年4月に設置を予定している学部学科に関するアンケートへの回答は１回のみとなります。 必須

中央大学が2025年度中に実施した同構想に関するアンケートに既に回答されている場合、誠に恐れ入りますが、本アンケートへのご回答はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

☐ 同意する

あなたの所属する高等学校名をお答えください。 必須

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ） 必須

選択してください

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ） 必須

- ○ 男性
- ○ 女性
- ○ 回答しない

問３　卒業の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて）
必須

【複数選択可】

- □ ①大学
- □ ②短期大学
- □ ③専門職大学
- □ ④専門職短期大学
- □ ⑤専門学校
- □ ⑥就職
- □ ⑦その他

問４　問３で①～④を選択した方に質問です。（※問３で①～④を選択しなかった方は問５に進んでください）志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて） 必須

【複数選択可】

- □ 国立
- □ 公立
- □ 私立

問５　高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。 必須

【複数選択可】

- □ 経済学
- □ 商学
- □ 法学・政治学
- □ 社会学
- □ 社会科学その他

- [ ] 人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)
- [ ] 理学(数学、物理学、化学、生物、地学など)
- [ ] 工学(機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など)
- [ ] 農学(農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、獣医学畜産学、水産学など)
- [ ] 保健(医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーションなど)
- [ ] 商船(商船学)
- [ ] 家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)
- [ ] 教育(教育学、教職課程(幼稚園、小学校、中学校、高校教員)、保育、体育学など)
- [ ] 芸術(美術、デザイン、音楽など)
- [ ] その他(教養学、総合科学、国際学、人間科学など)

ここからは以下の中央大学が設置構想中の
「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」の
概要資料を見てからお答えください

画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください

中央大学

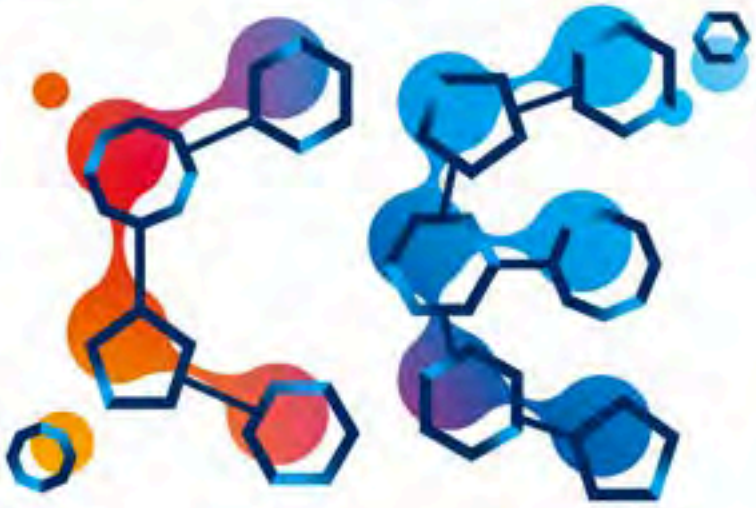
中央大学経済学部

CHUO University Faculty of Economics

経済学科※
Department of Economics

社会経済学科※
Department of Society and Economics

※いずれも仮称、設置構想中



中大経済のシン力が未来を動かす

1905年開設の伝統を誇る中央大学経済学部は、
時代に即して、変革を重ねてきました。
これからも、研究に基づく教育を「深化」「進化」させ、「真価」を発揮し続けます。

新・中央大学経済学部始動

2027年4月より2学科4コースへ

設置構想中のため学科名は仮称であり、開設内容は変更となる場合があります。


本質を見抜く分析力の
経済学科
最適解に挑む実践力の
社会経済学科
社会に求められる
真の「経済学」とは
何だろうか？
新たな中央大学経済学部のポイント
1
専門性を軸に幅広く自由に選べる履修を進める
2
最先端の学び
3
2年次でコース選択



経済学科

大学名	学部	学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済学科
法政大学	経済学部	経済学科
学習院大学	経済学部	経済学科
横浜国立大学	経済学部	経済学科

社会経済学科

大学名	学部	学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済政策学科
青山学院大学	経済学部	現代経済デザイン学科
法政大学	経済学部	現代ビジネス学科
東京都立大学	経済経営学部	経済経営学科

問６　中央大学が2027年4月に設置構想中の経済学部２学科のうち、あなたが最も興味のある学科を1つ選択してください。必須

- ○ 経済学科（仮称）：政策やビジネスの動向を論理的に分析
- ○ 社会経済学科（仮称）：多角的な視点から実社会の課題にアプローチ

問７　問６で選択した最も興味のある学科が開設された場合、受験を希望しますか。次より１つ選択してください。 必須

- ○ ①第一志望として受験する
- ○ ②第二志望として受験する
- ◉ ③第三志望以降として受験する
- ○ ④受験しない

問８　上記、問７で①～③を選択した方に質問です。問６で最も興味があるとされた学部学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの1つを選択） 必須

- ○ 入学する
- ○ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ○ 入学しない

送信

高校生アンケート追加調査WEB画面

（オープンキャンパス）

中央大学2027年度構想についての高校生アンケート
（対象：高校生の皆さん）

中央大学では2027年4月、既存の経済学部・学科を再編し「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」を設置することを構想中です。リーフレット（問5の後に表示されます）で概要をご覧の上、受験・入学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。

※本アンケートは中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

中央大学が2027年4月に設置を予定している学部学科に関するアンケートへの回答は１回のみとなります。 必須

中央大学が2025年度中に実施した同構想に関するアンケートに既に回答されている場合、誠に恐れ入りますが、本アンケートへのご回答はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

- [ ] 同意する

はじめにあなたの学年をお答えください。 必須

- ○ 高校３年生
- ○ 高校２年生
- ○ 高校１年生
- ○ その他

問１　あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ） 必須

選択してください

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ） 必須

- ○ 男性
- ○ 女性
- ○ 回答しない

問３　卒業の進路をどのように考えていますか。（あてはまるものすべて） 必須

【複数選択可】

- □ ①大学
- □ ②短期大学
- □ ③専門職大学
- □ ④専門職短期大学
- □ ⑤専門学校
- □ ⑥就職
- □ ⑦その他

問４　問３で①～④を選択した方に質問です。（※問３で①～④を選択しなかった方は問５に進んでください）志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて） 必須

【複数選択可】

- □ 国立
- □ 公立
- □ 私立

問５　高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。 必須

【複数選択可】

- □ 経済学
- □ 商学
- □ 法学・政治学
- □ 社会学

- [ ] 社会科学その他
- [ ] 人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)
- [ ] 理学(数学、物理学、化学、生物、地学など)
- [ ] 工学(機械工学、電気通信工学、土木建築工学、応用化学、原子力工学、鉱山学、金属工学、繊維工学、船舶工学、航空工学など)
- [ ] 農学(農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、獣医学畜産学、水産学など)
- [ ] 保健(医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーションなど)
- [ ] 商船(商船学)
- [ ] 家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)
- [ ] 教育(教育学、教職課程(幼稚園、小学校、中学校、高校教員)、保育、体育学など)
- [ ] 芸術(美術、デザイン、音楽など)
- [ ] その他(教養学、総合科学、国際学、人間科学など)

ここからは以下の中央大学が設置構想中の
「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」の
概要資料を見てからお答えください

画面上の画像が見づらい場合は、こちらからPDFにて閲覧してください

中央大学

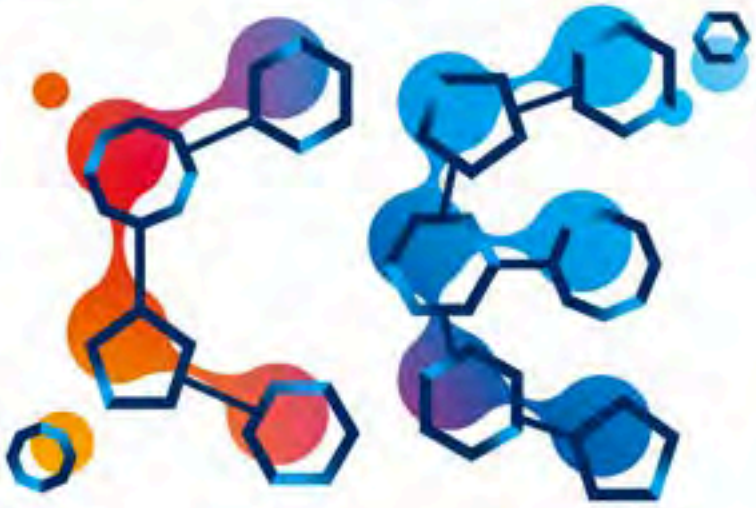
中央大学経済学部

CHUO University Faculty of Economics

経済学科*
Department of Economics

社会経済学科*
Department of Society and Economics

*いずれも仮称、設置構想中



中大経済のシン力が未来を動かす

1905年開設の伝統を誇る中央大学経済学部は、
時代に即して、変革を重ねてきました。
これからも、研究に基づく教育を「深化」「進化」させ、「真価」を発揮し続けます。

新・中央大学経済学部始動
2027年4月より2学科4コースへ

設置構想中のため学科名は仮称であり、開設内容は変更となる場合があります。


本質を見抜く分析力の
経済学科
社会に求められる
真の「経済学」とは
何だろうか？
最適解に挑む実践力の
社会経済学科
新たな中央大学経済学部のポイント



経済学科

大学名	学部	学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済学科
法政大学	経済学部	経済学科
学習院大学	経済学部	経済学科
横浜国立大学	経済学部	経済学科

社会経済学科

大学名	学部	学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済政策学科
青山学院大学	経済学部	現代経済デザイン学科
法政大学	経済学部	現代ビジネス学科
東京都立大学	経済経営学部	経済経営学科

問６　中央大学が2027年4月に設置構想中の経済学部２学科のうち、あなたが最も興味のある学科を1つ選択してください。必須

- ○ 経済学科（仮称）：政策やビジネスの動向を論理的に分析
- ○ 社会経済学科（仮称）：多角的な視点から実社会の課題にアプローチ

問７　問６で選択した最も興味のある学科が開設された場合、受験を希望しますか。次より１つ選択してください。 必須

- ○ ①第一志望として受験する
- ○ ②第二志望として受験する
- ◉ ③第三志望以降として受験する
- ○ ④受験しない

問８　上記、問７で①～③を選択した方に質問です。問６で最も興味があるとされた学部学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか。（あてはまるもの1つを選択） 必須

- ○ 入学する
- ○ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ○ 入学しない

送信

中央大学

「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」

概要

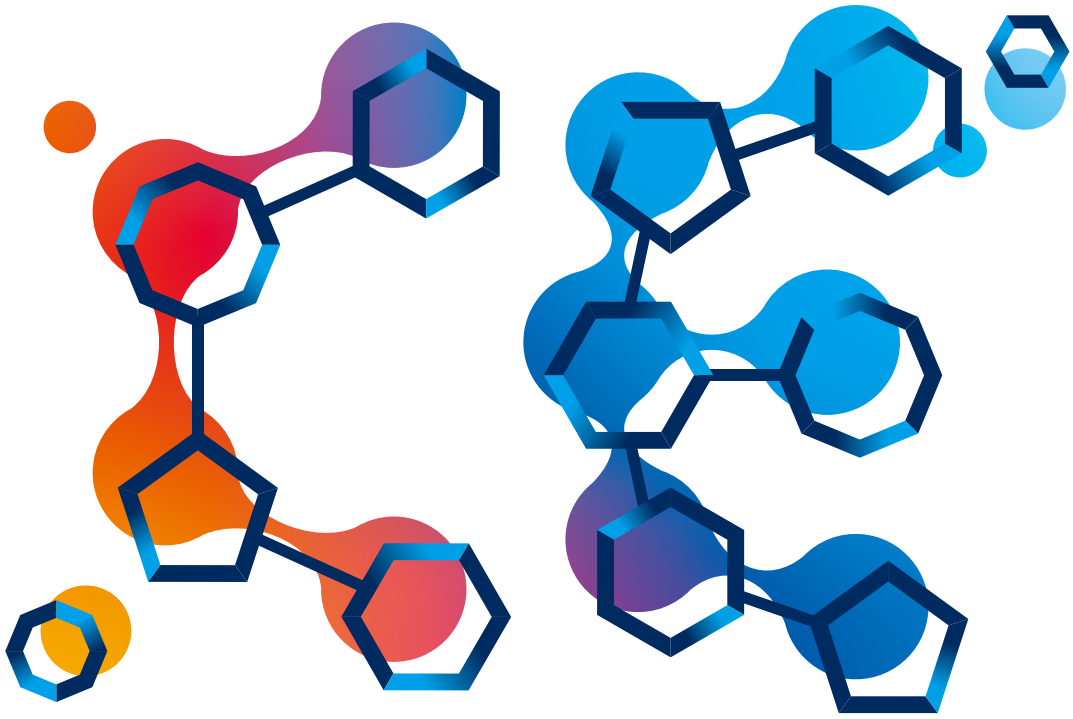
中央大学経済学部

CHUO University Faculty of Economics

経済学科※
Department of Economics

社会経済学科※
Department of Society and Economics

※いずれも仮称、設置構想中



中大経済のシンカが未来を動かす

1905年開設の伝統を誇る中央大学経済学部は、
時代に即して、変革を重ねてきました。
これからも、研究に基づく教育を「深化」「進化」させ、「真価」を発揮し続けます。

新・中央大学経済学部始動

2027年4月より 2学科 4コースへ

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

社会に求められる 真の「経済学」とは何だろうか？

絶えず変化し続ける社会で、複雑化する課題。
中央大学経済学部は、経済学の知識や思考を活かし、
社会に貢献できる力を養います。

新たな中央大学経済学部のポイント

Point 1 専門性を更に強化し社会に活きる能力を高める

学問体系に沿って、段階的・系統的に学ぶカリキュラムを整え、各学科が目指す専門知識を備えた人材を育成。また、自分の力を社会に還元する視点を持ち、社会的福祉に寄与できる力を養います。

Point 2 最先端の学び

絶えず変化・多様化する社会のニーズに対応できる力を身に付けるカリキュラムを実施します。

例 経済学科「リアル×デジタル」世界標準の学び　社会経済学科 多様な立場を理解する「フィールドワーク」

Point 3 2年次でコース選択

1年次は自分の関心のある領域を見定め、2年次でコース選択をすることで、なりたい自分により近づくことができます。

Department of Economics

本質を見抜く分析力の経済学科

（仮称、設置構想中）

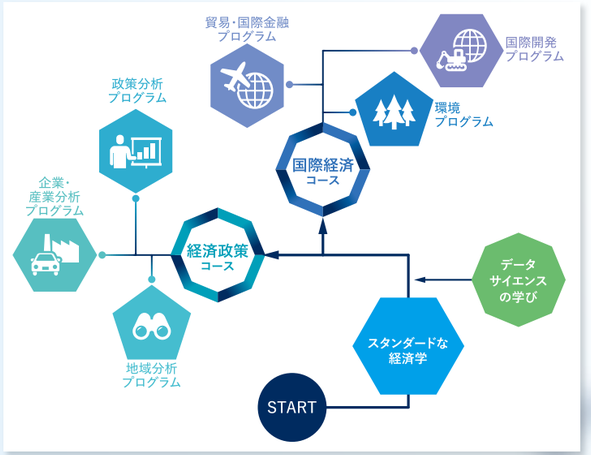
経済政策コース

- 政策分析プログラム
- 企業・産業分析プログラム
- 地域分析プログラム

国際経済コース

- 貿易・国際金融プログラム
- 国際開発プログラム
- 環境プログラム

ミクロ経済学・マクロ経済学をベースに理論を深く学び、企業・産業・国際・環境といった範囲の広い問題に対し理論とデータを駆使してその本質を見抜き、政策提言ができるようになります。



こんな人におすすめ

- データ分析のスキルを身に付けたい
- 国際・環境などの大規模課題に興味がある

進路 経済理論とデータ分析の基礎の上に専門的知識を修得し、変化する時代の中で社会を正しくリードしていく人材へ。

官公庁やシンクタンクで政策立案に携わる人 / アナリスト / データサイエンティスト / 民間企業で経営計画に携わる人 / 国際経済、国際金融関連のビジネスや活動に携わる人 / 環境問題、福祉政策に関わる人 / 大学院を経て研究者

Department of Society and Economics

最適解に挑む実践力の社会経済学科

（仮称、設置構想中）

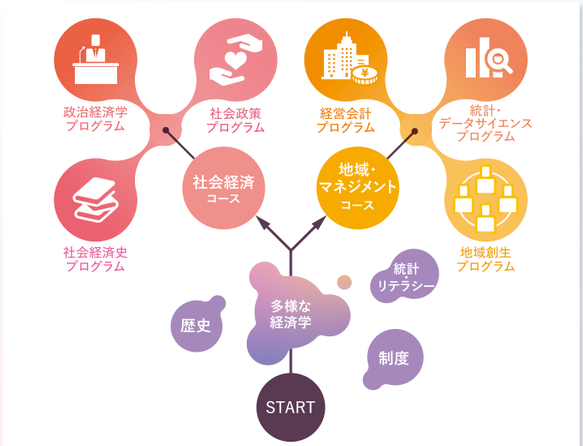
社会経済コース

- 政治経済学プログラム
- 社会政策プログラム
- 社会経済史プログラム

地域・マネジメントコース

- 経営会計プログラム
- 統計・データサイエンスプログラム
- 地域創生プログラム

ミクロ・マクロ経済学（入門）、マルクス経済学、歴史、制度、また経営や会計、統計まで幅広く学び、貧困・マイノリティ・ジェンダー・地域格差など、多様な立場が絡む諸問題に対して最適解をまとめる胆力を養います。



こんな人におすすめ

- 経営・会計・統計に興味がある
- 地域社会の課題解決に取り組みたい

進路 地域社会や企業・経営での問題に挑み、最適解を導き出し、その発展に貢献する人材へ。

公務員 / 金融機関 / 会計士・税理士 / 民間企業で課題解決・提案業務に携わる人 / 起業家や経営者 / 地域活性化支援ビジネスに関わる人 / NPO・社会課題に関わる人 / 大学院を経て研究者

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

CHUO University
Faculty of Economics

Message

設置の理念

現代の複雑な社会課題に対応できる人材の育成は社会的要請であり、それに応えるため経済学部は現行の4学科（経済学科、経済情報システム学科、国際経済学科、公共・環境経済学科）を、経済学科と社会経済学科の2学科に再編します。新設の2学科では、経済学の体系に基づく2つの系統的カリキュラムにより、高度な専門知識の修得を図ります。



養成する人材像

経済学部では、本学の「建学の精神」である「實地應用ノ素ヲ養フ」教育を重視し、経済や経営についての専門的知識を備え、社会の多様なニーズに応えられる、冷静な思考力と温かい心を持った国際的な視野に立つ経済人を育成します。

経済学科

先端的な経済・経営知識を基に、物事の本質を見抜く冷徹な「頭脳」と他者への配慮を持ち、国際的に行動できる人材を育成。論理的思考力や優れたコミュニケーション力も養成します。

社会経済学科

経済学・統計学・経営学・会計学の専門知識を備えた上で、社会問題に対し多様な視点を踏まえ「最適解をまとめる胆力」を持つ人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

求める人材

経済学科

- 現実の経済現象を的確に把握するために、経済の専門知識を身に付けたい人
- 論理的で粘り強い思考力で、民間企業で活躍したい人
- 国際フィールド調査等の経験を生かして、内外を問わず、国際的に働きたい人
- 多様な空間を繋ぐコミュニケーションの能力で、物理的な壁に縛られないキャリアを描きたい人

社会経済学科

- 社会問題の背景にある経済の仕組みを専門的に学びたい人
- 民間企業や官公庁、NPO等で高度な経済学の専門知識を生かしたい人
- 起業家や経営者として必要なデータサイエンスや経営学の専門知識を学びたい人
- 会計に関する専門知識を生かして、公認会計士や税理士として活躍したい人

求められる資質（知識・能力・姿勢）

経済学およびその関連領域を学ぶ上で必要となる、高校までに身に付けておくべき基礎学力を持つ人

＋

経済学科

パソコンやタブレットによる情報処理スキルや分析スキル、オンラインツール技能の学修に強い意欲を有している。

＋

社会経済学科

さまざまな社会問題に関心を持ち、社会経済学科で学修する意欲と能力を有している。

学生納付金

（単位：円）

学費				諸会費		初年度納入額		
入学金（入学申込金）	授業料	教育充実費	施設設備費	父母連絡会費	学友会費	入学手続時納入金	入学後納入額	合計
240,000	873,600	15,000	232,100	5,000	10,000	815,350	560,350	1,375,700

※2027年度予定金額。今後、学費改定により変更になる場合があります。

定員数

（人）

	入学定員	収容定員
経済学科	542	2,168
社会経済学科	520	2,080
合計	1,062	4,248

※再編前後で定員数（合計）は同じです。

中央大学
経済学部

● アクセス

多摩キャンパス
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
モノレール口　多摩都市モノレール「中央大学・明星大学駅」直結
北門　京王動物園線「多摩動物公園駅」徒歩10分

● お問い合わせ　TEL 042-674-3311

中央大学公式WEBサイト（経済学部）

経済学部特設WEBサイト

構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

経済学科

大学名	学部	学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済学科
法政大学	経済学部	経済学科
学習院大学	経済学部	経済学科
横浜国立大学	経済学部	経済学科

社会経済学科

大学名	学部	学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済政策学科
青山学院大学	経済学部	現代経済デザイン学科
法政大学	経済学部	現代ビジネス学科
東京都立大学	経済経営学部	経済経営学科

中央大学新入生アンケート（経済学部）

問1　本学の入学決定にあたって、以下の項目それぞれにあてはまるものを選んでください。問1-1　本学の志望順位（経済学部）

	合計	第1志望	第2志望	第3志望以下
5カ年度平均	1056 100.0%	612 57.9%	196 18.5%	248 23.5%
2025年度	909 100.0%	588 64.7%	130 14.3%	191 21.0%
2024年度	1,114 100.0%	649 58.3%	206 18.5%	259 23.2%
2023年度	1,075 100.0%	574 53.4%	211 19.6%	290 27.0%
2022年度	1,174 100.0%	669 57.0%	237 20.2%	268 22.8%
2021年度	1,007 100.0%	579 57.5%	194 19.3%	234 23.2%

上段：人数
下段：割合

出典：「中央大学新入生アンケート」より抜粋して作成

調査の概要

1．調査対象：各年度学部新入生全員

2．調査実施期間：各年度4月

3．調査実施方法：Cplusでの周知を行い、manabaによるアンケート方式にて実施

4．回答率（在籍者に占める回答者の割合）経済学部

	回答率	回答者数	対象者数
2025年度	96.7%	909	940
2024年度	98.8%	1,114	1,127
2023年度	98.1%	1,076	1,097
2022年度	98.7%	1,179	1,195
2021年度	98.3%	1,007	1,024

中央大学

経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）

設置構想についての人材需要アンケート調査

報告書

令和8年1月
株式会社高等教育総合研究所

1.人材需要アンケート調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科（仮称）」（入学定員542人）、「経済学部 社会経済学科（仮称）」（入学定員520人）における卒業後の採用・就職（人材需要）の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 中央大学経済学部卒業生の採用実績がある、もしくは新学科において想定される卒業後の進路に合致する地方公共団体や企業等 [業種]　卸売業、小売業、金融業、保険業、公務など [調査地域]　主に首都圏を中心とするエリア [依頼件数]　3,034件
調査内容	・回答対象先の基本情報（所在地・業種・従業員／職員規模） ・中央大学「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」卒業生の人材ニーズ ・中央大学「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」卒業生の採用意向
調査時期	令和7年10月～12月
調査方法	調査対象事業所に対し依頼状を郵送し、同封のアンケート用紙、もしくはWEBフォームからのアンケート実施を依頼。
回収件数	有効回答数431件（回収率14.2%）

2.人材需要アンケート調査 集計結果

※「回答割合」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。

選択肢	回答数	回答割合
北海道	3	0.7%
青森県	0	0.0%
岩手県	2	0.5%
宮城県	6	1.4%
秋田県	3	0.7%
山形県	1	0.2%
福島県	3	0.7%
茨城県	19	4.4%
栃木県	12	2.8%
群馬県	17	3.9%
埼玉県	28	6.5%
千葉県	12	2.8%
東京都	206	47.8%
神奈川県	19	4.4%
新潟県	4	0.9%
富山県	2	0.5%
石川県	2	0.5%
福井県	1	0.2%
山梨県	1	0.2%
長野県	2	0.5%
岐阜県	2	0.5%
静岡県	6	1.4%
愛知県	15	3.5%
三重県	1	0.2%
滋賀県	0	0.0%

選択肢	回答数	回答割合
京都府	2	0.5%
大阪府	24	5.6%
兵庫県	3	0.7%
奈良県	1	0.2%
和歌山県	2	0.5%
鳥取県	0	0.0%
島根県	0	0.0%
岡山県	2	0.5%
広島県	2	0.5%
山口県	1	0.2%
徳島県	1	0.2%
香川県	1	0.2%
愛媛県	3	0.7%
高知県	0	0.0%
福岡県	10	2.3%
佐賀県	1	0.2%
長崎県	0	0.0%
熊本県	0	0.0%
大分県	2	0.5%
宮崎県	2	0.5%
鹿児島県	2	0.5%
沖縄県	1	0.2%
海外	0	0.0%
無回答	4	0.9%
合計	431	100.0%

問２　貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
農業、林業、漁業、鉱業	5	1.2%
建設業	11	2.6%
製造業	18	4.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	5	1.2%
情報通信業、IT関連業	52	12.1%
運輸業、郵便業	5	1.2%
卸売業、小売業	108	25.1%
金融業、保険業	43	10.0%
不動産業、物品賃貸業	6	1.4%
学術研究、専門・技術サービス業	19	4.4%
宿泊業、飲食サービス業	2	0.5%
生活関連サービス業、娯楽業	6	1.4%
教育、学習支援業	1	0.2%
医療、福祉	3	0.7%
その他サービス業	46	10.7%
国家公務	4	0.9%
地方公務	78	18.1%
非営利団体	7	1.6%
その他	12	2.8%
無回答	0	0.0%
合計	431	100.0%

問３　貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
20名未満	45	10.4%
20名以上50名未満	17	3.9%
50名以上100名未満	17	3.9%
100名以上300名未満	60	13.9%
300名以上1,000名未満	168	39.0%
1,000名以上	124	28.8%
無回答	0	0.0%
合計	431	100.0%

問４　中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科（学科名仮称）」が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは高い	197	45.7%
ニーズはある程度高い	179	41.5%
ニーズはあまりない	19	4.4%
ニーズはない	3	0.7%
わからない	33	7.7%
無回答	0	0.0%
合計	431	100.0%

問５　中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科（学科名仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	286	66.4%
採用しない	22	5.1%
わからない	119	27.6%
無回答	4	0.9%
合計	431	100.0%

問６　問５で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
1人	92	32.2%
2人	45	15.7%
3人	51	17.8%
4人	4	1.4%
5人以上	93	32.5%
無回答	1	0.3%
合計	286	100.0%

※問６の回答割合は問５で「採用したい」を選択した 286事業所を全回答者数として算出。

問７　中央大学が設置構想中の「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは高い	203	47.1%
ニーズはある程度高い	174	40.4%
ニーズはあまりない	19	4.4%
ニーズはない	2	0.5%
わからない	33	7.7%
無回答	0	0.0%
合計	431	100.0%

問８　中央大学が設置構想中の「経済学部 社会経済学科（学科名仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	288	66.8%
採用しない	10	2.3%
わからない	119	27.6%
無回答	14	3.2%
合計	431	100.0%

問９　問８で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
1人	99	34.4%
2人	44	15.3%
3人	47	16.3%
4人	3	1.0%
5人以上	94	32.6%
無回答	1	0.3%
合計	288	100.0%

※問９の回答割合は問８で「採用したい」を選択した 288事業所を全回答者数として算出。

※中央大学の本構想について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

番号	回答
1	今後ともご縁がいただけるよう尽力してまいります。 どうぞよろしくお願い致します。
2	弊社は主にデジタルマーケティングにて企業の課題解決を支援しておりますため、 新設学科の専門性を直接使う場面は少なく、採用ニーズは低い回答となりました。 一方で、Webマーケティングやシステム開発に興味を持ち、未経験ながらも、 大学での学びを活かして企業の課題解決に尽力される人財は歓迎しております。
3	私の母校であり、ぜひ今後の発展に期待しております。
4	2025年卒1名、2026年卒２名の内定者が決定いたしておりますが、より経済学修得者の方を多く輩出されることを期待いたしております。良いご縁が引き続きございますこと願っております。 よろしくお願いいたします。
5	第一次産業を経営という面から捉え、思考する能力を培っていただけるようなプログラムの設置を期待しております。
6	前向きで主体性、成長意欲がある学生さんであればぜひ採用したいです。
7	弊社が属する業界でも社会情勢をとらまえ、データを正しく扱い分析し本質的な課題を解決できる人材の重要は年々高まっております。また会計等の商慣習を理解することは課題解決において基礎となる重要な部分と考えており魅力的な取り組みだと感じました。また御校の生徒様とご縁ございました際にはよろしくお願い致します。
8	本構想において、経済学を基礎とし、政策•国際•社会•地域マネジメントと多様な選択肢も用意されてることは経済学の奥深さを感じさせる良い設計かと思います。 上記に加え、実務経験豊富な教員や、産学連携のようなカリキュラムも整備し、実務でどのように活用しているのかも学び得る人材が増えるとより有意義かつ、他大学とも差別化ができると思います。
9	データサイエンティストのニーズは高まっているものと思う。 それに、経営層が仮説に基づいた仮説が立てられることが大事だと思うので、データの技術よりもそういった活用の可能性を学べるといい。 また、新入社員にPythonで機械学習がてきるようにしている会社があるそうだ。こういったデジタルリソースが素地としてあると、会社の可能性は拡大すると考える。
10	地域創生プログラムなどは、弊社でも多数取り組みがあるため外部教員など大学の講座もさせていただいております。
11	専門性と応用性をもった人材輩出なされることを期待します
12	統計学・会計学に強く、大学卒業時に論理的思考とコミュニケーション力を備えた人材はニーズが高いと思います。また、従来の大学の在り方ではなく、卒業難易度が高く、卒業するためにしっかり学んだ経験のある学生の創出を期待します。
13	特に社会経済学科に関心がございます。社会課題の背景にある経済の仕組みを学び、実社会で活躍される人材が育成されることを期待しております。
14	情報収集という面でも、アンテナを常に張っておくことに慣れているような学生さんが増えるのではないかと思いました。今後、お会い出来ることを楽しみにしております。
15	AIでは対応できない。アウトプット力（プレゼン力）、コミュニケーション能力の高い人材輩出を要望致します。
16	中央大学経済学部の再編により、複雑化する社会課題に対応できる知識と実践力を兼ね備えた学生が育成されることを大いに期待しています。当社の営業職・エンジニア職で即戦力として活躍できると考えます。 統計・会計・経営など幅広い分野を学ぶ点も評価しており、学生の学びや成長の情報が具体的に把握できれば、採用活動に大いに役立ちます。中央大学経済学部で育つ学生は、ぜひ採用させていただきたいと思っています。
17	金融、IT、地域、社会等、幅広い分野の知識を横断的に習得された学生様に、当センターでご活躍いただいたいと考えております。
18	お世話になります。 いちど、学生様向けに会社説明などできる場面が欲しいです。
19	優秀な卒業生が多く活躍しているので、 これからも人材育成の「シンカ」に期待しております。

20	今回ご縁あってアンケートを拝見し、回答いたしました。特に社会経済学科地域・マネジメントコースの地域創生プログラムに大変興味を持っております。 ぜひ貴校の学生様、並びに学内関係者様でご興味お持ちの際はお問い合わせいただけますと幸いです。(大学生インターンも募集しております。現在2名の学生がインターンとして活躍しております！) この度は、アンケートにご協力させていただきありがとうございます。素敵な学部編成だと思います。学生様と貴校の新たな挑戦を心より応援しております。
21	当金庫としては、経済についての知識がある学生はとても需要が高く、積極的に採用を行いたい方針です。特に経済学科の地域分析や企業、産業分析に長けた人材には大きく期待しています。
22	データに強い人材を育成されるように感じましたので学問的な知識のインプットと社会に出たときに活用できるアウトプット力も兼ね備えていると大変魅力的に感じます
23	地に足のついた学びを学生に与えていただければと思います。
24	貴校パンフレット拝見いたしました。非常に弊社事業との親和性が高いことを感じました。また弊社では、入社後に研修をご用意し、ビジネス領域で活躍できる汎用的スキルを持ち合わせたデータサイエンティストを育成しております。貴校プログラムにて学ばれた学生様であれば、弊社の採用意向度はかなり高いです。
25	学んだことを活かせる企業に就職できるのも一つだが、学んだことをどう活かしていけるかが重要だと思うので、深い学びや体験ができる学部になればよいと思います。
26	将来的なキャリアとして、経営企画や事業戦略また会計に関するエクスパティーズな人材を求めています。
27	弊社は地域のお客様の課題解決を第一とした総合商社になる為、貴校の経済学部の学生様へ、地域社会・企業の問題提起や解決能力について期待いたします。
28	企業分析や経営会計は魅力的。新卒を未来のCFO候補として採用することも動いているためです。
29	論理的思考と相手の活動に配慮したコミュニケーションは、社会人が備える基本的マナーと言えます。情緒の発達と細やかな心理把握を期待します。
30	弊社は現在、データサイエンティストの採用、育成に力を入れています。データ分析のスキルが学べるとのことで、そのエリア知見がある学生さんが多く輩出される点に期待致します。
31	貴学の養成する人材像にあります「社会問題に対し多様な視点を踏まえ、最適解をまとめる胆力を持つ人材」は、公務員にとっても必要な要素でありますので、その養成に期待いたします。
32	会社としてもDX人材を求めており、御校の構想学部の人材はまさにそこに合致する学生だと思いますのでぜひご縁があればと思います。
33	データ分析、経営や売り上げを立てることへ興味がある方を育てていってもらいたいです。
34	データ分析スキルや統計学は、企業の課題解決においても欠かせない重要なスキルであると考えております。弊社においても、これらの分野は依然として課題が多く、今後はこうしたスキルを持つ人材の採用・育成に力を入れていく必要があると認識しております。貴学の構想の下で学ばれた学生の皆さまは、今後世界で求められる人材としてご活躍されることと思います。
35	社員でも社会経済や企業運営に関して広い視野を持てる者はまだ少ないように感じております。貴学での学びをぜひ生かしてご活躍をいただける方をぜひ募集したいと考えております。
36	経済の知識がつくのはとてもいいと思います。ただ採用にあたっては、大学で何に興味を持ってどのように取り組んだかや、人柄を重視しているので、ただ授業としてあたえられて学んだという学生よりは、自分の興味ある分野に意欲的に取り組んだ学生に興味があり、また採用したいと思います。
37	（問6、9について補足）成績によるため人数が確約できる訳ではない
38	数字に強い学生であれば、どの企業でもニーズは高いと思われます。
39	就活生向け企業説明会の案内お待ちしております。
40	人生100年時代を迎え、私たちの業界も変化を続けています。領域拡大やDXの進展に対応するため、情報管理も重要になってくるため、土木分野に加え、経済や法務など多様な分野の知識や視点を取り入れています。柔軟な発想とチャレンジ精神を持つ皆さまを歓迎いたします。
41	イベントや研修事業、防災やSDGsと親和性が高い授業などあればぜひ御縁があると幸いです。

3.人材需要アンケート調査 結果の要点

■経済学部 経済学科（仮称）

採用意向集計結果（「2. 人材需要アンケート調査 集計結果」より）

中央大学「経済学部 経済学科（仮称）」で養成する人材のニーズについては「ニーズは高い」197事業所(45.7%)、「ニーズはある程度高い」179事業所(41.5%)で合計すると376事業所(87.2%)がそのニーズの高さを認める結果となった。
また、286事業所(66.4%)が採用意向を示し、その上での採用可能人数(単年度)合計は予定する入学定員542人の1.5倍となる816人であった。

問４　養成する人材の社会的なニーズ

人材ニーズは高い・ある程度高い	376事業所	87.2%
人材ニーズはない・あまりない	22事業所	5.1%
わからない・無回答	33事業所	7.7%
合計	431事業所	100.0%

問５　卒業生の採用意向

採用したい	286事業所	66.4%
採用しない	22事業所	5.1%
わからない・無回答	123事業所	28.5%
合計	431事業所	100.0%

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	合計
「採用したい」の回答数	92	45	51	4	93	1	286
採用可能人数計（回答数×採用可能人数）	**92人**	**90人**	**153人**	**16人**	**465人**	**0人**	**816人**

※「5人以上」は5人として計算した。
※採用可能人数へ無回答の場合は0人として計算した。

■経済学部 社会経済学科（仮称）
（１）採用意向集計結果（「２. 人材需要アンケート調査 集計結果」より）

中央大学「経済学部 社会経済学科（仮称）」で養成する人材のニーズについては「ニーズは高い」203事業所(47.1%)、「ニーズはある程度高い」174事業所(40.4%)で合計すると377事業所(87.5%)がそのニーズの高さを認める結果となった。
また、288事業所(66.8%)が採用意向を示し、その上での採用可能人数(単年度)合計は予定する入学定員520人の1.6倍となる810人であった。

問７　養成する人材の社会的なニーズ

人材ニーズは高い・ある程度高い	377事業所	87.5%
人材ニーズはない・あまりない	21事業所	4.9%
わからない・無回答	33事業所	7.7%
合計	431事業所	100.0%

問８　卒業生の採用意向

採用したい	288事業所	66.8%
採用しない	10事業所	2.3%
わからない・無回答	133事業所	30.9%
合計	431事業所	100.0%

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	合計
「採用したい」の回答数	99	44	47	3	94	1	288
採用可能人数計（回答数×採用可能人数）	**99人**	**88人**	**141人**	**12人**	**470人**	**0人**	**810人**

※「5人以上」は5人として計算した。
※採用可能人数へ無回答の場合は0人として計算した。

人材需要アンケート調査用紙

中央大学「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」設置構想についての人材需要アンケート調査（対象：人事・採用ご担当者様）

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本学では、2027（令和 9）年 4 月、既存の経済学部・学科を再編し「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」を設置することを構想しております。同学部・学科についての概要資料をご覧の上、採用意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、本構想は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※本アンケート調査への回答は 1 回のみとなります。2025 年度において、本アンケート調査に回答した方は回答できません。

※本アンケート調査は中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケート調査および概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

問 1　貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。

国内でない場合は「海外」に○をつけてください。

［　　］　都　道　府　県　　または　　海外

問 2　貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。

（あてはまるもの 1 つに○）

1. 農業、林業、漁業、鉱業　　2. 建設業　　3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業　　5. 情報通信業、IT 関連業
6. 運輸業、郵便業　　7. 卸売業、小売業　　8. 金融業、保険業
9. 不動産業、物品賃貸業　　10. 学術研究、専門・技術サービス業
11. 宿泊業、飲食サービス業　　12. 生活関連サービス業、娯楽業
13. 教育、学習支援業　　14. 医療、福祉　　15. その他サービス業
16. 国家公務　　17. 地方公務　　18. 非営利団体　　19. その他

問 3　貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。

（あてはまるもの 1 つに○）

1. 20 名未満　　2. 20 名以上 50 名未満
3. 50 名以上 100 名未満　　4. 100 名以上 300 名未満
5. 300 名以上 1,000 名未満　　6. 1,000 名以上

→ 裏面に続く

ここからは別添の中央大学「経済学部 経済学科/社会経済学科
（いずれも学科名仮称）」に関する概要資料を見てからお答えください。

問４　中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（a・b それぞれあてはまるもの１つに○）

			ニーズは高い	ニーズは ある程度高い	ニーズは あまりない	ニーズはない	わからない
a	経済学部 **経済学科**	→	1	2	3	4	5
b	経済学部 **社会経済学科**	→	1	2	3	4	5

問５　中央大学が設置構想中の「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（a・b それぞれあてはまるもの１つに○）

			採用したい	採用しない	わからない
a	経済学部 **経済学科**	→	1	2	3
b	経済学部 **社会経済学科**	→	1	2	3

問６　問５で「1. 採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数を a・b それぞれお答えください。

			1人	2人	3人	4人	5人以上
a	経済学部 **経済学科**	→	1	2	3	4	5
b	経済学部 **社会経済学科**	→	1	2	3	4	5

問７　中央大学の本構想について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

よろしければ貴社名をお教えください。こちらは、どの企業にご返送いただいたかを把握するための質問であり、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございません。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

人材需要アンケート調査WEB画面

中央大学「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」設置構想についての人材需要アンケート調査

（対象：人事・採用ご担当者様）

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本学では、2027年4月、既存の経済学部・学科を再編し「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」を設置することを構想しております。同学部・学科についての概要資料（問3の後、5/5ページに表示されます）をご覧の上、採用意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、本構想は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※本アンケート調査は中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケート調査および概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

アンケート調査開始時のお願い 必須

※本アンケート調査への回答は１回のみとなります。2025年度において、本アンケート調査に回答した方は回答できません。

☑ 同意して回答する

なお、同年に設置を構想している他学部におきましても、同様の人材需要調査を実施しております。そのため、弊学から複数の依頼が届く場合がございますが、その際にはそれぞれにご回答・ご協力を賜りますと幸甚に存じます。

問１　貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。
必須

選択してください

入力してください

問２　貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ） 必須

- ○ 農業、林業、漁業、鉱業
- ○ 建設業
- ○ 製造業
- ◉ 電気・ガス・熱供給・水道業
- ○ 情報通信業、IT関連業
- ○ 運輸業、郵便業
- ○ 卸売業、小売業
- ○ 金融業、保険業
- ○ 不動産業、物品賃貸業
- ○ 学術研究、専門・技術サービス業
- ○ 宿泊業、飲食サービス業
- ○ 生活関連サービス業、娯楽業
- ○ 教育、学習支援業
- ○ 医療、福祉
- ○ その他サービス業
- ○ 国家公務

- ◯ 地方公務
- ◯ 非営利団体
- ◯ その他

問３　貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ） 必須

- ◯ 20名未満
- ◯ 20名以上50名未満
- ◯ 50名以上100名未満
- ◯ 100名以上300名未満
- ◉ 300名以上1,000名未満
- ◯ 1,000名以上

ここからは以下・中央大学
「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」に関する
概要資料を見てからお答えください

行動する知性。
中央大学

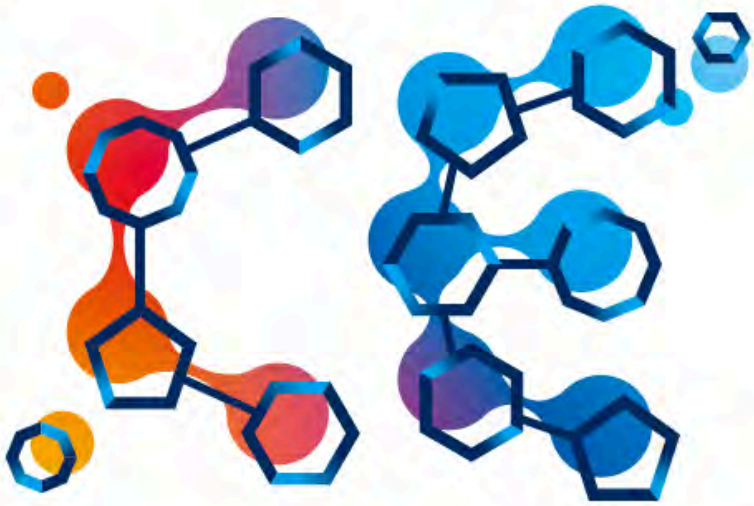
中央大学経済学部

CHUO University Faculty of Economics

経済学科※
Department of Economics

社会経済学科※
Department of Society and Economics

※いずれも仮称、設置構想中



中大経済のシン力が未来を動かす

1905年開設の伝統を誇る中央大学経済学部は、
時代に即して、変革を重ねてきました。
これからも、研究に基づく教育を「深化」「進化」させ、「真価」を発揮し続けます。

新・中央大学経済学部始動
2027年4月より 2学科 4コースへ

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。


Department of Economics
本質を見抜く 分析力の
経済学科
経済政策コース
政策分析プログラム
企業・産業分析プログラム
地域分析プログラム
国際経済コース
貿易・国際金融プログラム
国際開発プログラム
環境プログラム
START
こんな人におすすめ
データ分析のスキルを身に付けたい
国際・環境などの大規模課題に興味がある
進路
経済理論とデータ分析の基礎の上に専門的知識を修得し、変化する時代の中で社会を正しくリードしていく人材へ。
官公庁やシンクタンクで政策立案に携わる人
アナリスト
データサイエンティスト
民間企業で経営計画に携わる人
国際経済、国際金融関連のビジネス・大学活動に携わる人
環境問題、福祉政策に関わる人
大学院を経て研究者
社会に求められる
真の「経済学」とは
何だろうか?
絶えず変化し続ける社会で、複雑化する課題。
中央大学経済学部は、経済学の知識や思考を活かし、
社会に貢献できる力を養います。
［新たな中央大学経済学部のポイント］
Point 1 専門性を更に強化し社会に活きる能力を高める
Point 2 最先端の学び
Point 3 2年次でコース選択
Department of Society and Economics
最適解に挑む 実践力の
社会経済学科
社会経済コース
政治経済学プログラム
社会政策プログラム
社会経済史プログラム
地域・マネジメントコース
経営会計プログラム
統計・データサイエンスプログラム
地域創生プログラム
START
こんな人におすすめ
経営・会計・統計に興味がある
地域社会の課題解決に取り組みたい
進路
地域社会や企業・経営での問題に挑み、最適解を導き出し、その発展に貢献する人材へ。
公務員
金融機関
会計士・税理士
民間企業で課題解決・提案業務に携わる人
経営者や経営者
地域活性化支援ビジネスに関わる人
NPO・社会課題に関わる人
大学院を経て研究者

＜概要資料画像差し込み＞



◆経済学部経済学科（学科名仮称）についてお聞きします。

問４　中央大学が設置構想中の「経済学部経済学科（学科名仮称）」が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ）　必須

- ○ ニーズは高い
- ○ ニーズはある程度高い
- ○ ニーズはあまりない
- ○ ニーズはない

- ○ わからない

問５　中央大学が設置構想中の「経済学部経済学科（学科名仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ） 必須

- ◉ 採用したい
- ○ 採用しない
- ○ わからない

問６　問５で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。 必須

- ○ 1人
- ○ 2人
- ○ 3人
- ○ 4人
- ○ 5人以上

◆経済学部社会経済学科（学科名仮称）についてお聞きします。

問７　中央大学が設置構想中の「経済学部社会経済学科（学科名仮称）」が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ） 必須

- ○ ニーズは高い
- ○ ニーズはある程度高い
- ○ ニーズはあまりない
- ○ ニーズはない
- ○ わからない

問８　中央大学が設置構想中の「経済学部社会経済学科（学科名仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）
必須

- ◉ 採用したい
- ○ 採用しない
- ○ わからない

問９　問８で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。 必須

- ◯ 1人
- ◯ 2人
- ◯ 3人
- ◯ 4人
- ◯ 5人以上

※中央大学の本構想について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。 任意

※宜しければ貴社名をお教えください。こちらは、どの企業にご返送いただいたかを把握するための質問であり、ア ンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございません。 任意

送信

中央大学

「経済学部 経済学科/社会経済学科（いずれも学科名仮称）」

概要

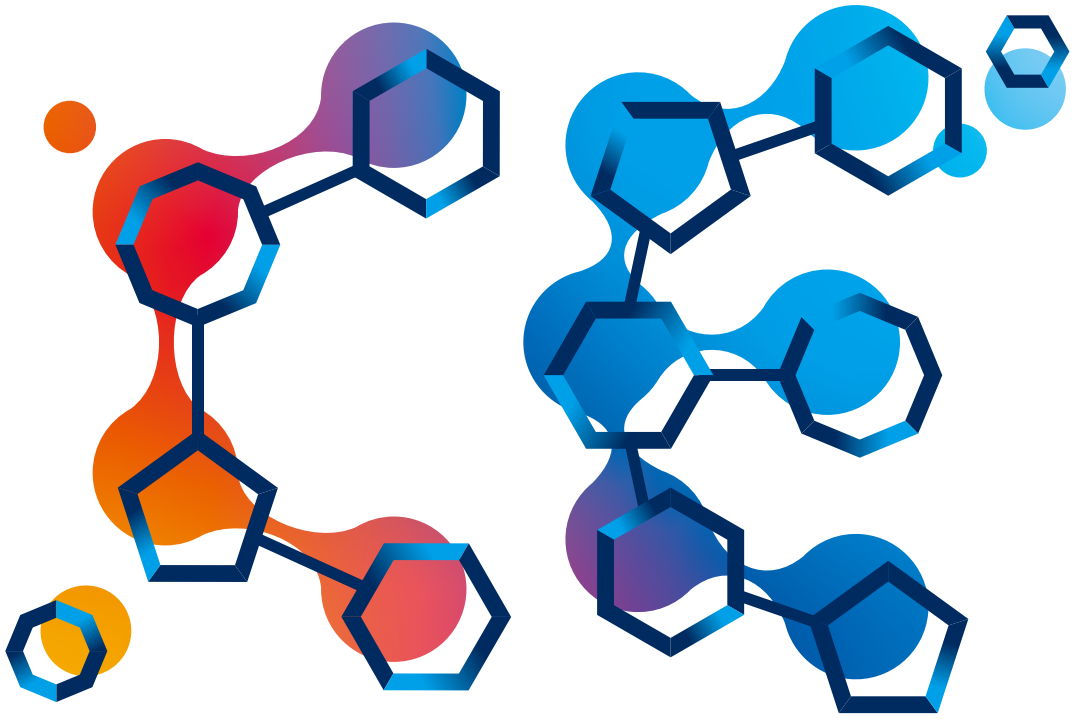
中央大学経済学部

CHUO University Faculty of Economics

経済学科※
Department of Economics

社会経済学科※
Department of Society and Economics

※いずれも仮称、設置構想中



中大経済のシンカが未来を動かす

1905年開設の伝統を誇る中央大学経済学部は、
時代に即して、変革を重ねてきました。
これからも、研究に基づく教育を「深化」「進化」させ、「真価」を発揮し続けます。

新・中央大学経済学部始動

2027年4月より 2学科 4コースへ

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

社会に求められる 真の「経済学」とは何だろうか？

絶えず変化し続ける社会で、複雑化する課題。
中央大学経済学部は、経済学の知識や思考を活かし、
社会に貢献できる力を養います。

新たな中央大学経済学部のポイント

Point 1 **専門性を更に強化し社会に活きる能力を高める**

学問体系に沿って、段階的・系統的に学ぶカリキュラムを整え、各学科が目指す専門知識を備えた人材を育成。また、自分の力を社会に還元する視点を持ち、社会的福祉に寄与できる力を養います。

Point 2 **最先端の学び**

絶えず変化・多様化する社会のニーズに対応できる力を身に付けるカリキュラムを実施します。

例 経済学科「リアル×デジタル」世界標準の学び　社会経済学科 多様な立場を理解する「フィールドワーク」

Point 3 **2年次でコース選択**

1年次は自分の関心のある領域を見定め、2年次でコース選択をすることで、なりたい自分により近づくことができます。

Department of Economics

本質を見抜く分析力の経済学科

（仮称、設置構想中）

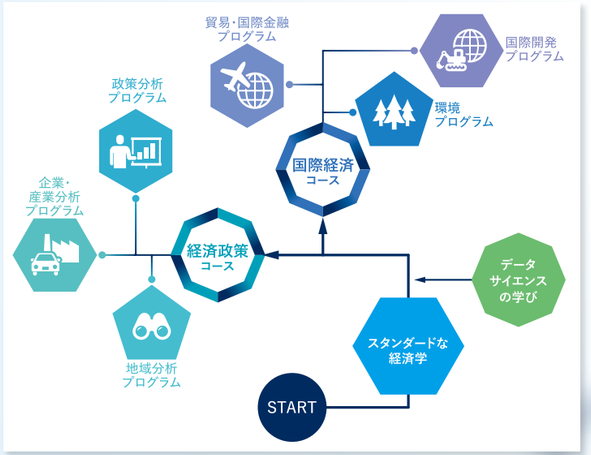
経済政策コース

- 政策分析プログラム
- 企業・産業分析プログラム
- 地域分析プログラム

国際経済コース

- 貿易・国際金融プログラム
- 国際開発プログラム
- 環境プログラム

ミクロ経済学・マクロ経済学をベースに理論を深く学び、企業・産業・国際・環境といった範囲の広い問題に対し理論とデータを駆使してその本質を見抜き、政策提言ができるようになります。



こんな人におすすめ

- データ分析のスキルを身に付けたい
- 国際・環境などの大規模課題に興味がある

進路　経済理論とデータ分析の基礎の上に専門的知識を修得し、変化する時代の中で社会を正しくリードしていく人材へ。

官公庁やシンクタンクで政策立案に携わる人　アナリスト
データサイエンティスト　民間企業で経営計画に携わる人
国際経済、国際金融関連のビジネスや活動に携わる人
環境問題、福祉政策に関わる人　大学院を経て研究者

Department of Society and Economics

最適解に挑む実践力の社会経済学科

（仮称、設置構想中）

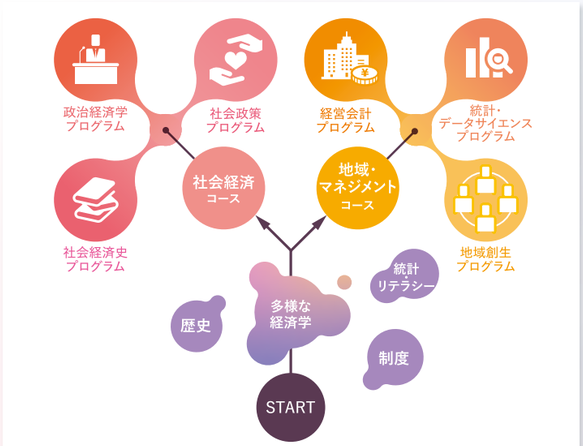
社会経済コース

- 政治経済学プログラム
- 社会政策プログラム
- 社会経済史プログラム

地域・マネジメントコース

- 経営会計プログラム
- 統計・データサイエンスプログラム
- 地域創生プログラム

ミクロ・マクロ経済学（入門）、マルクス経済学、歴史、制度、また経営や会計、統計まで幅広く学び、貧困・マイノリティ・ジェンダー・地域格差など、多様な立場が絡む諸問題に対して最適解をまとめる胆力を養います。



こんな人におすすめ

- 経営・会計・統計に興味がある
- 地域社会の課題解決に取り組みたい

進路　地域社会や企業・経営での問題に挑み、最適解を導き出し、その発展に貢献する人材へ。

公務員　金融機関　会計士・税理士
民間企業で課題解決・提案業務に携わる人
起業家や経営者　地域活性化支援ビジネスに関わる人
NPO・社会課題に関わる人　大学院を経て研究者

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

CHUO University
Faculty of Economics

Message

設置の理念

現代の複雑な社会課題に対応できる人材の育成は社会的要請であり、それに応えるため経済学部は現行の4学科（経済学科、経済情報システム学科、国際経済学科、公共・環境経済学科）を、経済学科と社会経済学科の2学科に再編します。新設の2学科では、経済学の体系に基づく2つの系統的カリキュラムにより、高度な専門知識の修得を図ります。



養成する人材像

経済学部では、本学の「建学の精神」である「實地應用ノ素ヲ養フ」教育を重視し、経済や経営についての専門的知識を備え、社会の多様なニーズに応えられる、冷静な思考力と温かい心を持った国際的な視野に立つ経済人を育成します。

経済学科

先端的な経済・経営知識を基に、物事の本質を見抜く冷徹な「頭脳」と他者への配慮を持ち、国際的に行動できる人材を育成。論理的思考力や優れたコミュニケーション力も養成します。

社会経済学科

経済学・統計学・経営学・会計学の専門知識を備えた上で、社会問題に対し多様な視点を踏まえ「最適解をまとめる胆力」を持つ人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

求める人材

経済学科

- 現実の経済現象を的確に把握するために、経済の専門知識を身に付けたい人
- 論理的で粘り強い思考力で、民間企業で活躍したい人
- 国際フィールド調査等の経験を生かして、内外を問わず、国際的に働きたい人
- 多様な空間を繋ぐコミュニケーションの能力で、物理的な壁に縛られないキャリアを描きたい人

社会経済学科

- 社会問題の背景にある経済の仕組みを専門的に学びたい人
- 民間企業や官公庁、NPO等で高度な経済学の専門知識を生かしたい人
- 起業家や経営者として必要なデータサイエンスや経営学の専門知識を学びたい人
- 会計に関する専門知識を生かして、公認会計士や税理士として活躍したい人

求められる資質（知識・能力・姿勢）

経済学およびその関連領域を学ぶ上で必要となる、高校までに身に付けておくべき基礎学力を持つ人

＋

経済学科

パソコンやタブレットによる情報処理スキルや分析スキル、オンラインツール技能の学修に強い意欲を有している。

＋

社会経済学科

さまざまな社会問題に関心を持ち、社会経済学科で学修する意欲と能力を有している。

学生納付金

（単位：円）

学費				諸会費		初年度納入額		
入学金（入学申込金）	授業料	教育充実費	施設設備費	父母連絡会費	学友会費	入学手続時納入金	入学後納入額	合計
240,000	873,600	15,000	232,100	5,000	10,000	815,350	560,350	1,375,700

※2027年度予定金額。今後、学費改定により変更になる場合があります。

定員数

（人）

	入学定員	収容定員
経済学科	542	2,168
社会経済学科	520	2,080
合計	1,062	4,248

※再編前後で定員数（合計）は同じです。

中央大学
経済学部

● アクセス
多摩キャンパス
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
モノレール口 多摩都市モノレール「中央大学・明星大学駅」直結
北門 京王動物園線「多摩動物公園駅」徒歩10分

● お問い合わせ TEL 042-674-3311

中央大学公式WEBサイト（経済学部）

経済学部特設WEBサイト

設置構想中のため学科名は仮称であり、掲載内容は変更となる場合があります。

経済学科

大学名	学部	学科
青山学院大学	経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済学科
法政大学	経済学部	経済学科
学習院大学	経済学部	経済学科
横浜国立大学	経済学部	経済学科

社会経済学科

大学名	学部	学科
明治大学	政治経済学部	経済学科
立教大学	経済学部	経済政策学科
青山学院大学	経済学部	現代経済デザイン学科
法政大学	経済学部	現代ビジネス学科
東京都立大学	経済経営学部	経済経営学科

中央大学

スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）

設置構想についての人材需要アンケート調査

報告書

令和8年1月

株式会社高等教育総合研究所

1.人材需要アンケート調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」（入学定員295人）における卒業後の採用・就職（人材需要）の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 中央大学卒業生の採用実績がある、もしくは新学部において想定される卒業後の進路に合致する地方公共団体や企業等 [業種]　スポーツ関連産業、情報通信業、IT関連業、公務など [調査地域]　主に首都圏を中心とするエリア [依頼件数]　1,595件
調査内容	・回答対象先の基本情報（所在地・業種・従業員／職員規模） ・中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」卒業生の人材ニーズ ・中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」卒業生の採用意向
調査時期	令和7年10月～12月
調査方法	調査対象事業所に対し依頼状を郵送し、同封のアンケート用紙、もしくはWEBフォームからのアンケート実施を依頼。
回収件数	有効回答数277件（回収率17.7%）
備考	本調査については、スポーツ情報学部の構想内容及び概要資料が変更された後に行っている。

2.人材需要アンケート調査 集計結果

※「回答割合」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。

選択肢	回答数	回答割合
北海道	4	1.4%
青森県	2	0.7%
岩手県	1	0.4%
宮城県	2	0.7%
秋田県	2	0.7%
山形県	2	0.7%
福島県	5	1.8%
茨城県	1	0.4%
栃木県	5	1.8%
群馬県	2	0.7%
埼玉県	14	5.1%
千葉県	8	2.9%
東京都	141	50.9%
神奈川県	18	6.5%
新潟県	2	0.7%
富山県	0	0.0%
石川県	2	0.7%
福井県	0	0.0%
山梨県	1	0.4%
長野県	7	2.5%
岐阜県	2	0.7%
静岡県	6	2.2%
愛知県	10	3.6%
三重県	0	0.0%
滋賀県	0	0.0%

選択肢	回答数	回答割合
京都府	1	0.4%
大阪府	11	4.0%
兵庫県	3	1.1%
奈良県	1	0.4%
和歌山県	1	0.4%
鳥取県	1	0.4%
島根県	1	0.4%
岡山県	3	1.1%
広島県	4	1.4%
山口県	0	0.0%
徳島県	0	0.0%
香川県	0	0.0%
愛媛県	1	0.4%
高知県	2	0.7%
福岡県	4	1.4%
佐賀県	0	0.0%
長崎県	1	0.4%
熊本県	1	0.4%
大分県	0	0.0%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	0	0.0%
沖縄県	0	0.0%
海外	1	0.4%
無回答	4	1.4%
合計	277	100.0%

問２　貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
スポーツ関連産業	51	18.4%
農業、林業、漁業、鉱業	1	0.4%
建設業	12	4.3%
製造業	27	9.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.7%
情報通信業、IT関連業	38	13.7%
運輸業、郵便業	3	1.1%
卸売業、小売業	19	6.9%
金融業、保険業	12	4.3%
不動産業、物品賃貸業	1	0.4%
学術研究、専門・技術サービス業	5	1.8%
宿泊業、飲食サービス業	3	1.1%
生活関連サービス業、娯楽業	8	2.9%
教育、学習支援業	2	0.7%
医療、福祉	0	0.0%
その他サービス業	19	6.9%
国家公務	5	1.8%
地方公務	47	17.0%
非営利団体	13	4.7%
その他	9	3.2%
無回答	0	0.0%
合計	277	100.0%

問３　貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
20名未満	25	9.0%
20名以上50名未満	37	13.4%
50名以上100名未満	14	5.1%
100名以上300名未満	36	13.0%
300名以上1,000名未満	49	17.7%
1,000名以上	115	41.5%
無回答	1	0.4%
合計	277	100.0%

問４　中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは高い	75	27.1%
ニーズはある程度高い	115	41.5%
ニーズはあまりない	39	14.1%
ニーズはない	3	1.1%
わからない	45	16.2%
無回答	0	0.0%
合計	277	100.0%

問５　中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	116	41.9%
採用しない	15	5.4%
わからない	142	51.3%
無回答	4	1.4%
合計	277	100.0%

問６　問５で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
1人	28	24.1%
2人	21	18.1%
3人	11	9.5%
4人	2	1.7%
5人以上	54	46.6%
無回答	0	0.0%
合計	116	100.0%

※問６の回答割合は問５で「採用したい」を選択した116事業所を全回答者数として算出。

※中央大学の本構想について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

番号	回答
1	スポーツ中央競技団体では若手登用の機会が少なく、今後若手採用については大きな需要があると思っております。 ただ、多くの中央競技団体は小規模であり、専門な分野だけを任せられる体力はなく、総合性（いろいろなことに取り組むことが出来る能力）の方が需要が高いと思っております。
2	社内のDX化推進に向けた即戦力となる。
3	当社は中央大学　体育会のOBの方の採用実績もございます（2024年卒）。何かありましたらお気軽にお声かけ下さい。
4	近年、Bリーグに代表されるように地方創生×スポーツ、企業×スポーツに関するプロフェッショナル人材の重要性は高まっていると感じています。 スポーツに関する学部はほかにもありますが、データサイエンスやAIの活用など他大学との差別化、学びの多様化が理解されると、そういった人材へのニーズは高まるのではないかと思います。データサイエンス系、健康科学系の学部は増えているのでそれらとどのように違う学びができる学部なのか興味があります。
5	当社においてどの学部であろうと有利不利になることはありません。また、拝見する限りですと当社の事業領域と重なる部分も少ないように考えられます。
6	学校における部活動の地域移行が進められる中で、スポーツを専門的に学んだ人材が必要とされる状況にあると想像します。
7	当社は広告代理店ですので、スポーツスポンサーシップやスポーツツーリズムなどに長けた人財を育成されることは非常に期待しております。 また、マーケティングについて学ぶことはスポーツのみならずあらゆるビジネスにも通じると思います。
8	国内ハンドボールのトップリーグ運営団体です。現状新卒採用は見送っていますが、インターン生の受入、産学共同での各種事業企画など広く大学の知見をお借りしたいと考えています。貴学の取り組みに期待しております。
9	IT技術を学生時代に習得することで、社会問題である少子高齢化対策の担い手になる人材育成が可能となります。
10	アカデミックの視点として、魅力的であると感じました。企業との交流などもあると、より実学として備わり、視野が広がる機会にもなると思うので、四年次のカリキュラムの実地応用がどのような内容か気になるところでした。
11	問5の質問の答えにもなりますが、特定の大学や学部のみを対象に採用の可否を判断する考えはございません。ただし、この学部で扱われる分野には、当クラブの事業内容や活動との親和性が高いと考えております。そのため、（例えば）大学側と連携し、体系的なプログラムとして定期的に学生をインターンシップ等で受け入れる仕組みを構築するなどが実現できれば面白いなとは考えております。そうした継続的な交流が、将来的に採用につながる形になれば双方にとって（学生にとってもミスマッチがなく）望ましいと考えています。
12	当社はエンタメ企業のため、スポーツとは直接的関係はございませんが、イベントのデータを分析できるなどあれば採用したいと考えております。
13	アンケート送付いただき、誠にありがとうございます。 弊社ではスポーツに関わっていた学生の方にも沢山入社いただいている為、新学科設置に期待しております。
14	・昨今、法令順守やモラル等が求められることがより多くなってきているので、ルール等の枠組みの中で目的のために最善策を考え実行することの経験を身に着けることができると良いと思います。 ・データを扱うことは今後どの業界や職種においても必要なスキルになると思います。それに加えて、そのデータを使って課題を解決したり、よりよい社会のための企画をする経験ができると、より良いと思います。
15	弊社の事業はスポーツとは直接関係ありませんが、データサイエンス力やビジネス力は大いに役立つと考えます。
16	・データサイエンスの知見および学びを通じて得られる分析力、理解力は当社事業のあらゆる場で必要とされるものだと考えており、大変期待しております。
17	関連の事業で貢献を期待いたします
18	スポーツ人材は非常に貴重で、採用には興味はありますが、弊社の規模が小さく、毎年の採用がないため、前質問を分からない、とさせて頂きました。
19	人体に関するデータ分析を行うなどで、データ分析の力を養っていただいている方であれば、IT企業でも活躍できるのではと思います。

20	職種採用はしておらず、店舗勤務が必須となるが将来的に学んだ知識をデータサイエンスなど情報系の部署で活躍できると存じます。
21	データを扱う技術だけでなく、それぞれのスポーツ現場に応じたデータの使い方ができる人材育成をしていただきたい。
22	スポーツ系の業種でなくても、データを扱う術は今後大いに武器になると思われます。データ利活用の人材は弊社にとって重宝します。
23	パソコン、英語、個人情報の取り扱い、セキュリティ、ちょっとしたプログラミング、デザイン、このあたりに得意な学生がいると採用しやすいと思います。
24	現在のスポーツ人材は、トップレベルのプロスポーツに適合した人材が多く、首都圏以外の地域や、総合スポーツクラブ及び小規模クラブチームなど、年間売上1～10億円規模の団体に適した人材は多くはないと感じている。それら中小規模の市場にも対応できる人材が増えることを期待している。
25	スポーツ領域（パフォーマンス、スカウティング、マーケティングなど）において、近年はデータサイエンスの導入がより進んでいることはおおむね真実かと思います。カリキュラムにおいては、より一般的・汎用的なテーマを取り扱うことになるとは想像しますが、学部の対象としてスポーツに特化することは幾分スポットが狭すぎるような印象を受けました。
26	スポーツの医・科学的トレーニングに関する研究及び実証実験
27	当市は基礎自治体です。基礎自治体のスポーツ振興は、住民の健康増進、コミュニティ形成、地域活性化等に資する、重要な施策です。ご構想の学びを深められた人材が、地域のスポーツ振興分野でご活躍されることを期待しています。
28	中央の商業化されたスポーツだけでなく、地方のスポーツ事情、発展途上の選手育成、競技環境などにも目を向けてほしい。ひいては地方をスポーツで活性化できるような仕掛けができるような 人材育成をしてほしい。そのためにも、地域性や風土、人心といった１００％はデータ化できない部分へのアジャスト能力を求めたい。頭でっかちでない振る舞い、コミュニケーション能力、社会性は絶対に外さないでほしい。

3.人材需要アンケート調査 結果の要点

■スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）

採用意向集計結果（「2. 人材需要アンケート調査 集計結果」より）

中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」で養成する人材のニーズについては「ニーズは高い」75事業所(27.1%)、「ニーズはある程度高い」115事業所(41.5%)で合計すると190事業所(68.6%)がそのニーズの高さを認める結果となった。
また、116事業所(41.9%)が採用意向を示し、その上での採用可能人数(単年度)合計は予定する入学定員295人の1.3倍となる381人であった。

問４　養成する人材の社会的なニーズ

人材ニーズは高い・ある程度高い	190事業所	68.6%
人材ニーズはない・あまりない	42事業所	15.2%
わからない・無回答	45事業所	16.2%
合計	277事業所	100.0%

問５　卒業生の採用意向

採用したい	116事業所	41.9%
採用しない	15事業所	5.4%
わからない・無回答	146事業所	52.7%
合計	277事業所	100.0%

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	合計
「採用したい」の回答数	28	21	11	2	54	0	116
採用可能人数計（回答数×採用可能人数）	**28人**	**42人**	**33人**	**8人**	**270人**	**0人**	**381人**

※「5人以上」は5人として計算した。

人材需要アンケート調査用紙

中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」
設置構想についての人材需要アンケート調査（対象：人事・採用ご担当者様）

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本学では、2027（令和 9）年 4 月、「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」の設置を構想しております。同学部・学科についての概要資料をご覧の上、採用意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、本構想は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※本アンケート調査への回答は１回のみとなります。2025 年度において、中央大学が実施した本アンケート調査と同一内容のアンケートに回答した方は再度回答できません。

※本アンケート調査は中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケート調査および概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

問 1　貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。

国内でない場合は「海外」に〇をつけてください。

［　　］　都　道　府　県　　または　　海外

問 2　貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。

（あてはまるもの１つに〇）

1. スポーツ関連産業　　2. 農業、林業、漁業、鉱業　　3. 建設業
4. 製造業　　5. 電気・ガス・熱供給・水道業　　6. 情報通信業、IT 関連業
7. 運輸業、郵便業　　8. 卸売業、小売業　　9. 金融業、保険業
10. 不動産業、物品賃貸業　　11. 学術研究、専門・技術サービス業
12. 宿泊業、飲食サービス業　　13. 生活関連サービス業、娯楽業
14. 教育、学習支援業　　15. 医療、福祉　　16. その他サービス業
17. 国家公務　　18. 地方公務　　19. 非営利団体　　20. その他

問 3　貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。

（あてはまるもの１つに〇）

1. 20 名未満　　2. 20 名以上 50 名未満
3. 50 名以上 100 名未満　　4. 100 名以上 300 名未満
5. 300 名以上 1,000 名未満　　6. 1,000 名以上

→ 裏面に続く

ここからは別添の中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」に関する概要資料を見てからお答えください。

問４　中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つに○）

1. ニーズは高い　　2. ニーズはある程度高い　　3. ニーズはあまりない
4. ニーズはない　　5. わからない

問５　中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」が養成する人材について採用したいと思われますか。（あてはまるもの１つに○）

1. 採用したい　　2. 採用しない　　3. わからない

▶問６　問５で「1. 採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

1. １人　　2. ２人　　3. ３人　　4. ４人　　5. ５人以上

問７　中央大学の本構想について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

よろしければ貴社名をお教えください。こちらは、どの企業にご返送いただいたかを把握するための質問であり、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございません。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

人材需要アンケート調査WEB画面

中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」設置構想についての人材需要アンケート調査

（対象：人事・採用ご担当者様）

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本学では、2027年4月、「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」の設置を構想しております。同学部・学科についての概要資料（問3の後、5/5ページに表示されます）をご覧の上、採用意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、本構想は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※本アンケート調査は中央大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケート調査および概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

アンケート調査開始時のお願い 必須

※本アンケート調査への回答は１回のみとなります。2025年度において、中央大学が実施した本アンケート調査と同一内容のアンケートに回答した方は再度回答できません。

☑ 同意して回答する

なお、同年に設置を構想している他学部におきましても、同様の人材需要調査を実施しております。そのため、弊学から複数の依頼が届く場合がございますが、その際にはそれぞれにご回答・ご協力を賜りますと幸甚に存じます。

問１　貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。
必須

選択してください

入力してください

問２　貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ）　必須

- スポーツ関連産業
- 農業、林業、漁業、鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業、IT関連業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- その他サービス業

- ◯ 国家公務
- ◯ 地方公務
- ◯ 非営利団体
- ◯ その他

問３　貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの１つ） 必須

- ◯ 20名未満
- ◯ 20名以上50名未満
- ◯ 50名以上100名未満
- ◯ 100名以上300名未満
- ◯ 300名以上1,000名未満
- ◯ 1,000名以上

ここからは以下・中央大学「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」に関する概要資料を見てからお答えください


データサイエンスで
世界はもっと躍動する
Heart : 147.4bpm
TOP SPEED : 8.47 m/s
Stamina :
Kick Point:
Shooting angle
Shooting impact
Ball rotation speed
xG:17.9
熱狂の裏には、膨大なデータがある。
その一つひとつに、
人々の意志や情熱が刻まれている。
その一つひとつに、
社会を変えるヒントが眠っている。
君の好きなスポーツで学ぶ、
データを読み解き使う力は、
やがて社会を動かす。
君の“スキ”が、社会の未来を創る。
中央大学に、スポーツ情報学部（仮称）新設。
［2027年4月開設予定（設置構想中）］

行動する知性。
中央大学


止めるな、世界。
動かせ、未来。
スポーツ情報学部、始動。
スポーツでデータサイエンスを学び、社会を変革する。
［2027年4月開設予定（学部名仮称/設置構想中）］
「AI・データサイエンス」の能力・技術により、
社会課題を解決する力を養成する。
持続可能な社会へ向けて、より良い未来の構築に
貢献できる新たな学部が誕生。
【設置の理念】 近年、多くのスポーツの現場において、
スタッツなどのデータ分析による戦術立案や選手評価、データに基づく
マーケティング戦略考案や価格設定、AR技術などによるデータ可視化を利用した
新たな観戦体験などにAIやデータサイエンスの活用が積極的に行われています。
データを十二分に分析・活用するには、データを収集・加工・管理する仕組みに加え、
分析したデータが現場で活用されるように促すためのコミュニケーション力も必要です。
スポーツ情報学部（仮称）は、データサイエンスとビジネスの文理横断・融合型の学びにより、
スポーツデータサイエンスやスポーツビジネスの分野を通じてAI・データサイエンスに関する
知識や技術を身に付け、社会における課題を発見・分析し、解決策を立案、
社会に実装できる人材を養成するとともに、持続可能でウェルビーイングな社会の実現に貢献します。
データを正しく分析し
社会課題の解決を導ける人材に
学びのアウトライン
どのようにデータを
取得・管理するか、集まった
データから何を読み取るか、
スポーツ現場と
コミュニケーションを図り、
テクノロジーと人間の
橋渡しを実現。
スポーツデータサイエンス
スポーツデータエンジニアリング
データサイエンスコース
AI・データサイエンスによる
分析やモデリングなど、
スポーツアナリティクスや
スポーツデータサイエンスを追究
スポーツビジネスコース
スポーツ現場
養成する人材像
AI・データサイエンスに関する知識や技術とビジネスの専門知識により、データを適切に分析し、その背景にある本質的な課題を正しく見抜いたうえで、的確な課題解決策を策定することができ、その実装を通じてウェルビーイングな社会の構築に貢献できる人材を養成します。
期待される卒業後の進路
AI・データサイエンスの応用領域としてスポーツデータサイエンスやスポーツビジネスの分野を修めた卒業生は、データサイエンス力とビジネス力を備えたデータ活用人材として下記の進路先で活躍することを想定しています。
企業（IT・スポーツ産業他）
コンサルティング
NPO法人
スポーツ運営組織
大学院
など
TACTICAL ANALYSIS
学びの特色
数理・データサイエンス・AI教育プログラムへ申請予定
2年次までのカリキュラムで文部科学省が定める数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）の認定取得を目指します。
企業・地域団体と連携したPBL型教育を推進
学内外の企業や団体・地域と連携した問題解決型教育を通じて、実践的にデータサイエンスを学びます。
文理融合の学びを実現するきめ細やかな教育
入学時における文理の背景を考慮して数学系科目のレベル別クラスやフォローアップ教育を充実させます。
こんな人にオススメ
各種スポーツデータに関するスタッツなどのデータ分析に興味がある。
スポーツ観戦などを通じて、グッズ販売やチケット販売動向などのマーケティングに関するデータに興味がある。
マネージャーやデータアナリストなどの経験を通じてスポーツアナリティクスに興味がある。
学びのキーワード
人工知能
スポーツアナリティクス
画像処理
ブランド
動作解析
マネジメント
スポーツテック
ファンエンゲージメント
スポーツスポンサーシップ
統計
プログラミング
分析
拡張スポーツ
学びのPICK UP
データサイエンス×スポーツ
ウェアラブル端末、
AR・VR技術の活用、eスポーツなど、
スポーツデータサイエンスの
可能性を追求できる科目を
多数実施予定です。
スポーツプラクティス
スポーツの現場を担う企業等と
連携をして、企業が抱える
実際の課題に挑戦し、
多くの「気付き」が得られるような
PBL型の実践科目を実施予定です。
※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。
カリキュラム
入学・コース選択
1年次
データを活用する基礎力と
社会的思考力、広い視野の修得
2年次
データサイエンティスト人材として、
専門基礎の主体と応用への接続
3年次
各専門領域における
応用力・実践力の獲得
4年次
社会を変革する
「実地応用」力の修成
将来の進路
データ活用人材
企業
コンサルティング
NPO法人
スポーツ運営組織
大学院
※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。



中央大学 スポーツ情報学部 スポーツ情報学科 概要

［2027年4月開設予定（学部学科名仮称/設置構想中）］

学部・学科名称	スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）
学部・学科設置場所	多摩キャンパス
入学定員／収容定員	入学定員：295名／収容定員：1,180名
初年度納付金（予定）	1,720,000円（入学金：240,000円＋授業料等：1,480,000円） ※「授業料等」には、施設設備費・実験実習料を含みます。 ※その他諸会費（父母連絡会費：5,000円、学友会費：10,000円）が必要となります。 ※実費精算が必要な体験型授業等への参加費用・経費が別途必要となる場合があります。
アドミッションポリシー	［知識・技能］ AI・データサイエンスに関する知識や技術とビジネスの専門知識による、課題発見・解決能力および実行能力を涵養する本学部の学びに向けて、高等学校における数学を中心に、各教科・科目について文系・理系問わず幅広く学ぶ意志・関心があることが望まれます。 ［思考力・判断力・表現力等］ 論理的かつ合理的な思考力に加え、コミュニケーション力・理解力・読解力・数学的思考力を備えていることが望まれます。 ［学ぶ態度・姿勢］ AI・データサイエンスに関する知識・技術を始め、スポーツデータサイエンスやスポーツビジネスに関する諸領域の学びと当該領域における課題発見・解決に興味・関心を有するとともに、そういった学びの先にある持続可能でウェルビーイングな社会の実現を目指す態度・姿勢を有していることが望まれます。
類似する大学・学部	●青山学院大学：社会情報学部 社会情報学科 ●関 西 大 学：ビジネスデータサイエンス学部 ビジネスデータサイエンス学科 ●千 葉 大 学：情報・データサイエンス学部 情報・データサイエンス学科 ●一 橋 大 学：ソーシャル・データサイエンス学部 ソーシャル・データサイエンス学科 ●早 稲 田 大 学：スポーツ科学部 スポーツ科学科

多摩キャンパスアクセス

●京王動物園線「多摩動物公園駅」から徒歩約10分
●JR中央線「豊田駅」からバス約15分　バス停「中央大学」下車
●京王線・小田急線「多摩センター駅」からバス約12分　バス停「中央大学」下車

多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」直結

公式HPやSNSでも最新情報を発信中

中央大学 受験生ナビ Connect Web CHUO UNIV.
中央大学 入学センター 公式LINE @chuo_admissions
中央大学 入学センター 公式X @chuo_admission
中央大学 入学センター 公式Instagram @chuo_admission

行動する知性。 中央大学

<スポーツ情報学部（仮称）に関するお問い合わせ>
●スポーツ情報学部（仮称）
開設準備室事務室 TEL：042-674-2437

<多摩キャンパス>
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学公式サイト https://www.chuo-u.ac.jp

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

問４　中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」が養成する人材についての社会的なニーズについてお答えください。（あてはまるもの１つ）　必須

- ○ ニーズは高い
- ○ ニーズはある程度高い
- ○ ニーズはあまりない
- ○ ニーズはない
- ○ わからない

問５　中央大学が設置構想中の「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称)」が養成する人材について採用したいと思われますか。(あてはまるもの１つ) 必須

- ◉ 採用したい
- ○ 採用しない
- ○ わからない

問６　問５で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。 必須

- ○ 1人
- ○ 2人
- ○ 3人
- ○ 4人
- ○ 5人以上

※中央大学の本構想について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。 任意

※宜しければ貴社名をお教えください。こちらは、どの企業にご返送いただいたかを把握するための質問であり、ア ンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございません。 任意

送信

中央大学

「スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）」

概要

データサイエンスで世界はもっと躍動する



熱狂の裏には、膨大なデータがある。

その一つひとつに、
人々の意志や情熱が刻まれている。
その一つひとつに、
社会を変えるヒントが眠っている。

君の好きなスポーツで学ぶ、
データを読み解き使う力は、
やがて社会を動かす。
君の“スキ”が、社会の未来を創る。

中央大学に、スポーツ情報学部（仮称）新設。

［2027年4月開設予定（設置構想中）］



止めるな、世界。
動かせ、未来。

スポーツ情報学部、始動。

スポーツでデータサイエンスを学び、社会を変革する。

［2027年4月開設予定（学部名仮称/設置構想中）］





「AI・データサイエンス」の能力・技術により、社会課題を解決する力を養成する。持続可能な社会へ向けて、より良い未来の構築に貢献できる新たな学部が誕生。

【設置の理念】 近年、多くのスポーツの現場において、スタッツなどのデータ分析による戦術立案や選手評価、データに基づくマーケティング戦略考案や価格設定、AR技術などによるデータ可視化を利用した新たな観戦体験などにAIやデータサイエンスの活用が積極的に行われています。データを十二分に分析・活用するには、データを収集・加工・管理する仕組みに加え、分析したデータが現場で活用されるように促すためのコミュニケーション力も必要です。スポーツ情報学部（仮称）は、データサイエンスとビジネスの文理横断・融合型の学びにより、**スポーツデータサイエンス**や**スポーツビジネス**の分野を通じてAI・データサイエンスに関する知識や技術を身に付け、社会における課題を発見・分析し、解決策を立案、社会に実装できる人材を養成するとともに、持続可能でウェルビーイングな社会の実現に貢献します。





データを正しく分析し社会課題の解決を導ける人材に









学びのアウトライン

どのようにデータを取得・管理するか、集まったデータから何を読み取るか。スポーツ現場とコミュニケーションを図り、テクノロジーと人間の橋渡しを実現。

スポーツデータサイエンス

スポーツデータエンジニアリング

データサイエンスコース

AI・データサイエンスによる分析やモデリングなど、スポーツアナリティクスやスポーツデータサイエンスを追究

スポーツビジネスコース

データに基づくマーケティング分析・マネジメント戦略やスポーツツーリズムなど、スポーツビジネスや地域経済の発展に寄与



スポーツ現場



養成する人材像

AI・データサイエンスに関する知識や技術とビジネスの専門知識により、データを適切に分析し、その背景にある本質的な課題を正しく見抜いたうえで、的確な課題解決案を策定することができ、その実装を通じてウェルビーイングな社会の構築に貢献できる人材を養成します。

期待される卒業後の進路

AI・データサイエンスの応用領域としてスポーツデータサイエンスやスポーツビジネスの分野を修めた卒業生は、データサイエンス力とビジネス力を備えたデータ活用人材として下記の進路先で活躍することを想定しています。

企業（IT・スポーツ産業他） / コンサルティング / NPO法人 / スポーツ運営組織 / 大学院 など

学びの特色

数理・データサイエンス・AI教育プログラムへ申請予定
2年次までのカリキュラムで文部科学省が定める数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）の認定取得を目指します。

企業・地域団体と連携したPBL型教育を推進
学内外の企業や団体・地域と連携した問題解決型教育を通じて、実践的にデータサイエンスを学びます。

文理融合の学びを実現するきめ細やかな教育
入学時における文理の背景を考慮して数学系科目のレベル別クラスやフォローアップ教育を充実させます。

こんな人にオススメ

- 各種スポーツデータに関するスタッツなどのデータ分析に興味がある。
- スポーツ観戦などを通じて、グッズ販売やチケット販売動向などのマーケティングに関するデータに興味がある。
- マネージャーやデータアナリストなどの経験を通じてスポーツアナリティクスに興味がある。

学びのキーワード

人工知能
スポーツアナリティクス / 画像処理 / ブランド / AR/VR / 動作解析 / マネジメント / バイオメカニクス / スポーツテック / eスポーツ / ファンエンゲージメント / スポーツスポンサーシップ / 統計 / プログラミング / 分析 / 拡張スポーツ

学びのPICK UP



データサイエンス×スポーツ
ウェアラブル端末、AR・VR技術の活用、eスポーツなど、スポーツデータサイエンスの可能性を追求できる科目を多数実践予定です。



スポーツプラクティス
スポーツの現場を担う企業等と連携をして、企業が抱える実際の課題に挑戦し、多くの「気付き」が得られるようなPBL型の実践科目を実施予定です。

カリキュラム

入学・コース選択

1年次	2年次	3年次	4年次	将来の進路
データを活用する基礎力と複合的思考力、広い視野の獲得	データサイエンティスト人材として、専門基礎の定着と応用への接続	各専門領域における応用力・実践力の涵養	社会を変革する「実地応用」力の醸成	データ活用人材

数理・情報・データサイエンスへの理解
スポーツと統計学 / 微分積分・線形代数 / データサイエンス基礎技術
多変量解析 / スポーツテックとデータ活用 / アルゴリズムとプログラミング / AI・データサイエンス応用基礎
外国語・プロダクトデザイン・法学・色彩学 etc.
経営学 / 経済学（ミクロ・マクロ）/ マーケティング論
ビジネスデータサイエンス / 会計論（財務・管理）/ スポーツマーケティング / 経営戦略論
経済・ビジネスへの理解

専門演習（ゼミ形式による卒業課題・卒業研究）
機械学習、最適化、質的データ解析 / データ構造とアルゴリズム / 自然言語処理と生成AI
画像処理とAI動作解析 / スポーツ映像分析論 / デジタル・マーケティング
スポーツファイナンス / スポーツツーリズム / スポーツスポンサーシップ論

地域やプロスポーツ組織等と連携した現場課題解決型（PBL型）教育　イベントプロデュース演習・スポーツアナリティクス実習・スポーツツーリズム実践論 etc.

企業 / コンサルティング / NPO法人 / スポーツ運営組織 / 大学院

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

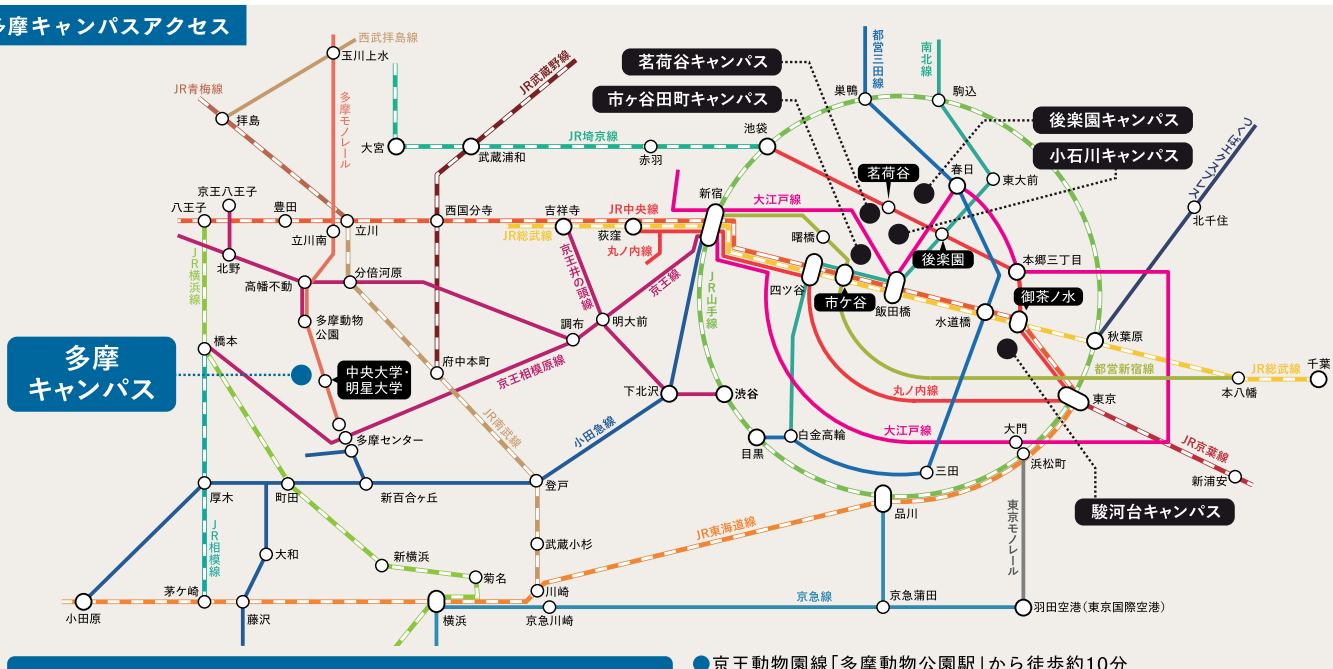
※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

中央大学 スポーツ情報学部 スポーツ情報学科 概要

［2027年4月開設予定（学部学科名仮称/設置構想中）］

学部・学科名称	スポーツ情報学部 スポーツ情報学科（仮称）
学部・学科設置場所	多摩キャンパス
入学定員／収容定員	入学定員：295名／収容定員：1,180名
初年度納付金（予定）	1,720,000円（入学金：240,000円＋授業料等：1,480,000円） ※「授業料等」には、施設設備費・実験実習料を含みます。 ※その他諸会費（父母連絡会費:5,000円、学友会費:10,000円）が必要となります。 ※実費精算が必要な体験型授業等への参加費用・経費が別途必要となる場合があります。
アドミッションポリシー	［知識・技能］ AI・データサイエンスに関する知識や技術とビジネスの専門知識による、課題発見・解決能力および実行能力を涵養する本学部の学びに向けて、高等学校における数学を中心に、各教科・科目について文系・理系問わず幅広く学ぶ意志・関心があることが望まれます。 ［思考力・判断力・表現力等］ 論理的かつ合理的な思考力に加え、コミュニケーション力・理解力・読解力・数学的思考力を備えていることが望まれます。 ［学ぶ態度・姿勢］ AI・データサイエンスに関する知識・技術を始め、スポーツデータサイエンスやスポーツビジネスに関する諸領域の学びと当該領域における課題発見・解決に興味・関心を有するとともに、そういった学びの先にある持続可能でウェルビーイングな社会の実現を目指す態度・姿勢を有していることが望まれます。
類似する大学・学部	●青山学院大学：社会情報学部 社会情報学科 ●関　西　大　学：ビジネスデータサイエンス学部 ビジネスデータサイエンス学科 ●千　葉　大　学：情報・データサイエンス学部 情報・データサイエンス学科 ●一　橋　大　学：ソーシャル・データサイエンス学部 ソーシャル・データサイエンス学科 ●早 稲 田 大 学：スポーツ科学部 スポーツ科学科

多摩キャンパスアクセス



多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」直結

- 京王動物園線「多摩動物公園駅」から徒歩約10分
- JR中央線「豊田駅」からバス約15分　バス停「中央大学」下車
- 京王線・小田急線「多摩センター駅」からバス約12分　バス停「中央大学」下車

公式HPやSNSでも最新情報を発信中

中央大学 受験生ナビ Connect Web CHUO UNIV.

中央大学 入学センター 公式LINE @chuo_admissions

中央大学 入学センター 公式X @chuo_admission

中央大学 入学センター 公式Instagram @chuo_admission

行動する知性。
中央大学

＜スポーツ情報学部（仮称）に関するお問い合わせ＞
●スポーツ情報学部（仮称）
開設準備室事務室 TEL：042-674-2437

＜多摩キャンパス＞
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学公式サイト https://www.chuo-u.ac.jp

※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙１

〇出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位５都道府県）※直近年度

	都道府県名	人　　数	構成比
1	東京都	55,740人	34.6%
2	神奈川県	23,187人	14.4%
3	埼玉県	19,060人	11.8%
4	千葉県	14,569人	9.1%
5	茨城県	5,853人	3.6%
	全　　体	160,910人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

〇新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地（都道府県）	充足率		
		令和５年度	令和６年度	令和７年度
1	東京都	103.57%	102.88%	105.69%
2				

※２校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

〇新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和５年度	令和６年度	令和７年度
1	理・工学系	101.88%	99.39%	102.31%
2	社会科学系	102.70%	102.49%	105.56%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の収容定員の充足状況

別紙２の１

○収容定員充足率

申請者が設置する全ての大学等（大学、短期大学、高等専門学校のみ）の
既設の学部（短期大学又は高等専門学校は学科）について記載してください。

大学等名	学部等名	学科名	収容定員	学生数 （令和7年5月1日現在）	収容定員充足率	備考
中央大学	法学部		5756人	5792人	1.00	
		法律学科	3528人	3512人	0.99	
		政治学科	1556人	1566人	1.00	
		国際企業関係法学科	672人	714人	1.06	
	経済学部		4248人	4498人	1.05	附則第4項 5人
		経済学科	1868人	1866人	0.99	附則第4項 2人
		経済情報システム学科	720人	764人	1.06	
		国際経済学科	1060人	1161人	1.09	附則第4項 2人
		公共・環境経済学科	600人	707人	1.17	附則第4項 1人
	商学部		4080人	4348人	1.06	附則第4項 1人
		経営学科	1200人	1290人	1.07	
		会計学科	1200人	1284人	1.07	附則第4項 1人
		国際マーケティング学科	1200人	1240人	1.03	
		金融学科	480人	534人	1.11	
	理工学部		4080人	4323人	1.05	附則第2項 2人 第4項 3人
		数学科	280人	326人	1.16	
		物理学科	280人	326人	1.16	
		都市環境学科	360人	368人	1.02	
		精密機械工学科	580人	621人	1.07	附則第4項 1人
		電気電子情報通信工学科	540人	566人	1.04	附則第2項 2人
		応用化学科	580人	605人	1.04	附則第4項 1人
		ビジネスデータサイエンス学科	460人	457人	0.99	附則第4項 1人
		情報工学科	400人	446人	1.11	
		生命科学科	300人	322人	1.07	
		人間総合理工学科	300人	286人	0.95	
	文学部		3960人	4204人	1.06	附則第4項 2人
		人文社会学科	3960人	4204人	1.06	附則第4項 2人
	総合政策学部		1200人	1261人	1.05	附則第4項 2人
		政策科学科	600人	626人	1.04	附則第4項 2人
		国際政策文化学科	600人	635人	1.05	
	国際経営学部		1200人	1283人	1.06	
		国際経営学科	1200人	1283人	1.06	
	国際情報学部		600人	645人	1.07	附則第4項 2人
		国際情報学科	600人	645人	1.07	附則第4項 2人

※上記には、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第２項及び第４項を
適用した場合の学生数及び収容定員充足率を記入してください。その場合は、備考にその内訳を記入してください。
※大学院、専攻科、別科、募集停止を行った学部等については記載不要です。
※行は適宜追加してください。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１

大学学部学科等名：中央大学法学部法律学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数	171人	158人	181人	223人	259人	198人
		受験者数	171人	158人	181人	223人	259人	198人
		合格者数	24人	25人	26人	23人	34人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	7人	12人	12人	21人	11人
	実人数	志願者数	171人	158人	181人	223人	259人	198人
		受験者数	171人	158人	181人	223人	259人	198人
		合格者数	24人	25人	26人	23人	34人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	7人	12人	12人	21人	11人
	入学者数		21人	18人	14人	11人	13人	15人
学校推薦型選抜	募集人数		237人	237人	237人	237人	237人	237人
	延べ人数	志願者数	348人	361人	344人	332人	385人	354人
		受験者数	348人	361人	344人	332人	385人	354人
		合格者数	348人	361人	344人	332人	385人	354人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	7人	10人	6人	8人	8人
	実人数	志願者数	348人	361人	344人	332人	385人	354人
		受験者数	348人	361人	344人	332人	385人	354人
		合格者数	348人	361人	344人	332人	385人	354人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	7人	10人	6人	8人	8人
	入学者数		340人	354人	334人	326人	377人	346人
一般選抜	募集人数		437人	437人	437人	437人	437人	437人
	延べ人数	志願者数	5971人	5272人	5635人	5450人	5524人	5570人
		受験者数	5268人	4902人	5276人	5088人	5070人	5121人
		合格者数	1714人	1301人	1329人	1324人	1281人	1390人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1351人	999人	1021人	1042人	980人	1079人
	実人数	志願者数	4642人	3703人	3961人	3550人	3587人	3889人
		受験者数	4027人	3429人	3693人	3354人	3362人	3573人
		合格者数	1473人	1046人	1055人	994人	1005人	1115人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1110人	744人	747人	712人	704人	803人
	入学者数		363人	302人	308人	282人	301人	311人
共通テスト利用入試	募集人数		145人	145人	145人	145人	145人	145人
	延べ人数	志願者数	3804人	2592人	2886人	2913人	3316人	3102人
		受験者数	3804人	2592人	2886人	2892人	3298人	3094人
		合格者数	1481人	1159人	1283人	1527人	1563人	1403人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1331人	1032人	1144人	1362人	1374人	1249人
	実人数	志願者数	3804人	2592人	2886人	2913人	3316人	3102人
		受験者数	3804人	2592人	2886人	2892人	3298人	3094人
		合格者数	1481人	1159人	1283人	1527人	1563人	1403人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1331人	1032人	1144人	1362人	1374人	1249人
	入学者数		150人	127人	139人	165人	189人	154人
その他の特別選抜	募集人数		48人	48人	48人	48人	48人	48人
	延べ人数	志願者数	149人	122人	153人	147人	148人	144人
		受験者数	143人	113人	139人	137人	144人	135人
		合格者数	65人	67人	65人	63人	64人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	20人	19人	18人	16人	18人
	実人数	志願者数	149人	122人	153人	147人	148人	144人
		受験者数	143人	113人	139人	137人	144人	135人
		合格者数	65人	67人	65人	63人	64人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	20人	19人	18人	16人	18人
	入学者数		46人	47人	46人	45人	48人	46人
合計	募集人数		882人	882人	882人	882人	882人	882人
	延べ人数	志願者数	10443人	8505人	9199人	9065人	9632人	9369人
		受験者数	9734人	8126人	8826人	8672人	9156人	8903人
		合格者数	3632人	2913人	3047人	3269人	3327人	3238人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2712人	2065人	2206人	2440人	2399人	2364人
	実人数	志願者数	9114人	6936人	7525人	7165人	7695人	7687人
		受験者数	8493人	6653人	7243人	6938人	7448人	7355人
		合格者数	3391人	2658人	2773人	2939人	3051人	2962人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2471人	1810人	1932人	2110人	2123人	2089人
	入学者数		920人	848人	841人	829人	928人	873人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	882人	882人	882人	882人	882人	882人
入学定員充足率	1.04	0.96	0.95	0.94	1.05	0.99
歩留率	0.25	0.29	0.28	0.25	0.28	0.27

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－２

大学学部学科等名：中央大学法学部国際企業関係法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	33人	21人	22人	23人	20人	24人
		受験者数	33人	21人	22人	23人	20人	24人
		合格者数	5人	1人	3人	2人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	33人	21人	22人	23人	20人	24人
		受験者数	33人	21人	22人	23人	20人	24人
		合格者数	5人	1人	3人	2人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	1人	2人	1人
	入学者数		4人	1人	2人	1人	1人	2人
学校推薦型選抜	募集人数		37人	37人	37人	37人	37人	37人
	延べ人数	志願者数	94人	95人	100人	92人	92人	95人
		受験者数	94人	95人	100人	92人	92人	95人
		合格者数	94人	95人	99人	92人	92人	94人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	1人	5人	3人	2人
	実人数	志願者数	94人	95人	100人	92人	92人	95人
		受験者数	94人	95人	100人	92人	92人	95人
		合格者数	94人	95人	99人	92人	92人	94人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	1人	5人	3人	2人
	入学者数		94人	93人	98人	87人	89人	92人
一般選抜	募集人数		93人	93人	93人	93人	93人	93人
	延べ人数	志願者数	1063人	722人	816人	811人	670人	816人
		受験者数	934人	677人	774人	757人	615人	751人
		合格者数	419人	286人	235人	230人	200人	274人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	370人	230人	195人	184人	158人	227人
	実人数	志願者数	959人	565人	685人	662人	544人	683人
		受験者数	836人	525人	646人	628人	517人	630人
		合格者数	377人	243人	185人	205人	178人	238人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	328人	187人	145人	159人	136人	191人
	入学者数		49人	56人	40人	46人	42人	47人
共通テスト利用入試	募集人数		28人	28人	28人	28人	28人	28人
	延べ人数	志願者数	777人	561人	423人	895人	761人	683人
		受験者数	777人	561人	423人	888人	743人	678人
		合格者数	392人	262人	243人	374人	422人	339人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	360人	239人	227人	359人	369人	311人
	実人数	志願者数	777人	561人	423人	895人	761人	683人
		受験者数	777人	561人	423人	888人	743人	678人
		合格者数	392人	262人	243人	374人	422人	339人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	360人	239人	227人	359人	369人	311人
	入学者数		32人	23人	16人	15人	53人	28人
その他の特別選抜	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	46人	22人	35人	43人	52人	40人
		受験者数	41人	20人	32人	42人	50人	37人
		合格者数	6人	5人	10人	13人	14人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	1人	5人	6人	7人	5人
	実人数	志願者数	46人	22人	35人	43人	52人	40人
		受験者数	41人	20人	32人	42人	50人	37人
		合格者数	6人	5人	10人	13人	14人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	1人	5人	6人	7人	5人
	入学者数		1人	4人	5人	7人	7人	5人
合計	募集人数		168人	168人	168人	168人	168人	168人
	延べ人数	志願者数	2013人	1421人	1396人	1864人	1595人	1658人
		受験者数	1879人	1374人	1351人	1802人	1520人	1585人
		合格者数	916人	649人	590人	711人	731人	719人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	736人	472人	429人	555人	539人	546人
	実人数	志願者数	1909人	1264人	1265人	1715人	1469人	1524人
		受験者数	1781人	1222人	1223人	1673人	1422人	1464人
		合格者数	874人	606人	540人	686人	709人	683人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	694人	429人	379人	530人	517人	510人
	入学者数		180人	177人	161人	156人	192人	173人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	168人	168人	168人	168人	168人	168人
入学定員充足率	1.07	1.05	0.96	0.93	1.14	1.03
歩留率	0.20	0.27	0.27	0.22	0.26	0.24

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－３

大学学部学科等名：中央大学法学部政治学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	127人	108人	111人	162人	155人	133人
		受験者数	127人	108人	111人	162人	155人	133人
		合格者数	18人	18人	14人	16人	21人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	1人	7人	8人	9人	6人
	実人数	志願者数	127人	108人	111人	162人	155人	133人
		受験者数	127人	108人	111人	162人	155人	133人
		合格者数	18人	18人	14人	16人	21人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	1人	7人	8人	9人	6人
	入学者数		13人	17人	7人	8人	12人	11人
学校推薦型選抜	募集人数		89人	89人	89人	89人	89人	89人
	延べ人数	志願者数	177人	174人	180人	182人	178人	178人
		受験者数	177人	174人	180人	182人	178人	178人
		合格者数	177人	174人	180人	182人	178人	178人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	3人	2人	3人	3人	3人
	実人数	志願者数	177人	174人	180人	182人	178人	178人
		受験者数	177人	174人	180人	182人	178人	178人
		合格者数	177人	174人	180人	182人	178人	178人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	3人	2人	3人	3人	3人
	入学者数		175人	171人	178人	179人	175人	176人
一般選抜	募集人数		199人	199人	199人	199人	199人	199人
	延べ人数	志願者数	2025人	1363人	1624人	1986人	1907人	1781人
		受験者数	1763人	1273人	1528人	1876人	1769人	1642人
		合格者数	707人	522人	610人	628人	598人	613人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	589人	403人	447人	490人	448人	475人
	実人数	志願者数	1736人	995人	1174人	1569人	1516人	1398人
		受験者数	1486人	926人	1098人	1498人	1437人	1289人
		合格者数	593人	389人	450人	523人	517人	494人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	475人	270人	287人	385人	367人	357人
	入学者数		118人	119人	163人	138人	150人	138人
共通テスト利用入試	募集人数		70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	志願者数	1313人	734人	813人	986人	1023人	974人
		受験者数	1313人	734人	813人	969人	1010人	968人
		合格者数	579人	377人	389人	473人	504人	464人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	530人	346人	370人	441人	446人	427人
	実人数	志願者数	1313人	734人	813人	986人	1023人	974人
		受験者数	1313人	734人	813人	969人	1010人	968人
		合格者数	579人	377人	389人	473人	504人	464人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	530人	346人	370人	441人	446人	427人
	入学者数		49人	31人	19人	32人	58人	38人
その他の特別選抜	募集人数		21人	21人	21人	21人	21人	21人
	延べ人数	志願者数	75人	67人	75人	81人	87人	77人
		受験者数	66人	55人	68人	75人	76人	68人
		合格者数	33人	30人	32人	42人	35人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	12人	9人	18人	14人	13人
	実人数	志願者数	75人	67人	75人	81人	87人	77人
		受験者数	66人	55人	68人	75人	76人	68人
		合格者数	33人	30人	32人	42人	35人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	12人	9人	18人	14人	13人
	入学者数		21人	18人	23人	24人	21人	21人
合計	募集人数		389人	389人	389人	389人	389人	389人
	延べ人数	志願者数	3717人	2446人	2803人	3397人	3350人	3143人
		受験者数	3446人	2344人	2700人	3264人	3188人	2988人
		合格者数	1514人	1121人	1225人	1341人	1336人	1307人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1138人	765人	835人	960人	920人	924人
	実人数	志願者数	3428人	2078人	2353人	2980人	2959人	2760人
		受験者数	3169人	1997人	2270人	2886人	2856人	2636人
		合格者数	1400人	988人	1065人	1236人	1255人	1189人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1024人	632人	675人	855人	839人	805人
	入学者数		376人	356人	390人	381人	416人	384人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	389人	389人	389人	389人	389人	389人
入学定員充足率	0.97	0.92	1.00	0.98	1.07	0.99
歩留率	0.25	0.32	0.32	0.28	0.31	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－４

大学学部学科等名：中央大学経済学部経済学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		9人	9人	9人	9人	9人	9人
	延べ人数	志願者数	5人	4人	19人	26人	25人	16人
		受験者数	5人	4人	19人	25人	25人	16人
		合格者数	1人	3人	2人	6人	4人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	5人	4人	19人	26人	25人	16人
		受験者数	5人	4人	19人	25人	25人	16人
		合格者数	1人	3人	2人	6人	4人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	1人	2人	1人
	入学者数		0人	2人	1人	5人	2人	2人
学校推薦型選抜	募集人数		79人	79人	79人	79人	79人	79人
	延べ人数	志願者数	200人	217人	212人	220人	239人	218人
		受験者数	200人	217人	212人	220人	239人	218人
		合格者数	200人	217人	212人	220人	239人	218人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	200人	217人	212人	220人	239人	218人
		受験者数	200人	217人	212人	220人	239人	218人
		合格者数	200人	217人	212人	220人	239人	218人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数		200人	217人	211人	220人	239人	217人
一般選抜	募集人数		331人	331人	322人	322人	322人	326人
	延べ人数	志願者数	6815人	5421人	5744人	5442人	6377人	5960人
		受験者数	6168人	4964人	5257人	5005人	5809人	5441人
		合格者数	867人	795人	786人	877人	555人	776人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	735人	660人	638人	706人	425人	633人
	実人数	志願者数	6001人	4484人	4755人	3924人	4493人	4731人
		受験者数	5395人	4077人	4310人	3630人	4105人	4303人
		合格者数	730人	596人	547人	766人	497人	627人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	598人	461人	399人	595人	367人	484人
	入学者数		132人	135人	148人	171人	130人	143人
共通テスト利用入試	募集人数		37人	37人	37人	29人	29人	34人
	延べ人数	志願者数	2425人	868人	969人	851人	1223人	1267人
		受験者数	2425人	868人	969人	849人	1212人	1265人
		合格者数	363人	131人	284人	160人	267人	241人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	349人	129人	247人	154人	253人	226人
	実人数	志願者数	2425人	868人	969人	851人	1223人	1267人
		受験者数	2425人	868人	969人	849人	1212人	1265人
		合格者数	363人	131人	284人	160人	267人	241人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	349人	129人	247人	154人	253人	226人
	入学者数		14人	2人	37人	6人	14人	15人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	206人	192人	197人	221人	298人	223人
		受験者数	198人	169人	189人	206人	288人	210人
		合格者数	58人	91人	88人	109人	113人	92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	32人	33人	36人	40人	33人
	実人数	志願者数	206人	192人	197人	221人	298人	223人
		受験者数	198人	169人	189人	206人	288人	210人
		合格者数	58人	91人	88人	109人	113人	92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	32人	33人	36人	40人	33人
	入学者数		36人	59人	55人	73人	73人	59人
合計	募集人数		456人	456人	447人	439人	439人	447人
	延べ人数	志願者数	9651人	6702人	7141人	6760人	8162人	7683人
		受験者数	8996人	6222人	6646人	6305人	7573人	7148人
		合格者数	1489人	1237人	1372人	1372人	1178人	1330人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1107人	822人	920人	897人	720人	893人
	実人数	志願者数	8837人	5765人	6152人	5242人	6278人	6455人
		受験者数	8223人	5335人	5699人	4930人	5869人	6011人
		合格者数	1352人	1038人	1133人	1261人	1120人	1181人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	970人	623人	681人	786人	662人	744人
	入学者数		382人	415人	452人	475人	458人	436人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	467人	467人	467人	467人	467人	467人
入学定員充足率	0.82	0.89	0.97	1.02	0.98	0.93
歩留率	0.26	0.34	0.33	0.35	0.39	0.33

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
・総合型選抜は経済学部の単位で募集人数を20名としている。本書類では学科の定員に応じて按分した募集人数を記載している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－５

大学学部学科等名：中央大学経済学部経済情報システム学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		3人	3人	3人	3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数	11人	15人	24人	14人	20人	17人
		受験者数	10人	15人	24人	12人	18人	16人
		合格者数	7人	9人	5人	5人	6人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	11人	15人	24人	14人	20人	17人
		受験者数	10人	15人	24人	12人	18人	16人
		合格者数	7人	9人	5人	5人	6人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		6人	7人	5人	5人	6人	6人
学校推薦型選抜	募集人数		47人	47人	47人	47人	47人	47人
	延べ人数	志願者数	119人	111人	134人	120人	122人	121人
		受験者数	119人	111人	134人	120人	122人	121人
		合格者数	119人	111人	134人	120人	122人	121人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	119人	111人	134人	120人	122人	121人
		受験者数	119人	111人	134人	120人	122人	121人
		合格者数	119人	111人	134人	120人	122人	121人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		119人	111人	134人	120人	122人	121人
一般選抜	募集人数		102人	102人	99人	99人	99人	100人
	延べ人数	志願者数	891人	885人	661人	879人	1060人	875人
		受験者数	815人	809人	603人	808人	991人	805人
		合格者数	161人	166人	224人	193人	107人	170人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	127人	139人	164人	140人	84人	131人
	実人数	志願者数	768人	784人	550人	731人	891人	745人
		受験者数	701人	712人	500人	676人	837人	685人
		合格者数	150人	145人	203人	189人	106人	159人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	116人	118人	143人	136人	83人	119人
	入学者数		34人	27人	60人	53人	23人	39人
共通テスト利用入試	募集人数		19人	19人	19人	16人	16人	18人
	延べ人数	志願者数	340人	190人	210人	144人	178人	212人
		受験者数	340人	190人	210人	144人	178人	212人
		合格者数	58人	39人	67人	39人	44人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	53人	39人	60人	37人	37人	45人
	実人数	志願者数	340人	190人	210人	144人	178人	212人
		受験者数	340人	190人	210人	144人	178人	212人
		合格者数	58人	39人	67人	39人	44人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	53人	39人	60人	37人	37人	45人
	入学者数		5人	0人	7人	2人	7人	4人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	68人	54人	45人	52人	72人	58人
		受験者数	62人	47人	44人	42人	68人	53人
		合格者数	18人	24人	24人	28人	23人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	13人	8人	14人	15人	12人
	実人数	志願者数	68人	54人	45人	52人	72人	58人
		受験者数	62人	47人	44人	42人	68人	53人
		合格者数	18人	24人	24人	28人	23人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	13人	8人	14人	15人	12人
	入学者数		9人	11人	16人	14人	8人	12人
合計	募集人数		171人	171人	168人	165人	165人	168人
	延べ人数	志願者数	1429人	1255人	1074人	1209人	1452人	1284人
		受験者数	1346人	1172人	1015人	1126人	1377人	1207人
		合格者数	363人	349人	454人	385人	302人	371人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	190人	193人	232人	191人	136人	188人
	実人数	志願者数	1306人	1154人	963人	1061人	1283人	1153人
		受験者数	1232人	1075人	912人	994人	1223人	1087人
		合格者数	352人	328人	433人	381人	301人	359人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	179人	172人	211人	187人	135人	177人
	入学者数		173人	156人	222人	194人	166人	182人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	180人	180人	180人	180人	180人	180人
入学定員充足率	0.96	0.87	1.23	1.08	0.92	1.01
歩留率	0.48	0.45	0.49	0.50	0.55	0.49

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
・総合型選抜は経済学部の単位で募集人数を20名としている。本書類では学科の定員に応じて按分した募集人数を記載している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－６

大学学部学科等名：中央大学経済学部国際経済学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	2人	12人	14人	20人	16人	13人
		受験者数	2人	11人	14人	19人	14人	12人
		合格者数	2人	8人	10人	5人	5人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	4人	3人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	2人	12人	14人	20人	16人	13人
		受験者数	2人	11人	14人	19人	14人	12人
		合格者数	2人	8人	10人	5人	5人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	4人	3人	0人	0人	1人
	入学者数		2人	4人	7人	5人	5人	5人
学校推薦型選抜	募集人数		67人	67人	67人	67人	67人	67人
	延べ人数	志願者数	87人	84人	77人	93人	71人	82人
		受験者数	87人	84人	77人	93人	71人	82人
		合格者数	87人	84人	77人	93人	71人	82人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	87人	84人	77人	93人	71人	82人
		受験者数	87人	84人	77人	93人	71人	82人
		合格者数	87人	84人	77人	93人	71人	82人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		87人	84人	77人	93人	71人	82人
一般選抜	募集人数		153人	153人	148人	148人	148人	150人
	延べ人数	志願者数	1874人	2212人	2322人	1771人	2069人	2050人
		受験者数	1708人	2048人	2121人	1621人	1904人	1880人
		合格者数	551人	731人	489人	443人	305人	504人
		うち追加合格者数	122人	0人	0人	0人	0人	24人
		辞退者数	415人	476人	354人	301人	225人	354人
	実人数	志願者数	1755人	2080人	2072人	1500人	1695人	1820人
		受験者数	1594人	1924人	1881人	1378人	1568人	1669人
		合格者数	529人	706人	444人	412人	273人	473人
		うち追加合格者数	122人	0人	0人	0人	0人	24人
		辞退者数	393人	451人	309人	270人	193人	323人
	入学者数		136人	255人	135人	142人	80人	150人
共通テスト利用入試	募集人数		27人	27人	27人	21人	21人	25人
	延べ人数	志願者数	498人	260人	161人	158人	291人	274人
		受験者数	498人	260人	161人	157人	291人	273人
		合格者数	115人	61人	74人	42人	85人	75人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	113人	58人	55人	37人	70人	67人
	実人数	志願者数	498人	260人	161人	158人	291人	274人
		受験者数	498人	260人	161人	157人	291人	273人
		合格者数	115人	61人	74人	42人	85人	75人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	113人	58人	55人	37人	70人	67人
	入学者数		2人	3人	19人	5人	15人	9人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	189人	115人	152人	149人	168人	155人
		受験者数	170人	97人	139人	130人	158人	139人
		合格者数	67人	51人	74人	62人	41人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	28人	19人	31人	28人	20人	25人
	実人数	志願者数	189人	115人	152人	149人	168人	155人
		受験者数	170人	97人	139人	130人	158人	139人
		合格者数	67人	51人	74人	62人	41人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	28人	19人	31人	28人	20人	25人
	入学者数		39人	32人	43人	34人	21人	34人
合計	募集人数		252人	252人	247人	241人	241人	247人
	延べ人数	志願者数	2650人	2683人	2726人	2191人	2615人	2573人
		受験者数	2465人	2500人	2512人	2020人	2438人	2387人
		合格者数	822人	935人	724人	645人	507人	727人
		うち追加合格者数	122人	0人	0人	0人	0人	24人
		辞退者数	556人	557人	443人	366人	315人	447人
	実人数	志願者数	2531人	2551人	2476人	1920人	2241人	2344人
		受験者数	2351人	2376人	2272人	1777人	2102人	2176人
		合格者数	800人	910人	679人	614人	475人	696人
		うち追加合格者数	122人	0人	0人	0人	0人	24人
		辞退者数	534人	532人	398人	335人	283人	416人
	入学者数		266人	378人	281人	279人	192人	279人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	265人	265人	265人	265人	265人	265人
入学定員充足率	1.00	1.43	1.06	1.05	0.72	1.05
歩留率	0.32	0.40	0.39	0.43	0.38	0.39

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
・総合型選抜は経済学部の単位で募集人数を20名としている。本書類では学科の定員に応じて按分した募集人数を記載している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－７

大学学部学科等名：中央大学経済学部公共・環境経済学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		3人	3人	3人	3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数	5人	19人	25人	24人	32人	21人
		受験者数	4人	19人	24人	21人	32人	20人
		合格者数	3人	5人	9人	8人	6人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	4人	2人	3人	2人
	実人数	志願者数	5人	19人	25人	24人	32人	21人
		受験者数	4人	19人	24人	21人	32人	20人
		合格者数	3人	5人	9人	8人	6人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	4人	2人	3人	2人
	入学者数		2人	3人	5人	6人	3人	4人
学校推薦型選抜	募集人数		39人	39人	39人	39人	39人	39人
	延べ人数	志願者数	47人	73人	58人	70人	64人	62人
		受験者数	47人	73人	58人	70人	64人	62人
		合格者数	47人	73人	58人	70人	64人	62人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	1人	1人	1人
	実人数	志願者数	47人	73人	58人	70人	64人	62人
		受験者数	47人	73人	58人	70人	64人	62人
		合格者数	47人	73人	58人	70人	64人	62人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	1人	1人	1人
	入学者数		46人	72人	56人	69人	63人	61人
一般選抜	募集人数		81人	81人	78人	78人	78人	79人
	延べ人数	志願者数	1107人	1606人	1703人	1255人	1260人	1386人
		受験者数	1034人	1493人	1607人	1177人	1183人	1299人
		合格者数	509人	521人	307人	301人	172人	362人
		うち追加合格者数	209人	0人	0人	0人	0人	42人
		辞退者数	378人	372人	238人	214人	136人	268人
	実人数	志願者数	996人	1497人	1586人	1025人	988人	1218人
		受験者数	931人	1390人	1494人	962人	927人	1141人
		合格者数	495人	502人	292人	270人	153人	342人
		うち追加合格者数	209人	0人	0人	0人	0人	42人
		辞退者数	364人	353人	223人	183人	117人	248人
	入学者数		131人	149人	69人	87人	36人	94人
共通テスト利用入試	募集人数		17人	17人	17人	14人	14人	16人
	延べ人数	志願者数	329人	152人	110人	85人	138人	163人
		受験者数	329人	152人	110人	85人	138人	163人
		合格者数	52人	19人	29人	22人	31人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	51人	18人	25人	21人	25人	28人
	実人数	志願者数	329人	152人	110人	85人	138人	163人
		受験者数	329人	152人	110人	85人	138人	163人
		合格者数	52人	19人	29人	22人	31人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	51人	18人	25人	21人	25人	28人
	入学者数		1人	1人	4人	1人	6人	3人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	64人	49人	55人	45人	69人	56人
		受験者数	59人	41人	49人	37人	62人	50人
		合格者数	33人	31人	18人	24人	28人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	10人	10人	10人	12人	10人
	実人数	志願者数	64人	49人	55人	45人	69人	56人
		受験者数	59人	41人	49人	37人	62人	50人
		合格者数	33人	31人	18人	24人	28人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	10人	10人	10人	12人	10人
	入学者数		23人	21人	8人	14人	16人	16人
合計	募集人数		140人	140人	137人	134人	134人	137人
	延べ人数	志願者数	1552人	1899人	1951人	1479人	1563人	1689人
		受験者数	1473人	1778人	1848人	1390人	1479人	1594人
		合格者数	644人	649人	421人	425人	301人	488人
		うち追加合格者数	209人	0人	0人	0人	0人	42人
		辞退者数	441人	403人	279人	248人	177人	310人
	実人数	志願者数	1441人	1790人	1834人	1249人	1291人	1521人
		受験者数	1370人	1675人	1735人	1175人	1223人	1436人
		合格者数	630人	630人	406人	394人	282人	468人
		うち追加合格者数	209人	0人	0人	0人	0人	42人
		辞退者数	427人	384人	264人	217人	158人	290人
	入学者数		203人	246人	142人	177人	124人	178人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	150人	150人	150人	150人	150人	150人
入学定員充足率	1.35	1.64	0.95	1.18	0.83	1.19
歩留率	0.32	0.38	0.34	0.42	0.41	0.37

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
・総合型選抜は経済学部の単位で募集人数を20名としている。本書類では学科の定員に応じて按分した募集人数を記載している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－８

大学学部学科等名：中央大学商学部経営学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数		73人	73人	73人	73人	73人	73人
	延べ人数	志願者数	152人	147人	140人	146人	147人	146人
		受験者数	152人	147人	140人	146人	147人	146人
		合格者数	152人	147人	139人	146人	147人	146人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	152人	147人	140人	146人	147人	146人
		受験者数	152人	147人	140人	146人	147人	146人
		合格者数	152人	147人	139人	146人	147人	146人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		152人	146人	139人	145人	147人	146人
一般選抜	募集人数		176人	176人	176人	176人	182人	177人
	延べ人数	志願者数	2708人	2251人	2949人	2418人	2784人	2622人
		受験者数	2513人	2066人	2765人	2280人	2627人	2450人
		合格者数	327人	453人	540人	454人	331人	421人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	270人	321人	415人	346人	256人	322人
	実人数	志願者数	2631人	2226人	2924人	2397人	2684人	2572人
		受験者数	2452人	2046人	2744人	2262人	2535人	2408人
		合格者数	325人	450人	538人	453人	326人	419人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	268人	318人	413人	345人	251人	319人
	入学者数		57人	132人	125人	108人	75人	99人
共通テスト利用入試	募集人数		30人	30人	30人	30人	25人	29人
	延べ人数	志願者数	1581人	788人	1165人	1047人	1120人	1140人
		受験者数	1581人	788人	1165人	1046人	1114人	1139人
		合格者数	284人	323人	286人	286人	136人	263人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	263人	270人	269人	266人	129人	239人
	実人数	志願者数	1581人	788人	1165人	1047人	1120人	1140人
		受験者数	1581人	788人	1165人	1046人	1114人	1139人
		合格者数	284人	323人	286人	286人	136人	263人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	263人	270人	269人	266人	129人	239人
	入学者数		21人	53人	17人	20人	7人	24人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	200人	229人	239人	192人	198人	212人
		受験者数	194人	214人	234人	187人	187人	203人
		合格者数	57人	62人	49人	47人	38人	51人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	23人	9人	17人	17人	17人
	実人数	志願者数	200人	229人	239人	192人	198人	212人
		受験者数	194人	214人	234人	187人	187人	203人
		合格者数	57人	62人	49人	47人	38人	51人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	23人	9人	17人	17人	17人
	入学者数		36人	39人	40人	30人	21人	33人
合計	募集人数		279人	279人	279人	279人	280人	279人
	延べ人数	志願者数	4641人	3415人	4493人	3803人	4249人	4120人
		受験者数	4440人	3215人	4304人	3659人	4075人	3939人
		合格者数	820人	985人	1014人	933人	652人	881人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	554人	615人	693人	629人	402人	579人
	実人数	志願者数	4564人	3390人	4468人	3782人	4149人	4071人
		受験者数	4379人	3195人	4283人	3641人	3983人	3896人
		合格者数	818人	982人	1012人	932人	647人	878人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	552人	612人	691人	629人	397人	576人
	入学者数		266人	370人	321人	303人	250人	302人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	300人	300人	300人	300人	300人	300人
入学定員充足率	0.89	1.23	1.07	1.01	0.83	1.01
歩留率	0.32	0.38	0.32	0.32	0.38	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
・学校推薦型選抜は商学部の単位で募集人数を合計250名としている。本書類では学科の定員に応じて按分した募集人数を記載している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－９

大学学部学科等名：中央大学商学部会計学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数		73人	73人	73人	73人	73人	73人
	延べ人数	志願者数	130人	151人	146人	139人	139人	141人
		受験者数	130人	151人	146人	139人	139人	141人
		合格者数	130人	151人	146人	139人	139人	141人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	130人	151人	146人	139人	139人	141人
		受験者数	130人	151人	146人	139人	139人	141人
		合格者数	130人	151人	146人	139人	139人	141人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	1人	0人
	入学者数		130人	151人	145人	139人	138人	141人
一般選抜	募集人数		181人	181人	181人	181人	187人	182人
	延べ人数	志願者数	2032人	1844人	1716人	1793人	2058人	1889人
		受験者数	1887人	1747人	1631人	1712人	1956人	1787人
		合格者数	413人	467人	455人	465人	300人	420人
		うち追加合格者数	45人	0人	0人	0人	0人	9人
		辞退者数	286人	360人	326人	290人	208人	294人
	実人数	志願者数	1957人	1819人	1692人	1772人	1958人	1840人
		受験者数	1826人	1730人	1610人	1694人	1864人	1745人
		合格者数	411人	464人	453人	464人	295人	417人
		うち追加合格者数	45人	0人	0人	0人	0人	9人
		辞退者数	284人	357人	324人	289人	203人	291人
	入学者数		127人	107人	129人	175人	92人	126人
共通テスト利用入試	募集人数		30人	30人	30人	30人	25人	29人
	延べ人数	志願者数	863人	499人	676人	547人	545人	626人
		受験者数	863人	499人	676人	546人	543人	625人
		合格者数	274人	213人	216人	193人	69人	193人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	248人	167人	196人	160人	65人	167人
	実人数	志願者数	863人	499人	676人	547人	545人	626人
		受験者数	863人	499人	676人	546人	543人	625人
		合格者数	274人	213人	216人	193人	69人	193人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	248人	167人	196人	160人	65人	167人
	入学者数		26人	46人	20人	33人	4人	26人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	35人	45人	42人	64人	54人	48人
		受験者数	35人	42人	42人	64人	54人	47人
		合格者数	20人	25人	23人	26人	19人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	3人	2人	6人	3人	4人
	実人数	志願者数	35人	45人	42人	64人	54人	48人
		受験者数	35人	42人	42人	64人	54人	47人
		合格者数	20人	25人	23人	26人	19人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	3人	2人	6人	3人	4人
	入学者数		15人	22人	21人	20人	16人	19人
合計	募集人数		284人	284人	284人	284人	285人	284人
	延べ人数	志願者数	3060人	2539人	2580人	2543人	2796人	2704人
		受験者数	2915人	2439人	2495人	2461人	2692人	2600人
		合格者数	837人	856人	840人	823人	527人	777人
		うち追加合格者数	45人	0人	0人	0人	0人	9人
		辞退者数	539人	530人	525人	456人	277人	465人
	実人数	志願者数	2985人	2514人	2556人	2522人	2696人	2655人
		受験者数	2854人	2422人	2474人	2443人	2600人	2559人
		合格者数	835人	853人	838人	822人	522人	774人
		うち追加合格者数	45人	0人	0人	0人	0人	9人
		辞退者数	537人	527人	523人	455人	272人	463人
	入学者数		298人	326人	315人	367人	250人	311人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	300人	300人	300人	300人	300人	300人
入学定員充足率	0.99	1.09	1.05	1.22	0.83	1.04
歩留率	0.36	0.38	0.38	0.45	0.47	0.41

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
・学校推薦型選抜は商学部の単位で募集人数を合計250名としている。本書類では学科の定員に応じて按分した募集人数を記載している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１０

大学学部学科等名：中央大学商学部国際マーケティング学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数		73人	73人	73人	73人	73人	73人
	延べ人数	志願者数	100人	123人	109人	116人	122人	114人
		受験者数	100人	123人	109人	116人	122人	114人
		合格者数	100人	123人	109人	116人	122人	114人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	100人	123人	109人	116人	122人	114人
		受験者数	100人	123人	109人	116人	122人	114人
		合格者数	100人	123人	109人	116人	122人	114人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		99人	123人	109人	116人	122人	114人
一般選抜	募集人数		166人	166人	166人	166人	172人	168人
	延べ人数	志願者数	2180人	1753人	1826人	1749人	2043人	1910人
		受験者数	2069人	1667人	1735人	1662人	1955人	1818人
		合格者数	503人	497人	514人	504人	332人	470人
		うち追加合格者数	119人	0人	0人	0人	0人	24人
		辞退者数	384人	380人	374人	334人	256人	346人
	実人数	志願者数	2105人	1728人	1801人	1727人	1943人	1861人
		受験者数	2008人	1645人	1714人	1644人	1863人	1775人
		合格者数	501人	494人	512人	503人	327人	467人
		うち追加合格者数	119人	0人	0人	0人	0人	24人
		辞退者数	382人	377人	372人	333人	251人	343人
	入学者数		119人	117人	140人	170人	76人	124人
共通テスト利用入試	募集人数		30人	30人	30人	30人	25人	29人
	延べ人数	志願者数	841人	424人	482人	387人	591人	545人
		受験者数	841人	424人	482人	387人	590人	545人
		合格者数	307人	183人	151人	152人	69人	172人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	265人	155人	138人	128人	64人	150人
	実人数	志願者数	841人	424人	482人	387人	591人	545人
		受験者数	841人	424人	482人	387人	590人	545人
		合格者数	307人	183人	151人	152人	69人	172人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	265人	155人	138人	128人	64人	150人
	入学者数		42人	28人	13人	24人	5人	22人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	140人	149人	180人	164人	164人	159人
		受験者数	136人	145人	172人	158人	159人	154人
		合格者数	51人	54人	57人	45人	43人	50人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	18人	16人	12人	15人	16人
	実人数	志願者数	140人	149人	180人	164人	164人	159人
		受験者数	136人	145人	172人	158人	159人	154人
		合格者数	51人	54人	57人	45人	43人	50人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	18人	16人	12人	15人	16人
	入学者数		30人	36人	41人	33人	28人	34人
合計	募集人数		269人	269人	269人	269人	270人	270人
	延べ人数	志願者数	3261人	2449人	2597人	2416人	2920人	2729人
		受験者数	3146人	2359人	2498人	2323人	2826人	2630人
		合格者数	961人	857人	831人	817人	566人	806人
		うち追加合格者数	119人	0人	0人	0人	0人	24人
		辞退者数	671人	553人	528人	474人	335人	512人
	実人数	志願者数	3186人	2424人	2572人	2394人	2820人	2679人
		受験者数	3085人	2337人	2477人	2305人	2734人	2588人
		合格者数	959人	854人	829人	816人	561人	804人
		うち追加合格者数	119人	0人	0人	0人	0人	24人
		辞退者数	669人	550人	526人	473人	330人	510人
	入学者数		290人	304人	303人	343人	231人	294人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	300人	300人	300人	300人	300人	300人
入学定員充足率	0.97	1.01	1.01	1.14	0.77	0.98
歩留率	0.30	0.35	0.36	0.42	0.41	0.37

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
・令和4(2022)年4月に「商業・貿易学科」から「国際マーケティング学科」に名称変更を行った。
・学校推薦型選抜は商学部の単位で募集人数を合計250名としている。本書類では学科の定員に応じて按分した募集人数を記載している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１１

大学学部学科等名：中央大学商学部金融学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数		29人	29人	29人	29人	29人	29人
	延べ人数	志願者数	31人	30人	32人	31人	38人	32人
		受験者数	31人	30人	32人	31人	38人	32人
		合格者数	31人	30人	32人	31人	38人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	31人	30人	32人	31人	38人	32人
		受験者数	31人	30人	32人	31人	38人	32人
		合格者数	31人	30人	32人	31人	38人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		30人	30人	32人	30人	38人	32人
一般選抜	募集人数		66人	66人	66人	66人	68人	66人
	延べ人数	志願者数	1284人	1135人	953人	1001人	893人	1053人
		受験者数	1206人	1056人	898人	937人	834人	986人
		合格者数	291人	314人	281人	251人	154人	258人
		うち追加合格者数	80人	0人	0人	0人	0人	16人
		辞退者数	232人	204人	189人	183人	115人	185人
	実人数	志願者数	1254人	1124人	943人	992人	853人	1033人
		受験者数	1182人	1050人	890人	930人	797人	970人
		合格者数	290人	313人	281人	250人	152人	257人
		うち追加合格者数	80人	0人	0人	0人	0人	16人
		辞退者数	231人	203人	189人	182人	113人	184人
	入学者数		59人	110人	92人	68人	39人	74人
共通テスト利用入試	募集人数		16人	16人	16人	16人	11人	15人
	延べ人数	志願者数	344人	217人	158人	193人	212人	225人
		受験者数	344人	217人	158人	192人	212人	225人
		合格者数	140人	76人	59人	50人	38人	73人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	118人	63人	48人	44人	33人	61人
	実人数	志願者数	344人	217人	158人	193人	212人	225人
		受験者数	344人	217人	158人	192人	212人	225人
		合格者数	140人	76人	59人	50人	38人	73人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	118人	63人	48人	44人	33人	61人
	入学者数		22人	13人	11人	6人	5人	11人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	31人	22人	45人	30人	34人	32人
		受験者数	30人	21人	44人	30人	34人	32人
		合格者数	12人	11人	15人	14人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	3人	3人	0人	2人
	実人数	志願者数	31人	22人	45人	30人	34人	32人
		受験者数	30人	21人	44人	30人	34人	32人
		合格者数	12人	11人	15人	14人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	3人	3人	0人	2人
	入学者数		10人	10人	12人	11人	11人	11人
合計	募集人数		111人	111人	111人	111人	108人	110人
	延べ人数	志願者数	1690人	1404人	1188人	1255人	1177人	1343人
		受験者数	1611人	1324人	1132人	1190人	1118人	1275人
		合格者数	474人	431人	387人	346人	241人	376人
		うち追加合格者数	80人	0人	0人	0人	0人	16人
		辞退者数	353人	268人	240人	231人	148人	248人
	実人数	志願者数	1660人	1393人	1178人	1246人	1137人	1323人
		受験者数	1587人	1318人	1124人	1183人	1081人	1259人
		合格者数	473人	430人	387人	345人	239人	375人
		うち追加合格者数	80人	0人	0人	0人	0人	16人
		辞退者数	352人	267人	240人	230人	146人	247人
	入学者数		121人	163人	147人	115人	93人	128人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120人
入学定員充足率	1.01	1.36	1.23	0.96	0.78	1.07
歩留率	0.26	0.38	0.38	0.33	0.39	0.35

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
・学校推薦型選抜は商学部の単位で募集人数を合計250名としている。本書類では学科の定員に応じて按分した募集人数を記載している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１２

大学学部学科等名：中央大学理工学部数学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	8人	10人
	延べ人数	志願者数	17人	13人	19人	16人	29人	19人
		受験者数	17人	13人	19人	16人	29人	19人
		合格者数	10人	5人	7人	7人	8人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	2人	5人	4人	4人	4人
	実人数	志願者数	17人	13人	19人	16人	29人	19人
		受験者数	17人	13人	19人	16人	29人	19人
		合格者数	10人	5人	7人	7人	8人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	2人	5人	4人	4人	4人
	入学者数		6人	3人	2人	3人	4人	4人
学校推薦型選抜	募集人数		12人	12人	12人	12人	14人	12人
	延べ人数	志願者数	16人	13人	13人	9人	8人	12人
		受験者数	16人	13人	13人	9人	8人	12人
		合格者数	16人	13人	13人	9人	8人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	16人	13人	13人	9人	8人	12人
		受験者数	16人	13人	13人	9人	8人	12人
		合格者数	16人	13人	13人	9人	8人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	0人	1人
	入学者数		14人	13人	13人	7人	8人	11人
一般選抜	募集人数		48人	48人	48人	48人	48人	48人
	延べ人数	志願者数	863人	844人	980人	1038人	1020人	949人
		受験者数	792人	760人	844人	902人	900人	840人
		合格者数	272人	335人	282人	260人	230人	276人
		うち追加合格者数	58人	0人	0人	0人	0人	12人
		辞退者数	230人	251人	224人	199人	175人	216人
	実人数	志願者数	788人	773人	872人	906人	866人	841人
		受験者数	729人	695人	762人	796人	770人	750人
		合格者数	263人	311人	264人	246人	212人	259人
		うち追加合格者数	58人	0人	0人	0人	0人	12人
		辞退者数	221人	227人	206人	185人	157人	199人
	入学者数		42人	84人	58人	61人	55人	60人
共通テスト利用入試	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	4人	14人	8人	5人
		受験者数	5人	5人	4人	14人	7人	7人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	4人	14人	8人	5人
		受験者数	5人	5人	4人	14人	7人	7人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	1人	0人
合計	募集人数		70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	志願者数	896人	870人	1016人	1077人	1065人	985人
		受験者数	830人	791人	880人	941人	944人	877人
		合格者数	298人	353人	302人	276人	247人	295人
		うち追加合格者数	58人	0人	0人	0人	0人	12人
		辞退者数	236人	253人	229人	205人	179人	220人
	実人数	志願者数	821人	799人	908人	945人	911人	877人
		受験者数	767人	726人	798人	835人	814人	788人
		合格者数	289人	329人	284人	262人	229人	279人
		うち追加合格者数	58人	0人	0人	0人	0人	12人
		辞退者数	227人	229人	211人	191人	161人	204人
	入学者数		62人	100人	73人	71人	68人	75人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入学定員充足率	0.89	1.43	1.04	1.01	0.97	1.07
歩留率	0.21	0.28	0.24	0.26	0.28	0.25

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１３

大学学部学科等名：中央大学理工学部物理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	8人	8人	6人	6人	8人
	延べ人数	志願者数	3人	2人	2人	4人	7人	4人
		受験者数	3人	2人	2人	4人	7人	4人
		合格者数	3人	2人	2人	3人	5人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
	実人数	志願者数	3人	2人	2人	4人	7人	4人
		受験者数	3人	2人	2人	4人	7人	4人
		合格者数	3人	2人	2人	3人	5人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
	入学者数		3人	2人	2人	1人	5人	3人
学校推薦型選抜	募集人数		12人	12人	12人	14人	14人	13人
	延べ人数	志願者数	13人	11人	14人	10人	12人	12人
		受験者数	13人	11人	14人	10人	12人	12人
		合格者数	13人	11人	14人	10人	12人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	2人	1人
	実人数	志願者数	13人	11人	14人	10人	12人	12人
		受験者数	13人	11人	14人	10人	12人	12人
		合格者数	13人	11人	14人	10人	12人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	2人	1人
	入学者数		12人	11人	12人	10人	10人	11人
一般選抜	募集人数		43人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	995人	924人	1091人	1182人	1355人	1109人
		受験者数	872人	823人	945人	1025人	1193人	972人
		合格者数	284人	330人	316人	293人	268人	298人
		うち追加合格者数	38人	0人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	238人	255人	252人	231人	213人	238人
	実人数	志願者数	909人	855人	962人	1036人	1161人	985人
		受験者数	813人	765人	844人	908人	1036人	873人
		合格者数	276人	318人	293人	270人	248人	281人
		うち追加合格者数	38人	0人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	230人	243人	229人	208人	193人	221人
	入学者数		46人	75人	64人	62人	55人	60人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	562人	293人	343人	389人	386人	395人
		受験者数	562人	293人	343人	371人	362人	386人
		合格者数	97人	85人	68人	87人	74人	82人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	95人	82人	67人	85人	72人	80人
	実人数	志願者数	562人	293人	343人	389人	386人	395人
		受験者数	562人	293人	343人	371人	362人	386人
		合格者数	97人	85人	68人	87人	74人	82人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	95人	82人	67人	85人	72人	80人
	入学者数		2人	3人	1人	2人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	4人	6人	7人	7人	7人	6人
		受験者数	4人	6人	7人	7人	7人	6人
		合格者数	1人	1人	0人	1人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	2人	1人
	実人数	志願者数	4人	6人	7人	7人	7人	6人
		受験者数	4人	6人	7人	7人	7人	6人
		合格者数	1人	1人	0人	1人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	2人	1人
	入学者数		1人	0人	0人	1人	0人	0人
合計	募集人数		70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	志願者数	1577人	1236人	1457人	1592人	1767人	1526人
		受験者数	1454人	1135人	1311人	1417人	1581人	1380人
		合格者数	398人	429人	400人	394人	361人	396人
		うち追加合格者数	38人	0人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	334人	338人	321人	318人	289人	320人
	実人数	志願者数	1491人	1167人	1328人	1446人	1573人	1401人
		受験者数	1395人	1077人	1210人	1300人	1424人	1281人
		合格者数	390人	417人	377人	371人	341人	379人
		うち追加合格者数	38人	0人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	326人	326人	298人	295人	269人	303人
	入学者数		64人	91人	79人	76人	72人	76人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入学定員充足率	0.91	1.30	1.13	1.09	1.03	1.09
歩留率	0.16	0.21	0.20	0.19	0.20	0.19

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１４

大学学部学科等名：中央大学理工学部都市環境学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		3人	3人	3人	3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数	3人	5人	3人	2人	15人	6人
		受験者数	3人	5人	3人	2人	15人	6人
		合格者数	0人	2人	0人	2人	3人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	3人	5人	3人	2人	15人	6人
		受験者数	3人	5人	3人	2人	15人	6人
		合格者数	0人	2人	0人	2人	3人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	0人	2人	3人	1人
学校推薦型選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	40人	35人	29人	31人	39人	35人
		受験者数	40人	35人	29人	31人	39人	35人
		合格者数	39人	35人	29人	31人	39人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	40人	35人	29人	31人	39人	35人
		受験者数	40人	35人	29人	31人	39人	35人
		合格者数	39人	35人	29人	31人	39人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	1人	2人	1人
	入学者数		38人	34人	27人	30人	37人	33人
一般選抜	募集人数		55人	56人	56人	56人	56人	56人
	延べ人数	志願者数	966人	843人	1057人	1073人	1309人	1050人
		受験者数	849人	741人	862人	928人	1143人	905人
		合格者数	209人	259人	236人	214人	231人	230人
		うち追加合格者数	39人	0人	0人	0人	68人	21人
		辞退者数	172人	191人	188人	160人	197人	182人
	実人数	志願者数	823人	739人	931人	913人	1083人	898人
		受験者数	740人	661人	774人	804人	960人	788人
		合格者数	198人	241人	220人	201人	211人	214人
		うち追加合格者数	39人	0人	0人	0人	68人	21人
		辞退者数	161人	173人	172人	147人	177人	166人
	入学者数		37人	68人	48人	54人	34人	48人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	9人	9人	9人	9人	9人
	延べ人数	志願者数	528人	222人	376人	347人	392人	373人
		受験者数	528人	222人	376人	345人	386人	371人
		合格者数	74人	72人	66人	57人	57人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	73人	67人	59人	57人	57人	63人
	実人数	志願者数	528人	222人	376人	347人	392人	373人
		受験者数	528人	222人	376人	345人	386人	371人
		合格者数	74人	72人	66人	57人	57人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	73人	67人	59人	57人	57人	63人
	入学者数		1人	5人	7人	0人	0人	3人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	18人	14人	9人	14人	15人	14人
		受験者数	18人	14人	9人	14人	15人	14人
		合格者数	2人	4人	1人	4人	5人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	18人	14人	9人	14人	15人	14人
		受験者数	18人	14人	9人	14人	15人	14人
		合格者数	2人	4人	1人	4人	5人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	0人	1人	1人
	入学者数		1人	3人	1人	4人	4人	3人
合計	募集人数		90人	90人	90人	90人	90人	90人
	延べ人数	志願者数	1555人	1119人	1474人	1467人	1770人	1477人
		受験者数	1438人	1017人	1279人	1320人	1598人	1330人
		合格者数	324人	372人	332人	308人	335人	334人
		うち追加合格者数	39人	0人	0人	0人	68人	21人
		辞退者数	247人	261人	249人	218人	257人	246人
	実人数	志願者数	1412人	1015人	1348人	1307人	1544人	1325人
		受験者数	1329人	937人	1191人	1196人	1415人	1214人
		合格者数	313人	354人	316人	295人	315人	319人
		うち追加合格者数	39人	0人	0人	0人	68人	21人
		辞退者数	236人	243人	233人	205人	237人	231人
	入学者数		77人	111人	83人	90人	78人	88人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
入学定員充足率	0.86	1.23	0.92	1.00	0.87	0.98
歩留率	0.24	0.30	0.25	0.29	0.23	0.26

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：中央大学理工学部精密機械工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	2人	0人	1人	4人	0人	1人
		受験者数	2人	0人	1人	4人	0人	1人
		合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	2人	0人	1人	4人	0人	1人
		受験者数	2人	0人	1人	4人	0人	1人
		合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	志願者数	36人	43人	44人	34人	42人	40人
		受験者数	36人	43人	44人	34人	42人	40人
		合格者数	36人	43人	44人	34人	42人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	36人	43人	44人	34人	42人	40人
		受験者数	36人	43人	44人	34人	42人	40人
		合格者数	36人	43人	44人	34人	42人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	0人	0人	1人
	入学者数		35人	42人	43人	34人	42人	39人
一般選抜	募集人数		100人	102人	102人	102人	102人	102人
	延べ人数	志願者数	1317人	1537人	1609人	1652人	1716人	1566人
		受験者数	1165人	1355人	1375人	1411人	1463人	1354人
		合格者数	413人	452人	446人	374人	342人	405人
		うち追加合格者数	71人	0人	0人	0人	11人	16人
		辞退者数	314人	359人	304人	276人	257人	302人
	実人数	志願者数	1157人	1362人	1459人	1495人	1492人	1393人
		受験者数	1036人	1214人	1257人	1286人	1280人	1215人
		合格者数	398人	416人	430人	356人	322人	384人
		うち追加合格者数	71人	0人	0人	0人	11人	16人
		辞退者数	299人	323人	288人	258人	237人	281人
	入学者数		99人	93人	142人	98人	85人	103人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	552人	372人	347人	405人	524人	440人
		受験者数	552人	372人	347人	397人	510人	436人
		合格者数	109人	95人	96人	111人	100人	102人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	108人	94人	95人	107人	98人	100人
	実人数	志願者数	552人	372人	347人	405人	524人	440人
		受験者数	552人	372人	347人	397人	510人	436人
		合格者数	109人	95人	96人	111人	100人	102人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	108人	94人	95人	107人	98人	100人
	入学者数		1人	1人	1人	4人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	20人	17人	25人	37人	43人	28人
		受験者数	20人	16人	25人	37人	43人	28人
		合格者数	4人	5人	5人	7人	3人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	5人	2人	2人
	実人数	志願者数	20人	17人	5人	37人	43人	24人
		受験者数	20人	16人	25人	37人	43人	28人
		合格者数	4人	5人	5人	7人	3人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	5人	2人	2人
	入学者数		2人	3人	5人	2人	1人	3人
合計	募集人数		145人	145人	145人	145人	145人	145人
	延べ人数	志願者数	1927人	1969人	2026人	2132人	2325人	2076人
		受験者数	1775人	1786人	1792人	1883人	2058人	1859人
		合格者数	563人	595人	591人	526人	487人	552人
		うち追加合格者数	71人	0人	0人	0人	11人	16人
		辞退者数	426人	456人	400人	388人	357人	405人
	実人数	志願者数	1767人	1794人	1856人	1975人	2101人	1899人
		受験者数	1646人	1645人	1674人	1758人	1875人	1720人
		合格者数	548人	559人	575人	508人	467人	531人
		うち追加合格者数	71人	0人	0人	0人	11人	16人
		辞退者数	411人	420人	384人	370人	337人	384人
	入学者数		137人	139人	191人	138人	130人	147人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	145人	145人	145人	145人	145人	145人
入学定員充足率	0.94	0.96	1.32	0.95	0.90	1.01
歩留率	0.24	0.23	0.32	0.26	0.27	0.27

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：中央大学理工学部電気電子情報通信工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	0人	4人	2人	3人	4人	3人
		受験者数	0人	4人	2人	3人	4人	3人
		合格者数	0人	2人	1人	2人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	4人	2人	3人	4人	3人
		受験者数	0人	4人	2人	3人	4人	3人
		合格者数	0人	2人	1人	2人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	1人	1人	2人	1人
学校推薦型選抜	募集人数		33人	33人	33人	33人	33人	33人
	延べ人数	志願者数	50人	56人	56人	44人	58人	53人
		受験者数	50人	56人	56人	44人	58人	53人
		合格者数	50人	56人	56人	44人	58人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	0人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	50人	56人	56人	44人	58人	53人
		受験者数	50人	56人	56人	44人	58人	53人
		合格者数	50人	56人	56人	44人	58人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	0人	2人	1人	1人
	入学者数		47人	55人	56人	42人	57人	51人
一般選抜	募集人数		90人	87人	87人	87人	87人	88人
	延べ人数	志願者数	1723人	1532人	1175人	1500人	1495人	1485人
		受験者数	1517人	1375人	970人	1280人	1293人	1287人
		合格者数	352人	423人	328人	334人	269人	341人
		うち追加合格者数	46人	0人	0人	0人	6人	10人
		辞退者数	285人	333人	245人	244人	213人	264人
	実人数	志願者数	1541人	1372人	1077人	1355人	1326人	1334人
		受験者数	1378人	1239人	892人	1162人	1165人	1167人
		合格者数	343人	399人	309人	317人	251人	324人
		うち追加合格者数	46人	0人	0人	0人	6人	10人
		辞退者数	276人	309人	226人	227人	195人	247人
	入学者数		67人	90人	83人	90人	56人	77人
共通テスト利用入試	募集人数		7人	10人	10人	10人	10人	9人
	延べ人数	志願者数	813人	444人	403人	328人	398人	477人
		受験者数	813人	444人	403人	321人	389人	474人
		合格者数	127人	102人	97人	73人	59人	92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	119人	97人	93人	70人	57人	87人
	実人数	志願者数	813人	444人	403人	328人	398人	477人
		受験者数	813人	444人	403人	321人	389人	474人
		合格者数	127人	102人	97人	73人	59人	92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	119人	97人	93人	70人	57人	87人
	入学者数		8人	5人	4人	3人	2人	4人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	20人	14人	18人	16人	29人	19人
		受験者数	20人	14人	18人	16人	29人	19人
		合格者数	5人	5人	2人	4人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	4人	2人	2人	2人	3人
	実人数	志願者数	20人	14人	18人	16人	29人	19人
		受験者数	20人	14人	18人	16人	29人	19人
		合格者数	5人	5人	2人	4人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	4人	2人	2人	2人	3人
	入学者数		0人	1人	0人	2人	3人	1人
合計	募集人数		135人	135人	135人	135人	135人	135人
	延べ人数	志願者数	2606人	2050人	1654人	1891人	1984人	2037人
		受験者数	2400人	1893人	1449人	1664人	1773人	1836人
		合格者数	534人	588人	484人	457人	393人	491人
		うち追加合格者数	46人	0人	0人	0人	6人	10人
		辞退者数	412人	436人	340人	319人	273人	356人
	実人数	志願者数	2424人	1890人	1556人	1746人	1815人	1886人
		受験者数	2261人	1757人	1371人	1546人	1645人	1716人
		合格者数	525人	564人	465人	440人	375人	474人
		うち追加合格者数	46人	0人	0人	0人	6人	10人
		辞退者数	403人	412人	321人	302人	255人	339人
	入学者数		122人	152人	144人	138人	120人	135人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	135人	135人	135人	135人	135人	135人
入学定員充足率	0.90	1.13	1.07	1.02	0.89	1.00
歩留率	0.23	0.26	0.30	0.30	0.31	0.28

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１７

大学学部学科等名：中央大学理工学部応用化学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	2人	0人	4人	2人	3人	2人
		受験者数	2人	0人	4人	2人	3人	2人
		合格者数	1人	0人	3人	0人	3人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	2人	1人
	実人数	志願者数	2人	0人	4人	2人	3人	2人
		受験者数	2人	0人	4人	2人	3人	2人
		合格者数	1人	0人	3人	0人	3人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	2人	1人
	入学者数		0人	0人	1人	0人	1人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		28人	28人	28人	28人	28人	28人
	延べ人数	志願者数	53人	40人	56人	59人	61人	54人
		受験者数	53人	40人	56人	59人	61人	54人
		合格者数	53人	39人	56人	59人	61人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	1人	3人	2人	2人	2人
	実人数	志願者数	53人	40人	56人	59人	61人	54人
		受験者数	53人	40人	56人	59人	61人	54人
		合格者数	53人	39人	56人	59人	61人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	1人	3人	2人	2人	2人
	入学者数		49人	38人	53人	57人	59人	51人
一般選抜	募集人数		105人	105人	105人	105人	105人	105人
	延べ人数	志願者数	1649人	1590人	1762人	1730人	1886人	1723人
		受験者数	1435人	1406人	1471人	1445人	1651人	1482人
		合格者数	516人	613人	419人	409人	376人	467人
		うち追加合格者数	65人	0人	0人	0人	0人	13人
		辞退者数	429人	486人	337人	330人	310人	378人
	実人数	志願者数	1488人	1439人	1568人	1519人	1637人	1530人
		受験者数	1304人	1289人	1326人	1290人	1446人	1331人
		合格者数	497人	582人	400人	378人	345人	440人
		うち追加合格者数	65人	0人	0人	0人	0人	13人
		辞退者数	410人	455人	318人	299人	279人	352人
	入学者数		87人	127人	82人	79人	66人	88人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	800人	403人	436人	476人	552人	533人
		受験者数	800人	403人	436人	467人	543人	530人
		合格者数	142人	124人	110人	129人	107人	122人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	141人	124人	110人	129人	105人	122人
	実人数	志願者数	800人	403人	436人	476人	552人	533人
		受験者数	800人	403人	436人	467人	543人	530人
		合格者数	142人	124人	110人	129人	107人	122人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	141人	124人	110人	129人	105人	122人
	入学者数		1人	0人	0人	0人	2人	1人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	22人	18人	18人	20人	38人	23人
		受験者数	22人	18人	18人	20人	38人	23人
		合格者数	7人	6人	3人	5人	6人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	4人	0人	3人	1人	3人
	実人数	志願者数	22人	18人	18人	20人	38人	23人
		受験者数	22人	18人	18人	20人	38人	23人
		合格者数	7人	6人	3人	5人	6人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	4人	0人	3人	1人	3人
	入学者数		2人	2人	3人	2人	5人	3人
合計	募集人数		145人	145人	145人	145人	145人	145人
	延べ人数	志願者数	2526人	2051人	2276人	2287人	2540人	2336人
		受験者数	2312人	1867人	1985人	1993人	2296人	2091人
		合格者数	719人	782人	591人	602人	553人	649人
		うち追加合格者数	65人	0人	0人	0人	0人	13人
		辞退者数	580人	615人	452人	464人	420人	506人
	実人数	志願者数	2365人	1900人	2082人	2076人	2291人	2143人
		受験者数	2181人	1750人	1840人	1838人	2091人	1940人
		合格者数	700人	751人	572人	571人	522人	623人
		うち追加合格者数	65人	0人	0人	0人	0人	13人
		辞退者数	561人	584人	433人	433人	389人	480人
	入学者数		139人	167人	139人	138人	133人	143人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	145人	145人	145人	145人	145人	145人
入学定員充足率	0.96	1.15	0.96	0.95	0.92	0.99
歩留率	0.19	0.21	0.24	0.23	0.24	0.22

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１８

大学学部学科等名：中央大学理工学部ビジネスデータサイエンス学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	4人	4人	4人	9人	2人	5人
		受験者数	4人	4人	4人	9人	2人	5人
		合格者数	2人	3人	2人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	4人	4人	4人	9人	2人	5人
		受験者数	4人	4人	4人	9人	2人	5人
		合格者数	2人	3人	2人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数		1人	3人	1人	0人	0人	1人
学校推薦型選抜	募集人数		20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	志願者数	28人	40人	38人	34人	30人	34人
		受験者数	28人	40人	38人	34人	30人	34人
		合格者数	28人	40人	38人	33人	30人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	1人	2人	1人	2人
	実人数	志願者数	28人	40人	38人	34人	30人	34人
		受験者数	28人	40人	38人	34人	30人	34人
		合格者数	28人	40人	38人	33人	30人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	1人	2人	1人	2人
	入学者数		26人	38人	37人	31人	29人	32人
一般選抜	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	1064人	1243人	1094人	1029人	1325人	1151人
		受験者数	933人	1115人	960人	905人	1146人	1012人
		合格者数	244人	283人	259人	238人	234人	252人
		うち追加合格者数	36人	0人	0人	0人	0人	7人
		辞退者数	174人	195人	194人	180人	156人	180人
	実人数	志願者数	872人	1046人	910人	880人	1065人	955人
		受験者数	780人	954人	806人	785人	928人	851人
		合格者数	233人	261人	237人	225人	218人	235人
		うち追加合格者数	36人	0人	0人	0人	0人	7人
		辞退者数	163人	173人	172人	167人	140人	163人
	入学者数		70人	88人	65人	58人	78人	72人
共通テスト利用入試	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	508人	360人	308人	317人	342人	367人
		受験者数	508人	360人	308人	314人	333人	365人
		合格者数	95人	72人	55人	64人	59人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	91人	67人	53人	62人	58人	66人
	実人数	志願者数	508人	360人	308人	317人	342人	367人
		受験者数	508人	360人	308人	314人	333人	365人
		合格者数	95人	72人	55人	64人	59人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	91人	67人	53人	62人	58人	66人
	入学者数		4人	5人	2人	2人	1人	3人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	14人	24人	23人	22人	30人	23人
		受験者数	14人	24人	23人	22人	29人	22人
		合格者数	6人	8人	5人	7人	6人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	2人	1人	4人	3人
	実人数	志願者数	14人	24人	23人	22人	30人	23人
		受験者数	14人	24人	23人	22人	29人	22人
		合格者数	6人	8人	5人	7人	6人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	2人	1人	4人	3人
	入学者数		4人	4人	3人	6人	2人	4人
合計	募集人数		115人	115人	115人	115人	115人	115人
	延べ人数	志願者数	1618人	1671人	1467人	1411人	1729人	1579人
		受験者数	1487人	1543人	1333人	1284人	1540人	1437人
		合格者数	375人	406人	359人	342人	329人	362人
		うち追加合格者数	36人	0人	0人	0人	0人	7人
		辞退者数	270人	268人	251人	245人	219人	251人
	実人数	志願者数	1426人	1474人	1283人	1262人	1469人	1383人
		受験者数	1334人	1382人	1179人	1164人	1322人	1276人
		合格者数	364人	384人	337人	329人	313人	345人
		うち追加合格者数	36人	0人	0人	0人	0人	7人
		辞退者数	259人	246人	229人	232人	203人	234人
	入学者数		105人	138人	108人	97人	110人	112人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	115人	115人	115人	115人	115人	115人
入学定員充足率	0.91	1.20	0.94	0.84	0.96	0.97
歩留率	0.28	0.34	0.30	0.28	0.33	0.31

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
令和3(2021)年4月に「経営システム工学科」から「ビジネスデータサイエンス学科」に名称変更を行った。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－１９

大学学部学科等名：中央大学理工学部情報工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	1人	0人	1人	0人	2人	1人
		受験者数	1人	0人	1人	0人	2人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	0人	1人	0人	2人	1人
		受験者数	1人	0人	1人	0人	2人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	1人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		16人	12人	12人	11人	11人	12人
	延べ人数	志願者数	18人	18人	15人	15人	15人	16人
		受験者数	18人	18人	15人	15人	15人	16人
		合格者数	18人	18人	15人	15人	15人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	2人	4人	2人	2人
	実人数	志願者数	18人	18人	15人	15人	15人	16人
		受験者数	18人	18人	15人	15人	15人	16人
		合格者数	18人	18人	15人	15人	15人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	2人	4人	2人	2人
	入学者数		16人	16人	13人	11人	13人	14人
一般選抜	募集人数		77人	80人	80人	81人	83人	80人
	延べ人数	志願者数	2071人	1962人	2200人	2004人	2003人	2048人
		受験者数	1815人	1757人	1884人	1716人	1743人	1783人
		合格者数	368人	425人	361人	316人	311人	356人
		うち追加合格者数	71人	0人	0人	0人	27人	20人
		辞退者数	295人	318人	267人	239人	240人	272人
	実人数	志願者数	1772人	1718人	1977人	1830人	1728人	1805人
		受験者数	1575人	1553人	1703人	1578人	1509人	1584人
		合格者数	353人	411人	346人	309人	305人	345人
		うち追加合格者数	71人	0人	0人	0人	27人	20人
		辞退者数	280人	304人	252人	232人	234人	260人
	入学者数		73人	107人	94人	77人	71人	84人
共通テスト利用入試	募集人数		6人	7人	7人	7人	5人	6人
	延べ人数	志願者数	683人	409人	602人	425人	477人	519人
		受験者数	683人	409人	602人	404人	458人	511人
		合格者数	64人	56人	55人	58人	61人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	63人	55人	55人	58人	61人	58人
	実人数	志願者数	683人	409人	602人	425人	477人	519人
		受験者数	683人	409人	602人	404人	458人	511人
		合格者数	64人	56人	55人	58人	61人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	63人	55人	55人	58人	61人	58人
	入学者数		1人	1人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	48人	42人	30人	40人	29人	38人
		受験者数	48人	42人	30人	40人	29人	38人
		合格者数	7人	5人	8人	6人	7人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	1人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	48人	42人	30人	40人	29人	38人
		受験者数	48人	42人	30人	40人	29人	38人
		合格者数	7人	5人	8人	6人	7人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	1人	2人	0人	1人
	入学者数		5人	5人	7人	4人	7人	6人
合計	募集人数		100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	2821人	2431人	2848人	2484人	2526人	2622人
		受験者数	2565人	2226人	2532人	2175人	2247人	2349人
		合格者数	457人	504人	439人	395人	395人	438人
		うち追加合格者数	71人	0人	0人	0人	27人	20人
		辞退者数	362人	375人	325人	303人	303人	334人
	実人数	志願者数	2522人	2187人	2625人	2310人	2251人	2379人
		受験者数	2325人	2022人	2351人	2037人	2013人	2150人
		合格者数	442人	490人	424人	388人	389人	427人
		うち追加合格者数	71人	0人	0人	0人	27人	20人
		辞退者数	347人	361人	310人	296人	297人	322人
	入学者数		95人	129人	114人	92人	92人	104人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人
入学定員充足率	0.95	1.29	1.14	0.92	0.92	1.04
歩留率	0.21	0.26	0.26	0.23	0.23	0.24

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－２０

大学学部学科等名：中央大学理工学部生命科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	1人	0人
	延べ人数	志願者数					1人	1人
		受験者数					1人	1人
		合格者数					0人	0人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					1人	1人
		受験者数					1人	1人
		合格者数					0人	0人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						0人	0人
学校推薦型選抜	募集人数		10人	15人	15人	15人	15人	14人
	延べ人数	志願者数	36人	49人	41人	15人	17人	32人
		受験者数	36人	49人	41人	15人	17人	32人
		合格者数	36人	48人	14人	15人	17人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	7人	0人	1人	2人
	実人数	志願者数	36人	49人	41人	15人	17人	32人
		受験者数	36人	49人	41人	15人	17人	32人
		合格者数	36人	48人	14人	15人	17人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	7人	0人	1人	2人
	入学者数		36人	47人	34人	15人	16人	30人
一般選抜	募集人数		55人	55人	55人	55人	54人	55人
	延べ人数	志願者数	690人	800人	781人	730人	1240人	848人
		受験者数	602人	714人	674人	644人	1097人	746人
		合格者数	213人	254人	187人	262人	247人	233人
		うち追加合格者数	41人	0人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	185人	206人	156人	195人	190人	186人
	実人数	志願者数	605人	710人	681人	654人	1059人	742人
		受験者数	537人	635人	592人	582人	947人	659人
		合格者数	202人	231人	172人	250人	232人	217人
		うち追加合格者数	41人	0人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	174人	183人	141人	183人	175人	171人
	入学者数		28人	48人	31人	67人	57人	46人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	5人	5人	5人	5人	6人
	延べ人数	志願者数	370人	210人	285人	215人	387人	293人
		受験者数	370人	210人	285人	212人	378人	291人
		合格者数	88人	53人	69人	68人	66人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	85人	53人	68人	68人	65人	68人
	実人数	志願者数	370人	210人	285人	215人	387人	293人
		受験者数	370人	210人	285人	212人	378人	291人
		合格者数	88人	53人	69人	68人	66人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	85人	53人	68人	68人	65人	68人
	入学者数		3人	0人	1人	0人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	24人	12人	23人	21人	40人	24人
		受験者数	24人	12人	23人	21人	40人	24人
		合格者数	5人	2人	2人	2人	4人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	1人	1人	2人	2人
	実人数	志願者数	24人	12人	23人	21人	40人	24人
		受験者数	24人	12人	23人	21人	40人	24人
		合格者数	5人	2人	2人	2人	4人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	1人	1人	2人	2人
	入学者数		2人	1人	1人	1人	2人	1人
合計	募集人数		75人	75人	75人	75人	75人	75人
	延べ人数	志願者数	1120人	1071人	1130人	981人	1685人	1197人
		受験者数	1032人	985人	1023人	892人	1533人	1093人
		合格者数	342人	357人	272人	347人	334人	330人
		うち追加合格者数	41人	0人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	273人	261人	232人	264人	258人	258人
	実人数	志願者数	1035人	981人	1030人	905人	1504人	1091人
		受験者数	967人	906人	941人	830人	1383人	1005人
		合格者数	331人	334人	257人	335人	319人	315人
		うち追加合格者数	41人	0人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	262人	238人	217人	252人	243人	242人
	入学者数		69人	96人	67人	83人	76人	78人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75人
入学定員充足率	0.92	1.28	0.89	1.11	1.01	1.04
歩留率	0.20	0.27	0.25	0.24	0.23	0.24

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－２１

大学学部学科等名：中央大学理工学部人間総合理工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	8人	14人	17人	23人	33人	19人
		受験者数	8人	14人	17人	23人	33人	19人
		合格者数	7人	7人	8人	7人	11人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	4人	3人	6人	2人	4人
	実人数	志願者数	8人	14人	17人	23人	33人	19人
		受験者数	8人	14人	17人	23人	33人	19人
		合格者数	7人	7人	8人	7人	11人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	4人	3人	6人	2人	4人
	入学者数		3人	3人	5人	1人	9人	4人
学校推薦型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	27人	34人	44人	35人	33人	35人
		受験者数	27人	34人	44人	35人	33人	35人
		合格者数	27人	34人	44人	35人	33人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	2人	1人
	実人数	志願者数	27人	34人	44人	35人	33人	35人
		受験者数	27人	34人	44人	35人	33人	35人
		合格者数	27人	34人	44人	35人	33人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	2人	1人
	入学者数		26人	34人	42人	35人	31人	34人
一般選抜	募集人数		48人	49人	49人	49人	49人	49人
	延べ人数	志願者数	370人	726人	491人	352人	546人	497人
		受験者数	328人	651人	429人	303人	483人	439人
		合格者数	121人	153人	85人	98人	107人	113人
		うち追加合格者数	9人	0人	0人	0人	11人	4人
		辞退者数	91人	124人	66人	71人	85人	87人
	実人数	志願者数	325人	628人	417人	301人	444人	423人
		受験者数	296人	569人	365人	262人	402人	379人
		合格者数	113人	143人	73人	89人	99人	103人
		うち追加合格者数	9人	0人	0人	0人	11人	4人
		辞退者数	83人	114人	54人	62人	77人	78人
	入学者数		30人	29人	19人	27人	22人	25人
共通テスト利用入試	募集人数		9人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	189人	227人	227人	135人	186人	193人
		受験者数	189人	227人	227人	133人	184人	192人
		合格者数	47人	52人	38人	39人	32人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	46人	46人	37人	35人	32人	39人
	実人数	志願者数	189人	227人	227人	135人	186人	193人
		受験者数	189人	227人	227人	133人	184人	192人
		合格者数	47人	52人	38人	39人	32人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	46人	46人	37人	35人	32人	39人
	入学者数		1人	6人	1人	4人	0人	2人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	5人	6人	8人	14人	21人	11人
		受験者数	5人	6人	8人	14人	21人	11人
		合格者数	3人	6人	6人	7人	9人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	2人	2人	3人	2人
	実人数	志願者数	5人	6人	8人	14人	21人	11人
		受験者数	5人	6人	8人	14人	21人	11人
		合格者数	3人	6人	6人	7人	9人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	2人	2人	3人	2人
	入学者数		2人	2人	4人	5人	6人	4人
合計	募集人数		75人	75人	75人	75人	75人	75人
	延べ人数	志願者数	599人	1007人	787人	559人	819人	754人
		受験者数	557人	932人	725人	508人	754人	695人
		合格者数	205人	252人	181人	186人	192人	203人
		うち追加合格者数	9人	0人	0人	0人	11人	4人
		辞退者数	143人	178人	110人	114人	124人	134人
	実人数	志願者数	554人	909人	713人	508人	717人	680人
		受験者数	525人	850人	661人	467人	673人	635人
		合格者数	197人	242人	169人	177人	184人	194人
		うち追加合格者数	9人	0人	0人	0人	11人	4人
		辞退者数	135人	168人	98人	105人	116人	124人
	入学者数		62人	74人	71人	72人	68人	69人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75人
入学定員充足率	0.83	0.99	0.95	0.96	0.91	0.93
歩留率	0.30	0.29	0.39	0.39	0.35	0.35

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：中央大学文学部人文社会学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		41人	41人	41人	41人	41人	41人
	延べ人数	志願者数	320人	396人	426人	427人	484人	411人
		受験者数	320人	396人	426人	427人	484人	411人
		合格者数	98人	99人	102人	108人	92人	100人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	39人	48人	55人	51人	33人	45人
	実人数	志願者数	320人	396人	426人	427人	484人	411人
		受験者数	320人	396人	426人	427人	484人	411人
		合格者数	98人	99人	102人	108人	92人	100人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	39人	48人	55人	51人	33人	45人
	入学者数		59人	51人	47人	57人	59人	55人
学校推薦型選抜	募集人数		250人	249人	249人	249人	252人	250人
	延べ人数	志願者数	301人	298人	289人	279人	290人	291人
		受験者数	301人	298人	289人	279人	290人	291人
		合格者数	301人	298人	289人	279人	290人	291人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	4人	6人	3人	3人
	実人数	志願者数	301人	298人	289人	279人	290人	291人
		受験者数	301人	298人	289人	279人	290人	291人
		合格者数	301人	298人	289人	279人	290人	291人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	4人	6人	3人	3人
	入学者数		300人	295人	285人	273人	287人	288人
一般選抜	募集人数		537人	538人	538人	538人	535人	537人
	延べ人数	志願者数	6456人	6906人	7280人	5957人	6417人	6603人
		受験者数	6138人	6574人	6970人	5695人	6112人	6298人
		合格者数	1993人	2437人	2008人	1945人	1839人	2044人
		うち追加合格者数	294人	0人	64人	0人	154人	102人
		辞退者数	1531人	1821人	1548人	1432人	1380人	1542人
	実人数	志願者数	5226人	5391人	5384人	5075人	5379人	5291人
		受験者数	4979人	5137人	5161人	4871人	5138人	5057人
		合格者数	1735人	1977人	1578人	1768人	1637人	1739人
		うち追加合格者数	294人	0人	64人	0人	154人	102人
		辞退者数	1273人	1361人	1118人	1255人	1178人	1237人
	入学者数		462人	616人	460人	513人	459人	502人
共通テスト利用入試	募集人数		117人	117人	117人	117人	117人	117人
	延べ人数	志願者数	3971人	2819人	2578人	2618人	3168人	3031人
		受験者数	3971人	2819人	2578人	2609人	3165人	3028人
		合格者数	1142人	1002人	745人	918人	1010人	963人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1009人	863人	669人	806人	888人	847人
	実人数	志願者数	3971人	2819人	2578人	2618人	3168人	3031人
		受験者数	3971人	2819人	2578人	2609人	3165人	3028人
		合格者数	1142人	1002人	745人	918人	1010人	963人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1009人	863人	669人	806人	888人	847人
	入学者数		133人	139人	76人	112人	122人	116人
その他の特別選抜	募集人数		45人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	252人	213人	221人	203人	218人	221人
		受験者数	252人	210人	221人	203人	217人	221人
		合格者数	81人	71人	73人	74人	72人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	10人	9人	14人	9人	10人
	実人数	志願者数	252人	213人	221人	203人	218人	221人
		受験者数	252人	210人	221人	203人	217人	221人
		合格者数	81人	71人	73人	74人	72人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	10人	9人	14人	9人	10人
	入学者数		71人	61人	64人	60人	63人	64人
合計	募集人数		990人	990人	990人	990人	990人	990人
	延べ人数	志願者数	11300人	10632人	10794人	9484人	10577人	10557人
		受験者数	10982人	10297人	10484人	9213人	10268人	10249人
		合格者数	3615人	3907人	3217人	3324人	3303人	3473人
		うち追加合格者数	294人	0人	64人	0人	154人	102人
		辞退者数	2590人	2745人	2285人	2309人	2313人	2448人
	実人数	志願者数	10070人	9117人	8898人	8602人	9539人	9245人
		受験者数	9823人	8860人	8675人	8389人	9294人	9008人
		合格者数	3357人	3447人	2787人	3147人	3101人	3168人
		うち追加合格者数	294人	0人	64人	0人	154人	102人
		辞退者数	2332人	2285人	1855人	2132人	2111人	2143人
	入学者数		1025人	1162人	932人	1015人	990人	1025人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	990人	990人	990人	990人	990人	990人
入学定員充足率	1.04	1.17	0.94	1.03	1.00	1.04
歩留率	0.28	0.30	0.29	0.31	0.30	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－２３

大学学部学科等名：中央大学総合政策学部政策科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数		35人	41人	41人	41人	41人	40人
	延べ人数	志願者数	56人	59人	71人	72人	71人	66人
		受験者数	56人	59人	71人	72人	71人	66人
		合格者数	55人	59人	71人	71人	71人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	56人	59人	71人	72人	71人	66人
		受験者数	56人	59人	71人	72人	71人	66人
		合格者数	55人	59人	71人	71人	71人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	2人	1人
	入学者数		55人	58人	71人	71人	69人	65人
一般選抜	募集人数		86人	75人	75人	75人	75人	77人
	延べ人数	志願者数	1073人	968人	1401人	1545人	1525人	1302人
		受験者数	878人	848人	1248人	1388人	1365人	1145人
		合格者数	245人	244人	253人	283人	233人	252人
		うち追加合格者数	23人	24人	0人	0人	0人	9人
		辞退者数	184人	171人	186人	212人	175人	186人
	実人数	志願者数	857人	657人	1029人	1288人	1273人	1021人
		受験者数	674人	549人	885人	1171人	1154人	887人
		合格者数	175人	160人	152人	250人	203人	188人
		うち追加合格者数	23人	24人	0人	0人	0人	9人
		辞退者数	114人	87人	85人	179人	145人	122人
	入学者数		61人	73人	67人	71人	58人	66人
共通テスト利用入試	募集人数		24人	29人	29人	29人	29人	28人
	延べ人数	志願者数	521人	351人	322人	479人	411人	417人
		受験者数	521人	351人	322人	472人	408人	415人
		合格者数	168人	148人	98人	127人	87人	126人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	144人	130人	86人	121人	80人	112人
	実人数	志願者数	521人	351人	322人	479人	411人	417人
		受験者数	521人	351人	322人	472人	408人	415人
		合格者数	168人	148人	98人	127人	87人	126人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	144人	130人	86人	121人	80人	112人
	入学者数		24人	18人	12人	6人	7人	13人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	18人	19人	15人	23人	17人	18人
		受験者数	17人	19人	15人	23人	17人	18人
		合格者数	10人	11人	11人	10人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	18人	19人	15人	23人	17人	18人
		受験者数	17人	19人	15人	23人	17人	18人
		合格者数	10人	11人	11人	10人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	0人	1人	1人
	入学者数		9人	9人	10人	10人	9人	9人
合計	募集人数		145人	145人	145人	145人	145人	145人
	延べ人数	志願者数	1668人	1397人	1809人	2119人	2024人	1803人
		受験者数	1472人	1277人	1656人	1955人	1861人	1644人
		合格者数	478人	462人	433人	491人	401人	453人
		うち追加合格者数	23人	24人	0人	0人	0人	9人
		辞退者数	329人	304人	273人	334人	258人	300人
	実人数	志願者数	1452人	1086人	1437人	1862人	1772人	1522人
		受験者数	1268人	978人	1293人	1738人	1650人	1385人
		合格者数	408人	378人	332人	458人	371人	389人
		うち追加合格者数	23人	24人	0人	0人	0人	9人
		辞退者数	259人	220人	172人	301人	228人	236人
	入学者数		149人	158人	160人	158人	143人	154人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	150人	150人	150人	150人	150人	150人
入学定員充足率	0.99	1.05	1.07	1.05	0.95	1.02
歩留率	0.31	0.34	0.37	0.32	0.36	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２の２－２４

大学学部学科等名：中央大学総合政策学部国際政策文化学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数		34人	34人	34人	40人	40人	36人
	延べ人数	志願者数	50人	59人	50人	53人	54人	53人
		受験者数	50人	59人	50人	53人	54人	53人
		合格者数	50人	59人	49人	53人	54人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	2人	3人	2人	2人
	実人数	志願者数	50人	59人	50人	53人	54人	53人
		受験者数	50人	59人	50人	53人	54人	53人
		合格者数	50人	59人	49人	53人	54人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	2人	3人	2人	2人
	入学者数		49人	57人	47人	50人	52人	51人
一般選抜	募集人数		86人	75人	75人	75人	75人	77人
	延べ人数	志願者数	1128人	1195人	1532人	1383人	1552人	1358人
		受験者数	861人	987人	1326人	1218人	1354人	1149人
		合格者数	287人	342人	369人	336人	320人	331人
		うち追加合格者数	32人	31人	0人	0人	0人	13人
		辞退者数	221人	255人	270人	251人	240人	247人
	実人数	志願者数	969人	963人	1237人	1144人	1216人	1106人
		受験者数	708人	760人	1045人	1018人	1069人	920人
		合格者数	237人	257人	253人	295人	278人	264人
		うち追加合格者数	32人	31人	0人	0人	0人	13人
		辞退者数	171人	170人	154人	210人	198人	181人
	入学者数		66人	87人	99人	85人	80人	83人
共通テスト利用入試	募集人数		25人	30人	30人	30人	30人	29人
	延べ人数	志願者数	536人	567人	370人	483人	465人	484人
		受験者数	536人	567人	370人	481人	459人	483人
		合格者数	210人	193人	151人	189人	97人	168人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	175人	169人	137人	176人	90人	149人
	実人数	志願者数	536人	567人	370人	483人	465人	484人
		受験者数	536人	567人	370人	481人	459人	483人
		合格者数	210人	193人	151人	189人	97人	168人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	175人	169人	137人	176人	90人	149人
	入学者数		35人	24人	14人	13人	7人	19人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	12人	20人	29人	25人	22人	22人
		受験者数	12人	20人	29人	25人	22人	22人
		合格者数	3人	5人	5人	3人	4人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	3人	1人	2人	2人
	実人数	志願者数	12人	20人	29人	25人	22人	22人
		受験者数	12人	20人	29人	25人	22人	22人
		合格者数	3人	5人	5人	3人	4人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	3人	1人	2人	2人
	入学者数		1人	3人	2人	2人	2人	2人
合計	募集人数		145人	139人	139人	145人	145人	143人
	延べ人数	志願者数	1726人	1841人	1981人	1944人	2093人	1917人
		受験者数	1459人	1633人	1775人	1777人	1889人	1707人
		合格者数	550人	599人	574人	581人	475人	556人
		うち追加合格者数	32人	31人	0人	0人	0人	13人
		辞退者数	399人	428人	412人	431人	334人	401人
	実人数	志願者数	1567人	1609人	1686人	1705人	1757人	1665人
		受験者数	1306人	1406人	1494人	1577人	1604人	1477人
		合格者数	500人	514人	458人	540人	433人	489人
		うち追加合格者数	32人	31人	0人	0人	0人	13人
		辞退者数	349人	343人	296人	390人	292人	334人
	入学者数		151人	171人	162人	150人	141人	155人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	150人	150人	150人	150人	150人	150人
入学定員充足率	1.01	1.14	1.08	1.00	0.94	1.03
歩留率	0.27	0.29	0.28	0.26	0.30	0.28

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：中央大学国際経営学部国際経営学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	90人	78人	99人	103人	111人	96人
		受験者数	90人	78人	99人	103人	111人	96人
		合格者数	56人	60人	60人	66人	37人	56人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	33人	37人	35人	42人	16人	33人
	実人数	志願者数	90人	78人	99人	103人	111人	96人
		受験者数	90人	78人	99人	103人	111人	96人
		合格者数	56人	60人	60人	66人	37人	56人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	33人	37人	35人	42人	16人	33人
	入学者数		23人	23人	25人	24人	21人	23人
学校推薦型選抜	募集人数		65人	65人	65人	65人	70人	66人
	延べ人数	志願者数	58人	56人	53人	60人	59人	57人
		受験者数	58人	56人	53人	60人	59人	57人
		合格者数	58人	56人	53人	60人	59人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	58人	56人	53人	60人	59人	57人
		受験者数	58人	56人	53人	60人	59人	57人
		合格者数	58人	56人	53人	60人	59人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	2人	0人	1人
	入学者数		58人	55人	51人	58人	59人	56人
一般選抜	募集人数		130人	130人	130人	130人	115人	127人
	延べ人数	志願者数	2944人	2385人	2269人	2220人	2864人	2536人
		受験者数	2721人	2252人	2142人	2092人	2684人	2378人
		合格者数	672人	471人	612人	647人	266人	534人
		うち追加合格者数	291人	0人	0人	0人	0人	58人
		辞退者数	526人	355人	452人	415人	200人	390人
	実人数	志願者数	2632人	2079人	1911人	1791人	2293人	2141人
		受験者数	2421人	1965人	1804人	1704人	2166人	2012人
		合格者数	623人	408人	538人	568人	241人	476人
		うち追加合格者数	291人	0人	0人	0人	0人	58人
		辞退者数	477人	292人	378人	336人	175人	332人
	入学者数		146人	116人	160人	232人	66人	144人
共通テスト利用入試	募集人数		30人	30人	30人	30人	35人	31人
	延べ人数	志願者数	850人	854人	590人	1190人	1001人	897人
		受験者数	850人	854人	590人	1186人	999人	896人
		合格者数	190人	226人	178人	305人	130人	206人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	170人	172人	140人	265人	112人	172人
	実人数	志願者数	850人	854人	590人	1190人	1001人	897人
		受験者数	850人	854人	590人	1186人	999人	896人
		合格者数	190人	226人	178人	305人	130人	206人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	170人	172人	140人	265人	112人	172人
	入学者数		20人	54人	38人	40人	18人	34人
その他の特別選抜	募集人数		50人	50人	50人	50人	55人	51人
	延べ人数	志願者数	229人	239人	128人	138人	191人	185人
		受験者数	223人	231人	110人	120人	153人	167人
		合格者数	106人	99人	63人	68人	71人	81人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	44人	41人	25人	27人	20人	31人
	実人数	志願者数	229人	239人	128人	138人	191人	185人
		受験者数	223人	231人	110人	120人	153人	167人
		合格者数	106人	99人	63人	68人	71人	81人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	44人	41人	25人	27人	20人	31人
	入学者数		62人	58人	38人	41人	51人	50人
合計	募集人数		300人	300人	300人	300人	300人	300人
	延べ人数	志願者数	4171人	3612人	3139人	3711人	4226人	3772人
		受験者数	3942人	3471人	2994人	3561人	4006人	3595人
		合格者数	1082人	912人	966人	1146人	563人	934人
		うち追加合格者数	291人	0人	0人	0人	0人	58人
		辞退者数	773人	606人	654人	751人	348人	626人
	実人数	志願者数	3859人	3306人	2781人	3282人	3655人	3377人
		受験者数	3642人	3184人	2656人	3173人	3488人	3229人
		合格者数	1033人	849人	892人	1067人	538人	876人
		うち追加合格者数	291人	0人	0人	0人	0人	58人
		辞退者数	724人	543人	580人	672人	323人	568人
	入学者数		309人	306人	312人	395人	215人	307人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	300人	300人	300人	300人	300人	300人
入学定員充足率	1.03	1.02	1.04	1.32	0.72	1.02
歩留率	0.29	0.34	0.32	0.34	0.38	0.33

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

大学学部学科等名：中央大学国際情報学部国際情報学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	56人	61人	57人	57人	44人	55人
		受験者数	56人	61人	57人	57人	44人	55人
		合格者数	56人	61人	57人	57人	44人	55人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	56人	60人	57人	57人	44人	55人
		受験者数	56人	61人	57人	57人	44人	55人
		合格者数	56人	61人	57人	57人	44人	55人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	1人	1人	0人	1人
	入学者数		55人	60人	56人	56人	44人	54人
一般選抜	募集人数		75人	75人	75人	75人	75人	75人
	延べ人数	志願者数	2181人	1687人	1324人	1409人	1784人	1677人
		受験者数	2058人	1583人	1239人	1324人	1661人	1573人
		合格者数	380人	279人	253人	261人	280人	291人
		うち追加合格者数	116人	49人	0人	0人	0人	33人
		辞退者数	299人	200人	189人	197人	196人	216人
	実人数	志願者数	2181人	1687人	1324人	1190人	1327人	1542人
		受験者数	2058人	1583人	1239人	1121人	1232人	1447人
		合格者数	380人	279人	253人	226人	236人	275人
		うち追加合格者数	116人	49人	0人	0人	0人	33人
		辞退者数	299人	200人	189人	162人	152人	200人
	入学者数		81人	79人	64人	64人	84人	74人
共通テスト利用入試	募集人数		25人	25人	25人	25人	25人	25人
	延べ人数	志願者数	1096人	382人	552人	622人	1035人	737人
		受験者数	1096人	382人	552人	618人	1033人	736人
		合格者数	199人	113人	226人	202人	265人	201人
		うち追加合格者数	36人	0人	27人	0人	0人	13人
		辞退者数	186人	97人	183人	177人	227人	174人
	実人数	志願者数	1096人	382人	552人	622人	1035人	737人
		受験者数	1096人	382人	552人	618人	1033人	736人
		合格者数	199人	113人	226人	202人	265人	201人
		うち追加合格者数	36人	0人	27人	0人	0人	13人
		辞退者数	186人	97人	183人	177人	227人	174人
	入学者数		13人	16人	43人	25人	38人	27人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
合計	募集人数		150人	150人	150人	150人	150人	150人
	延べ人数	志願者数	3333人	2130人	1933人	2088人	2863人	2469人
		受験者数	3210人	2026人	1848人	1999人	2738人	2364人
		合格者数	635人	453人	536人	520人	589人	547人
		うち追加合格者数	152人	49人	27人	0人	0人	46人
		辞退者数	486人	298人	373人	375人	423人	391人
	実人数	志願者数	3333人	2129人	1933人	1869人	2406人	2334人
		受験者数	3210人	2026人	1848人	1796人	2309人	2238人
		合格者数	635人	453人	536人	485人	545人	531人
		うち追加合格者数	152人	49人	27人	0人	0人	46人
		辞退者数	486人	298人	373人	340人	379人	375人
	入学者数		149人	155人	163人	145人	166人	156人

３．入学定員充足率

	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	R６年度入学者	R７年度入学者	平　均
入学定員	150人	150人	150人	150人	150人	150人
入学定員充足率	0.99	1.03	1.09	0.97	1.11	1.04
歩留率	0.23	0.34	0.30	0.28	0.28	0.29

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙３

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：　中央大学オープンキャンパス、キャンパス見学会、附属生ウェルカムイベント

	R６年度入試	R７年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	41466人	42311人	①取組概要 ・中央大学オープンキャンパス 受験希望者を対象として本学の全キャンパスを開放し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内を実施。 R6年度入試対象（R5開催）：後楽園・市ヶ谷田町・茗荷谷7/30.7/31、多摩8/5.8/6 R7年度入試対象（R6開催）：多摩・市ヶ谷田町8/3.8/4、後楽園・茗荷谷8/7.8/8 ・附属生ウェルカムイベント 本学の附属4高校全生徒を対象として、キャンパス来訪型イベントとして実施。高2・3年生は「学部選択セミナー」において進学を希望する各学部のキャンパスに赴き、学部説明や模擬授業・在学生との懇談を行う。 R6年度入試対象（R5開催）：多摩7/15、茗荷谷・市ヶ谷田町8/1、後楽園7/31 R7年度入試対象（R6開催）：多摩7/13、茗荷谷・市ヶ谷田町8/5、後楽園8/8 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ①に記載した取り組みにおける参加者については、【資料13】のとおりである。 本学では参加者の追跡調査を行っていないため、新入生アンケートにおける、本学来訪型イベントの満足度に関する設問への回答数・回答率を基に左記の分析をおこなった。 なお新入生アンケートは全入学生を対象とし、毎年95%前後の回答率を得ており（R6年度95.6%、R7年度93.7%）、新入生のほとんどが回答する信頼性の高い調査となっている【資料14】。各年度の新入生アンケートにおいては、オープンキャンパス、キャンパス見学会、附属ウェルカムイベントといった「キャンパス来訪型イベントに対する満足度」を調査している。当該設問において「参加したことがないのでわからない」以外の選択肢に回答した数、すなわち「回答者（概ね入学者数と同等）における対面型イベント参加率」は、R6年度は3,019人（全体の49.0%）、R7年度は3,042名（全体の56.5%）であるため、この数字をそれぞれ入学者数（d）と受験率（c/b）とし、この受験率を基に、うち受験者数（c）を算出した。また、入学率については、各年度におけるイベントに参加した受験対象者数（b）と上述の（d）の割合から算出した。なお、入学率については【別紙2の2】にまとめた定員充足状況から算出される入学率（全学部学科の志願者数と入学者数の過去5年平均より算出＝9.5%）と大きな差はなく、本算出方法により算出した数値は、本取組に対する直接的な数字ではないものの、一定の妥当性があると考えている。 以上の分析と、本学の高校生を対象とした各種キャンパス来訪型のイベントへの参加者数は毎年40,000人以上であること、入学生の半数程度はイベントへの参加経験がある実績を踏まえれば、受験対象者の本学への関心と来訪型イベントの効力は継続して高水準であると言え、新設組織であるスポーツ情報学部においても本取組を継続して実施することで、【別紙2の2】にある本学の他の学部の実績と同水準程度の受験倍率（志願者数/入学定員）を確保できるとともに、入学定員295名を確保できる見込みである。 ③(b)に該当すると判断した基準 オープンキャンパス：来場者受付時に全体数のほか高校生来場者数をカウントしているため、その人数とした。 附属生ウェルカムイベント：事前参加申込アンケートで各学部が実施する「学部選択セミナー」に申込した高校３年生をカウントした。 ※キャンパス見学会については、受験対象者を特定できる参加者データを取得していないため、本項目に数字として計上していない。
うち受験対象者数(b)	27398人	28368人	
うち受験者数(c)	13425人	16028人	
うち入学者数(d)	3019人	3042人	
（受験率 c/b）	49.0%	56.5%	
（入学率 d/b）	11.0%	10.7%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：　中央大学全学部の資料請求対応

	R６年度入試	R７年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	89872人	94383人	①取組概要 中央大学ホームページにて資料請求を受け付けており、資料請求者に対して大学案内や学部ガイド等の資料を無料で配付している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学では資料請求者に対する追跡調査を行っていないため、受験率、入学率は算出していないが、18歳人口が減少する中において毎年90,000人前後、受験対象者に限っても入学定員を大幅に超える35,000人弱が本学へ関心を寄せている実績を踏まえると、受験対象者の本学への関心は継続して高水準と言える。したがって、新設組織であるスポーツ情報学部においても本取組を継続して実施することで、【別紙2の2】にある本学の他の学部の実績と同水準程度の受験倍率（志願者数/入学定員）入学定員295名を確保できるよう努めていく。 ③(b)に該当すると判断した基準 資料請求の全体数のうち、該当年度入試対象者（高校3年生、既卒等）の資料請求件数とした。
うち受験対象者数(b)	34823人	34649人	
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）			
（入学率 d/b）			

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：　　中央大学理工学部のキャンパス来訪型イベント（オープンキャンパス等）

	R６年度入試	R７年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	12086人	13200人	①取組概要 ・オープンキャンパス 受験希望者を対象として後楽園キャンパスを開放し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内を実施。 R6年度入試対象（R5開催）：7/30.7/31　R7年度入試対象（R6開催）：8/7.8/8 ・附属生ウェルカムイベント 本学の附属4高校全生徒を対象として、キャンパス来訪型イベントとして実施。高2・3年生は「学部選択セミナー」において進学を希望する各学部のキャンパスに赴き、学部説明や模擬授業・在学生との懇談を行う。 R6年度入試対象（R5開催）：7/31　R7年度入試対象（R6開催）：8/8 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学では参加者の追跡調査を行っていないため、新入生アンケートにおける、本学来訪型イベントの満足度に関する設問への回答数・回答率を基に左記の分析をおこなった。 なお新入生アンケートは全入学生を対象とし、毎年95%前後の回答率を得ており（理工学部新入生の回答率はR6年度95.2%、R7年度94.3%）、新入生のほとんどが回答する信頼性の高い調査となっている【資料14】。 各年度の新入生アンケートにおいては、オープンキャンパス、キャンパス見学会、附属ウェルカムイベントといった「キャンパス来訪型イベントに対する満足度」を調査している。当該設問において「参加したことがないのでわからない」以外の選択肢に回答した数、すなわち「回答者（概ね入学者数と同等）における対面型イベント参加率」は、R6年度は389人（全体の41.1%）、R7年度は458名（全体の52.7%）であるため、この数字をそれぞれ入学者数（d）と受験率（c/b）とし、この受験率を基に、うち受験者数（c）を算出した。また、入学率については、各年度におけるイベントに参加した受験対象者数のうち、新入生アンケートで本学来訪型イベントへの参加経験を有する学生数（d）の比率を計算して算出した、なお、入学率については【別紙2の2】にまとめた定員充足状況から算出される入学率（全学部学科の志願者数と入学者数の過去5年平均より算出＝6.8%）と比しても大きな差はなく、本算出方法により算出した数値は、本取組に対する直接的な数字ではないものの、一定の妥当性があると考えている。 以上の分析と、高校生を対象とした本学の後楽園キャンパス（理工学部）来訪型のイベントへの参加者数は毎年12,000人以上であること、入学生の半数程度はイベントへの参加経験がある実績を踏まえれば、工学分野を志す受験対象者による本学への関心は非常に高水準であり、受験予定者の本学への関心と来訪型イベントの効力は継続して高水準であると言える。よって、同じ工学分野を教育研究領域とする新設組織（スポーツ情報学部）においても本取組を継続して実施することで、【別紙2の2】にある理工学部の実績と同水準程度の受験倍率（志願者数/入学定員）を確保できるとともに、入学定員295名を確保できる見込みである。 ③(b)に該当すると判断した基準 オープンキャンパス：来場者受付時に全体数のほか高校生来場者数をカウントしているため、その人数とした。 附属生ウェルカムイベント：事前参加申込アンケートで理工学部の「学部選択セミナー」に申込した高校３年生をカウントした。 ※キャンパス見学会については、受験対象者を特定できる参加者データを取得していないため、本項目に数字として計上していない。
うち受験対象者数(b)	8446人	9435人	
うち受験者数(c)	3471人	4972人	
うち入学者数(d)	389人	458人	
（受験率 c/b）	41.1%	52.7%	
（入学率 d/b）	4.6%	4.9%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：　　中央大学理工学部の資料請求対応

	R６年度入試	R７年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	27236人	24824人	①取組概要 中央大学ホームページにて資料請求を受け付けており、資料請求者に対して大学案内や学部ガイド等の資料を無料で配付している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学では資料請求者に対する追跡調査を行っていないため、受験率、入学率は算出していないが、毎年25,000人前後、受験対象者に限っても入学定員を大幅に超える8,000～10,000人程度が本学理工学部へ関心を寄せている現状を踏まえると、工学分野を志す受験対象者の本学への関心は継続して高水準と言える。 この実績を踏まえて、同じ工学分野を教育研究領域とする新設組織（スポーツ情報学部）においても本取組を継続して実施することで、【別紙2の2】にある本学の他の学部の実績と同水準程度の受験倍率（志願者数/入学定員）、入学定員295名を確保できるよう努めていく。 ③(b)に該当すると判断した基準 資料請求の全体数のうち、該当年度入試対象者（高校3年生、既卒等）の資料請求件数とした。
うち受験対象者数(b)	10027人	8590人	
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）			
（入学率 d/b）			